

港区一般廃棄物処理基本計画(第3次) 策定等に係る基礎調査報告書

令和2年(2020年)3月

港 区

目 次

第1章 区民アンケート調査	1
1 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回答期間	1
(4) 回収率	1
2 調査結果	2
(1) 回答者の属性	2
(2) ごみに関する問題意識や日常の行動について	4
(3) ごみ・資源の発生・処理状況について	18
(4) 区のごみ処理に関する満足度について	34
(5) 今後の区の実施について	36
(6) 海洋プラスチック問題	37
(7) 食品ロス削減に関すること	43
第2章 事業者アンケート調査	52
1 調査概要	52
(1) 調査の目的	52
(2) 調査方法	52
(3) 回答期間	53
(4) 回収率	53
2 調査結果	53
(1) 回答事業所の概要	54
(2) ごみ・資源の発生・処理状況について	55

(3) 関心・取組状況について	84
(4) 区の施策・情報について	92
(5) プラスチックごみについて	100
第3章 関係者ヒアリング調査	111
1 調査概要.....	111
(1) 調査の目的	111
(2) 調査対象	111
(3) 調査内容	112
(4) 調査期間	112
(5) 調査対象事業者の概要	112
2 調査結果詳細(ヒアリング議事録)	114
(1) 排出事業者・一般廃棄物処理許可業者	114
資料編	133
区民アンケート調査票	135
区民アンケート自由回答一覧	151
事業者アンケート調査票	171
事業者アンケート自由回答一覧	182

第1章 区民アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、区民のごみ・リサイクルに関する意識・行動や排出実態を把握するとともに、ごみ減量に対する意識啓発を兼ねて実施することを目的とします。

なお、得られた調査結果については、令和2年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」（港区食品ロス削減推進計画を含む。）の策定のための基礎資料とします。

(2) 調査方法

区内在住の18歳以上の日本人、および外国人に対し、紙の調査票を郵送することによりアンケート調査を実施しました。

発送数は、日本人1,800世帯、外国人200世帯とし、住民基本台帳から無作為に抽出しました。

(3) 回答期間

対象	期間	
■日本人	令和元年11月11日（月）～ 令和元年12月4日（水）	※令和元年12月23日（月）時点までの回答を有効としました。
■外国人	令和元年11月18日（月）～ 令和元年12月11日（水）	※令和2年1月7日（木）時点までの回答を有効としました。

(4) 回収率

回収率は右表のとおりです。日本人と外国人を合わせた際の回収率は、34.31%となりました。

	日本人	外国人	計
発送数	1,800件	200件	2,000件
戻り数	17件	10件	27件
有効発送数	1,783件	190件	1,973件
回収数	668件	9件	677件
回収率（%）	37.46%	4.74%	34.31%

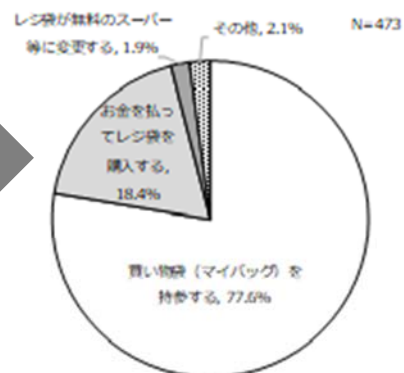
2 調査結果

回収したアンケートの集計結果を、次頁以降掲載しています。回収したアンケートの内、有効の回答を集計しました。また、一部設問においては、回答者の属性ごとに回答を比べるクロス集計を実施しています。

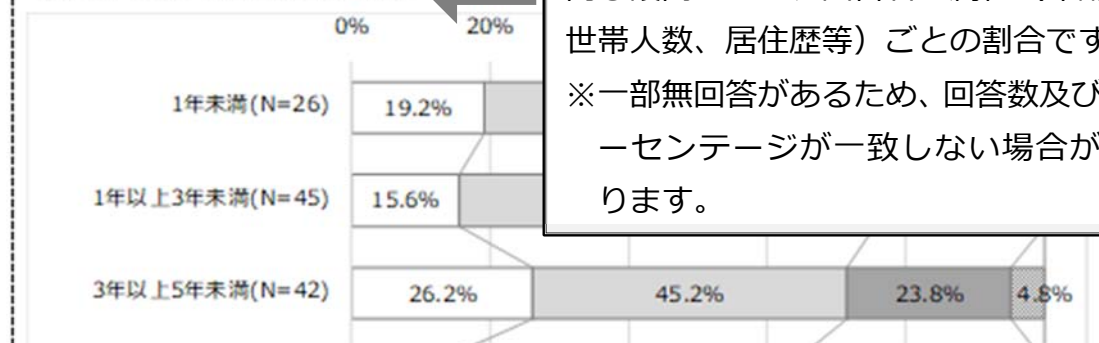
集計結果掲載例

・キ〇レジ袋無料のスーパー等でレジ袋が有料になった場合の行動

集計結果を表したグラフです。回答が1つの場合は円グラフ、複数回答の場合は棒グラフです。



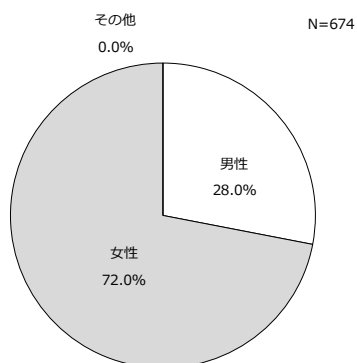
【参考】居住年数別クロス集計



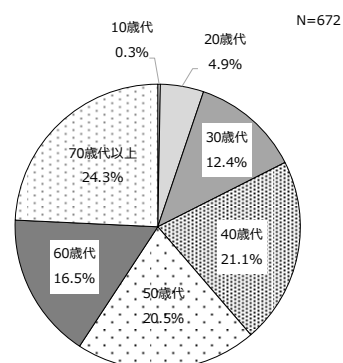
(1) 回答者の属性

回答者の属性として、性別は「女性」、年齢は「40歳代」と「50歳代」が多い結果となりました。職業は「会社員・公務員」、居住形態は「ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅(管理人がいる)」、居住歴は「20年以上」が多くなりました。

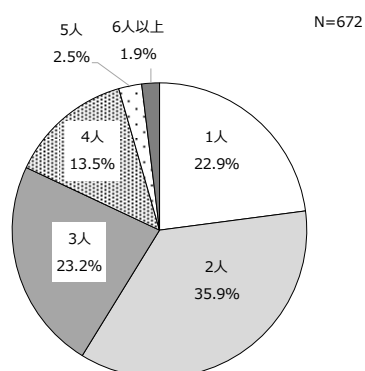
■ 性別



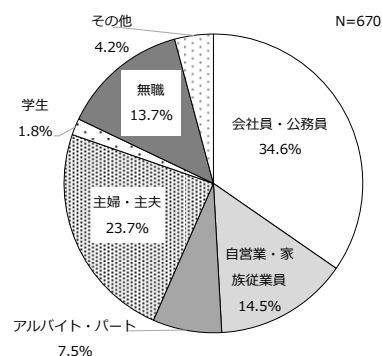
■ 年齢



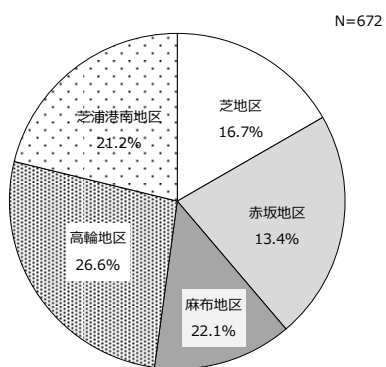
■ 世帯人数



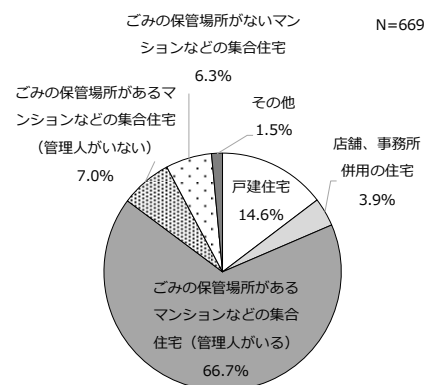
■ 職業



■ 居住地域



■ 居住形態



■ 居住歴

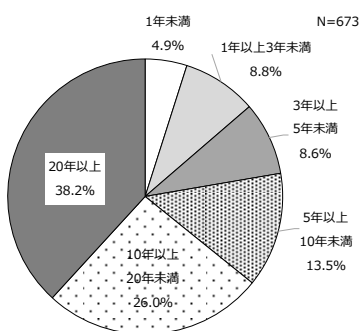


図 1-1 回答者の属性【問 1～問 7】

（２）ごみに関する問題意識や日常の行動について

ア 関心事項

「海洋プラスチック問題について」が約 66%と最も多く、次いで「食品ロス問題について」が約 63%と多い結果となりました。なお、「ごみの問題については関心がない」は回答割合が 1.3%にとどまっており、前回調査の結果 13.5%と比較して、割合が減少していることから、区民の多くがごみに関心を持っていると言えます。

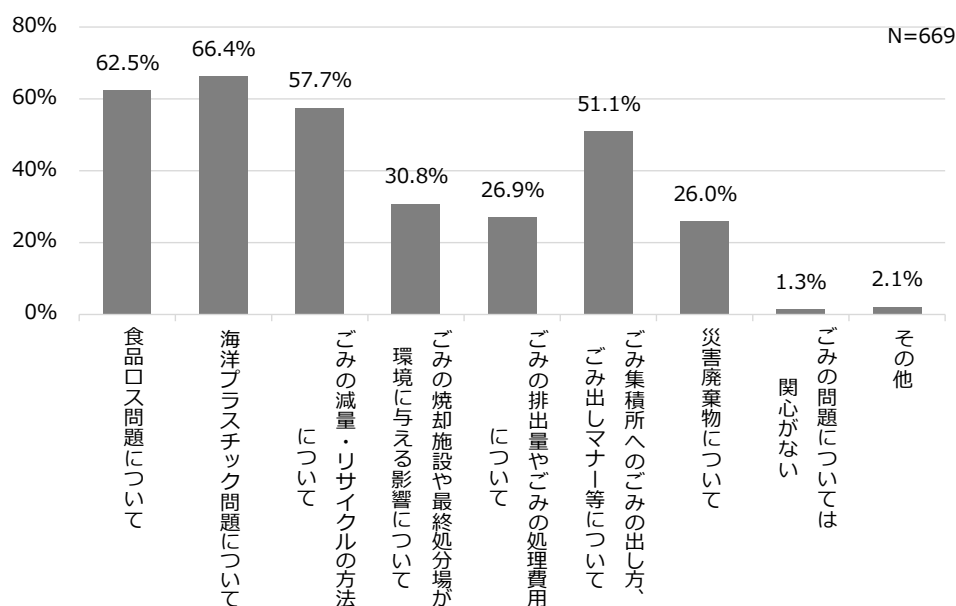
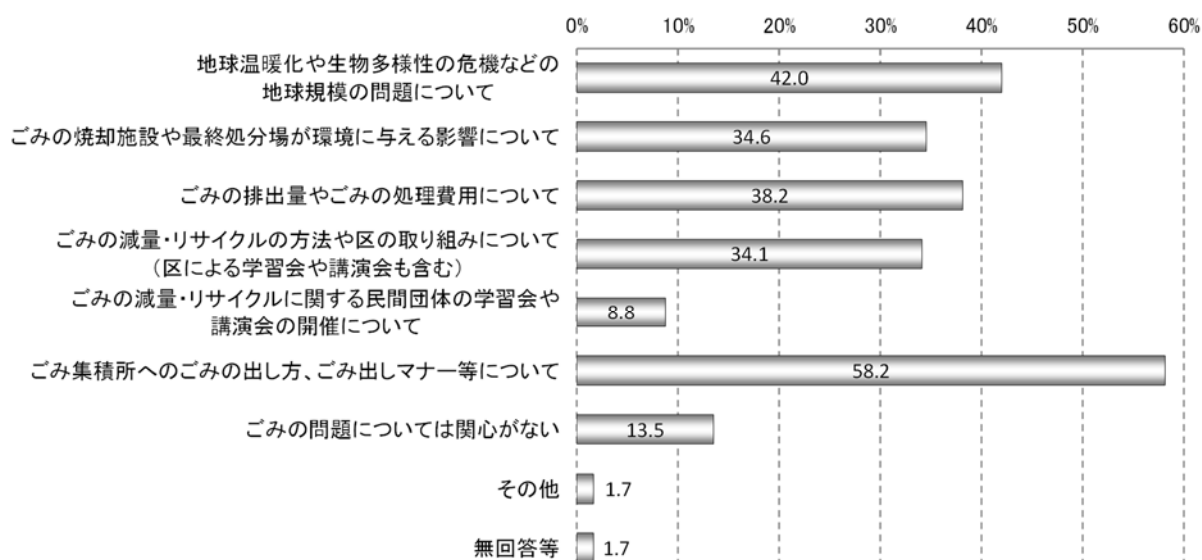
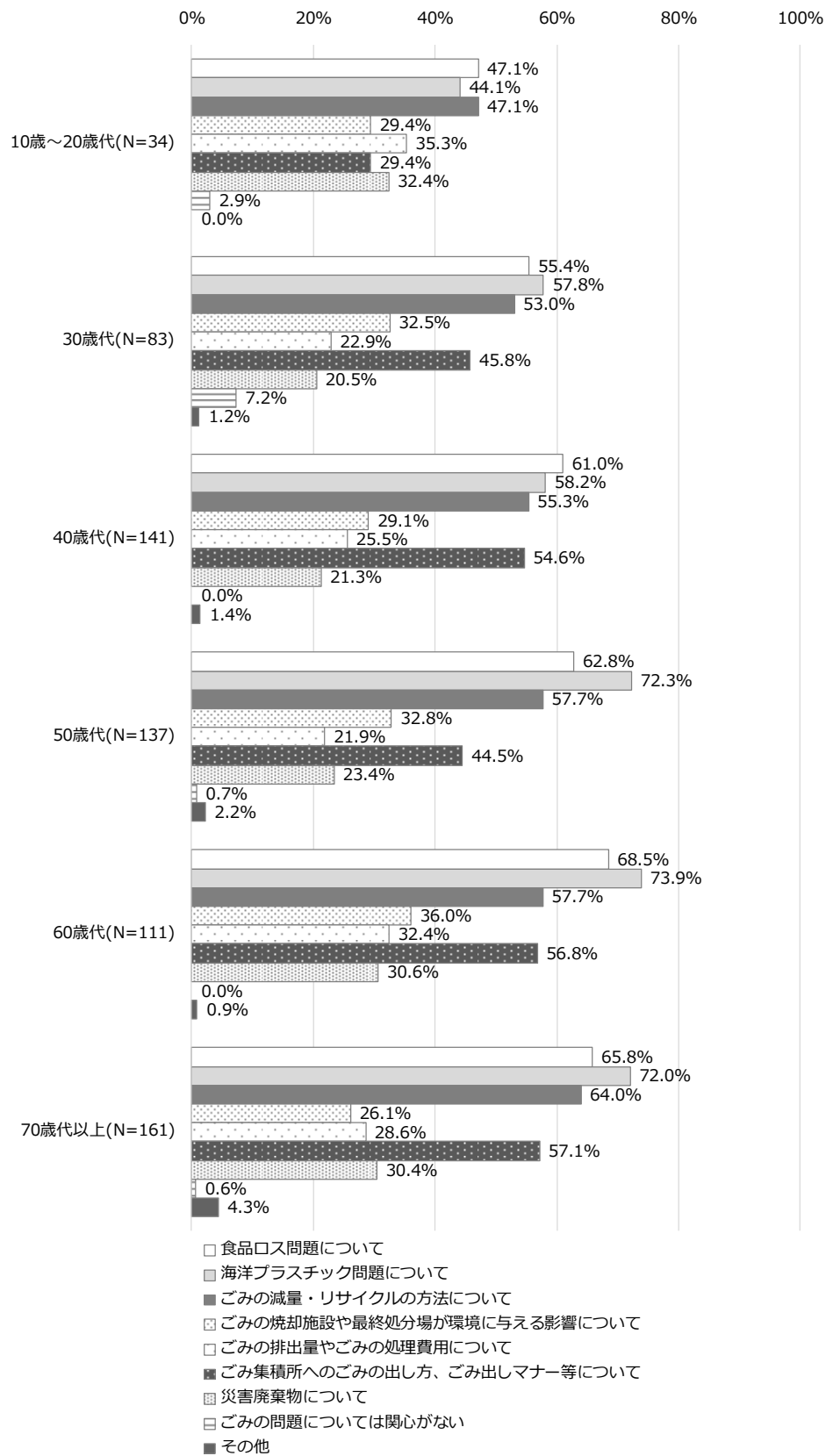


図 1-2 関心のある事項【問 8】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】 年齢別クロス集計



イ 日頃の生活で心がけていること

日常の生活で心がけていることとして、「シャンプー・リンスや洗剤等は詰め替えできる商品を購入する」、「食材を買いすぎないようにする」、「長く使えるものを購入する」において、「常に行う」と「ある程度行う」の回答が、他の項目と比較して多くなりました。

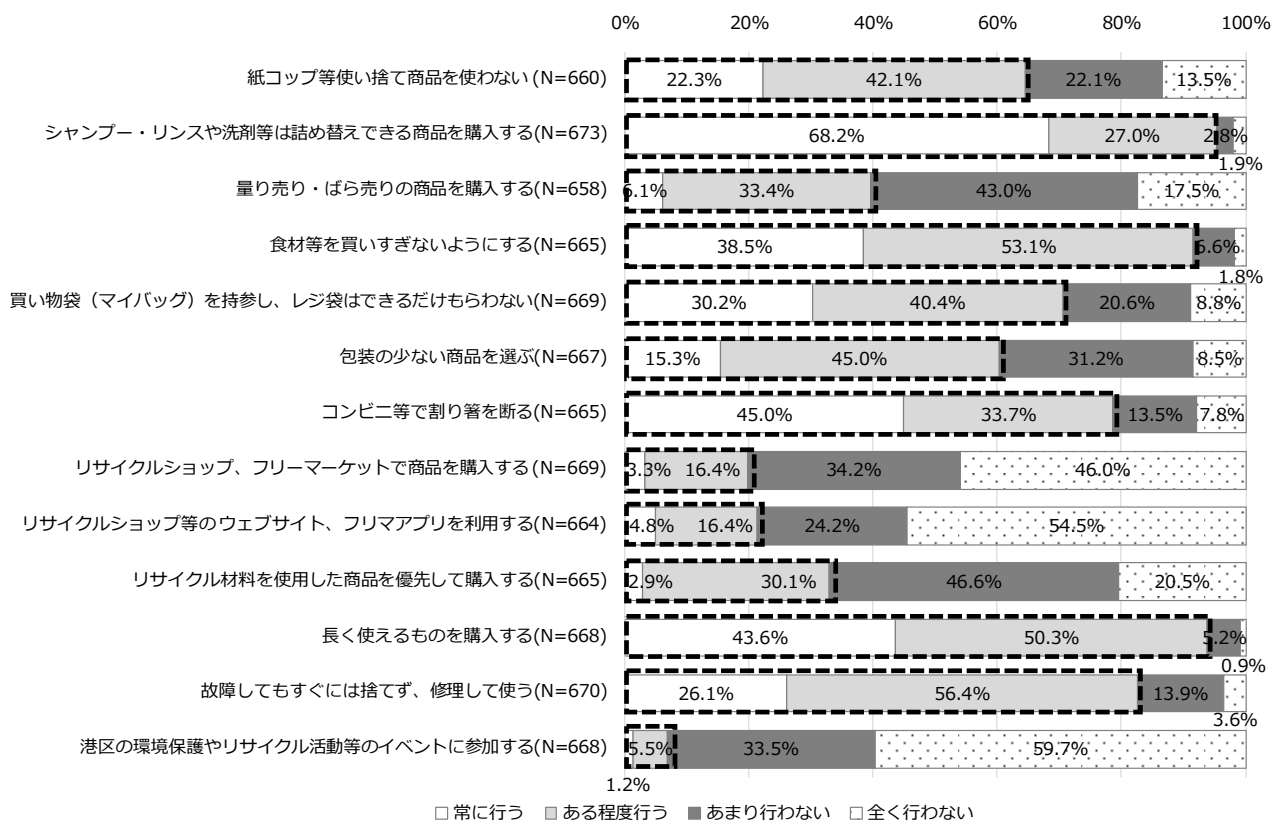
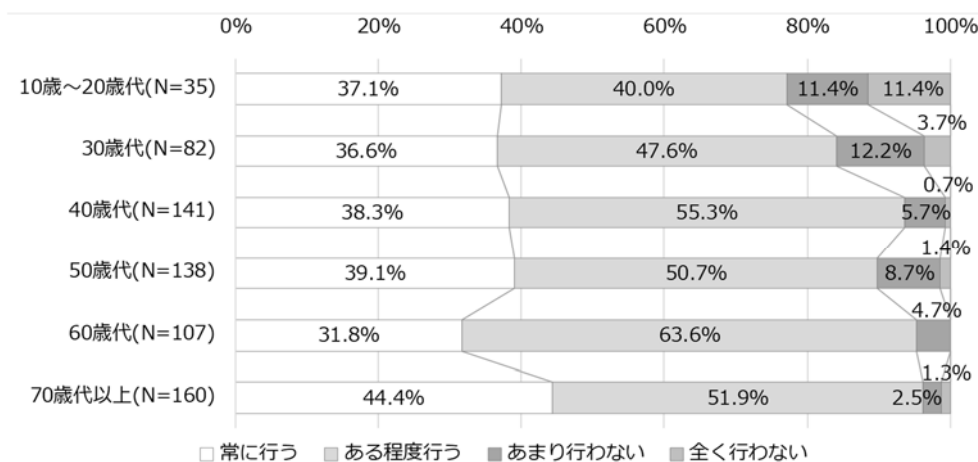
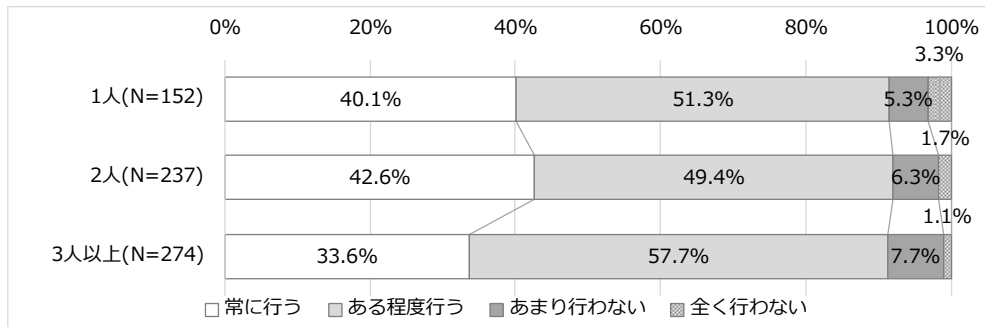


図 1-3 日頃の生活で心がけていること【問 9】

【参考】年齢別クロス集計（食材等を買いすぎないようにする）

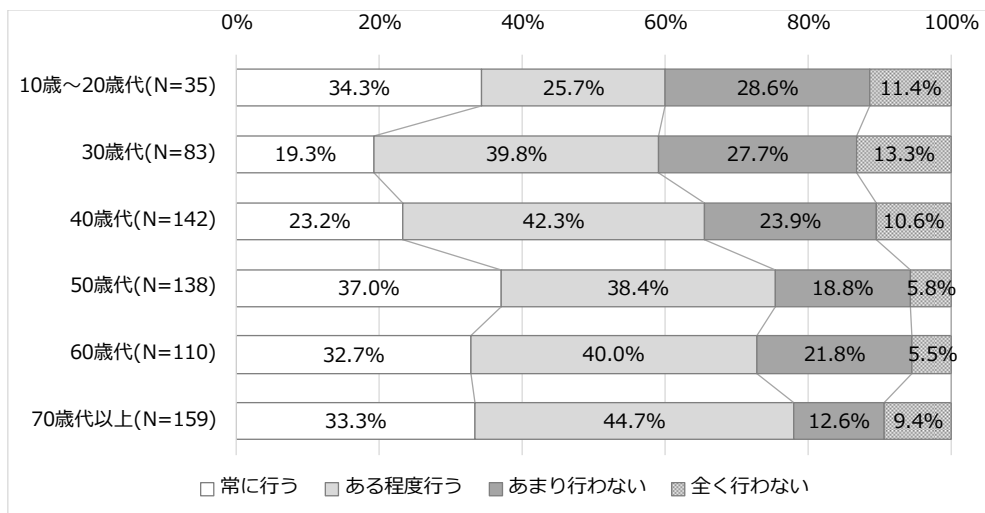


【参考】世帯人数別クロス集計（食材等を買いきすぎないようにする）



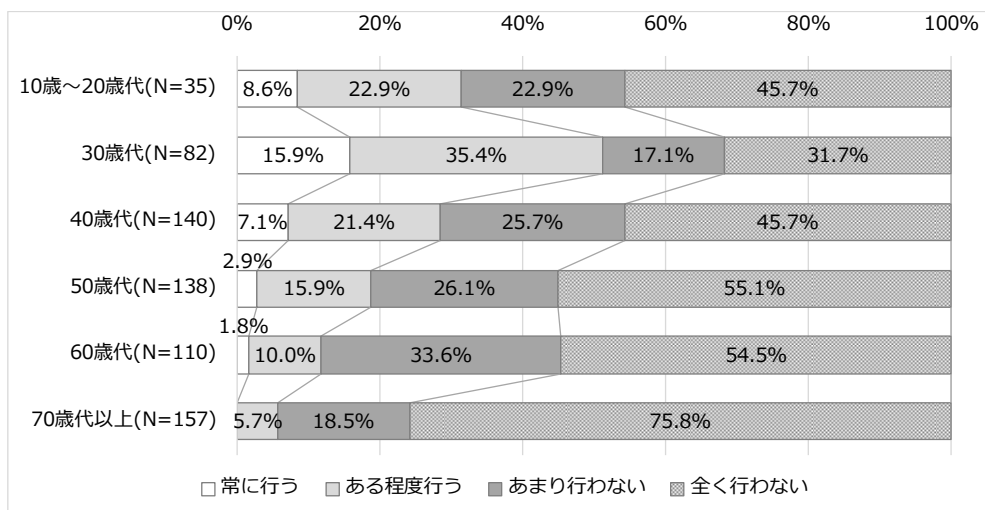
【参考】年齢別クロス集計

（買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋はできるだけもらわない）

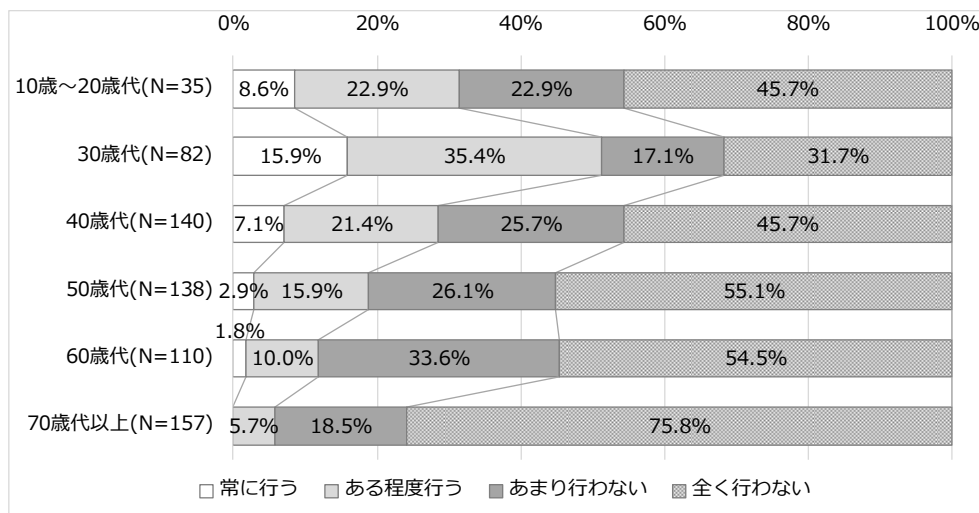


【参考】年齢別クロス集計

（リサイクルショップ等のウェブサイト、フリマアプリを利用する）



【参考】年齢別クロス集計（故障してもすぐには捨てず、修理して使う）



ウ 情報の入手先

情報の入手先については「広報みなと」が1番多い回答となりました。次いで「区のホームページ」が約48%となりました。

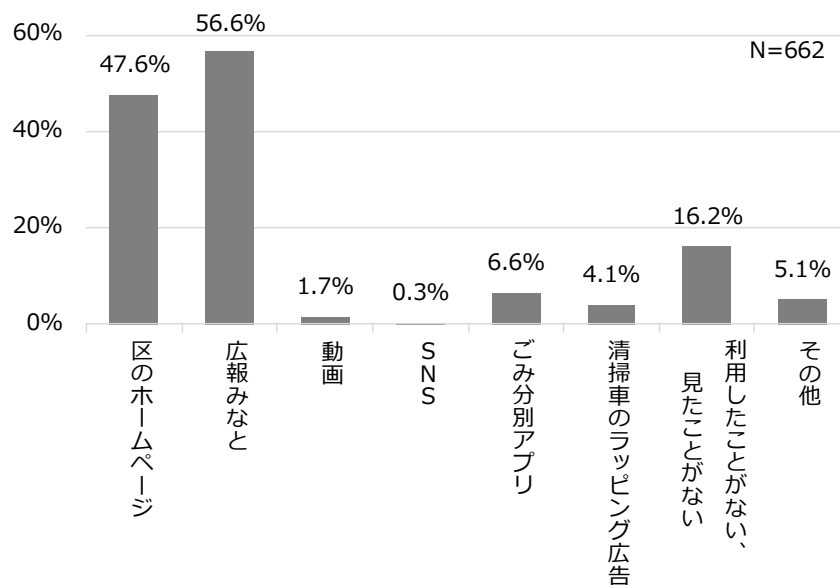
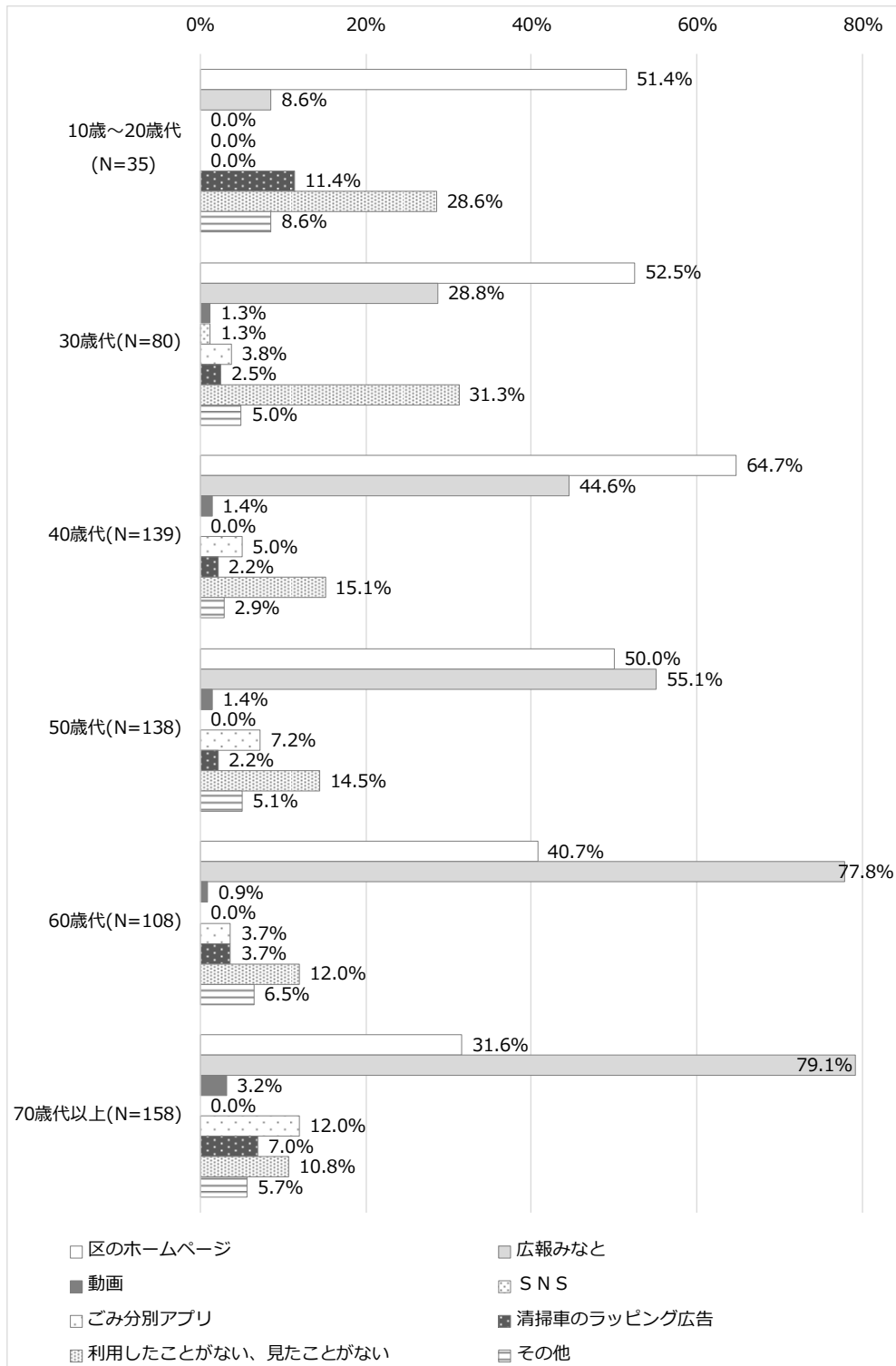


図 1-4 情報の入手先 【問 10】

【参考】年齢別クロス集計



エ 日頃ごみを出す際の行動について

日頃ごみを出す際の行動として、どの項目においても「行っている」が半数を超えています。特に「ペットボトルは、キャップ・ラベルをはがして出している」、「プラスチック容器は、軽くすすいで出している」の2つにおいては、回答者の9割以上が行っていることがわかりました。

一方で、「プラスチックは小袋に入れて、更に大きな袋にまとめて出している」、「お菓子の箱や包装紙等は可燃ごみに入れずに資源で出している」が4割以上、「スプレー缶は、穴をあけずに出している」は3割以上が「行っていない」の回答となりました。

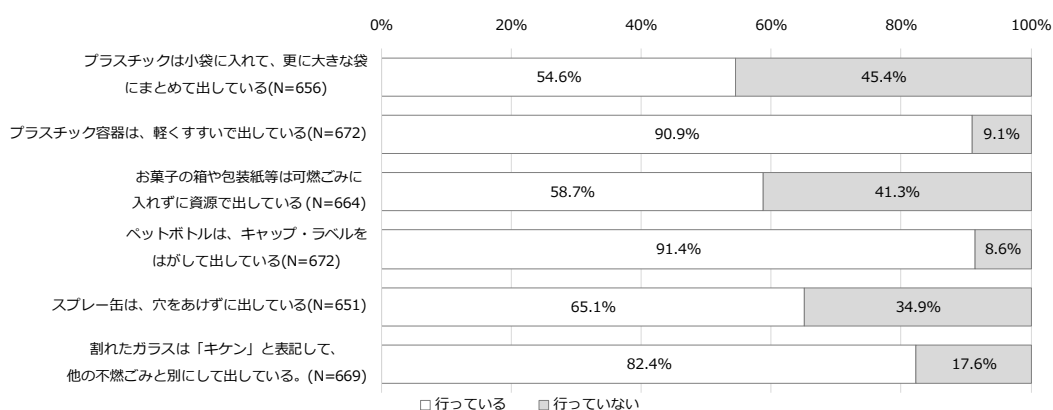
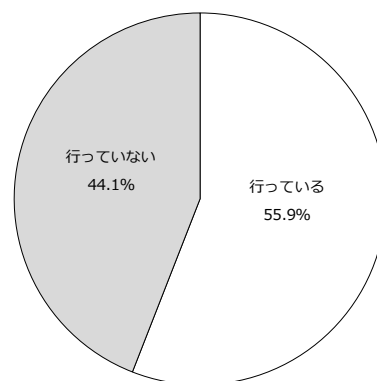


図 1-5 日頃ごみを出す際の行動【問 11】

【参考】

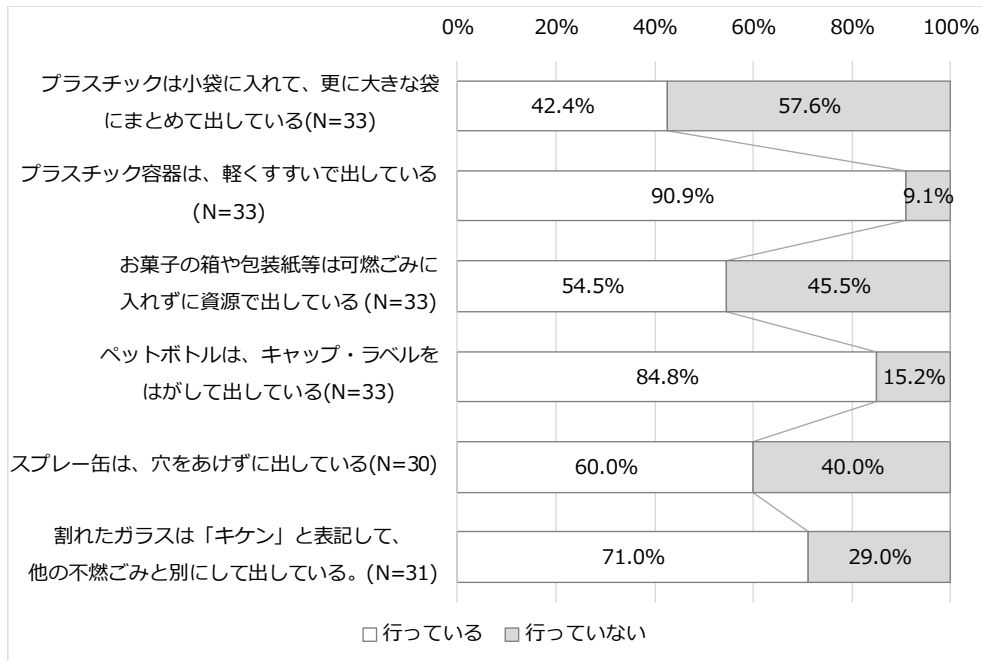
N=329

4 ページ【問 8】「関心のある事項」で「ごみ集積所へのごみの出し方、ごみ出しマナー等について」と回答した人の、「日頃ごみを出す際の行動について」の「プラスチックは小袋に入れて、更に大きな袋にまとめて出している」の回答

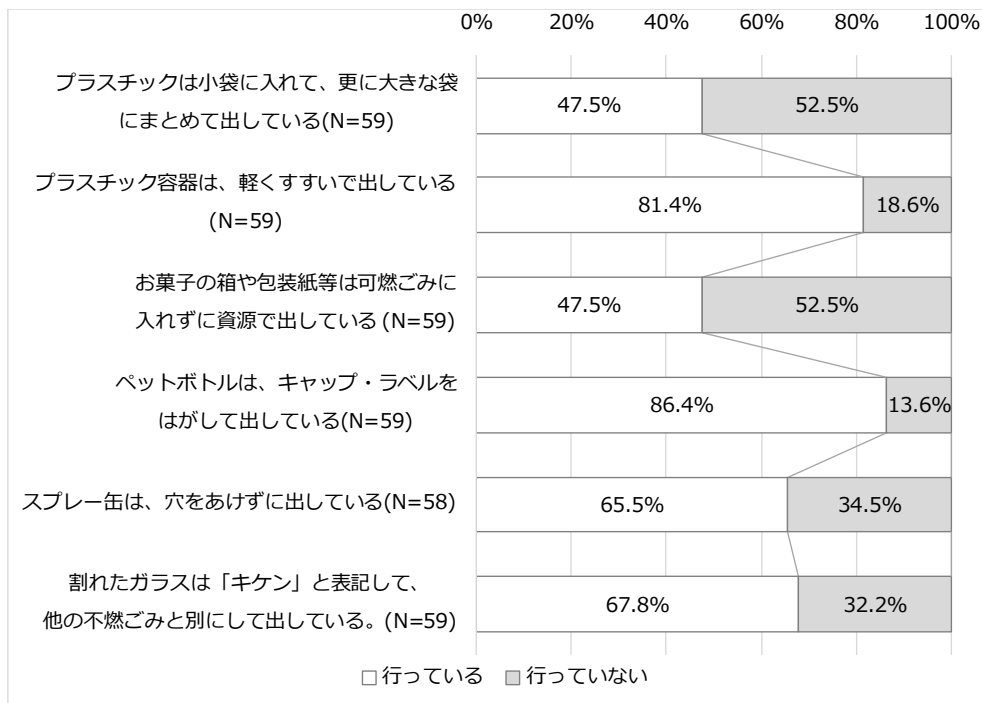


【参考】居住年数別クロス集計

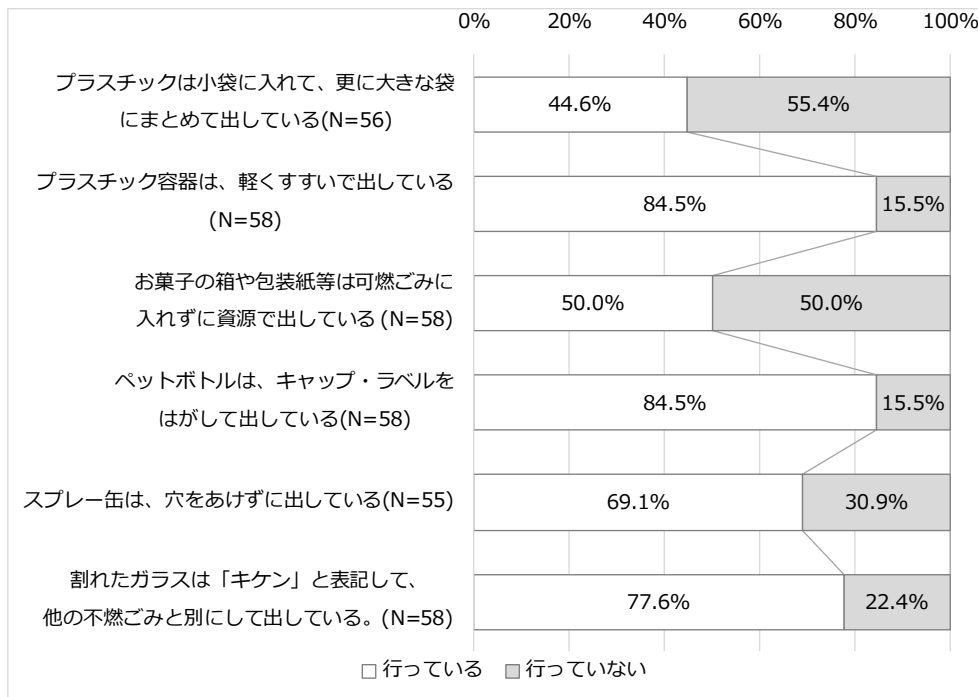
■ 1 年未満



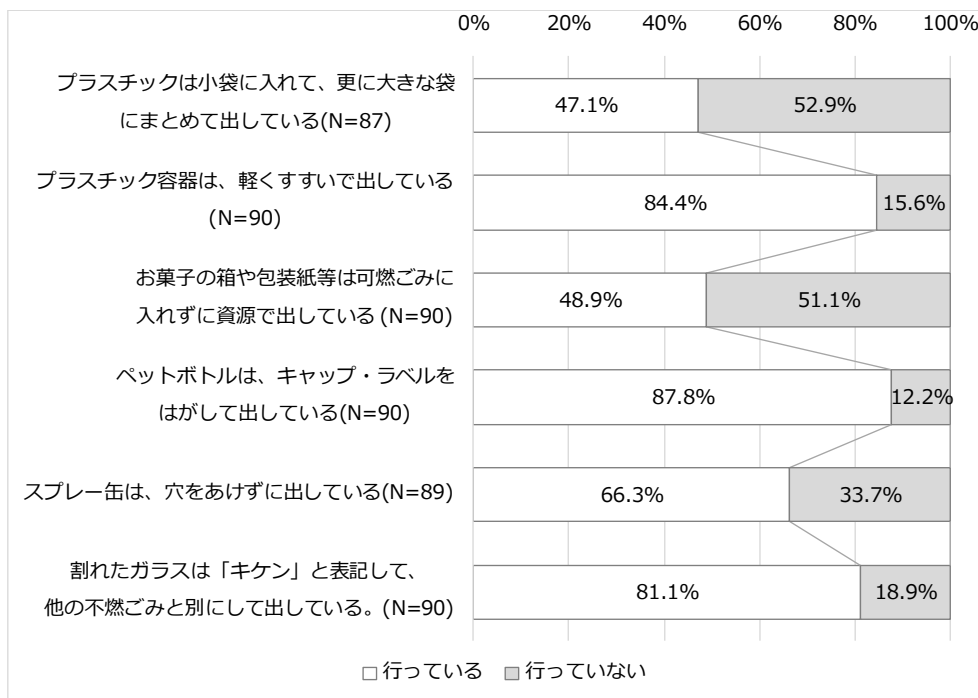
■ 1 年以上 3 年未満



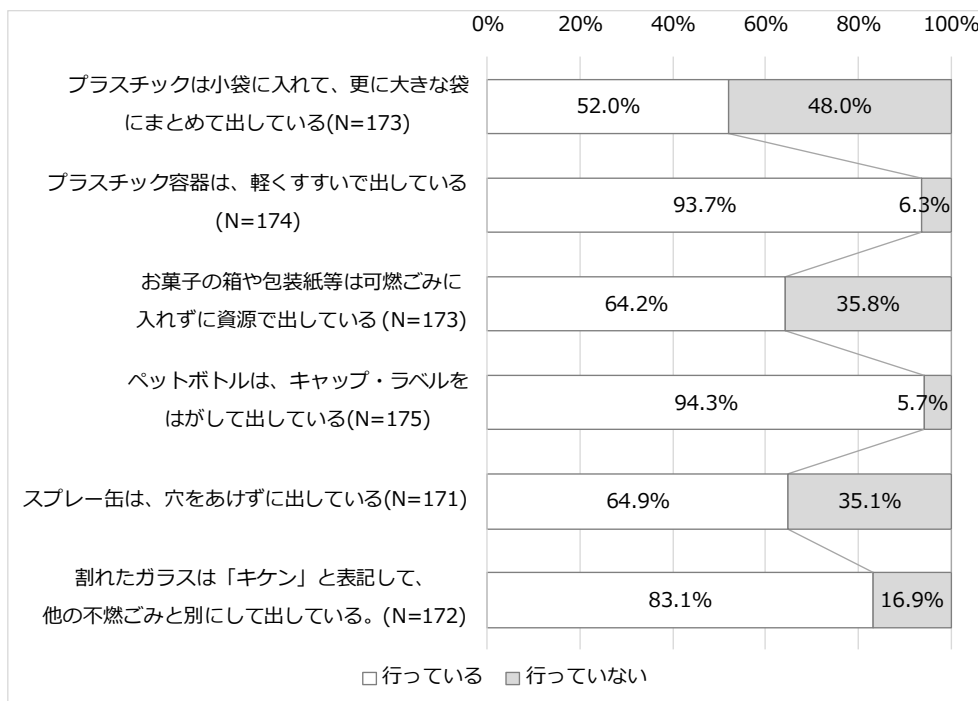
■ 3 年以上 5 年未満



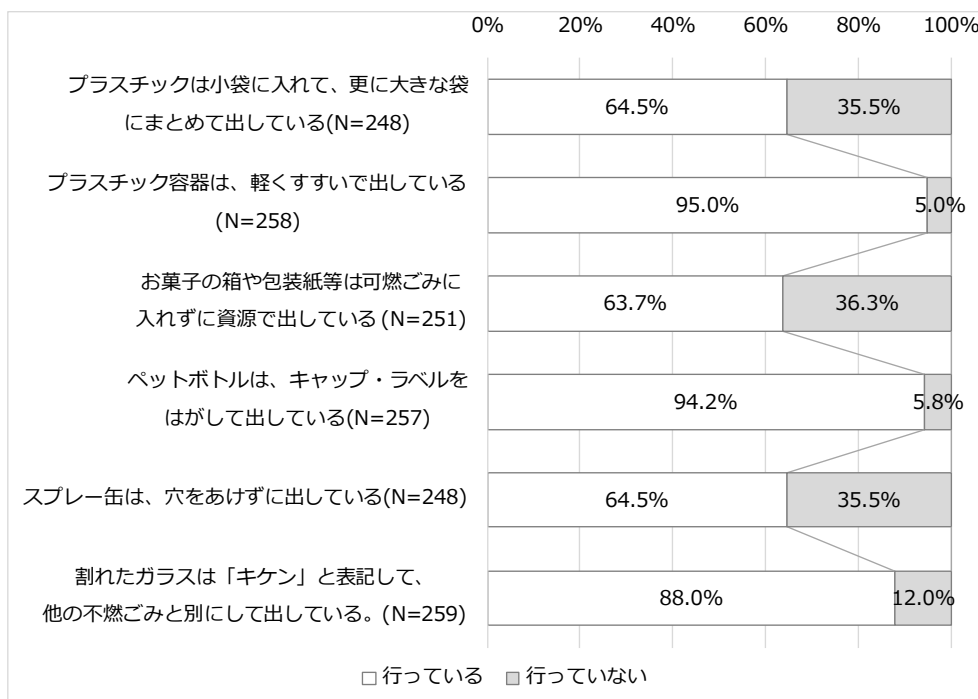
■ 5 年以上 10 年未満



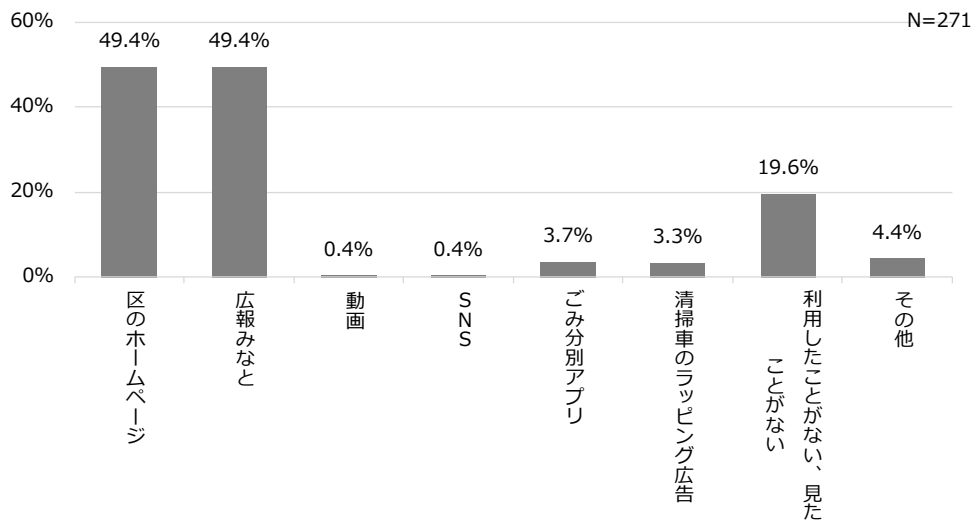
■ 10 年以上 20 年未満



■ 20 年以上



【参考】「お菓子の箱や包装紙等は可燃ごみに入れずに資源で出している」で「行っていない」と回答した人の、8ページ【問 10】「情報の入手先」の回答



オ 日頃最も利用しているスーパー等でのレジ袋有料化の状況

「無料である」の回答が7割程度と最も多い回答となり、「有料にしている」の回答は約28%になりました。

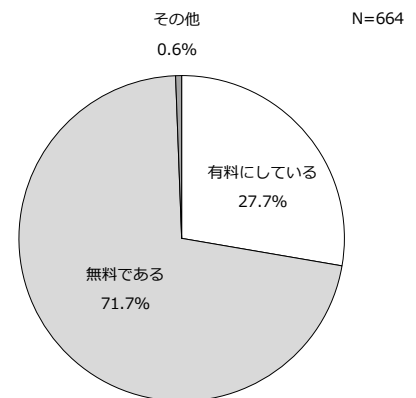


図 1-6 日頃最も利用しているスーパー等でのレジ袋有料化の状況【問 12】

カ レジ袋有料のスーパー等でのレジ袋購入状況

オで「有料にしている」を回答した人において、「できるだけレジ袋を買わないようにしているが、ときどき購入している」が約46%と最も多い回答となりました。次いで「買い物袋（マイバック）を持参するなどレジ袋は購入していない」が約36%と多い結果となりました。

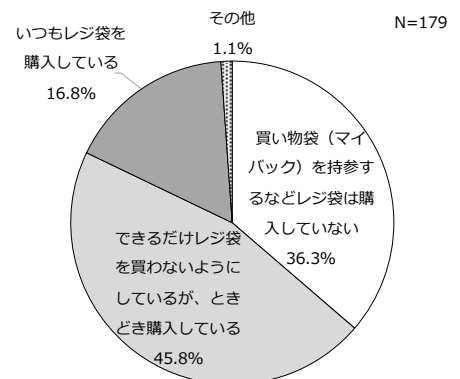


図 1-7 レジ袋有料のスーパー等でのレジ袋購入状況【問 12-1】

キ レジ袋無料のスーパー等でのレジ袋利用状況

オで「無料である」を回答した人において、「できるだけレジ袋を買わないようにしているが、ときどき購入している」が約 53%と最も多い回答となりました。

一方で、「買い物袋（マイバック）を持参するなどレジ袋はもらっていない」の回答は約 18%になりました。

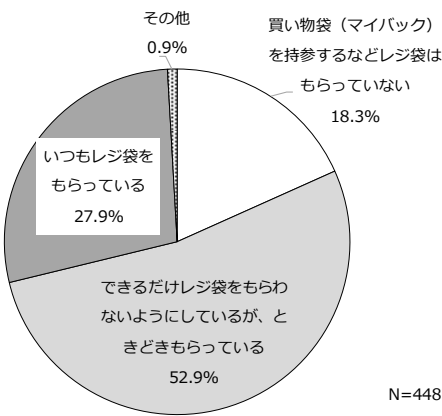
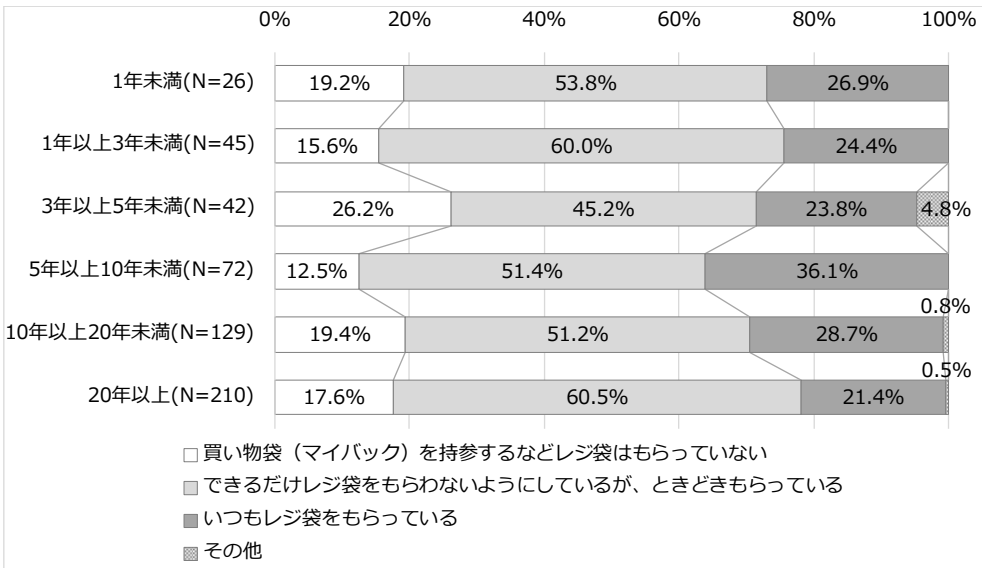


図 1-8 レジ袋無料のスーパー等でのレジ袋利用状況【問 12-2】

【参考】居住年数別クロス集計



ク レジ袋無料のスーパー等でレジ袋が有料になった場合の行動

オで「無料である」を回答した人において、「買い物袋（マイバッグ）を持参する」が約 80%と多い結果となりました。一方で、「お金を払ってレジ袋を購入する」の回答は、約 17%ありました。

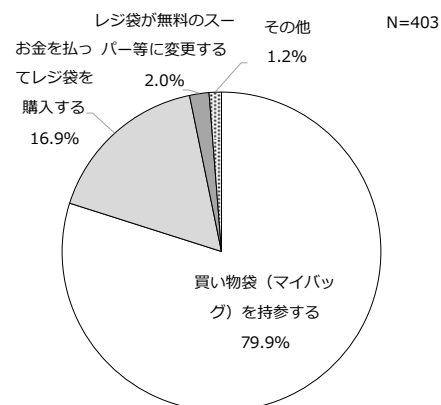
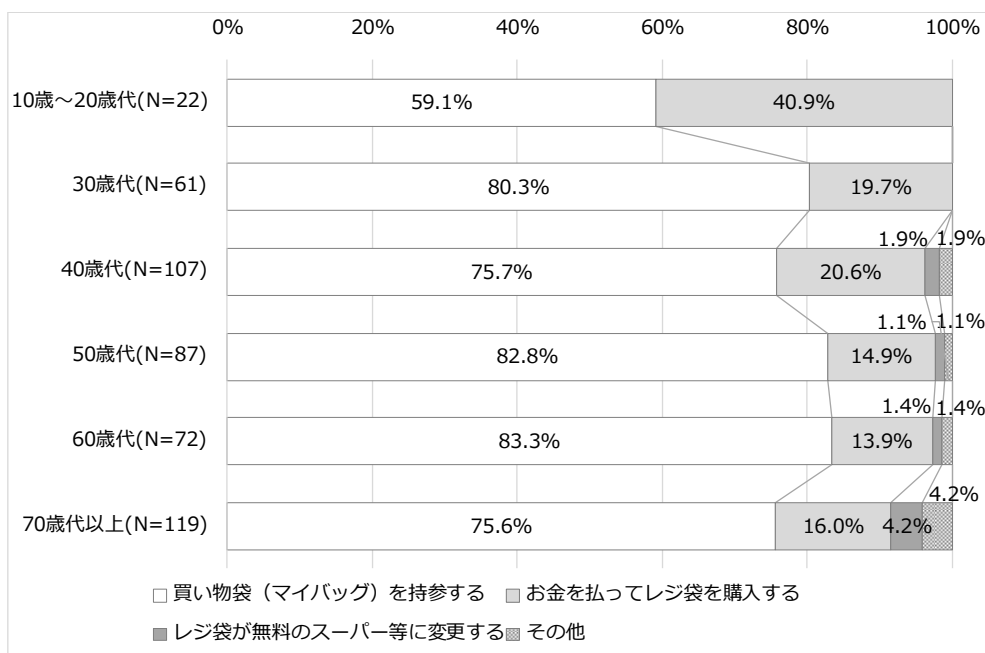


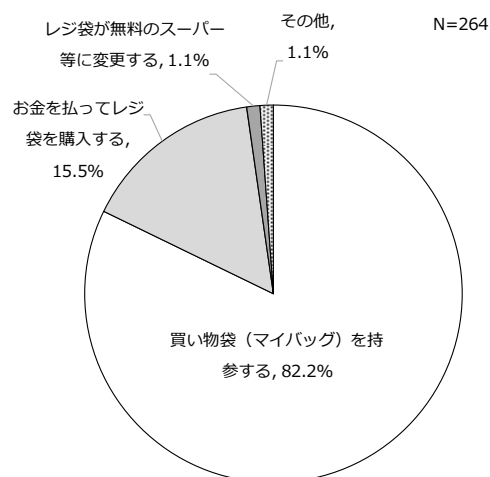
図 1-9 レジ袋無料のスーパー等でのレジ袋が有料になった場合の行動【問 12-3】

【参考】年齢別クロス集計



【参考】

4 ページ【問 8】「関心のある事項」で「海洋プラスチック問題について」と回答した人の、「レジ袋無料のスーパー等でレジ袋が有料になった場合の行動」の回答



ケ 最終処分場の状況についての認知度

最終処分場の状況について、「聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった」の割合が約 42%となりました。前回調査と比較し、「知らなかった」の割合が減少していますが、各項目の割合は大きくは変わっていません。

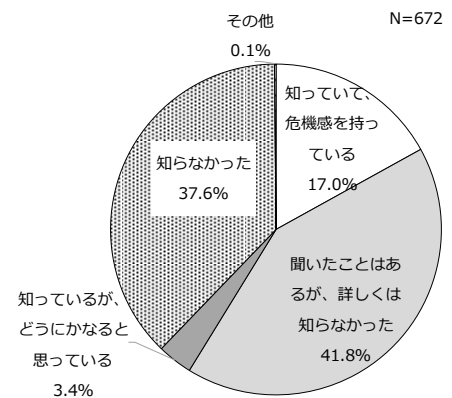
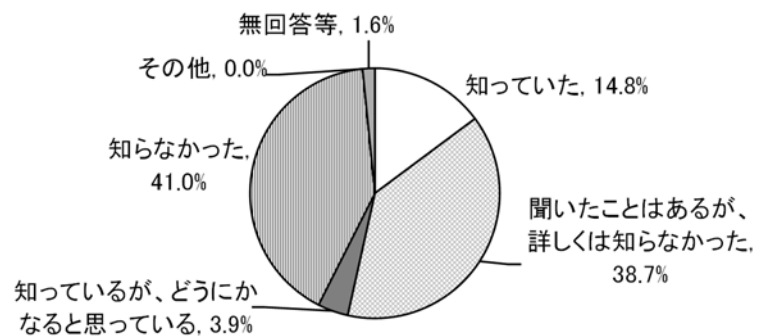


図 1-10 最終処分場の状況についての認知度【問 13】

【参考】平成 28 年度調査結果



(3) ごみ・資源の発生・処理状況について

ア 資源等の排出方法

ほとんどの項目で「資源」の割合が高く、「資源」、「資源プラスチック」、「拠点回収（総合支所等に設置している回収ボックス）」、「町会・自治会等の集団回収」、「販売店への返却・販売店の回収」の合計値（資源化されている割合）を見ると、大半の項目で資源として排出していることがわかりました。

一方、紙類の中では「紙パック」、「その他再生可能紙」が4割程度「可燃ごみ」で排出していることや、「衣類」は7割以上が「可燃ごみ」で排出しており、資源化されている割合が低くなっています。

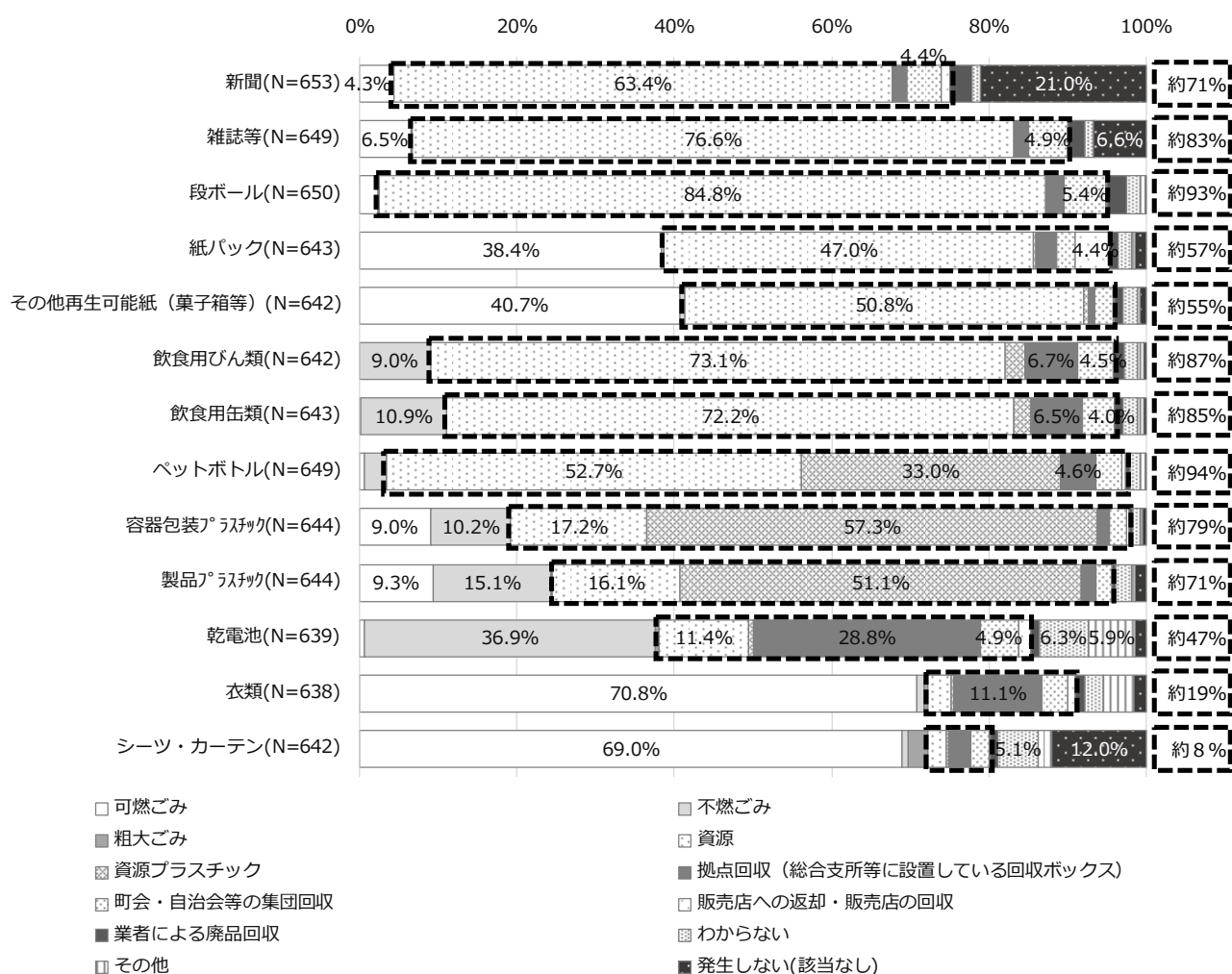
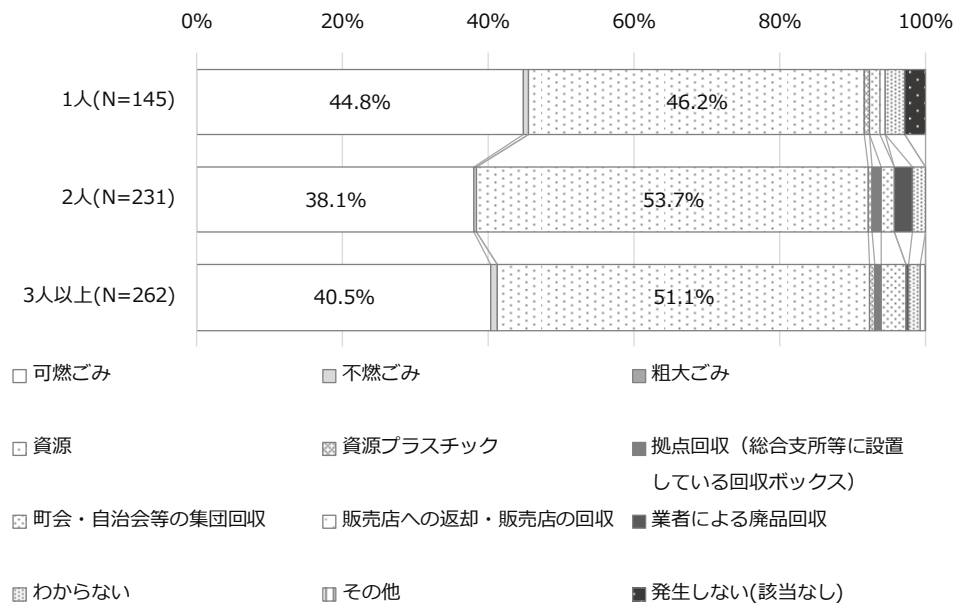
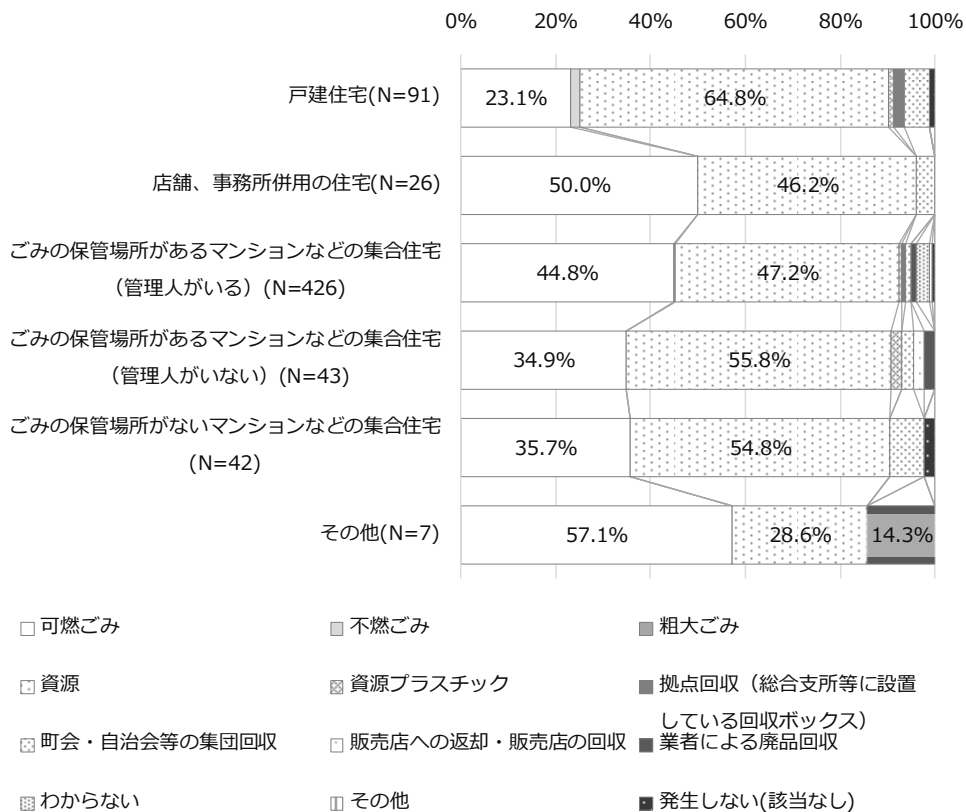


図 1-11 資源等の排出方法【問 14】

■ 年齢別

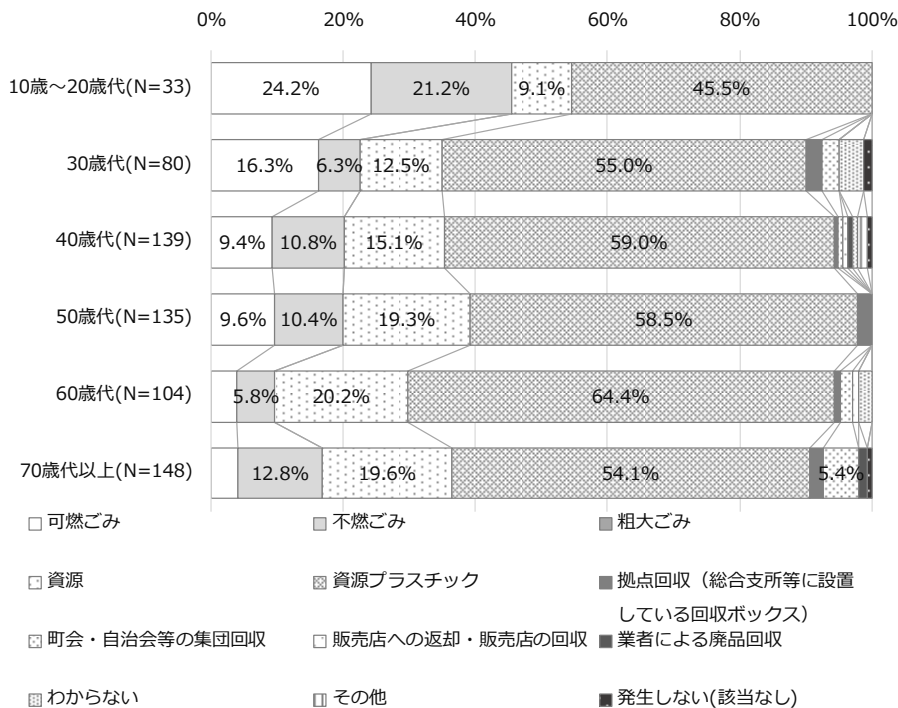


■ 居住形態別

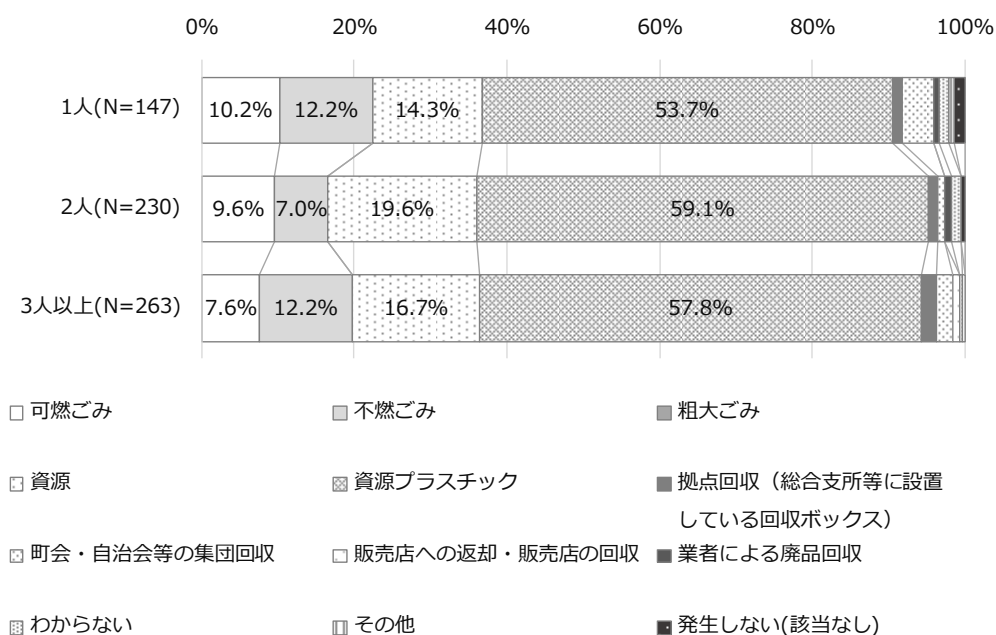


【参考】年齢・世帯人数・居住形態クロス集計（容器包装プラスチック）

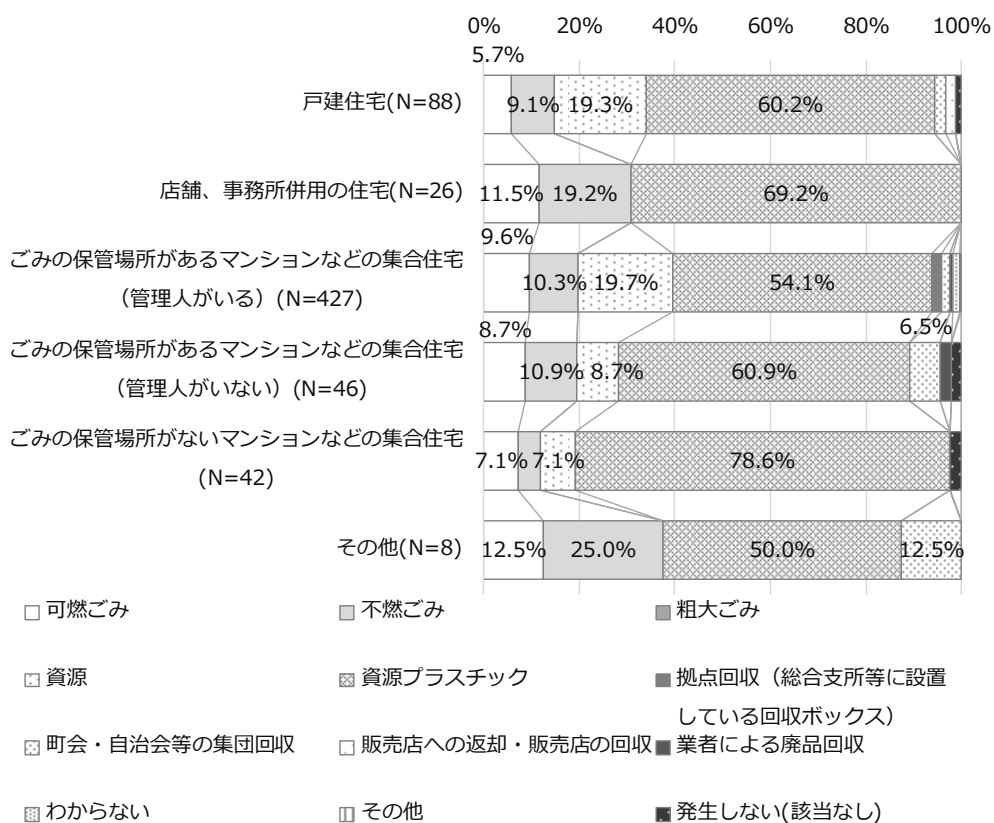
■ 年齡別



■世帯人数別

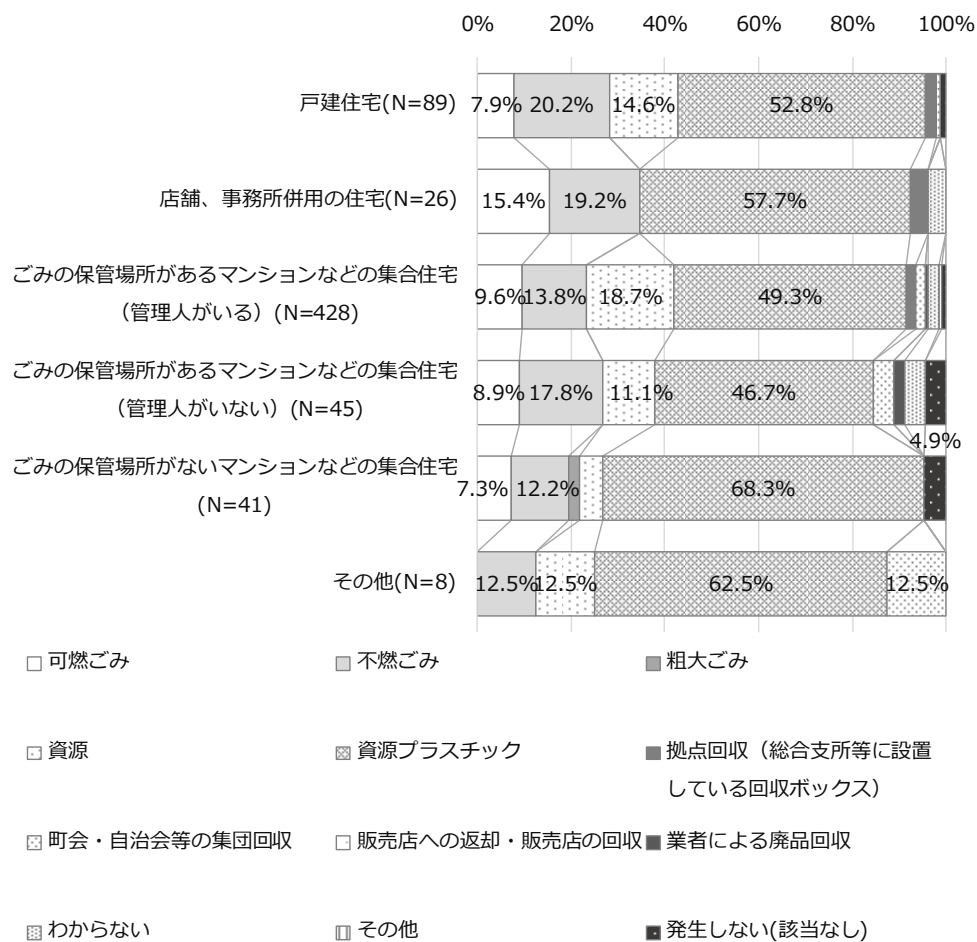


■ 居住形態別

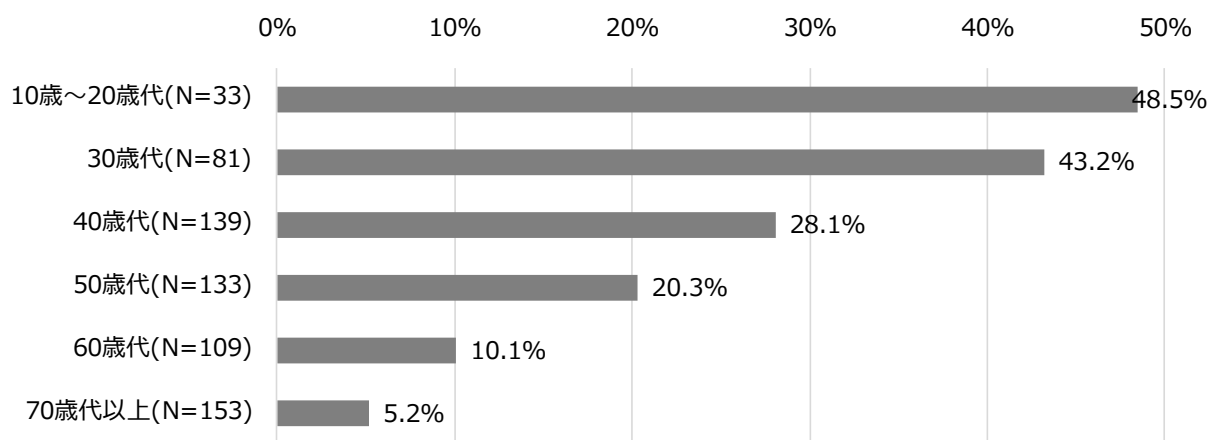


■ 年齢別

■ 居住形態別



■ 「新聞」において「排出しない」の回答者の年齢別割合



イ ごみの排出容器

「市販の中身の見えるごみ袋」の回答が約 50%となり、「スーパー・コンビニ等で買ったレジ袋」の回答も約 48%となりました。

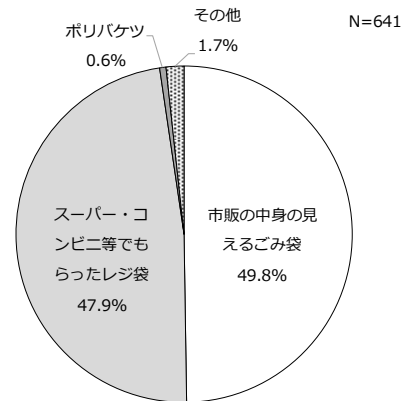
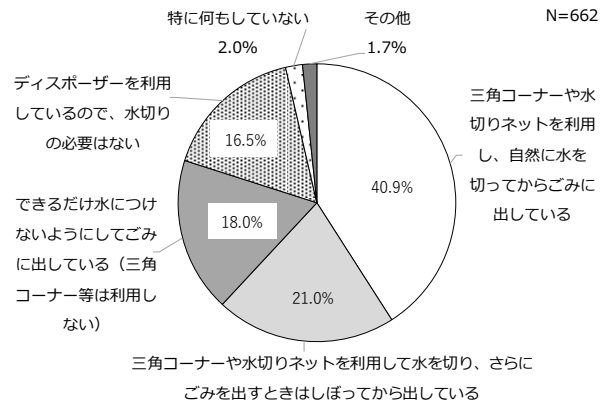


図 1-12 ごみの排出容器【問 15】

ウ 生ごみの水切り方法

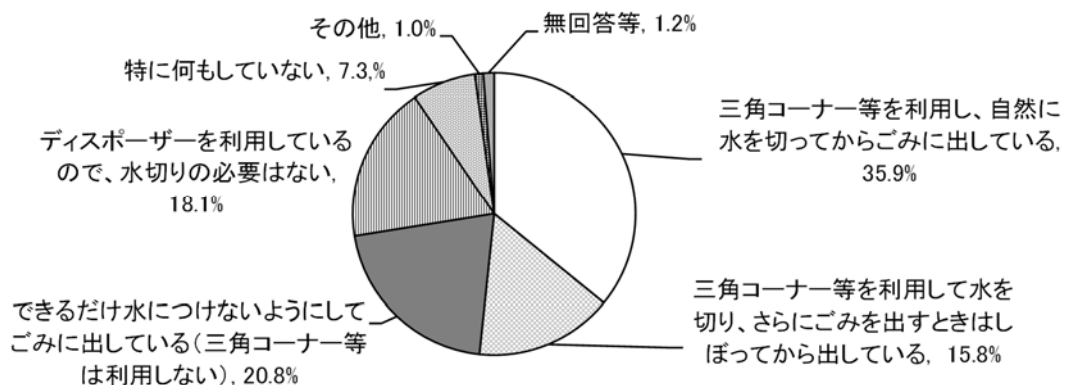
生ごみの水切り方法として、「三角コーナーや水切りネットを利用し、自然に水を切ってからごみに出している」が約 40%の回答となりました。「ごみを出すときにしぼってから出している」の回答と合わせると、6 割以上が生ごみの水切りを実施しているという結果になりました。



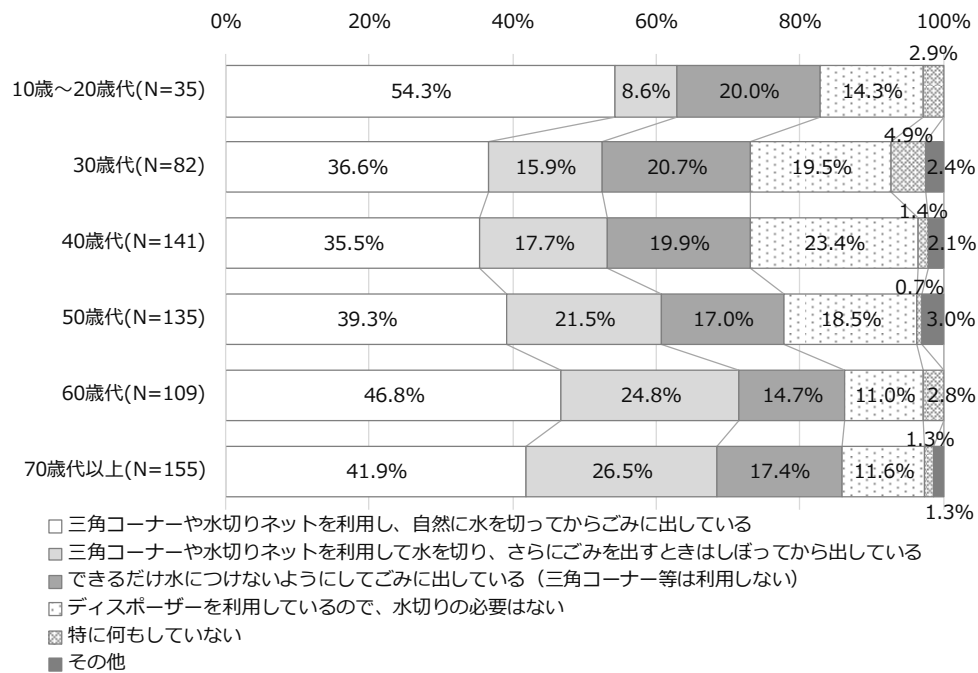
前回の調査結果と比較し、「三角コーナーや水切りネットを利用し、自然に水を切ってからごみに出している」、「三角コーナーや水切りネットを利用して水を切り、さらにごみを出すときはしぼってから出している」の割合が増え、合計では約 1 割増加しています。

図 1-13 生ごみの水切り方法【問 16】

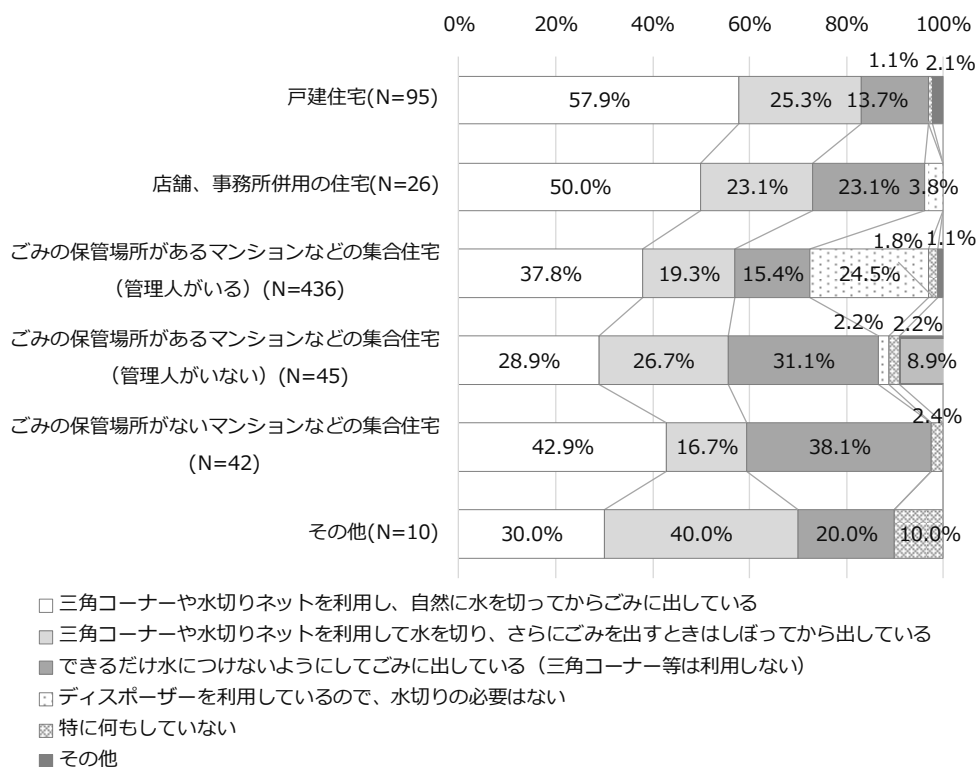
【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】年齢別クロス集計



【参考】居住形態別クロス集計



エ 生ごみの処理方法

「区の可燃ごみ収集に出している」が 8 割以上と最も多い回答となりました。

前回の調査と大きく傾向は変わりません。

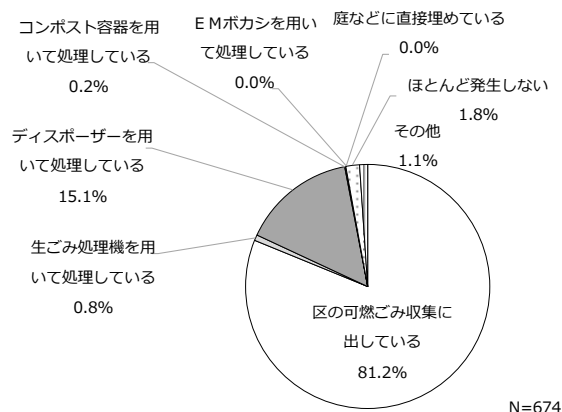
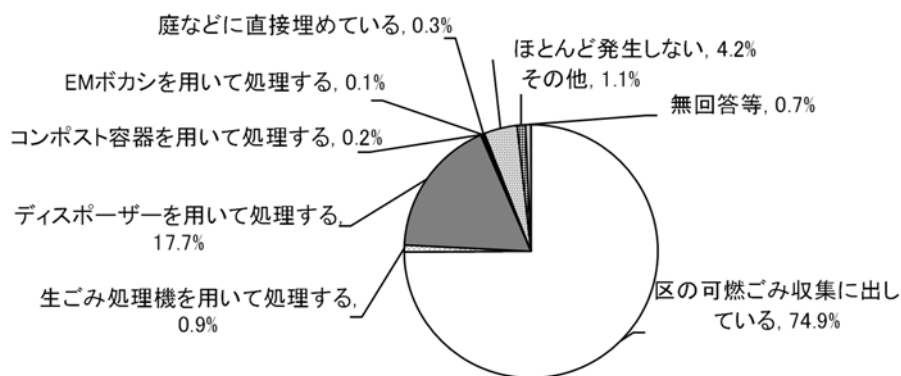


図 1-14 生ごみの処理方法【問 17】

【参考】平成 28 年度調査結果



オ 生ごみ処理機購入助成制度の認知度

助成制度については「知らなかったし、利用するつもりもない」が 43%と最も多い回答となりました。

一方で、「知らなかったが、利用してみたい」の回答が約 28%となりました。

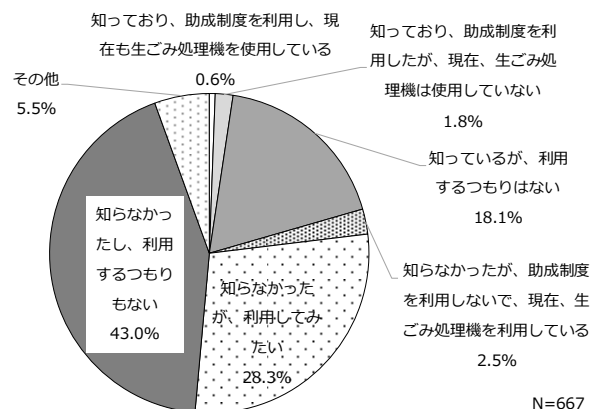
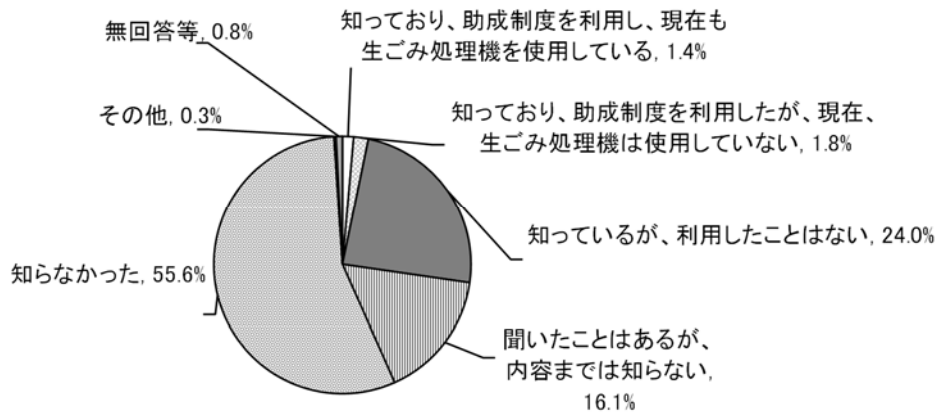


図 1-15 生ごみ処理機購入助成制度の認知度【問 18】

【参考】平成 28 年度調査結果



カ 廃食用油の処理方法

「紙や布にしみこませ、区の可燃ごみ収集に出している」の回答が約 42%となりました。

前回の調査結果と比較すると「紙や布にしみこませ、区の可燃ごみ収集に出している」の割合は増加していますが、「家庭で使い切る、もしくは使わないため発生しない」の回答は減少しています。

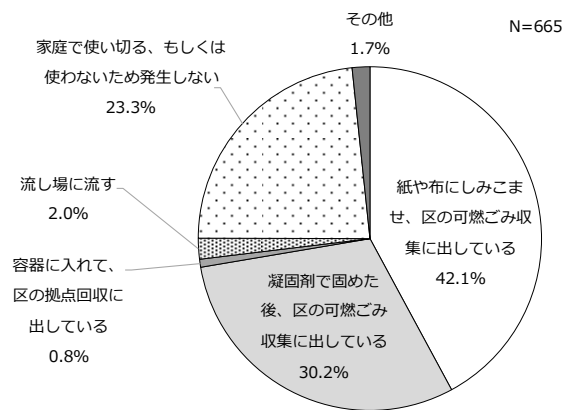
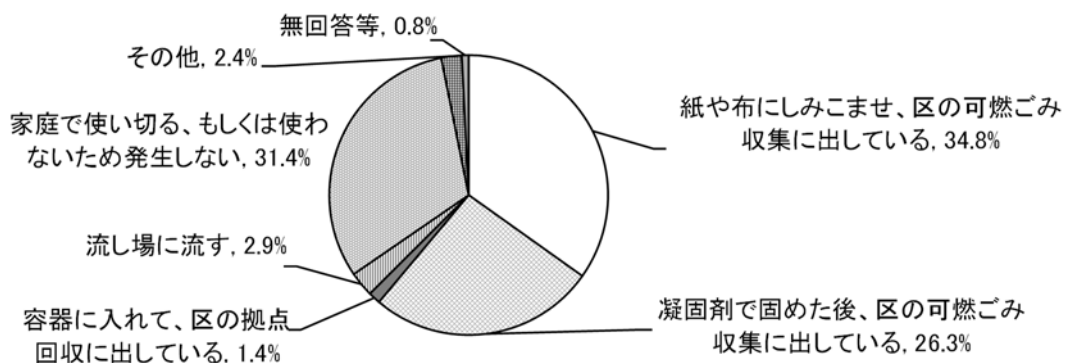


図 1-16 廃食用油の処理方法【問 19】

【参考】平成 28 年度調査結果



キ 古着、古布の処理方法

「区の可燃ごみ収集に出している」が約 73%と最も多い回答となりました。

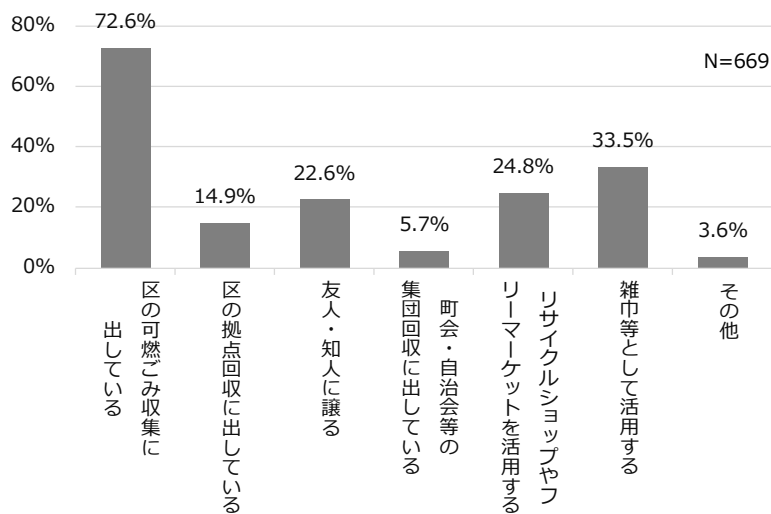
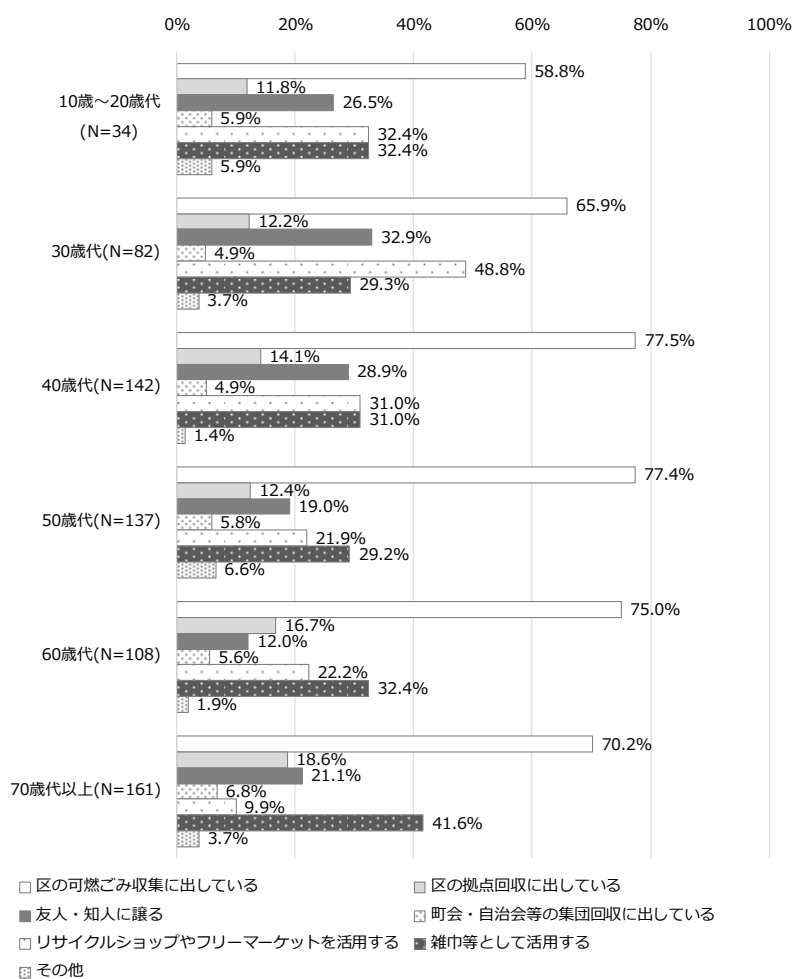


図 1-17 古着、古布の処理方法【問 20】

【参考】年齢別クロス集計



ク 家具のリサイクル展の認知度

「知っているが、利用したことはない」の回答が約40%となりました。

一方で、「知らなかったが、利用してみたい」が約36%となりました。

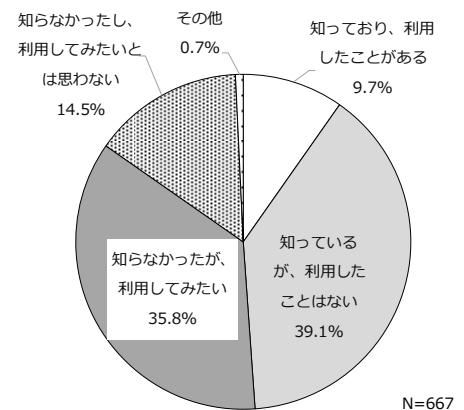
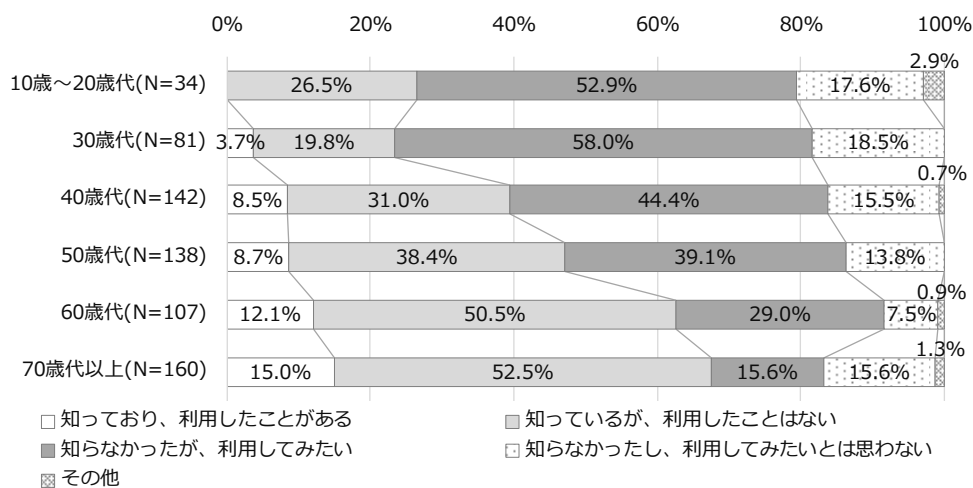


図 1-18 家具のリサイクル展の認知度【問 21】

【参考】年齢別クロス集計



ケ 家具の処理方法

「区の粗大ごみ収集に出している」が約9割と最も多い結果となりました。

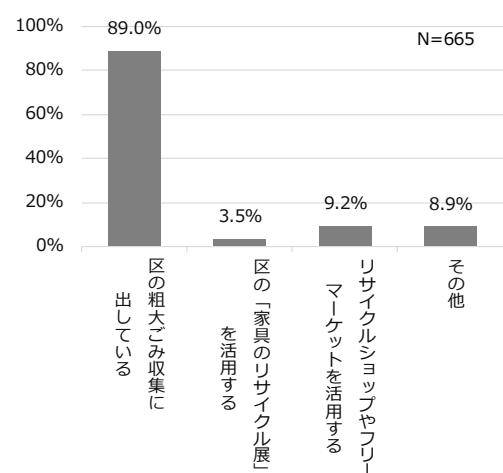


図 1-19 家具の処理方法【問 22】

コ ごみと資源の分別状況

「だいたいとは分別をしている」が 56%となり、「きちんと分別している」と合わせると 9 割以上は分別しているという結果となりました。

前回の調査結果と比較すると「きちんと分別している」の割合は減少しましたが、「だいたいとは分別をしている」との合計は、ほぼ同じ割合となりました。

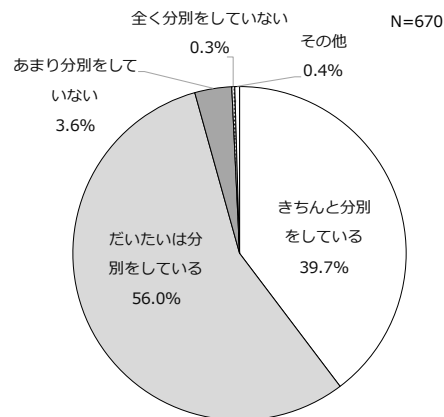
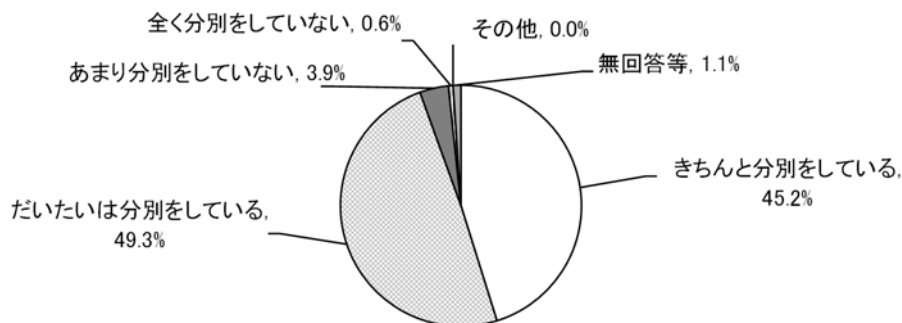
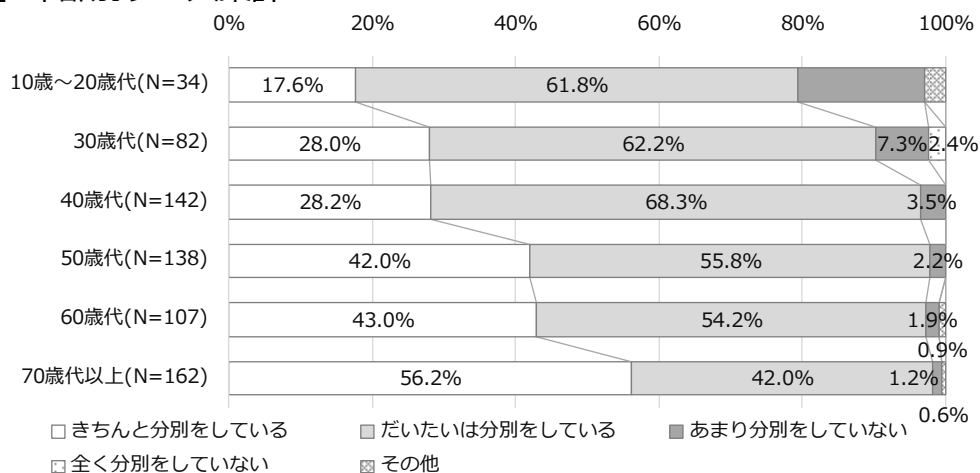


図 1-20 ごみと資源の分別状況【問 23】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】年齢別クロス集計



サ ごみと資源の分別方法

コにおいて「きちんと分別している」または「だいたいは分別をしている」と回答した人の分別方法について、「区が配布した分別ガイドブックを確認しながら分別している」が約65%の回答となりました。

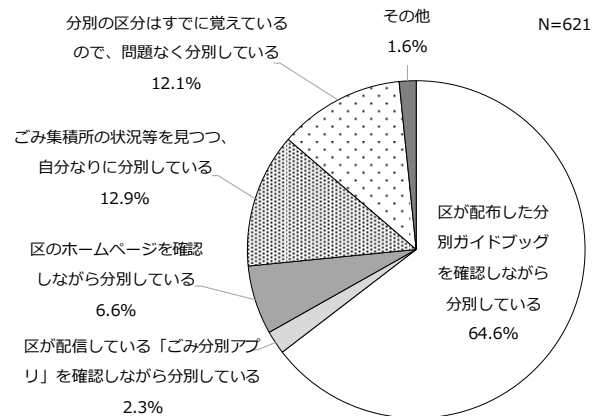
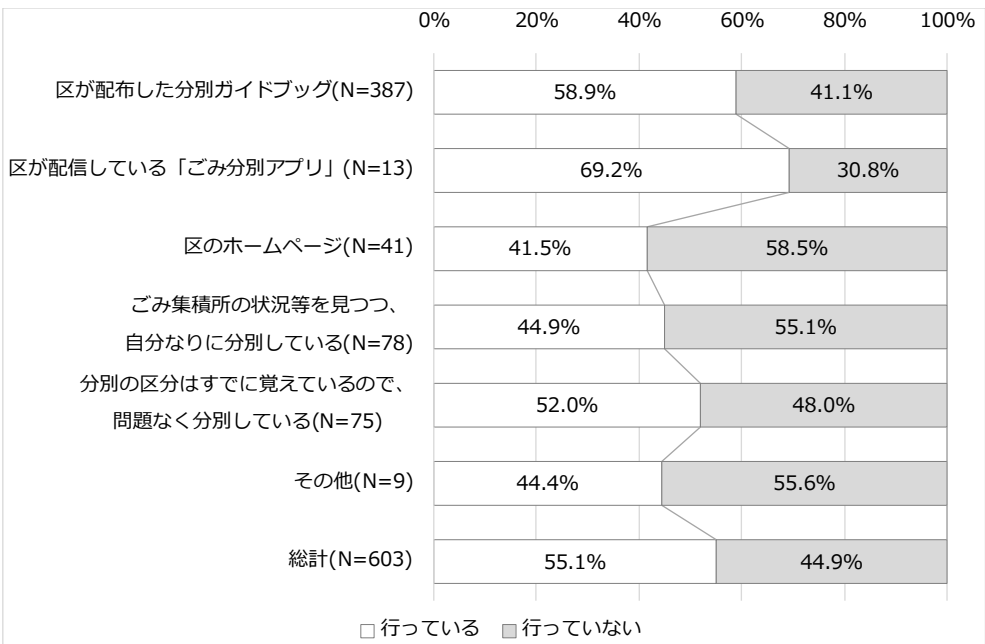


図 1-21 ごみと資源の分別方法【問 23-1】

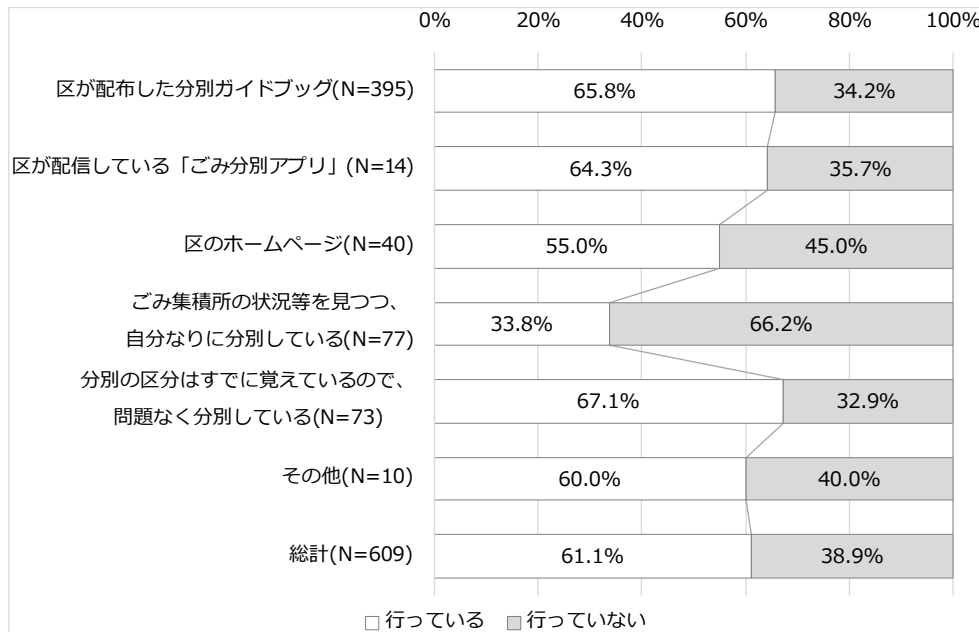
【参考】

10 ページ【問 11】「日頃ごみを出す際の行動」で「プラスチックは小袋に入れて、更に大きな袋にまとめて出している」と回答した人の、「ごみと資源の分別方法」の回答



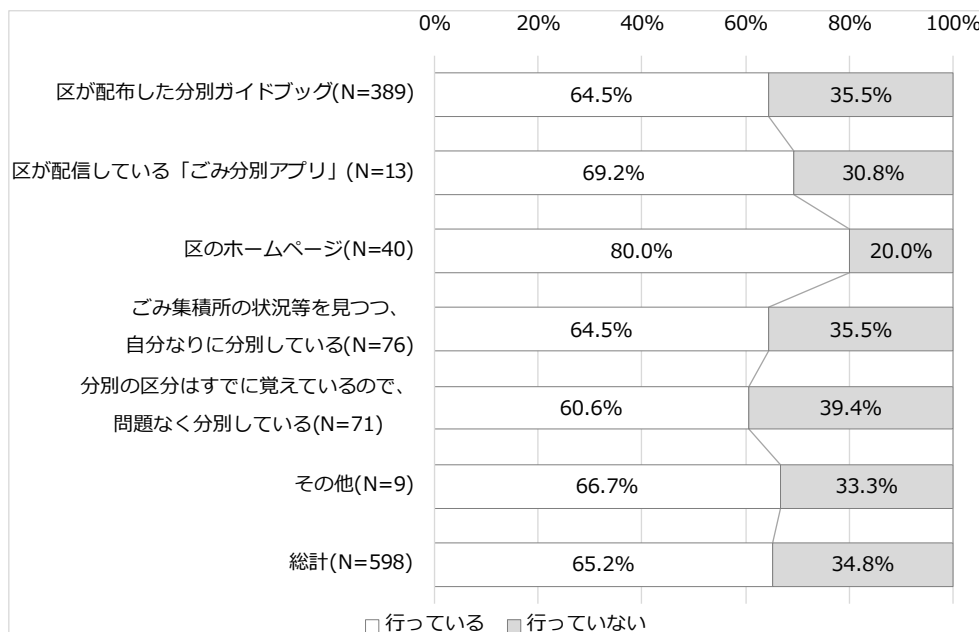
【参考】

10 ページ【問 11】「日頃ごみを出す際の行動」で「お菓子の箱や包装紙等は可燃ごみに入れずに資源で出している」と回答した人の、「ごみと資源の分別方法」の回答



【参考】

10 ページ【問 11】「日頃ごみを出す際の行動」で「スプレー缶は、穴をあけずに出している」と回答した人の、「ごみと資源の分別方法」の回答



シ ごみと資源を分別をしていない理由

コにおいて「あまり分別をしていない」、「全く分別をしていない」と回答した人において、「分別のルールが分からない」が半数以上となり、最も多い回答となりました。

一方、前回の調査結果と比較すると、「分別のルールが分からない」の割合は増加しましたが、「分別するのが手間」、「分別の必要性を感じない」の回答が減少していました。

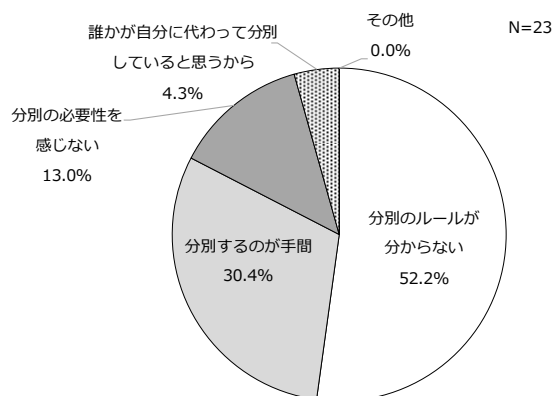
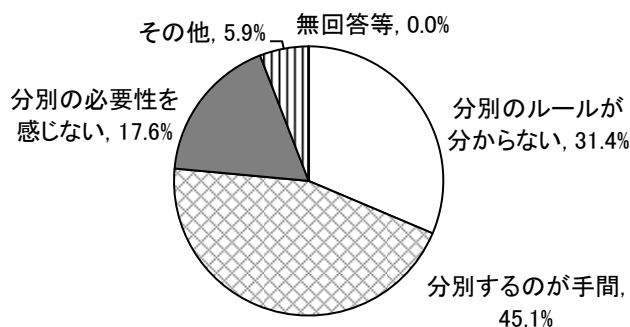
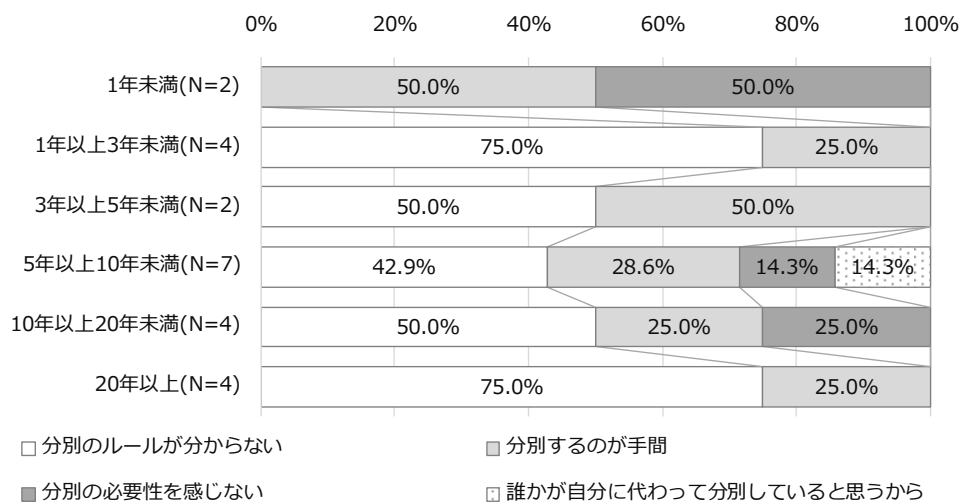


図 1-22 ごみと資源を分別していない理由【問 23-2】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】居住歴別クロス集計



(4) 区のごみ処理に関する満足度について

ア 現在のごみ・資源の収集頻度についての考え方

すべての品目において、「現在の回数でよい」が85%を超えていました。

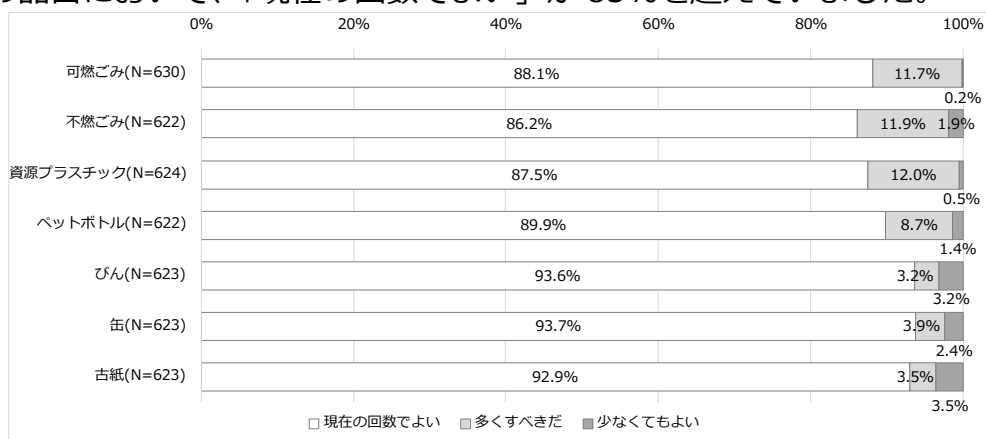


図 1-23 現在のごみ・資源の収集頻度についての考え方【問 24】

イ 資源の品目数についての考え方

資源回収の品目については「適切である」が約 91%となりました。

前回の調査と比較して「適当である」の割合が増加した一方、「やや多い」、「多すぎる」、「やや少ない」、「少なすぎる」の割合は減少しています。

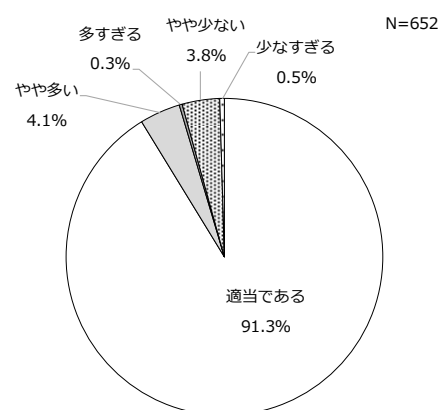
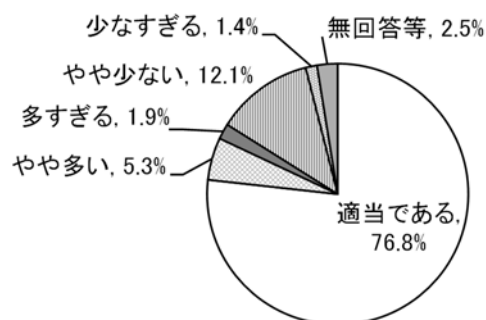


図 1-24 資源の品目数についての考え方【問 25】

【参考】平成 28 年度調査結果



ウ ごみの減量・リサイクルの推進のため、新たに資源化を推進したほうがよい品目

「古着・古布」および「小型の家電製品」が、約 38%の回答となりました。「その他」には、「リチウムを含む電池」や「土」、刃物などの「金属」等の回答がありました。

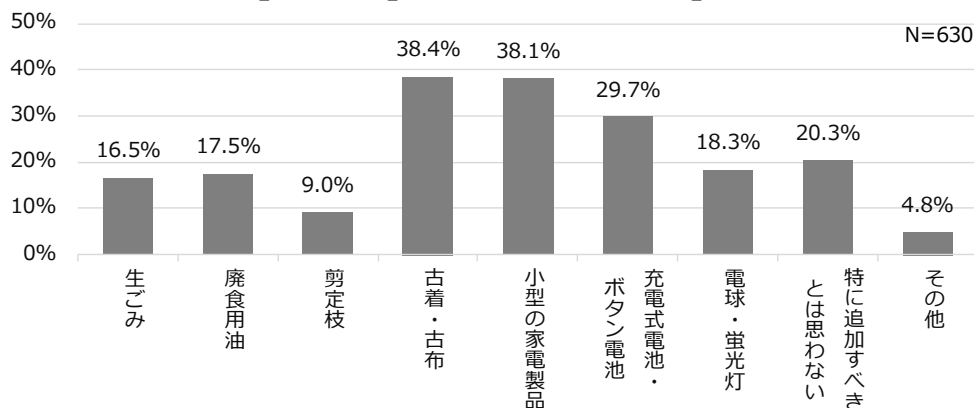


図 1-25 新たに資源化を推進したほうがよい品目【問 26】

エ 広報やパンフレット等による情報伝達度

「十分である」、「どちらかといえば十分である」を合わせると 48%となりました。

なお、前回の調査結果と比較すると、「あまり読まないの
のでわからない」の割合が増加しています。

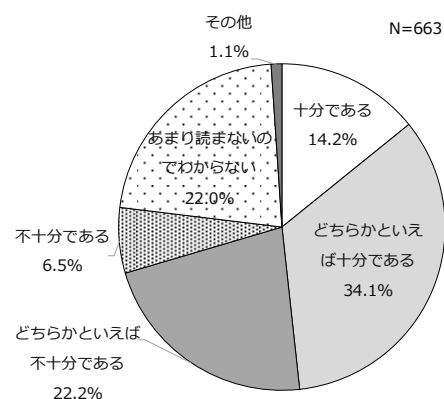
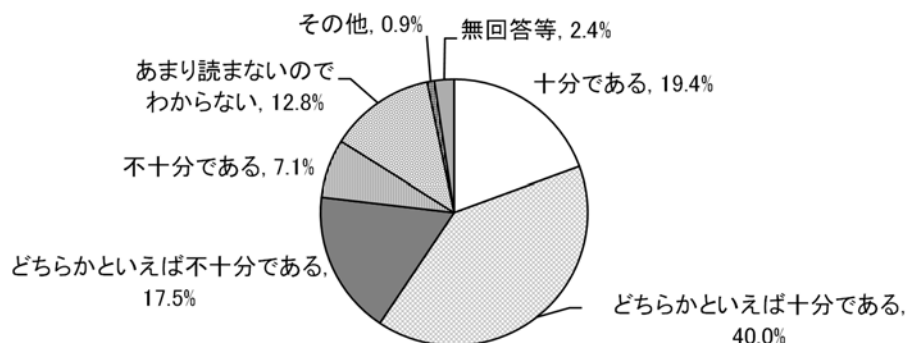


図 1-26 広報やパンフレット等による情報伝達度【問 27】

【参考】平成 28 年度調査結果



(5) 今後の区取組について

区に力を入れてほしい事項

「ごみ減量の取り組み事例等、情報提供の充実」が約 39%と、最も多い回答となりました。

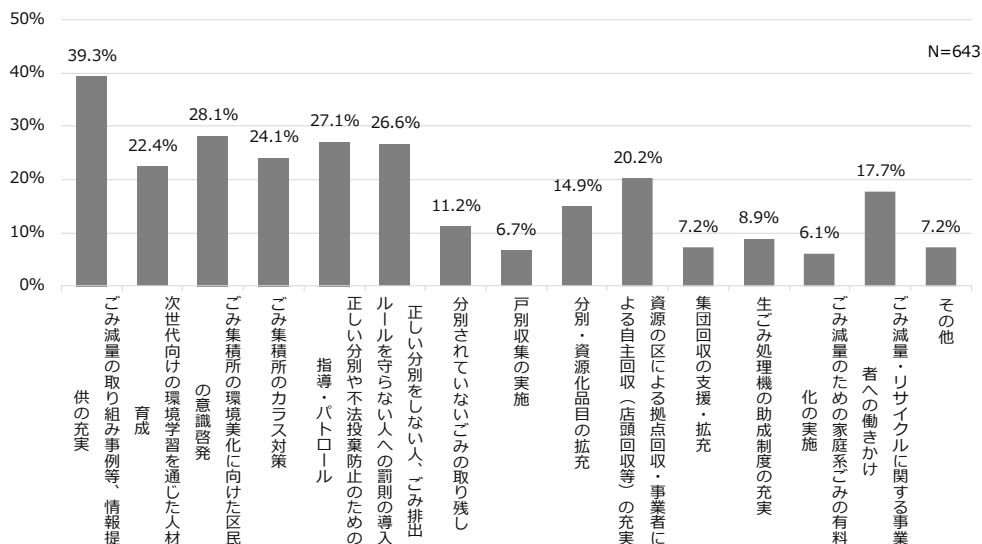
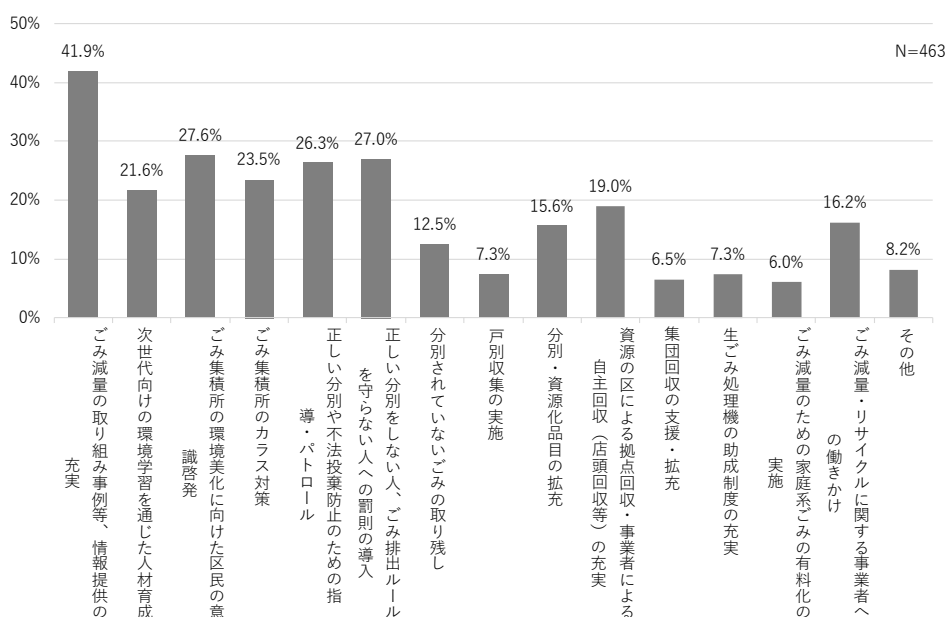


図 1-27 区に力を入れてほしい事項【問 28】

【参考】

28 ページ【問 20】「古着、古布の処理方法」で「区の可燃ごみに出している」と回答した人の、「区に力を入れてほしい事項」の回答



(6) 海洋プラスチック問題

ア 海洋プラスチック問題の認知状況

海洋プラスチック問題の認知状況については、「知っているし、意味も分かる」の回答が約 91%となりました。

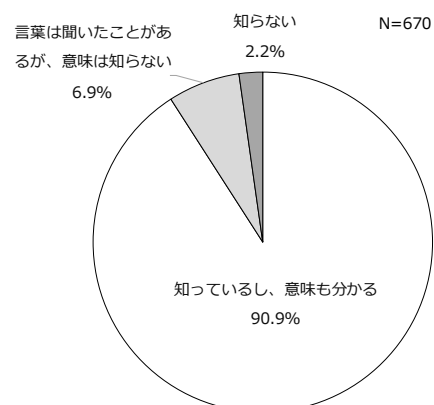
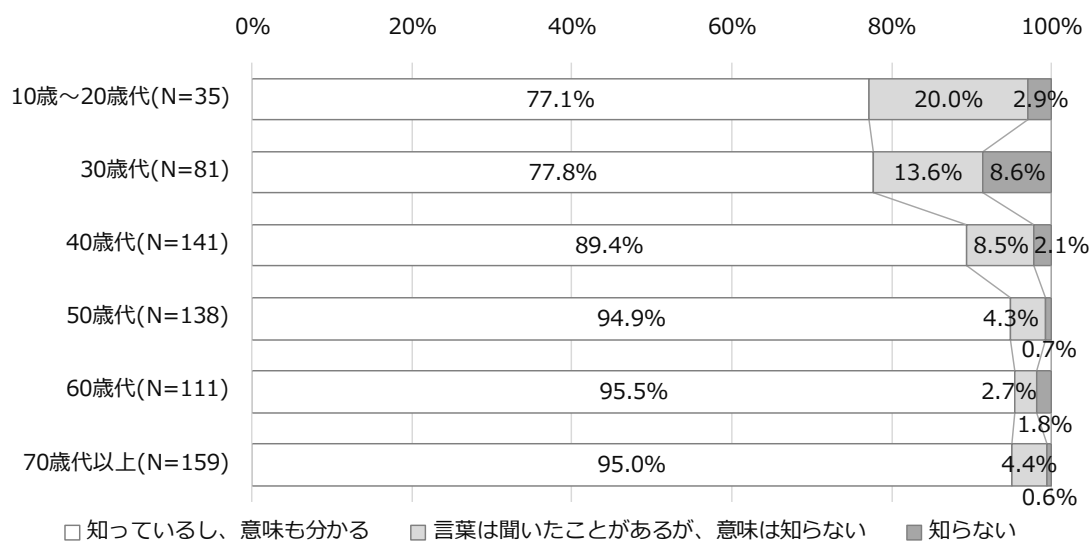


図 1-28 海洋プラスチック問題の認知度【問 29】

【参考】年齢別クロス集計



イ 海洋プラスチックの原因

どの項目においても「そう思う」の割合が70%を超える回答となりました。

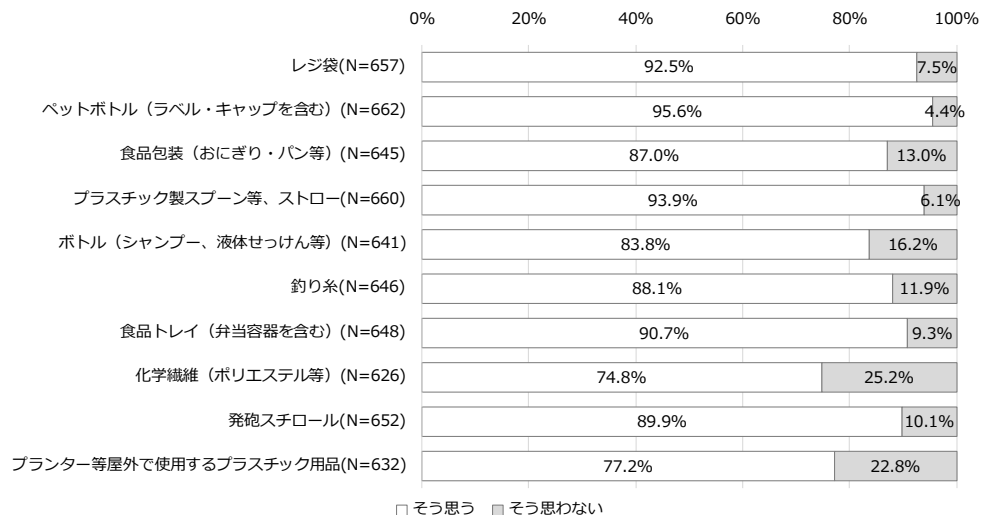


図 1-29 海洋プラスチックの原因となるもの【問 30】

ウ 海洋プラスチック問題の解決のためにできること

ほとんどの項目において「常にできる」、「ある程度できる」の回答が60%を超えましたが、「地域の清掃活動に参加する」は約40%の回答となりました。

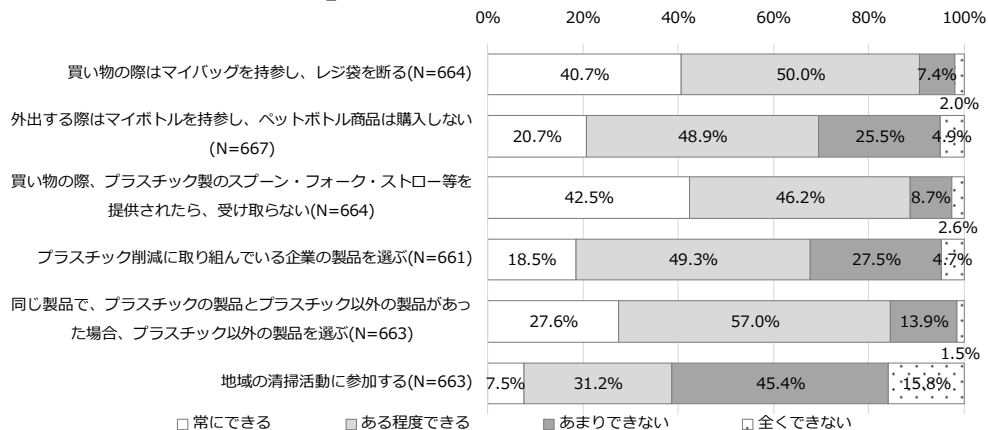
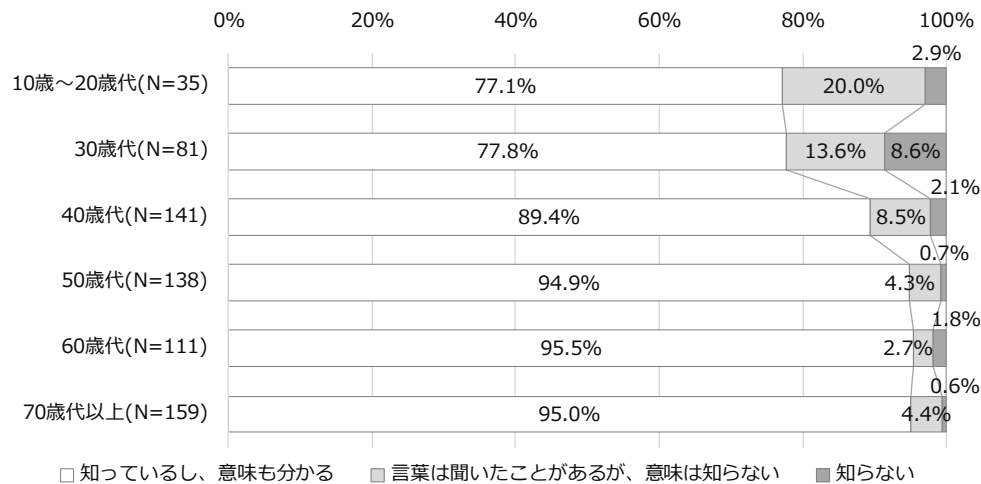


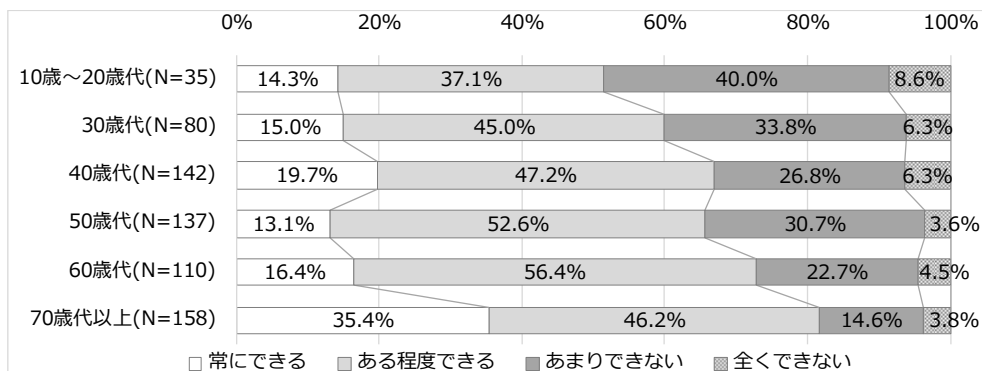
図 1-30 海洋プラスチック問題解決のためにできること【問 31】

【参考】年齢別クロス集計（買い物の際はマイバッグを持参し、レジ袋を断る）



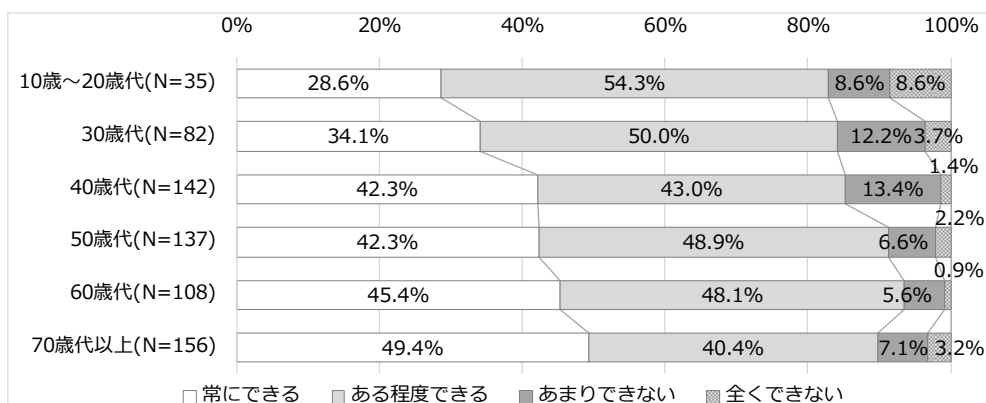
【参考】年齢別クロス集計

（外出する際はマイボトルを持参し、ペットボトル商品は購入しない）

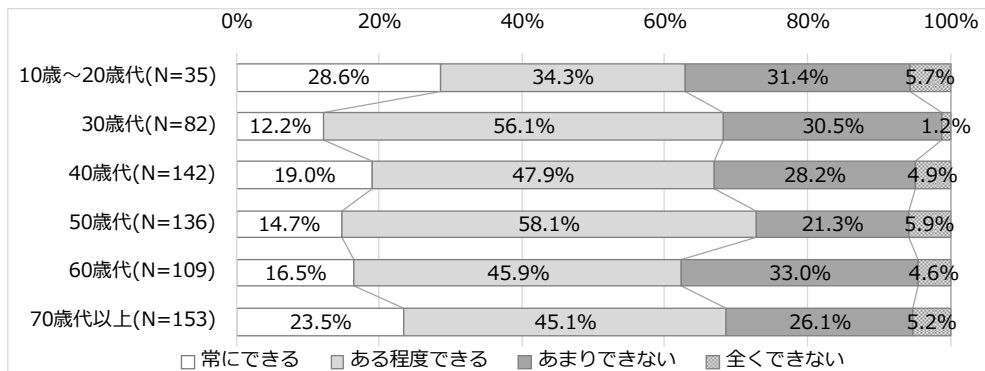


【参考】年齢別クロス集計

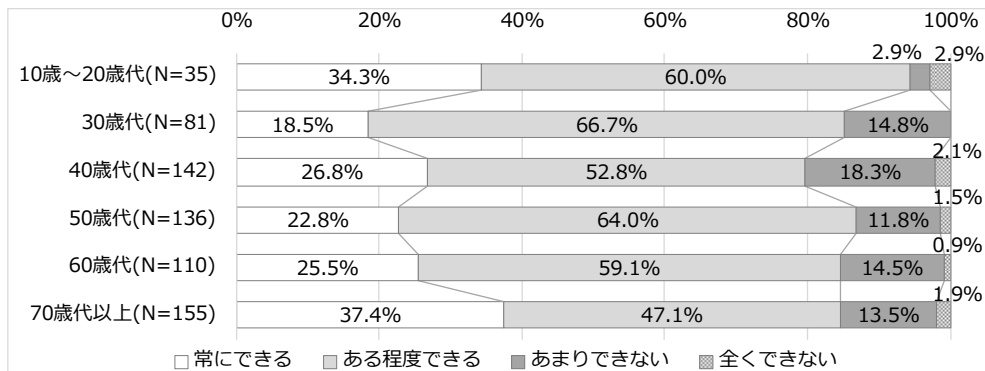
（買い物の際、プラスチック製のスプーン・フォーク・ストロー等を提供されたら、受け取らない）



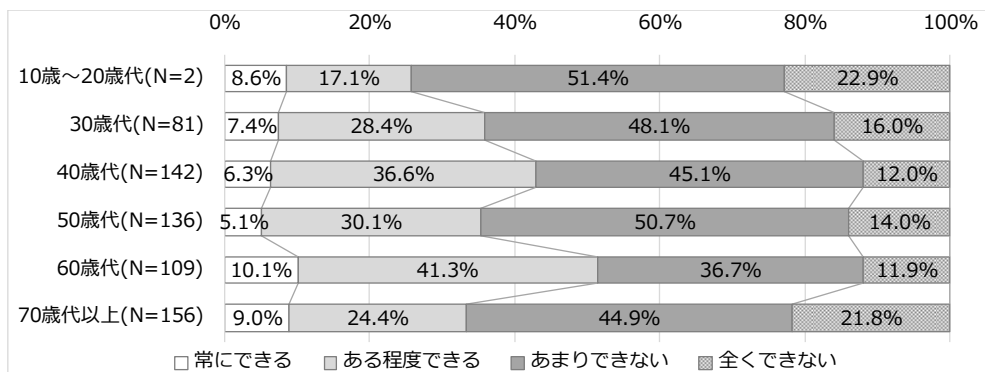
【参考】年齢別クロス集計（プラスチック削減に取り組んでいる企業の製品を選ぶ）



【参考】年齢別クロス集計（同じ製品で、プラスチックの製品とプラスチック以外の製品があった場合、プラスチック以外の製品を選ぶ）



【参考】年齢別クロス集計（地域の清掃活動に参加する）



エ プラスチックの分別状況

「できる限り汚れを落として分別し、プラスチックの資源回収に出している」が約 80%と最も多い回答となりました。

「可燃ごみに出している」の回答を合計すると 11%の回答となりました。

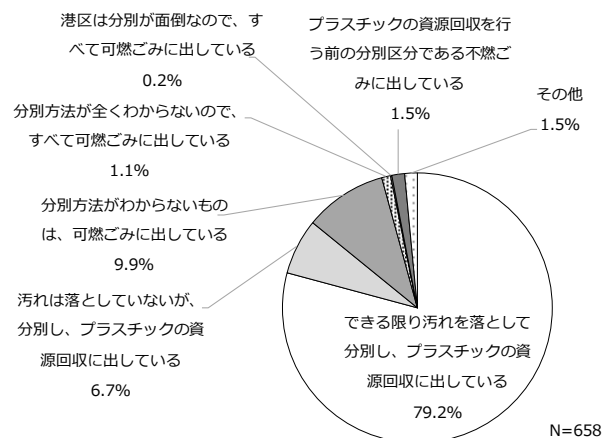
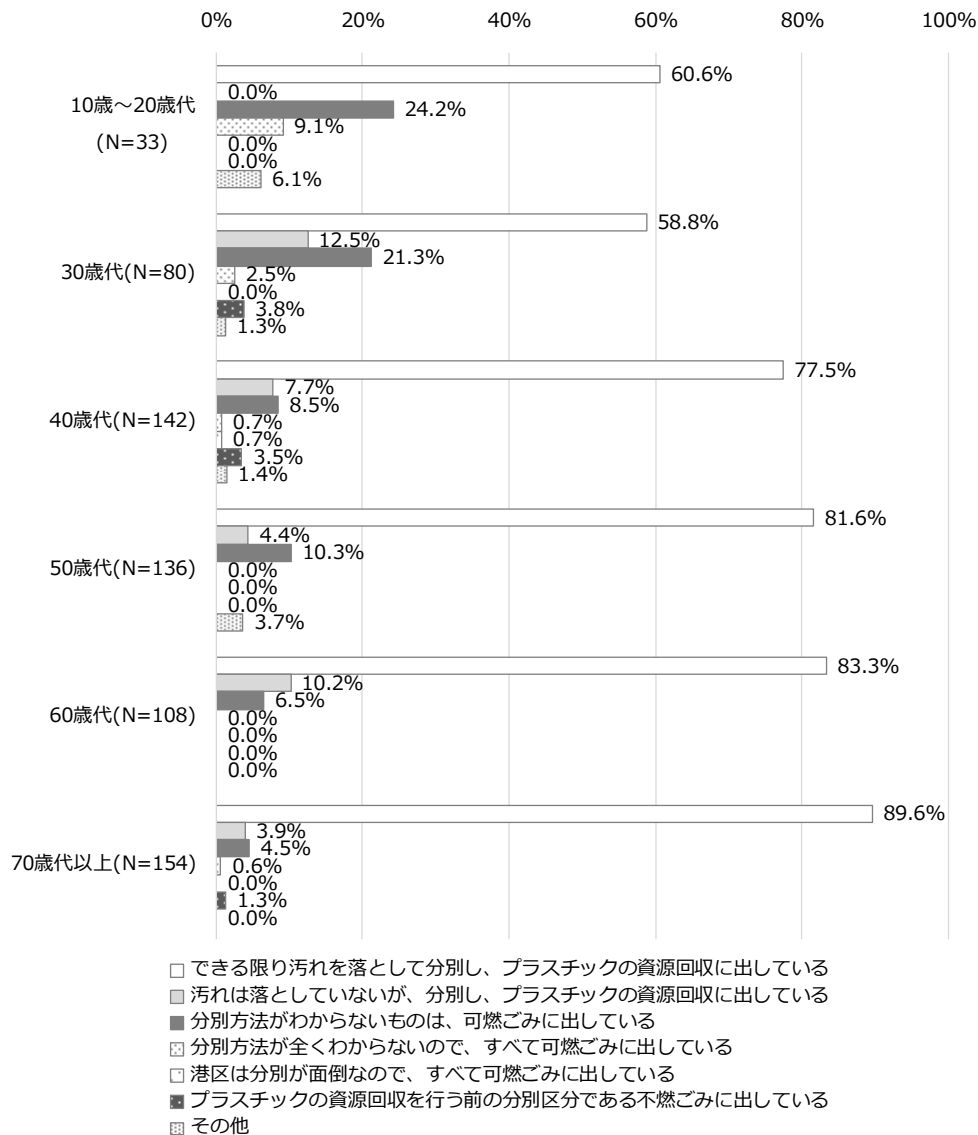


図 1-31 プラスチックの分別状況【問 32】

【参考】年齢別クロス集計



オ 資源プラスチックの分別についてわからない事項

「紙製のラベルがついているもの、食品を包装しているラップ等」が約 42%と最も多い回答となりました。

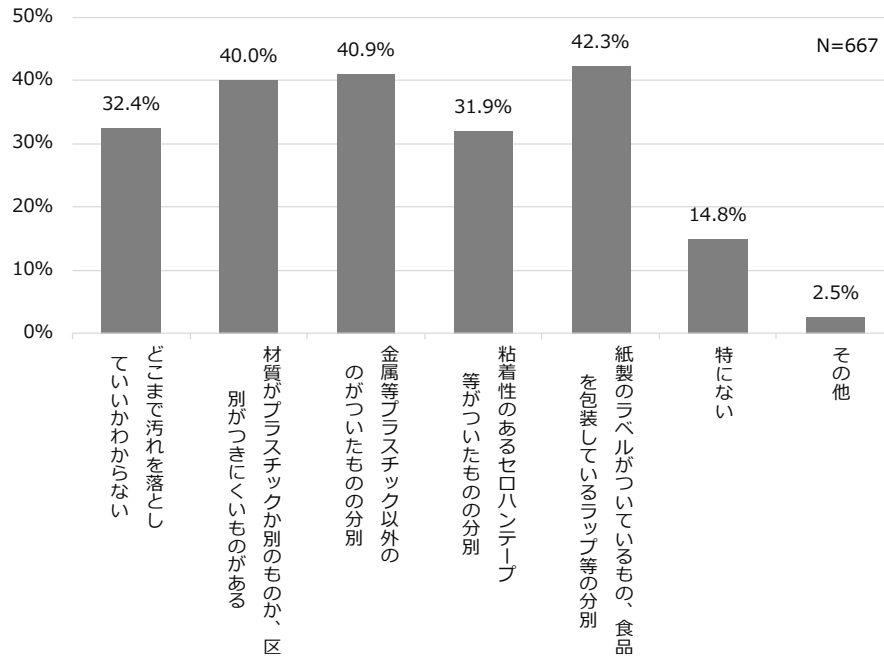
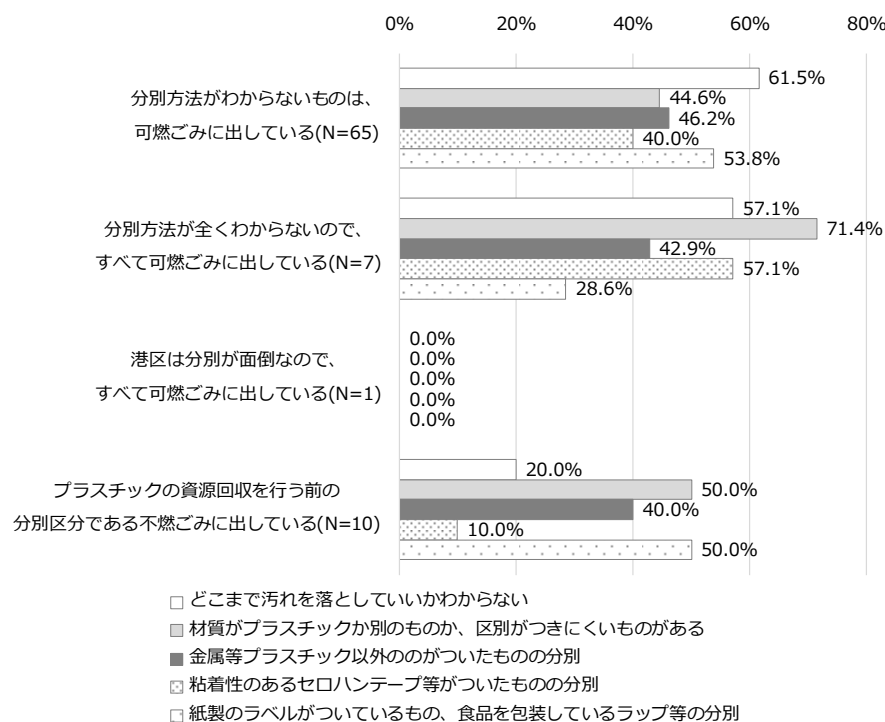


図 1-32 資源プラスチックの分別についてわからないこと【問 33】

【参考】 41 ページ【問 32】「資源プラスチックの分別状況」で「可燃ごみに出している」と回答した人の、「資源プラスチックの分別についてわからない事項」の回答



(7) 食品ロス削減に関すること

ア 食品ロスの認知状況

「知っているし、深刻な問題と考えている」、「知っているし、意味も分かる」と合わせると 96%の回答となりました。

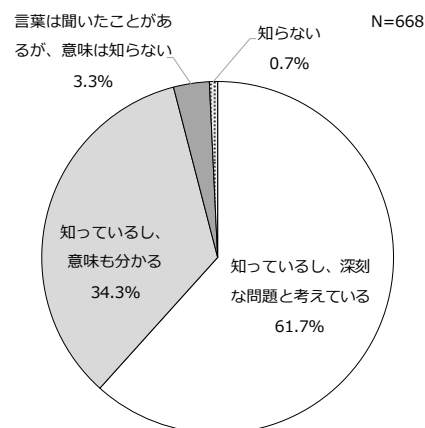
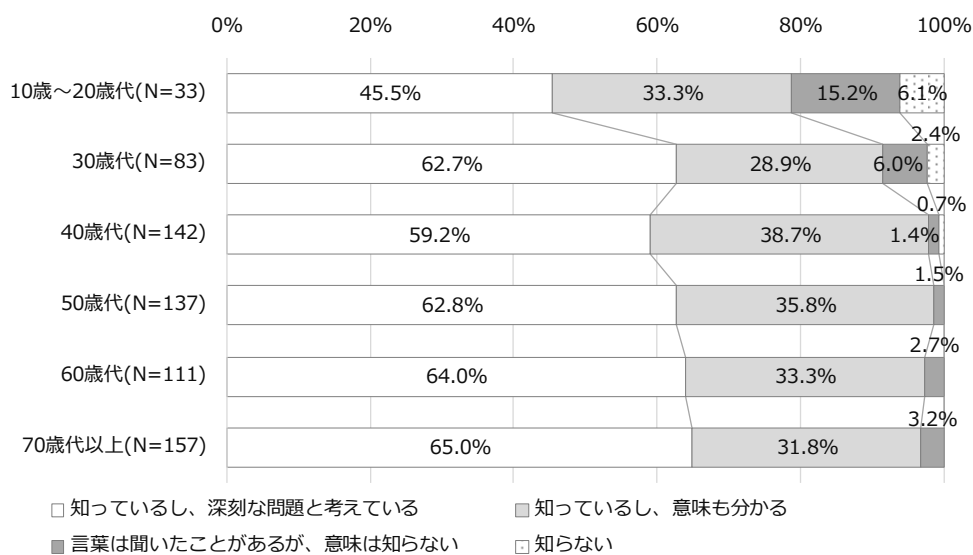


図 1-33 食品ロスの認知状況【問 34】

【参考】年齢別クロス集計



イ あなたの食品に関する普段の行動

【買い物時の行動】

買い物時においては「冷蔵庫等の中の食品を確認してから、食品を買うようにしている」は「常に行う」、「ある程度行う」の回答が約 90%の回答となりました。

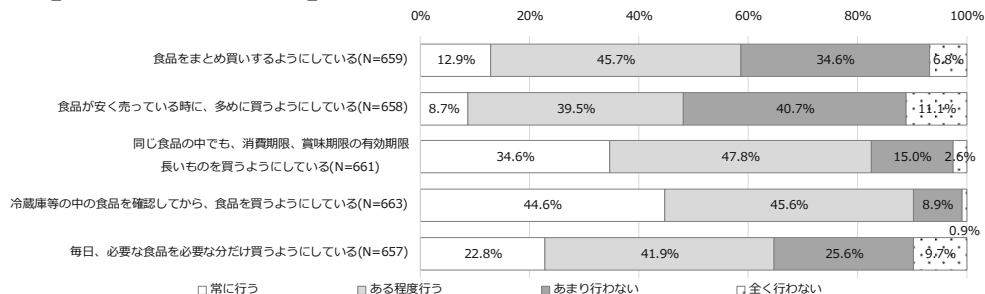
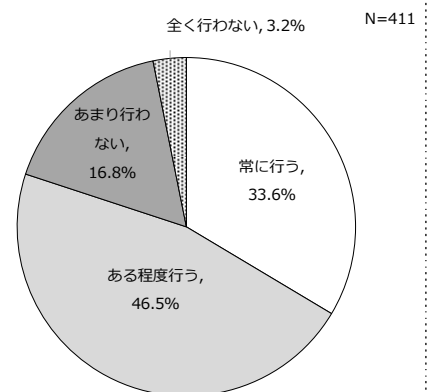


図 1-34 食品ロスに関する行動（買い物時）【問 35】

【参考】

4 ページ【問 8】「関心のある事項」で「食品ロスについて」と回答者した人の、「同じ食品の中でも、賞味期限、消費期限が長いものを購入するようにしている」の回答



【家庭における行動】

どの項目においても「常に行う」、「ある程度行う」が 90%を超えました。

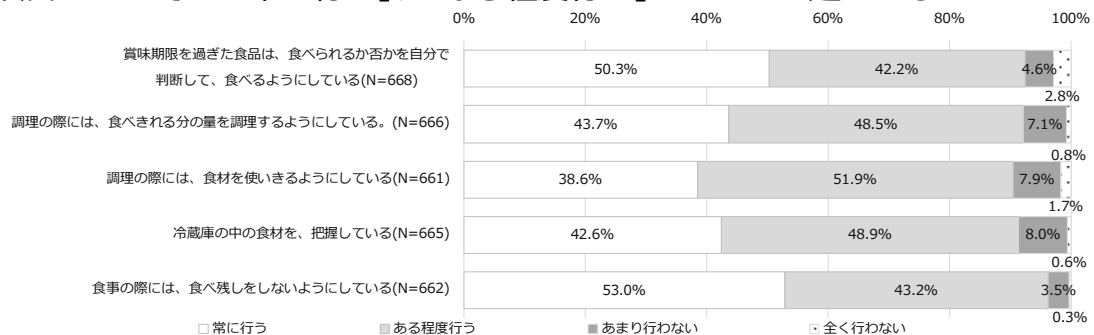


図 1-35 食品ロスに関する行動（家庭）【問 35】

ウ 「食品ロス」が家庭で発生してしまう場合の原因

「食品の消費期限、賞味期限が切れてしまったため」が約 57%と最も多く、次いで「食品を買いすぎたため」が約 38%となりました。

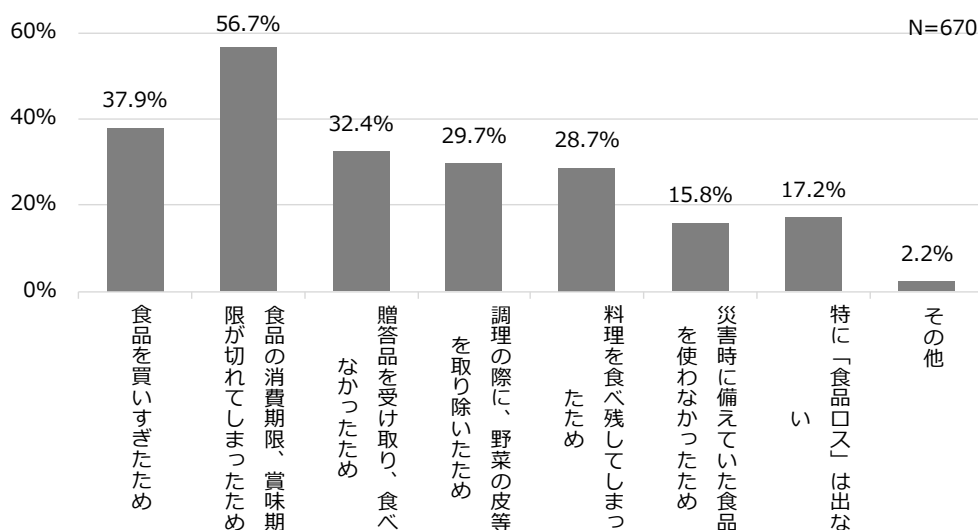


図 1-36 「食品ロス」が家庭で発生してしまう場合の原因【問 36】

エ 「食品ロス」が外食や宴会等で発生してしまう場合の原因

「注文時に思っていた量よりも、多くの量が出てきてしまった」、「コース料理などでまとめて注文したが、食べきれなかった」の回答が 50%を超える結果となりました。

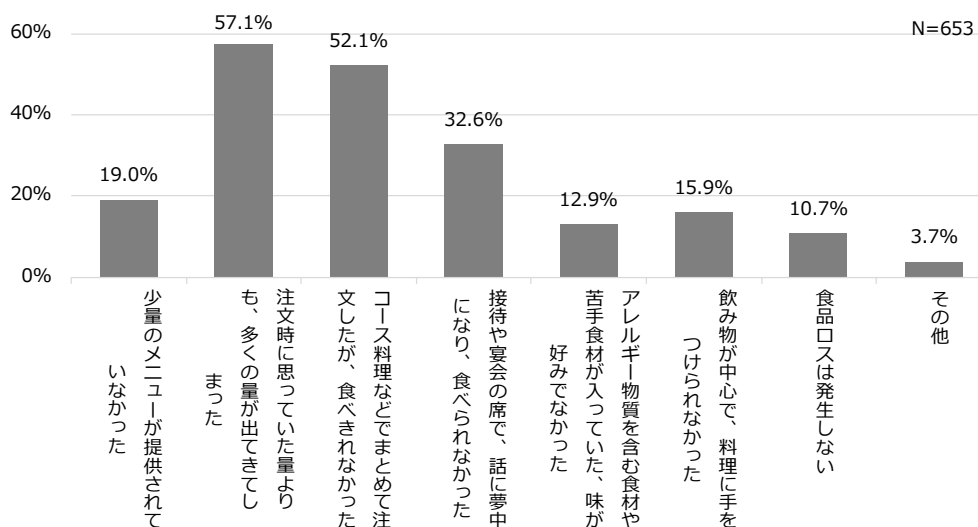


図 1-37 「食品ロス」が外食や宴会等で発生してしまう場合の原因【問 37】

オ 未利用食品廃棄の有無

「あまりない」の回答が約 55%と、最も多い結果となりました。

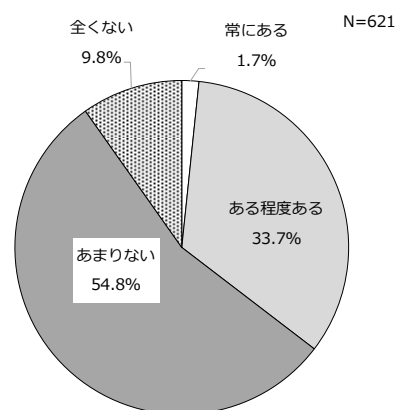
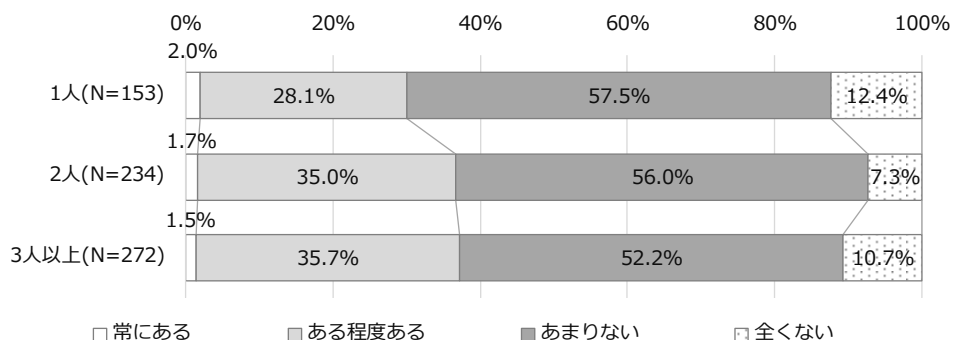


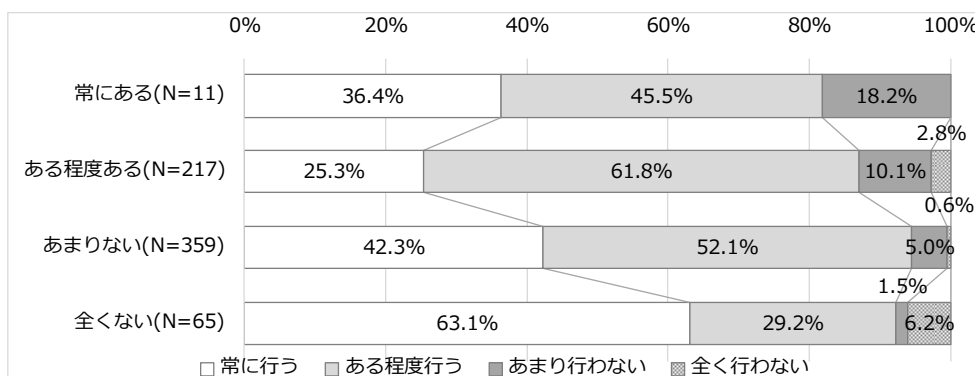
図 1-38 未利用食品廃棄の有無【問 38】

【参考】世帯人数別クロス集計



【参考】

6 ページ【問 9】「日頃の行動で心がけていること」で「食材等を買すぎないようにする」と回答した人の、「未利用食品廃棄の有無」の回答



カ 捨ててしまったことのある未利用食品

「米類」は「全く捨てない」の回答が7割以上となりました。一方で、「米類」と比較して、「野菜」は約2割、「果物類」、「調味料」、「備蓄食料」は約4割と低く、捨てたことがある割合が高くなりました。

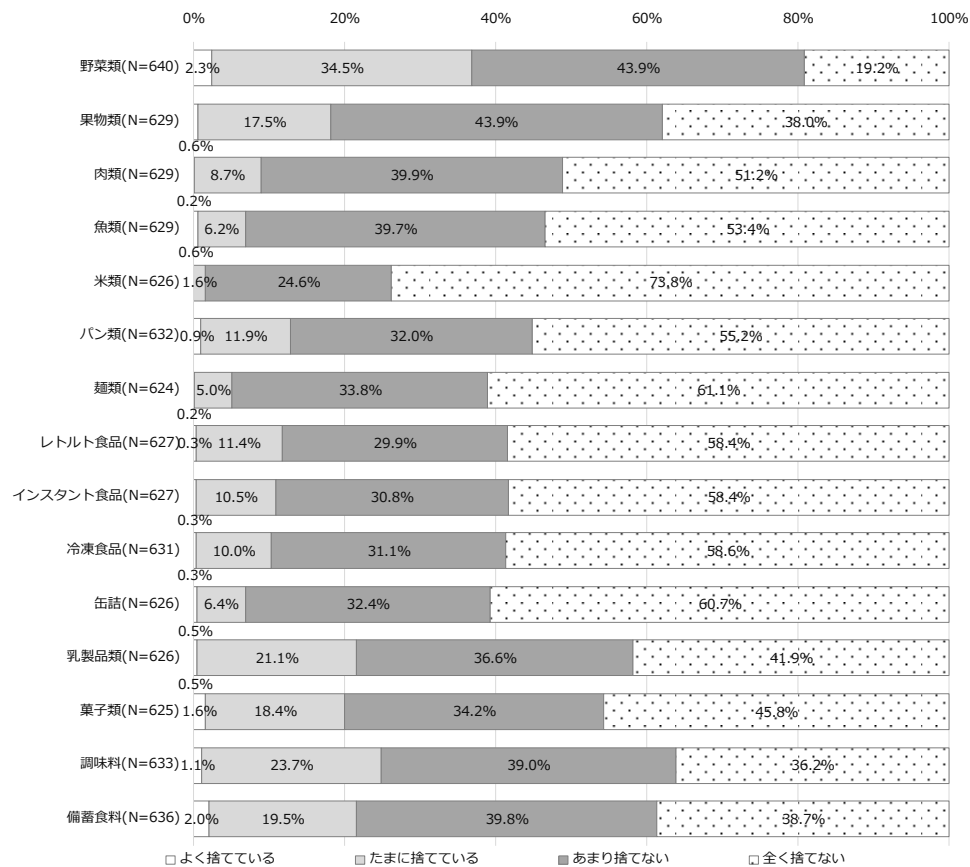
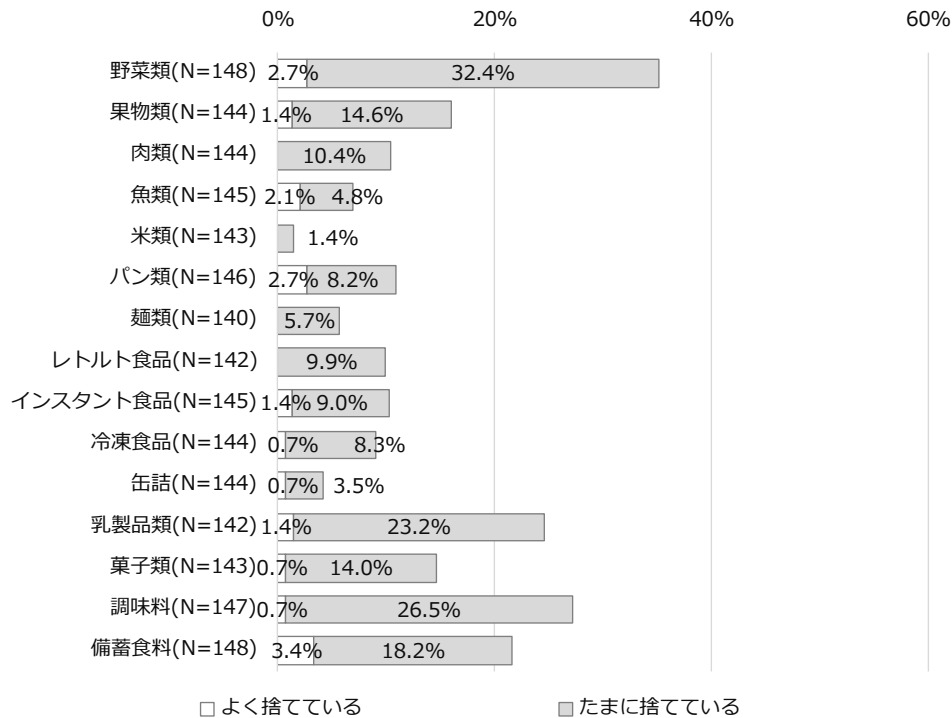
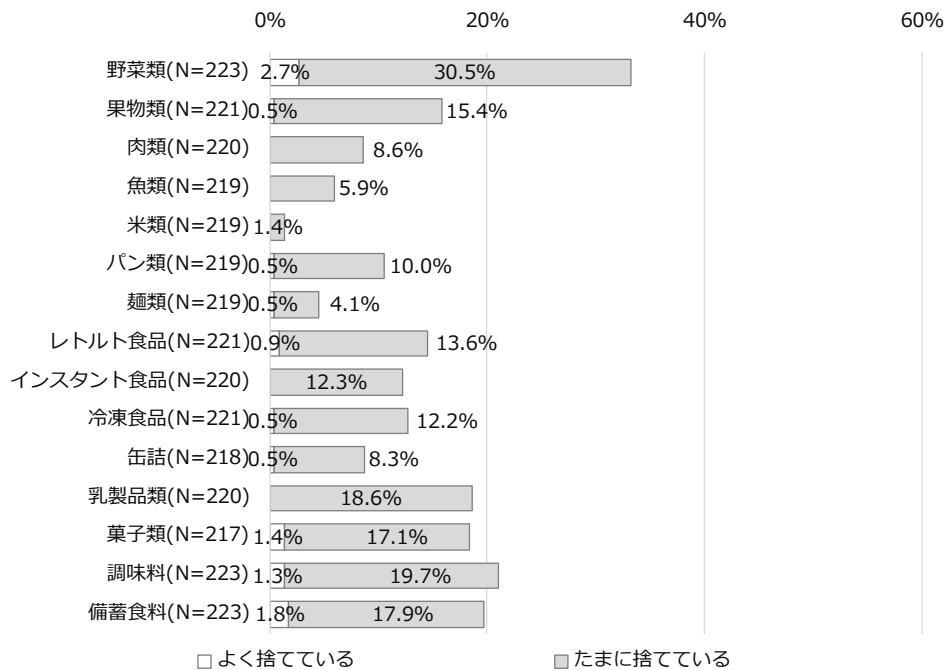


図 1-39 捨ててしまったことのある未利用食品【問 39】

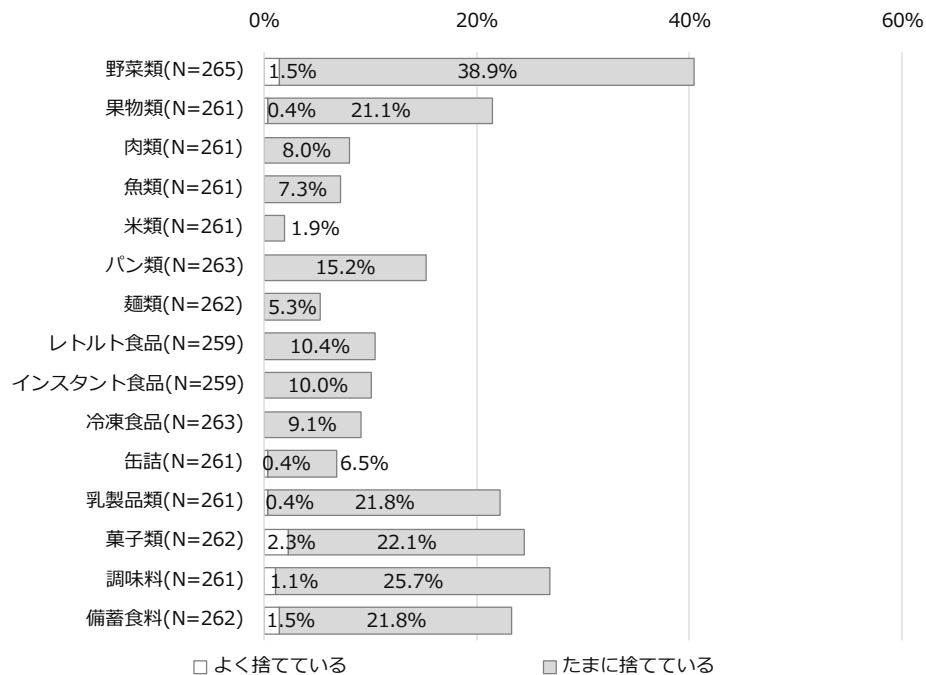
【参考】世帯人数別クロス集計（1人世帯）



【参考】世帯人数別クロス集計（2人世帯）



【参考】世帯人数別クロス集計（3人世帯以上）



キ 家庭で食品ロスを減らすためにできる事項

「常にできる」の回答においては、「食品の在庫を確認してから、買い物に行くこと」が約 56%と最も多い回答となりました。また「常にできる」および「ある程度できる」を合計すると、すべての項目で 7 割を超える回答となりました。

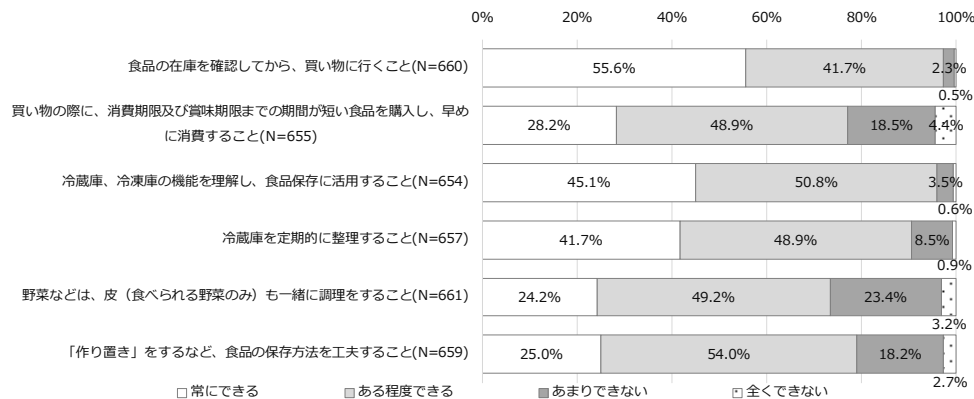


図 1-40 食品ロスを減らすためにできること【問 40】

ク 区が実施している食品ロス対策施策の認知度

すべての項目において「知らなかったが、今後は参加（利用）したい」、「知らなかったし、参加（利用）したくない」が85%を超える結果となりました。

いずれの項目においても「知らなかったが、今後は参加（利用）したい」が約6割の回答がありました。

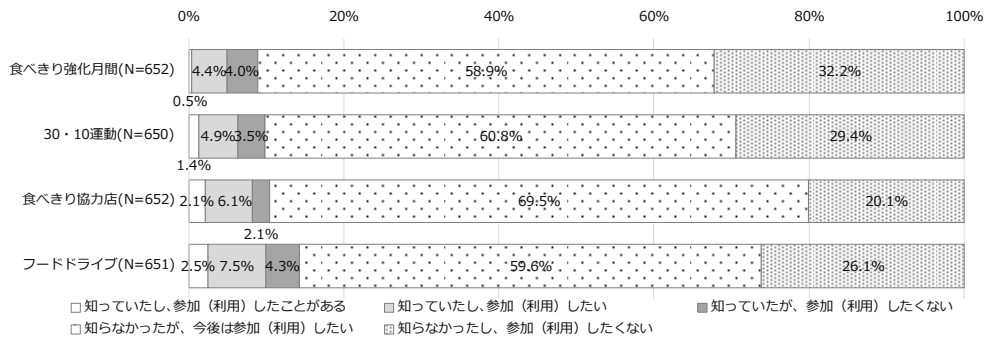
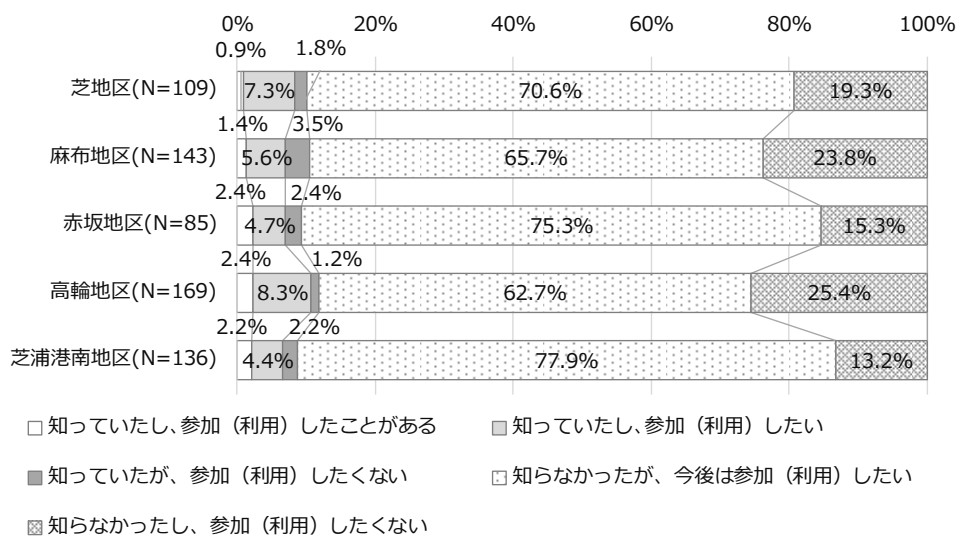
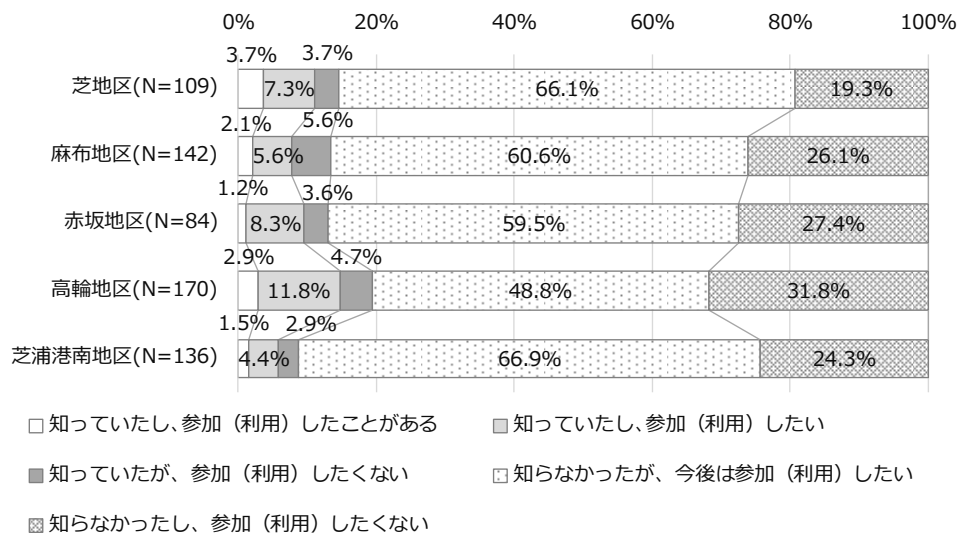


図 1-41 区が実施している食品ロス対策施策の認知度【問 41】

【参考】地域別クロス集計（食べきり協力店）



【参考】地域別クロス集計（フードドライブ）



ケ フードドライブを利用するために必要な要件

「常設の受付窓口が便利な場所にあること」が最も多く、約 71%の回答となりました。また、「集めた食品が、それを必要とする区内の人に提供されること」が約 34%の回答がありました。

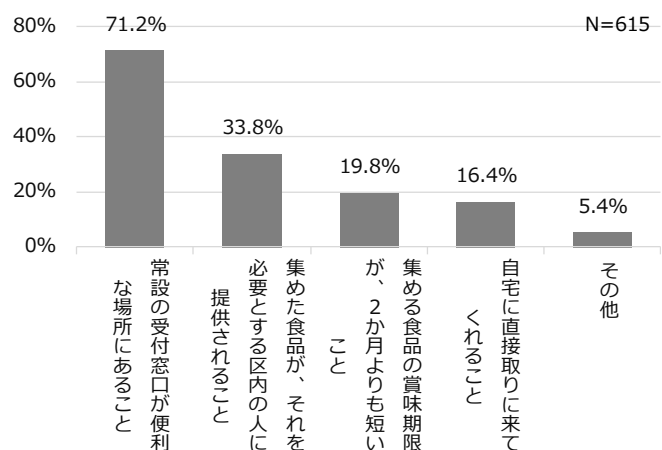


図 1-42 食品ロスを減らすためにできること【問 42】

第2章 事業者アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、区内事業者のごみ・リサイクルに関する意識・行動や排出実態を把握するとともに、ごみ減量に対する意識啓発を兼ねて実施することを目的としています。

なお、得られた調査結果については、令和2年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」（港区食品ロス削減推進計画を含む。）の策定のための基礎資料とします。

(2) 調査方法

区内事業所に対して、紙の調査票を郵送することによりアンケート調査を実施しました。発送数は経済センサスの内訳を参照に、以下のとおり2,200事業所を抽出しました。

【参考】調査対象事業所の内訳（平成28年経済センサス-活動調査より）

		従業員数			合計
		0～29人	30～299人	300人以上	
業種	A 農業、林業	2	0	0	2
	B 漁業	0	0	0	0
	C 鉱業、採石業、砂利採取業	3	1	0	4
	D 建設業	39	12	2	53
	E 製造業	46	11	3	60
	F 電気・ガス・熱供給・水道業	6	1	0	7
	G 情報通信業	155	34	7	196
	H 運輸業、郵便業	42	14	1	57
	I 卸売業、小売業	393	42	8	443
	J 金融業、保険業	52	9	1	62
	K 不動産業、物品賃貸業	162	13	1	176
	L 学術研究、専門・技術サービス業	290	13	1	304
	M 宿泊業、飲食サービス業	313	24	1	338
	N 生活関連サービス業、娯楽業	107	10	1	118
	O 教育、学習支援業	37	6	1	44
	P 医療、福祉	95	7	3	105
	Q 複合サービス事業	3	1	1	5
	R サービス業（他に分類されないもの）	194	24	2	220
	S 公務（他に分類されるものを除く）	1	4	1	6
合計		1940	226	34	2200

(3) 回答期間

期間

令和元年 11 月 18 日 (月) ～ ※令和 2 年 1 月 7 日 (火) 時点までの
令和元年 12 月 11 日 (水) 回答を有効としました。

(4) 回収率

郵送調査の回収率は右表のとおりです。回収率は 18.92%となりました。

発送数	2,200 件
戻り数	7 件
有効発送数	2,193 件
回収数	415 件
回収率(%)	18.92%

2 調査結果

回収したアンケートの集計結果を、次頁以降掲載しています。回収したアンケートの内、有効の回答を集計しました。また、一部設問においては、回答事業者の属性ごとに回答を比べるクロス集計を実施しています。

集計結果掲載例

オ□可燃ごみの容積割合

集計結果を表したグラフです。回答が 1 つの場合は円グラフ、複数回答の場合は棒グラフです。

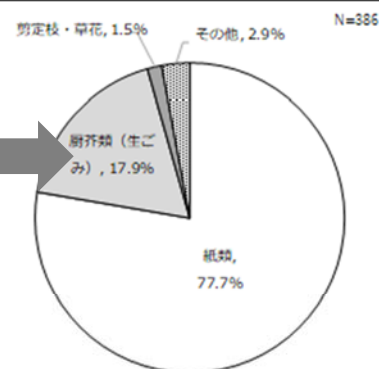
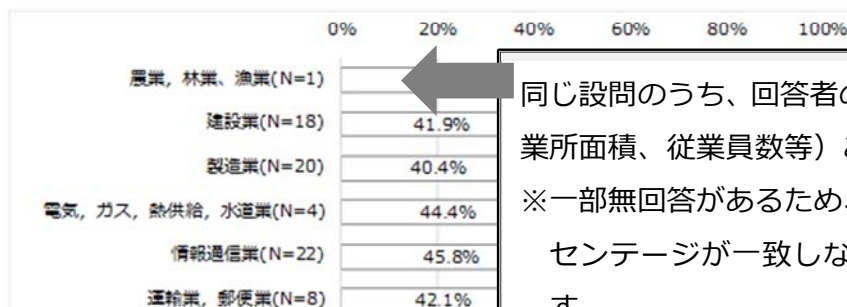


図 2-6□可燃ごみの容積割合□【問 9】

【参考】業種別クロス集計

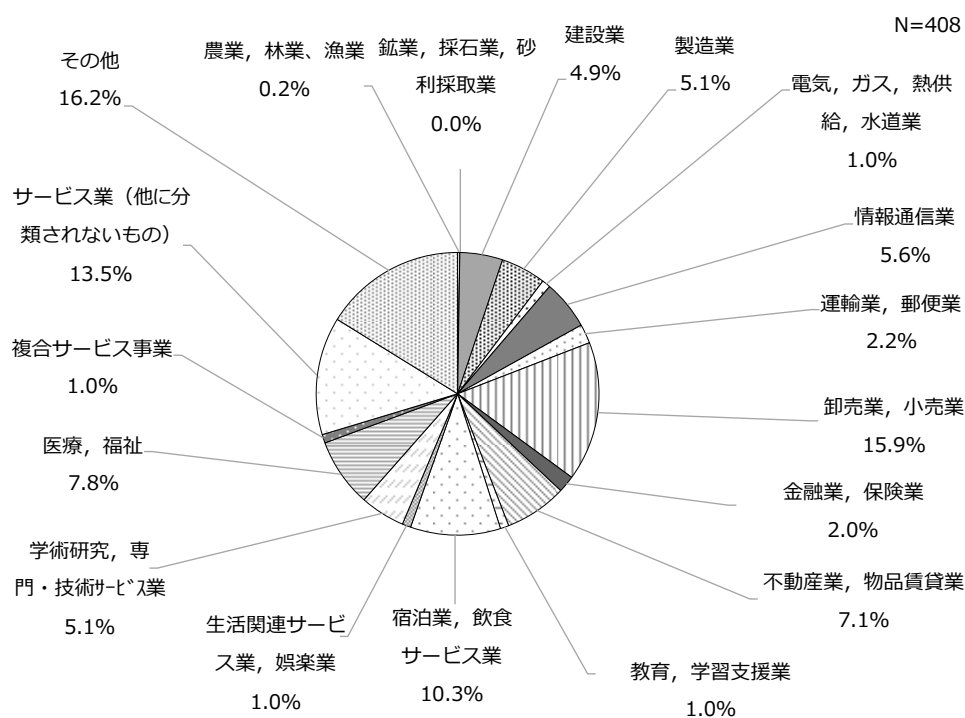


同じ設問のうち、回答者の属性（業種、事業所面積、従業員数等）ごとの割合です。
※一部無回答があるため、回答数及びパーセンテージが一致しない場合があります。

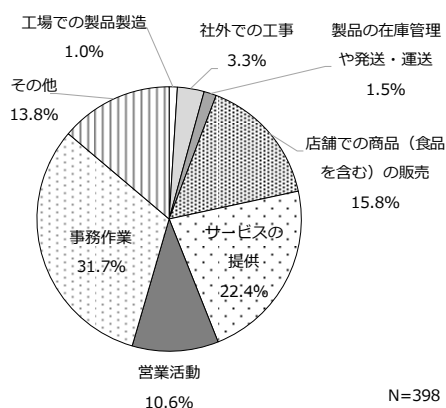
(1) 回答事業所の概要

業種は「卸売業、小売業」が約 16%、事業形態が「事務作業」が約 32%で、最も多い回答となりました。従業員数は全体の約 8 割が 30 人未満となりました。

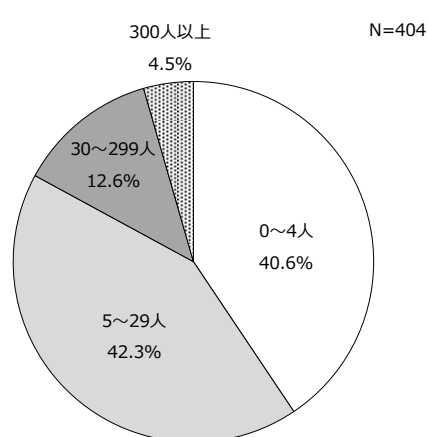
■ 業種



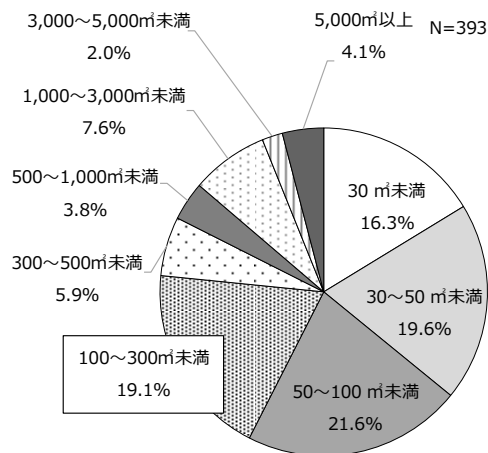
■ 事業形態



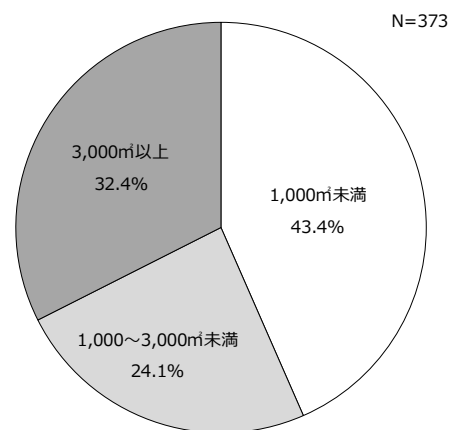
■ 従業員数



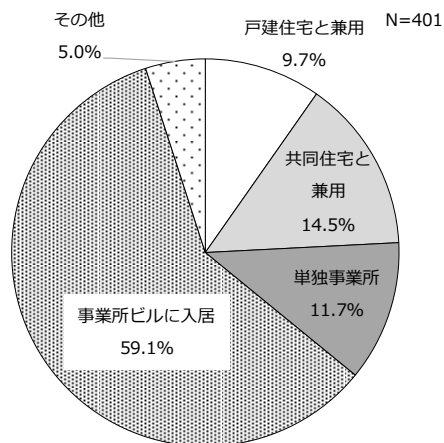
■ 延床面積（事業所）



■ 延床面積（建物全体）



■ 入居形態



■ 所在地

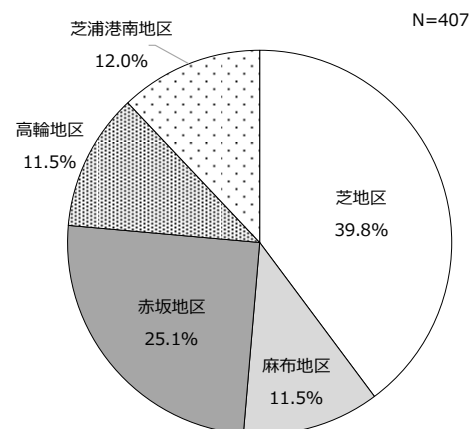


図 2-1 事業所の属性【問 1～7】

事業所の延床面積は 7 割以上が 300 ㎡未満、建物全体の面積では約 4 割が 1,000 ㎡未満の事業所でした。建物の入居形態では約 6 割が「事業所ビルに入居」、所在地は 4 割程度が「芝地区」となりました。

（２）ごみ・資源の発生・処理状況について

ア 可燃ごみの排出頻度および処理方法

排出頻度は、「週 1～3 回」が半数以上と最も多い結果でした。また、処理方法については、「民間業者に処理を委託している」の回答が約 48%となりました。

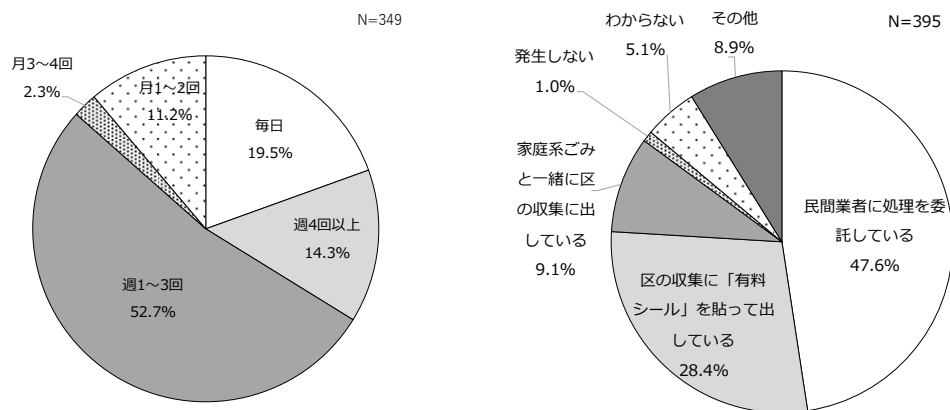
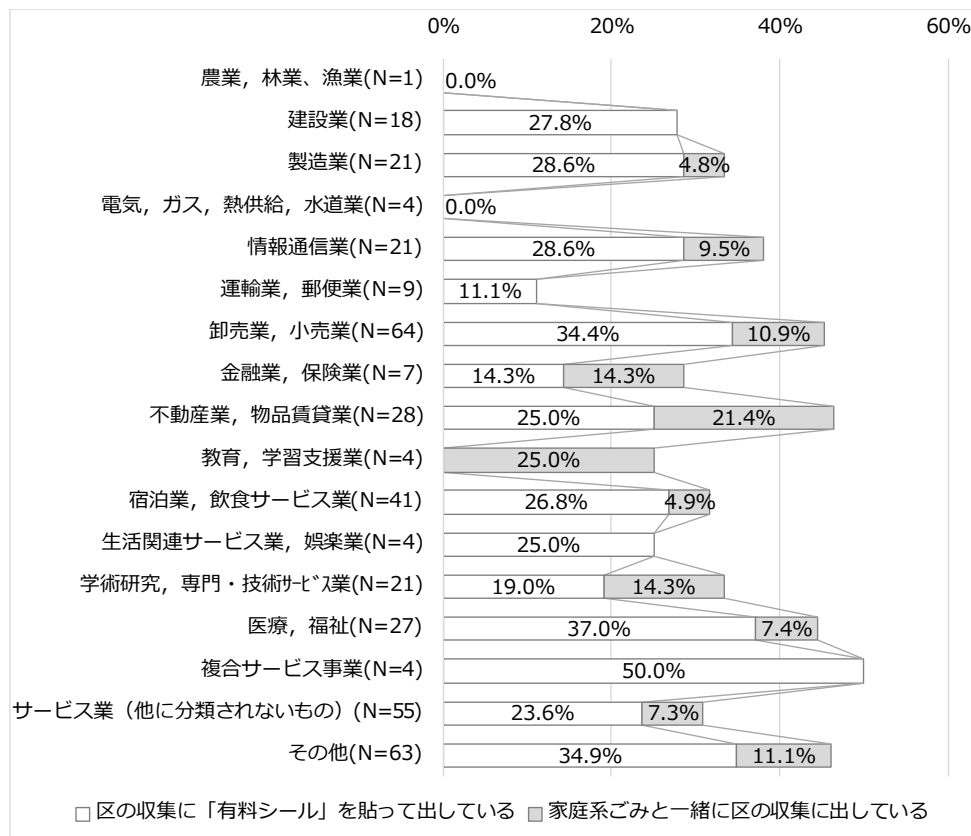
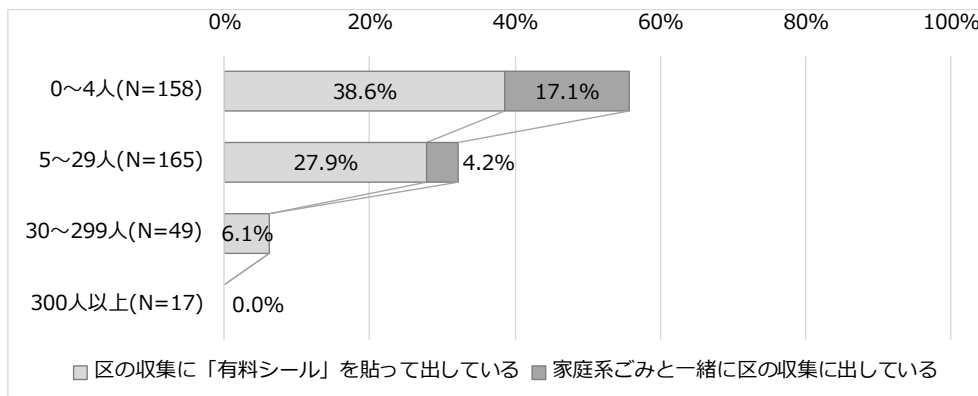


図 2-2 搬出頻度と処理方法【問 8】

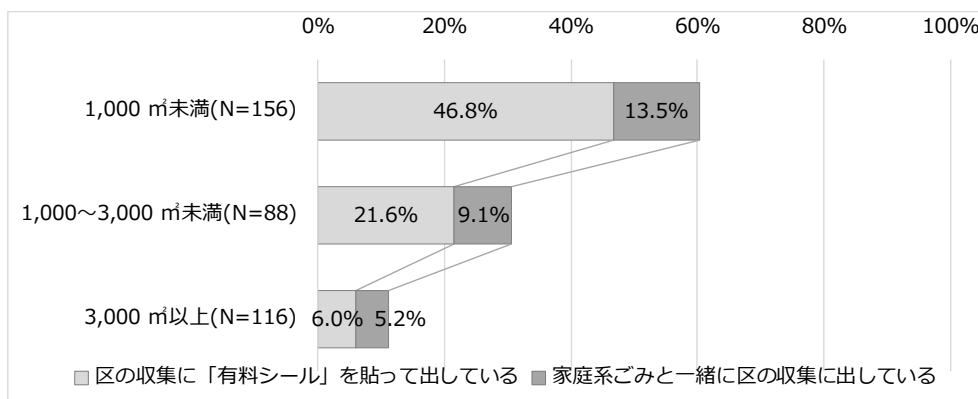
【参考】「処理方法」の業種別クロス集計（「区の収集に「有料シール」を貼って出している」、「量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している（「有料シール」は貼っていない）」のみ）



【参考】「処理方法」の従業員数別クロス集計（「区の収集に「有料シール」を貼って出している」、「量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している（「有料シール」は貼っていない）」のみ）



【参考】「処理方法」の建物積別クロス集計（「区の収集に「有料シール」を貼って出している」、「量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している（「有料シール」は貼っていない）」のみ）



イ 現在委託している民間の一般廃棄物処理業者を選んだ理由

アで「民間業者に処理を委託している」と回答した事業所の理由について、「商店街やテナントなどで共同委託しているから」が約 37%と最も多い回答となり、「信頼できる業者だから」が約 31%となりました。

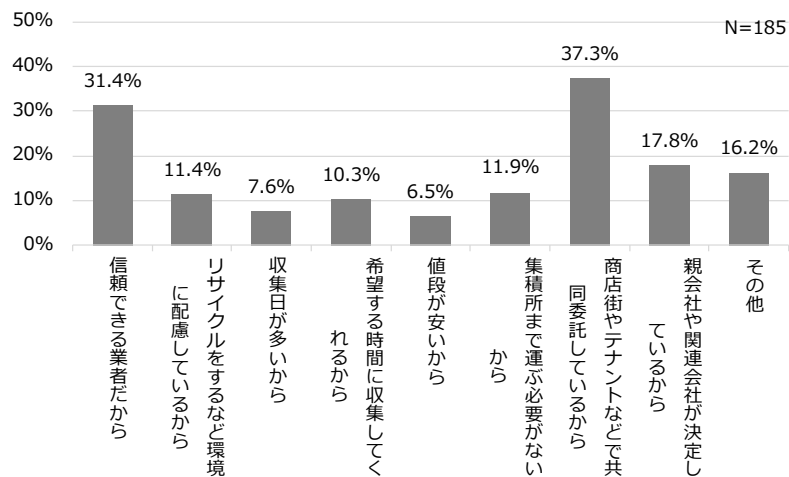
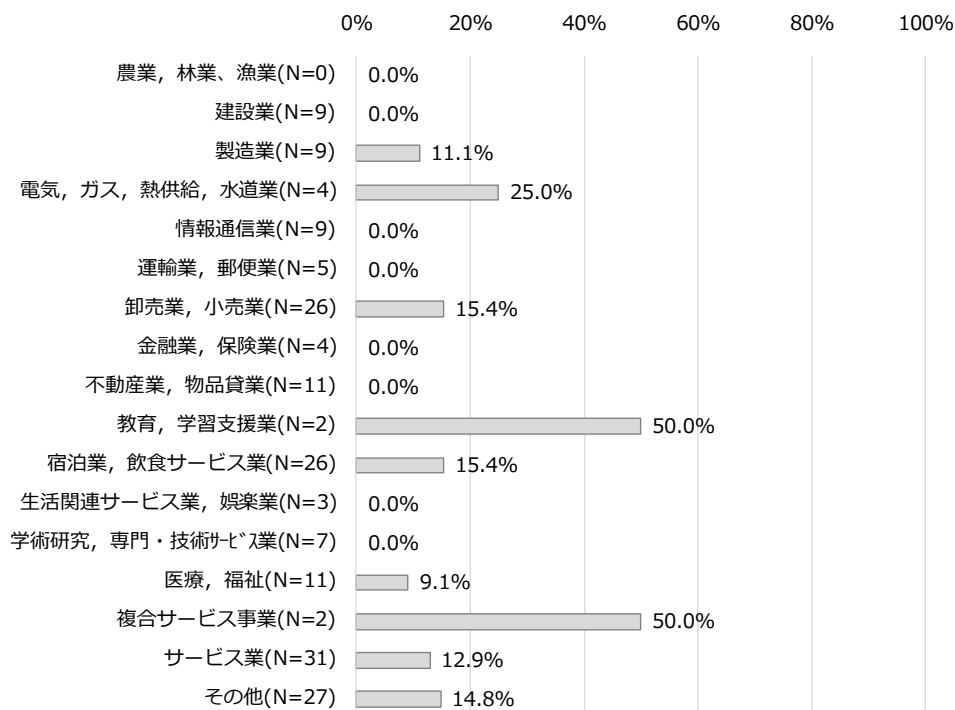


図 2-3 一般廃棄物処理業者を選んだ理由【問 8-1】

【参考】業種別クロス集計結果

（「リサイクルをするなど環境に配慮しているから」の回答割合のみ）



ウ 民間の一般廃棄物処理業者に委託していない理由（有料シール対応）

アで「区の収集に『有料シール』を貼って出している」と回答した事業所の理由について、「発生量が少なく、業者に委託するほどではないから」が約 86%となりました。

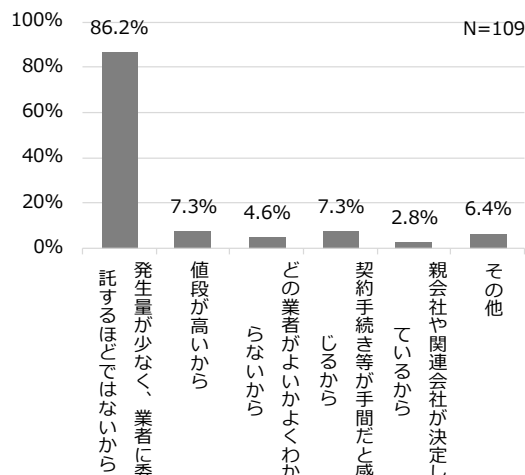


図 2-4 一般廃棄物処理業者を選んだ理由【問 8-2】

エ 民間の一般廃棄物処理業者に委託していない理由

アで「量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している」と回答した理由について、「発生量が少なく、分けられないから」が約 78%と最も多い結果となりました。

「その他」は約 23%の回答となり、「ビルの管理や親会社や規則に従っている」、「ごみが多い時だけ有料シールを貼って出している」等の回答となりました。

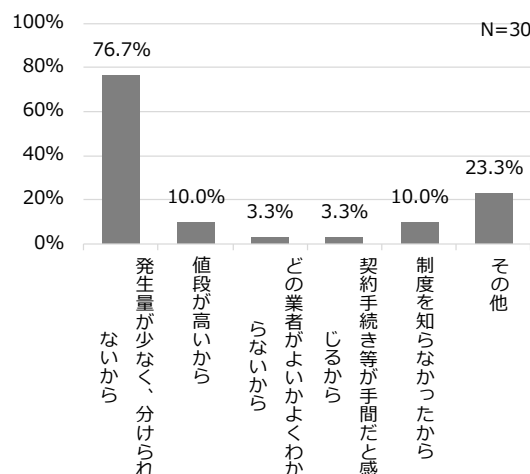


図 2-5 一般廃棄物処理業者に委託しない理由【問 8-3】

オ 可燃ごみの容積割合

「紙類」の回答が約 78%となり、「厨芥類（生ごみ）」が約 18%となりました。

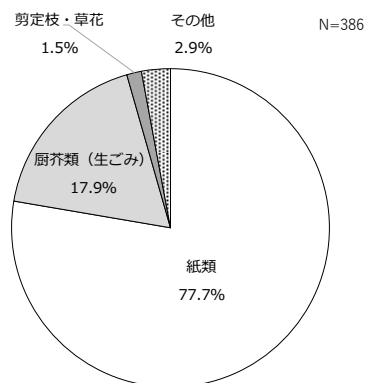
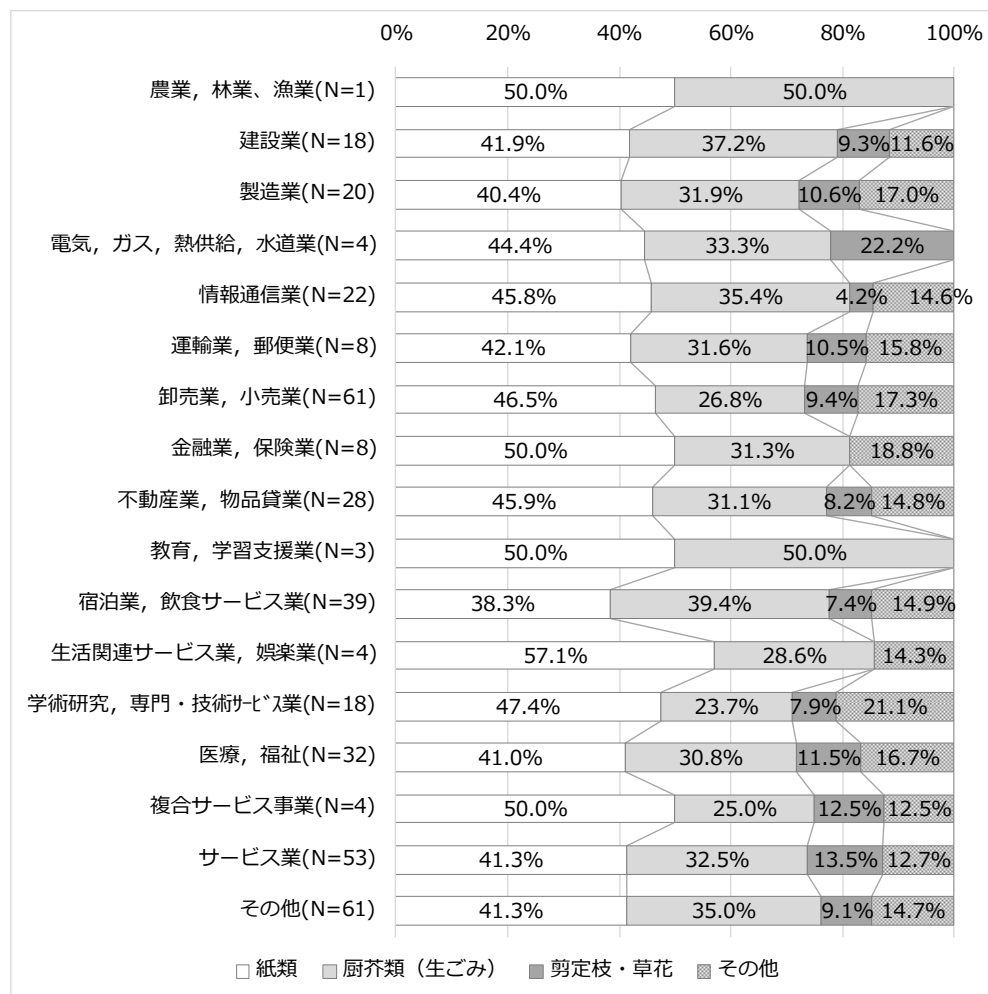


図 2-6 可燃ごみの容積割合【問 9】

【参考】業種別クロス集計



カ 資源、ごみの排出量、処理状況

事業所 1 日あたりの平均排出量について、「生ごみ」が 9.89kg と最も多い結果となり、「コピー・OA 用紙」、「機密文書等」が 6.60kg となりました。

前回の調査結果と比較すると、「生ごみ」は減少していますが、「コピー・OA 用紙」、「機密文書等」などの紙類が増加しました。

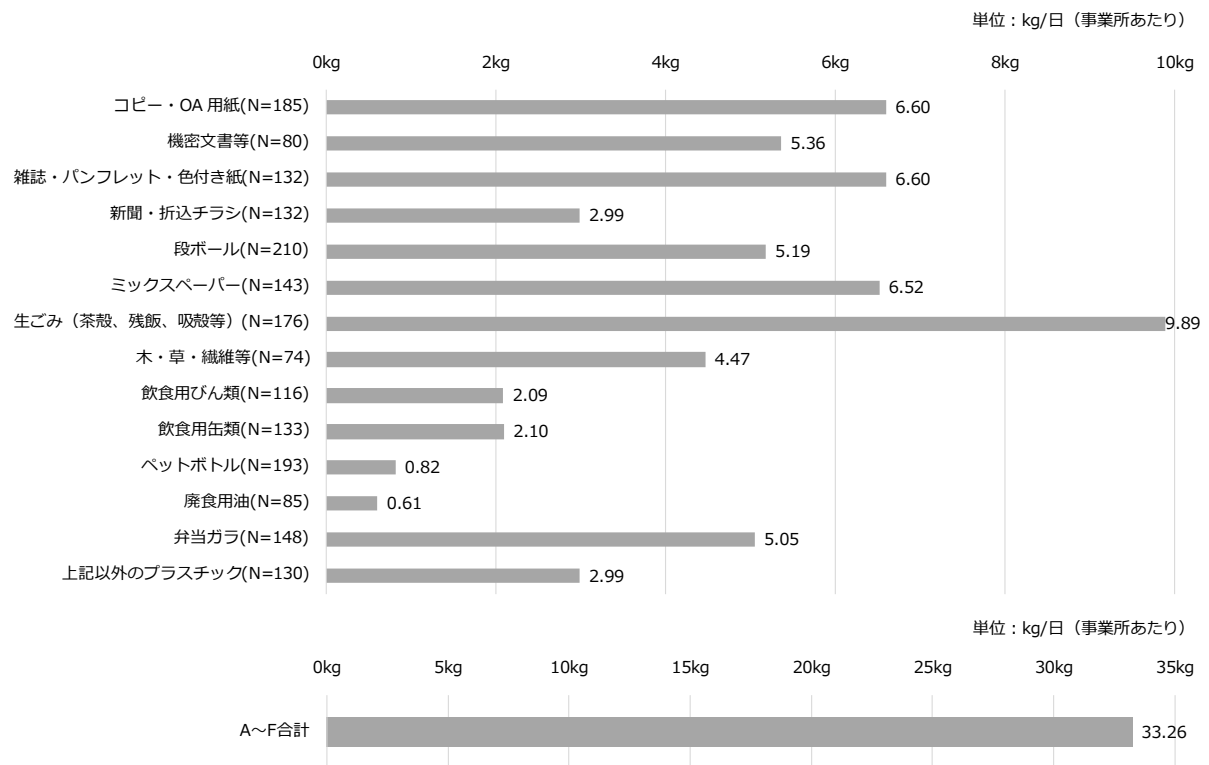
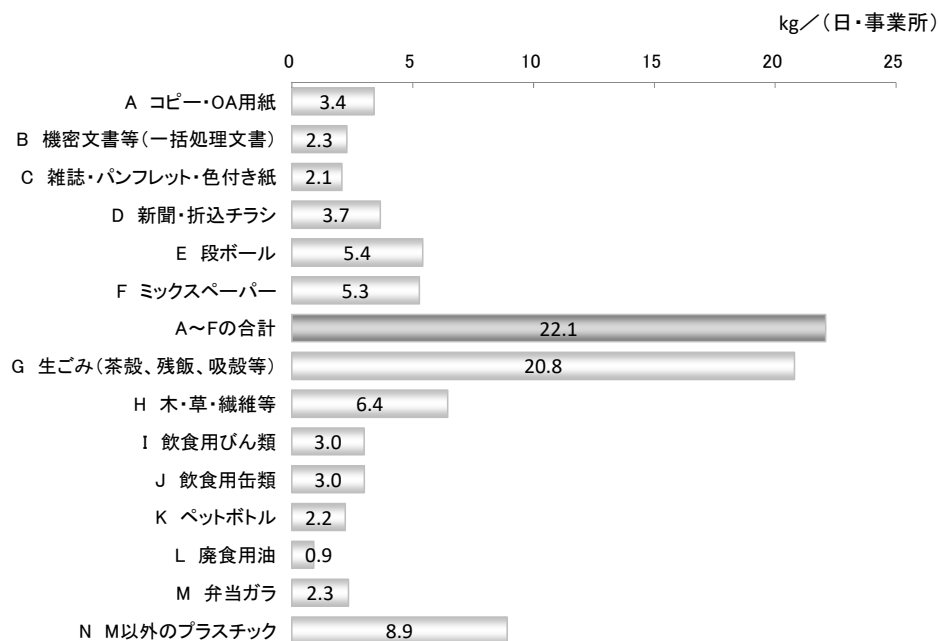
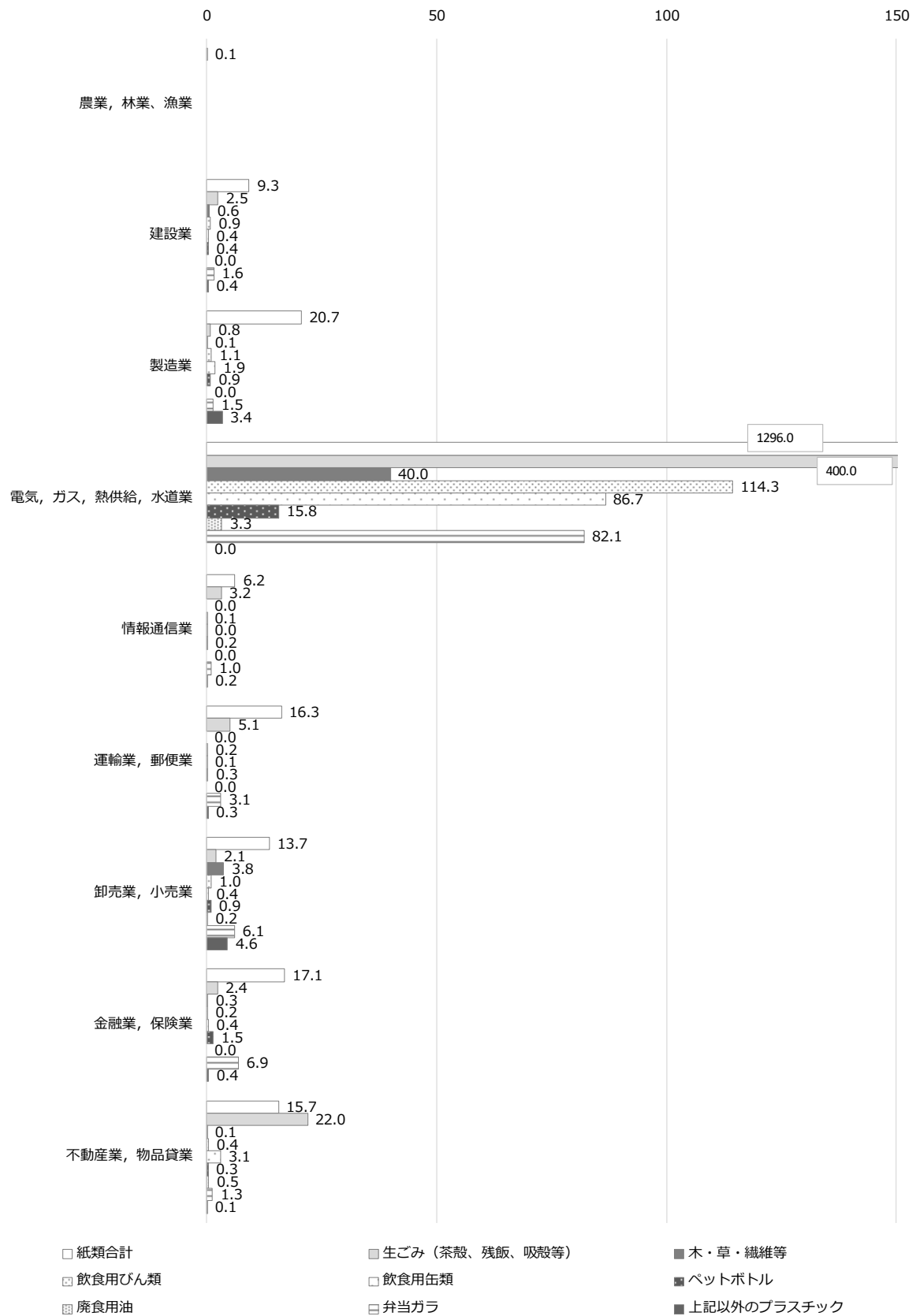


図 2-7 資源、ごみの排出量【問 10】

【参考】平成 28 年度調査結果

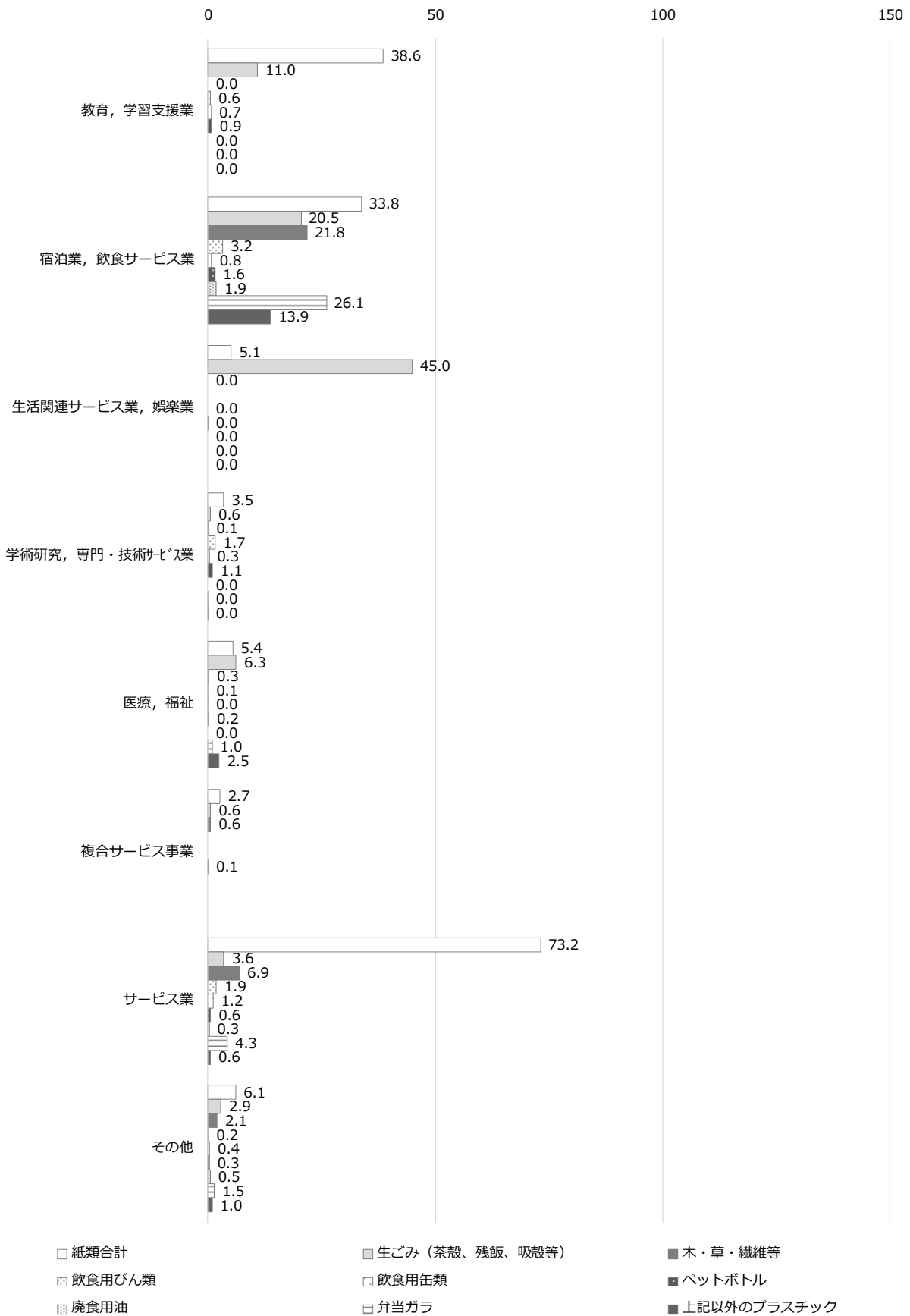


【参考】業種別クロス集計結果（1/2）

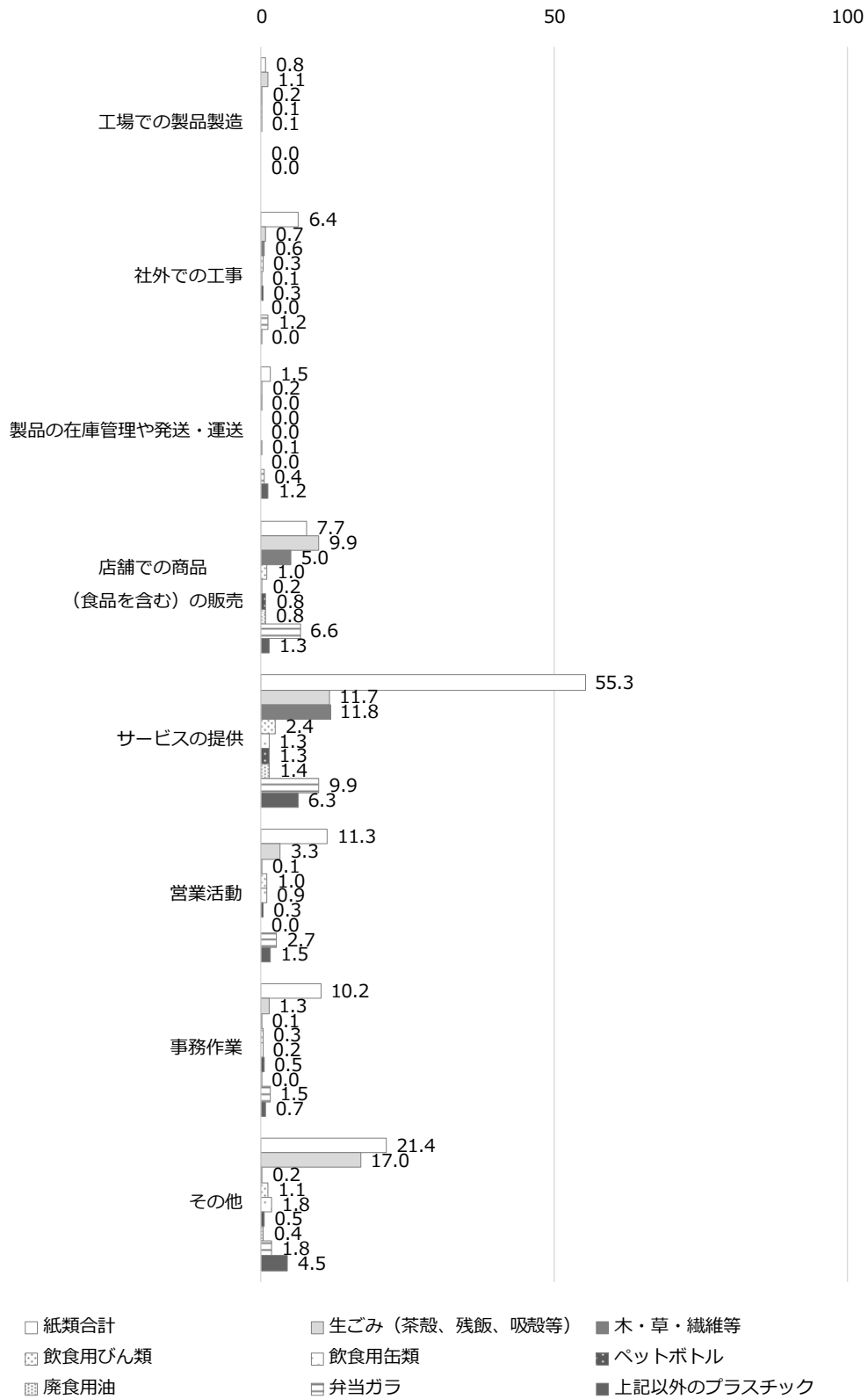


※「電気、ガス、熱供給、水道業」において大規模事業者がいたため、他の業種よりも数値が大きくなっている。

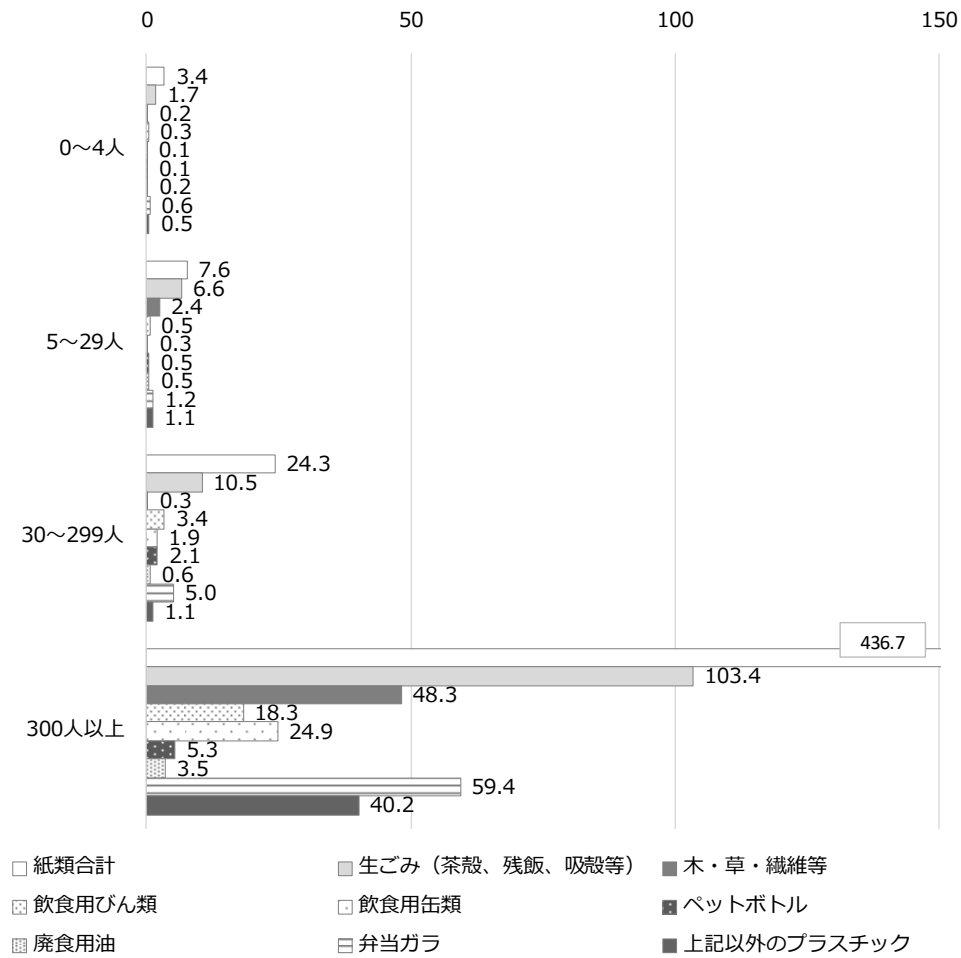
【参考】業種別クロス集計結果（2/2）



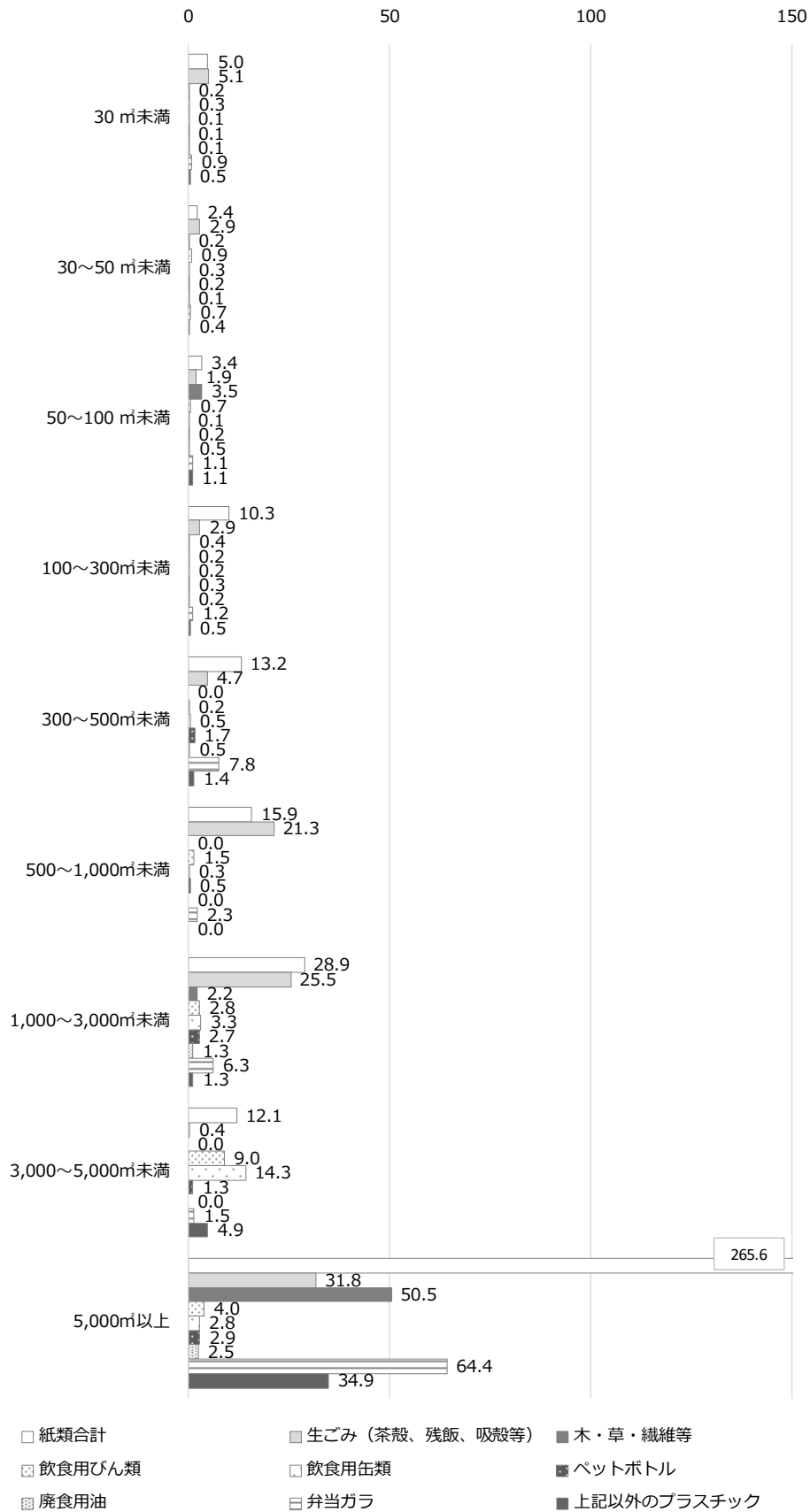
【参考】形態別クロス集計結果



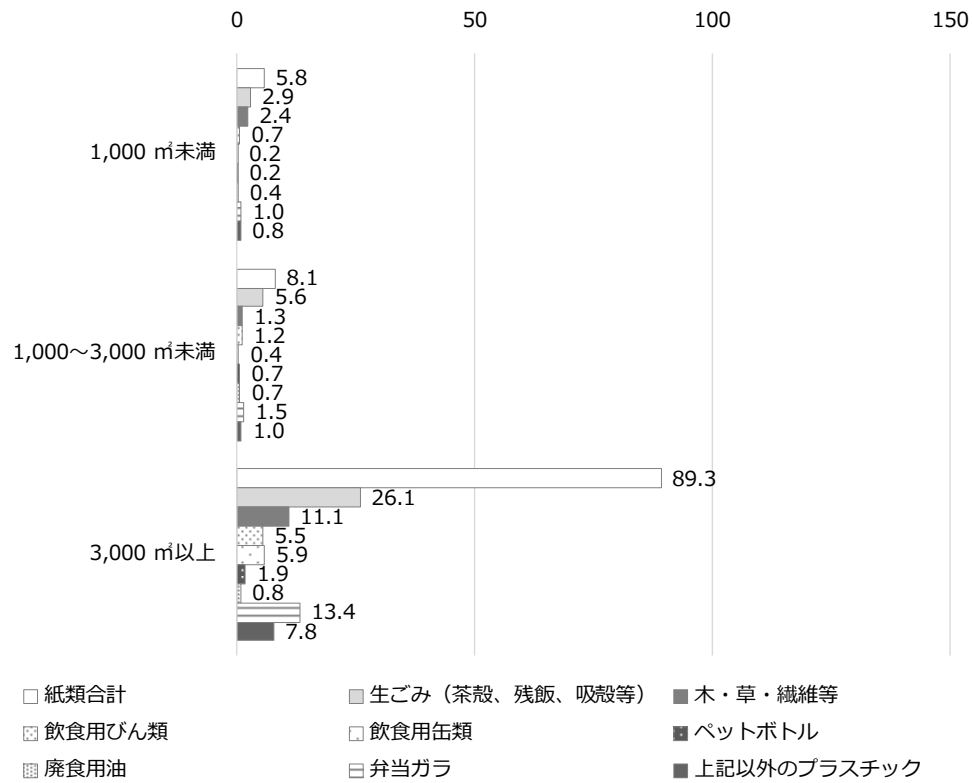
【参考】従業員数別クロス集計結果



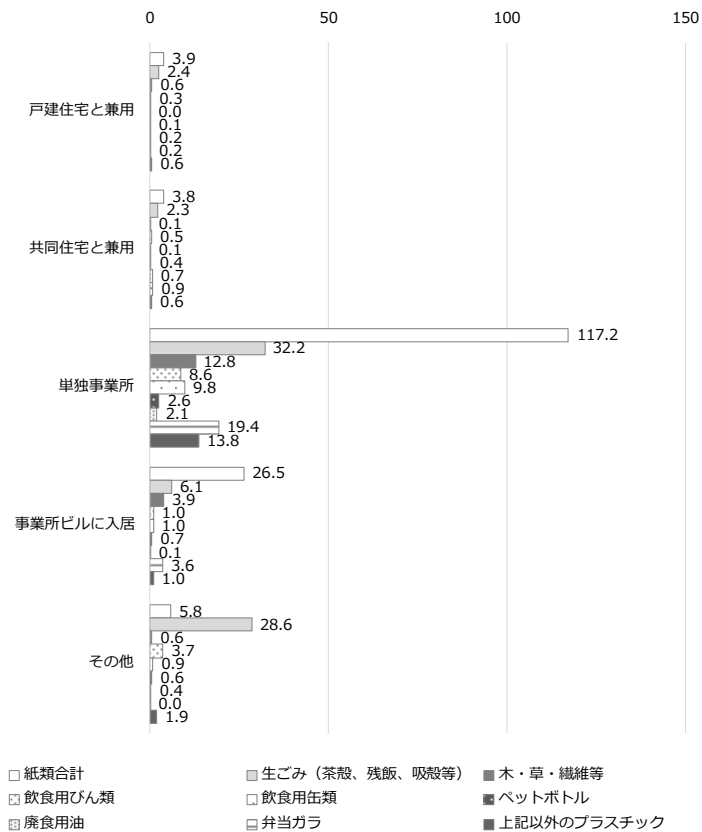
【参考】事業所面積別クロス集計結果



【参考】建物面積別クロス集計結果

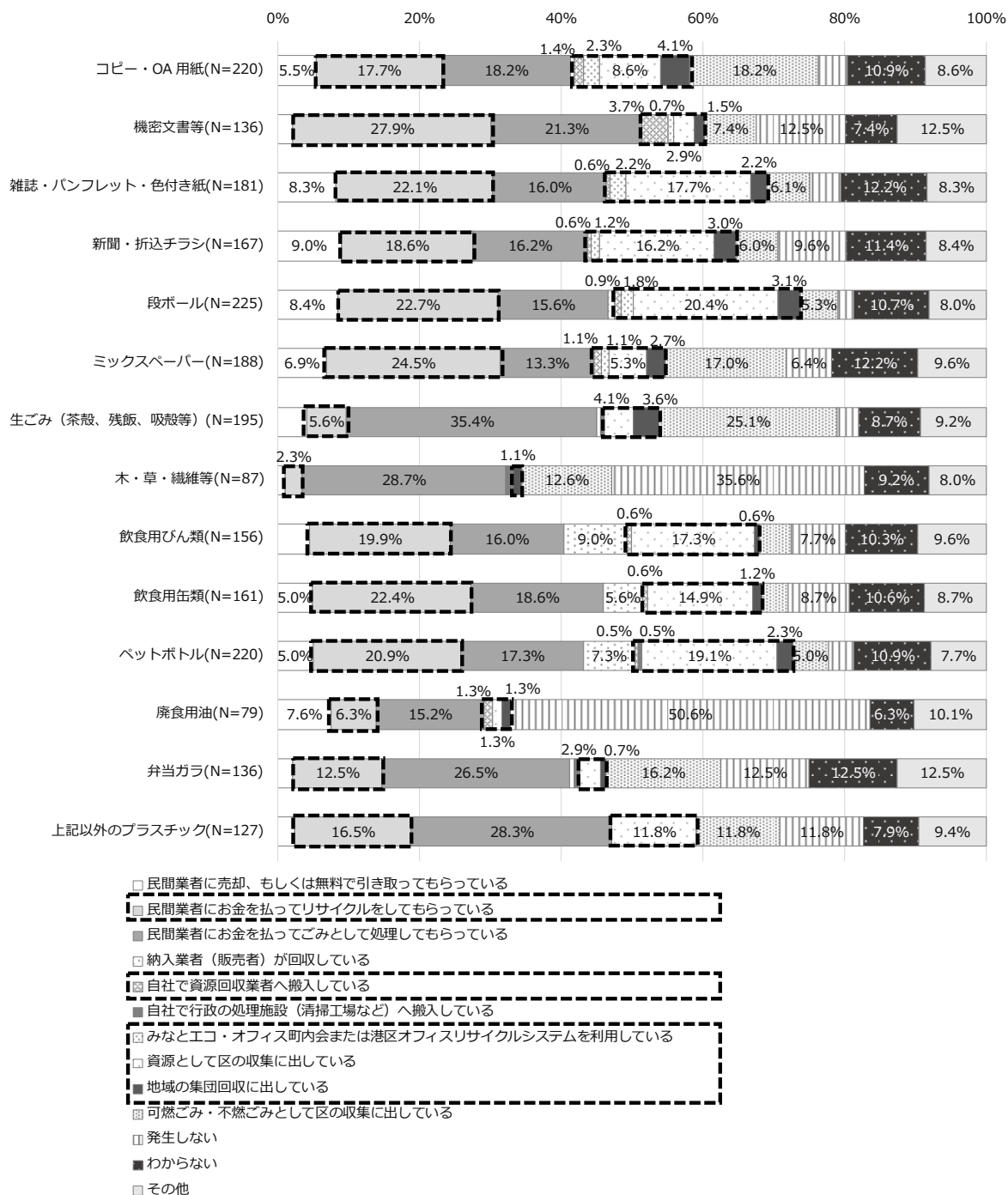


【参考】建物形態別クロス集計結果



資源化の割合が比較的高かったのは、「段ボール」約 48%、「雑誌・パンフレット・色付き紙」約 44%、「ペットボトル」約 43%でした。

一方で、「生ごみ」、「木・草・繊維等」、「廃食用油」も資源化の割合が比較的低い結果となりました。



※点線の囲いが資源化をしている旨の回答

図 2-8 資源、ごみの処理状況【問 10】

キ ミックスペーパーをリサイクルしていない理由

「ミックスペーパーがリサイクルできることを知らなかったから」が約 45%となりました。

「その他」の回答が約 36%あり、「ごく少量しか発生しない」、「入居しているビルが回収をしているので関知してない」等の回答がありました。

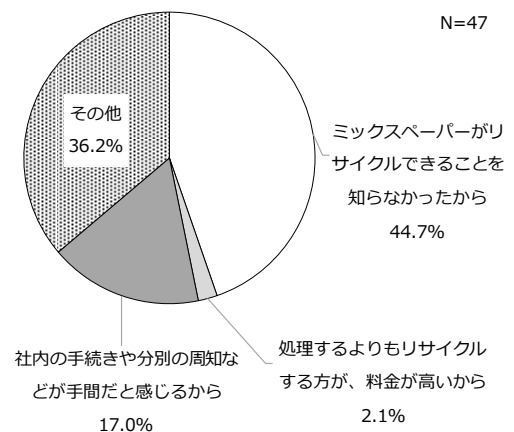


図 2-9 ミックスペーパーをリサイクルしていない理由【問 10-1】

ク 紙類の減量・再資源化への考え

「リサイクル方法や業者等の情報があり、取り組みやすい環境があれば、再資源化に取り組みたい」の回答が約 38%となりました。

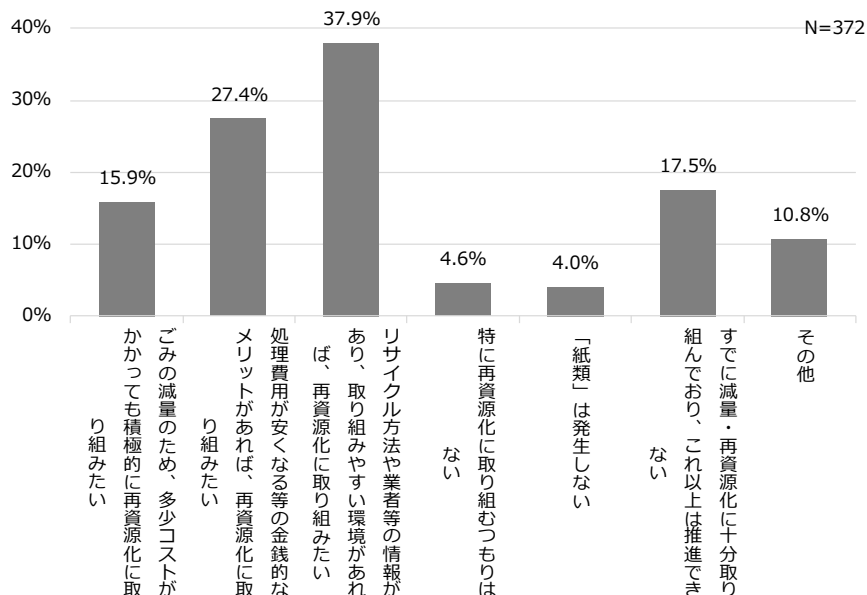
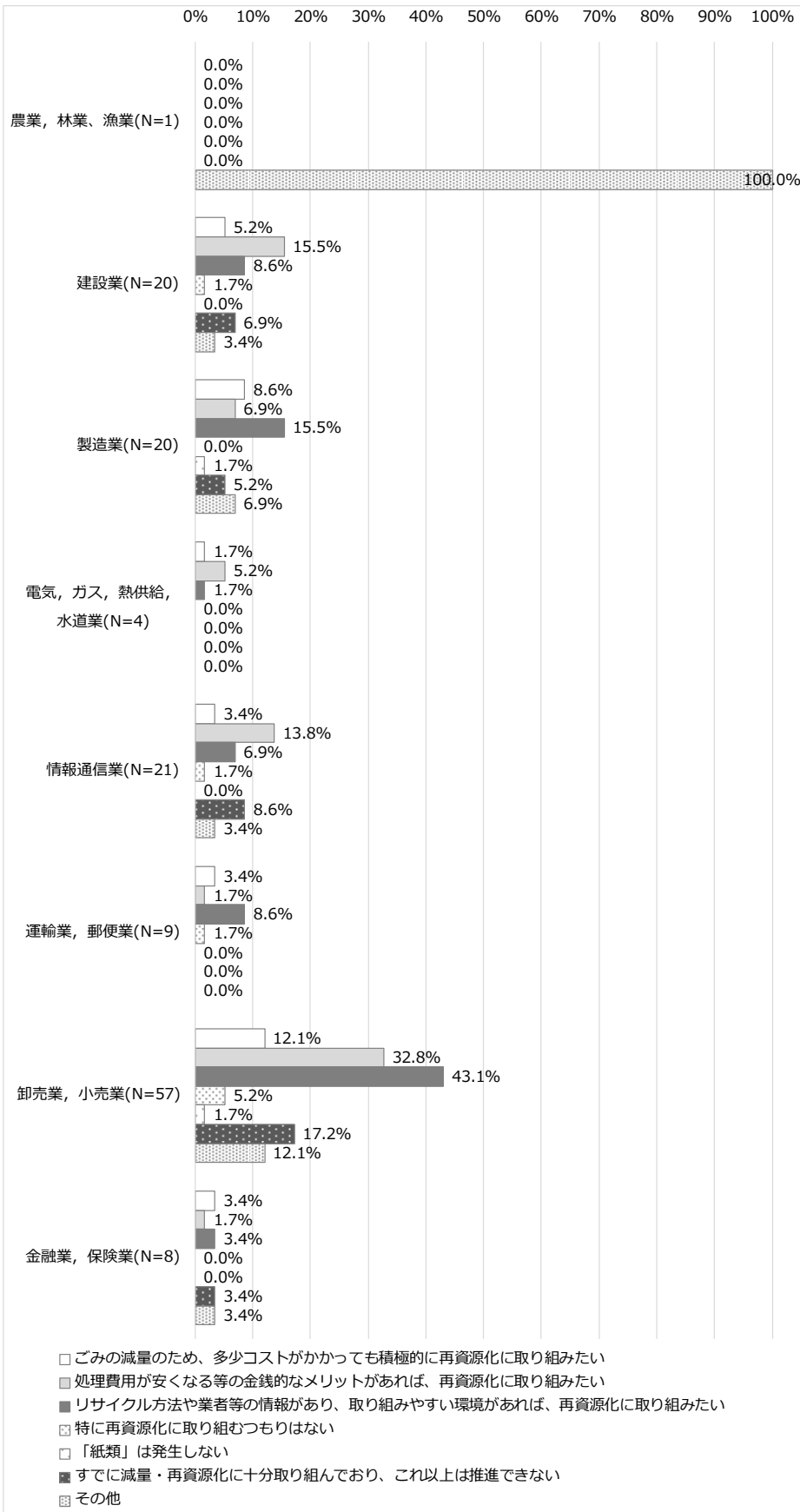
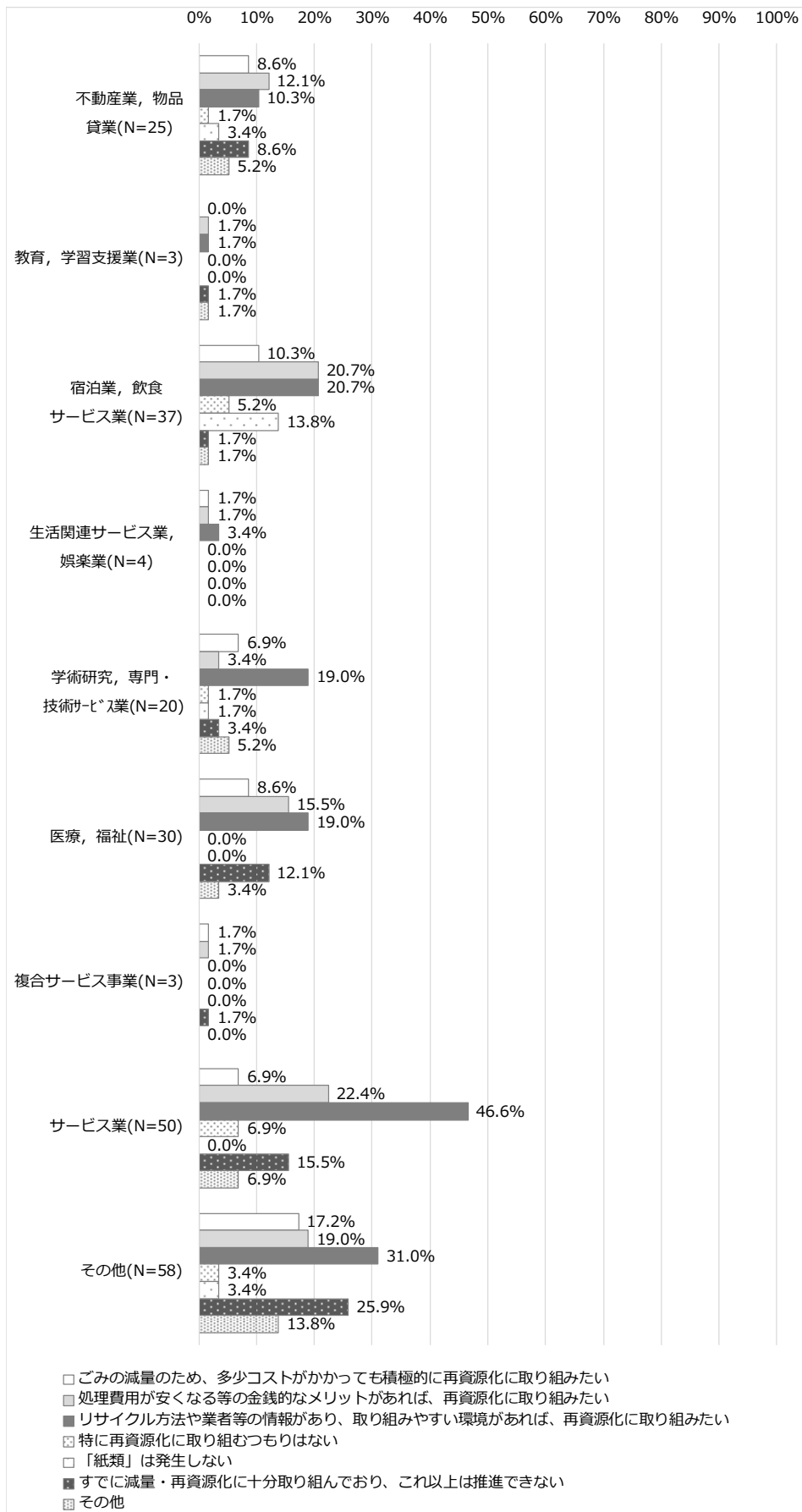


図 2-10 紙類の減量、再資源化【問 11】

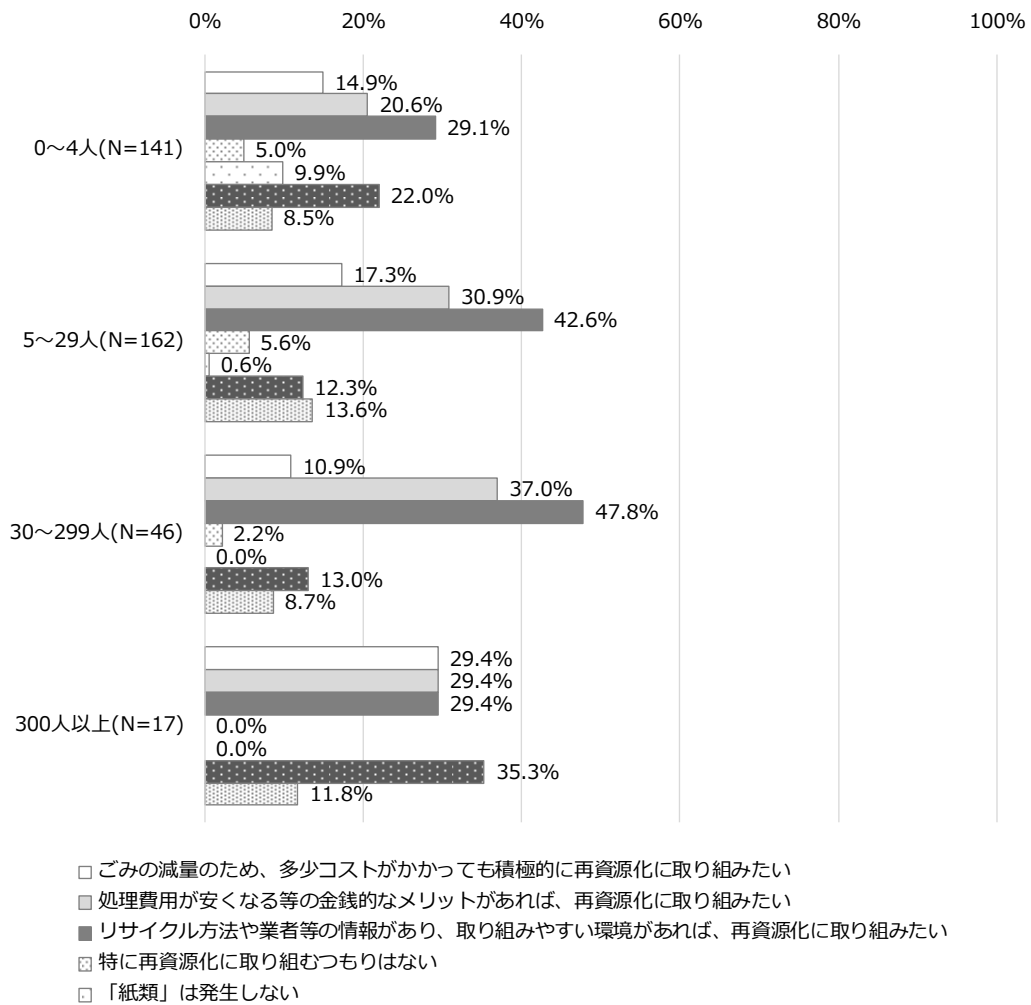
【参考】業種別クロス集計結果（1/2）



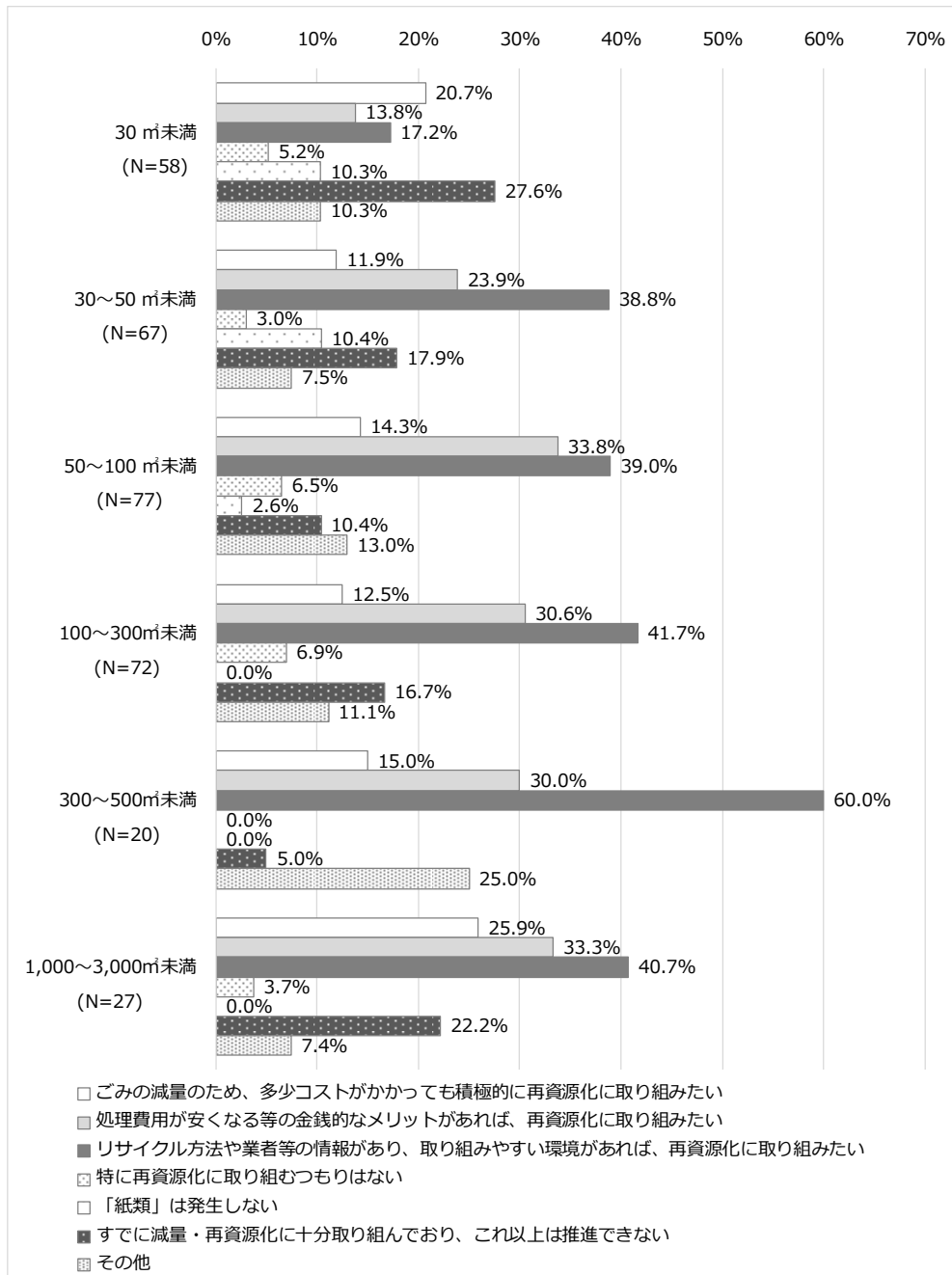
【参考】業種別クロス集計結果（2/2）



【参考】従業員数別クロス集計結果



【参考】事業所延床面積別クロス集計結果



ケ 一か月あたりの一般廃棄物にかかるごみ処理料金

「わからない」の回答が約 35%となりました。前回の調査結果と比較すると「わからない」の回答が約 10%増加しています。

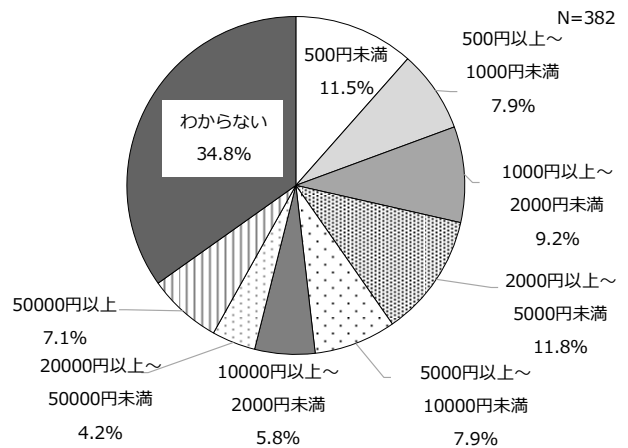
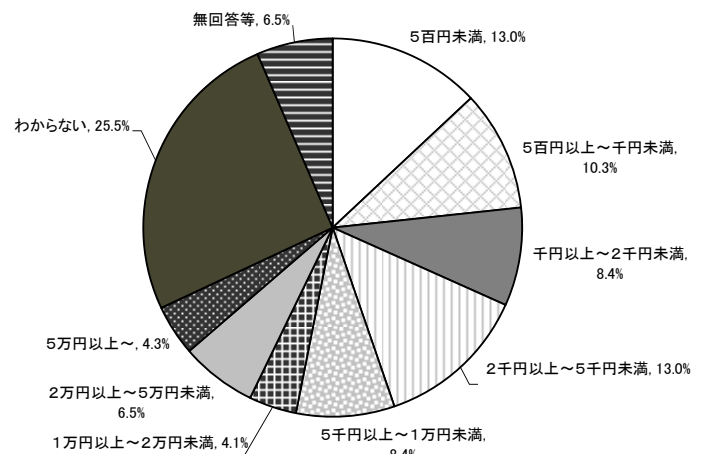
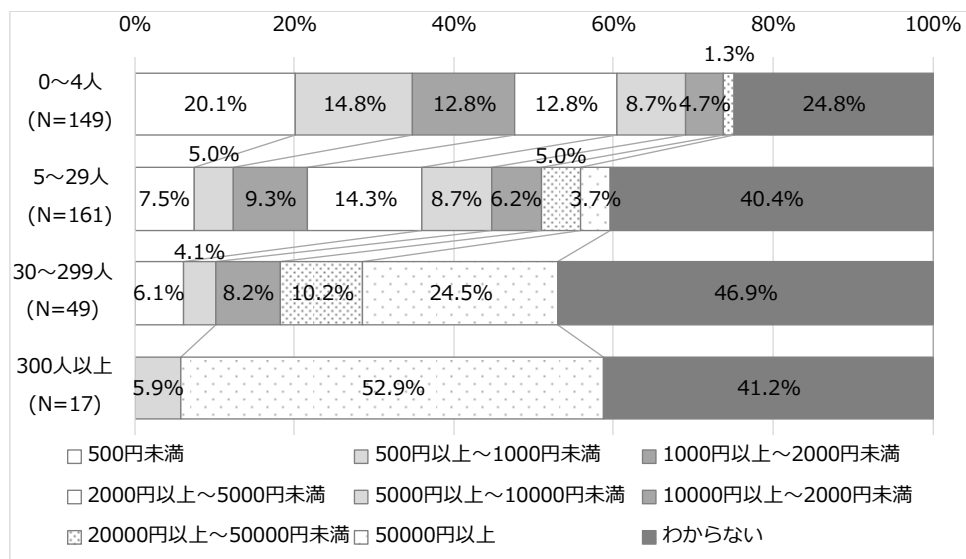


図 2-11 一か月あたりの一般廃棄物にかかるごみ処理料金【問 12】

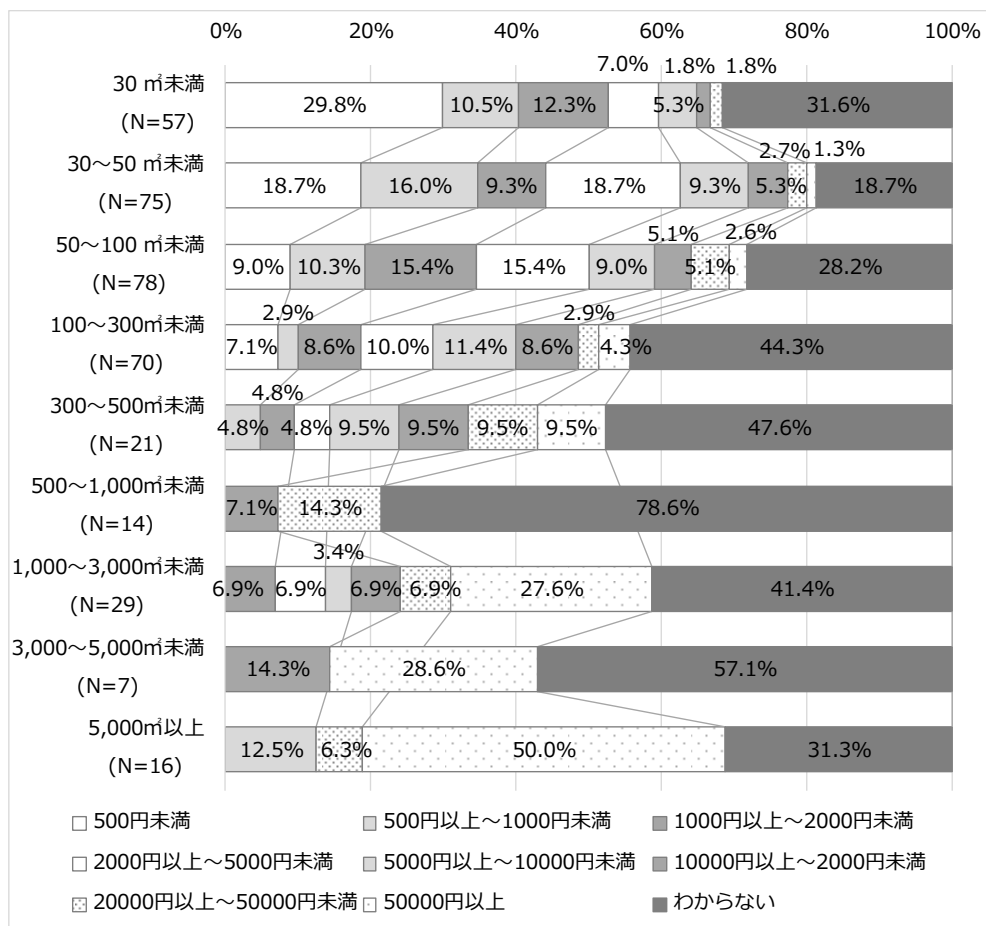
【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】従業員数別クロス集計結果



【参考】事業所延床面積別クロス集計結果



コ 2017 年度と比較した、2018 年度の全体のごみ量の比較

「変わらない」の回答が約 53%となり、「減った」の回答が約 21%ありました。

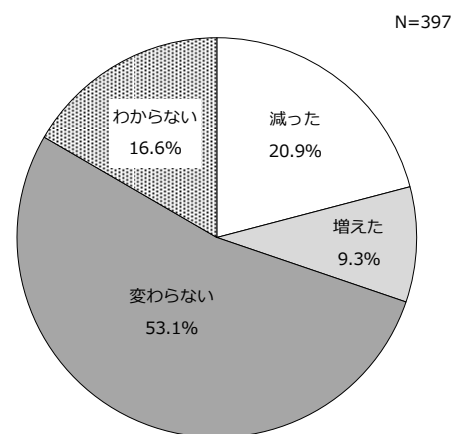
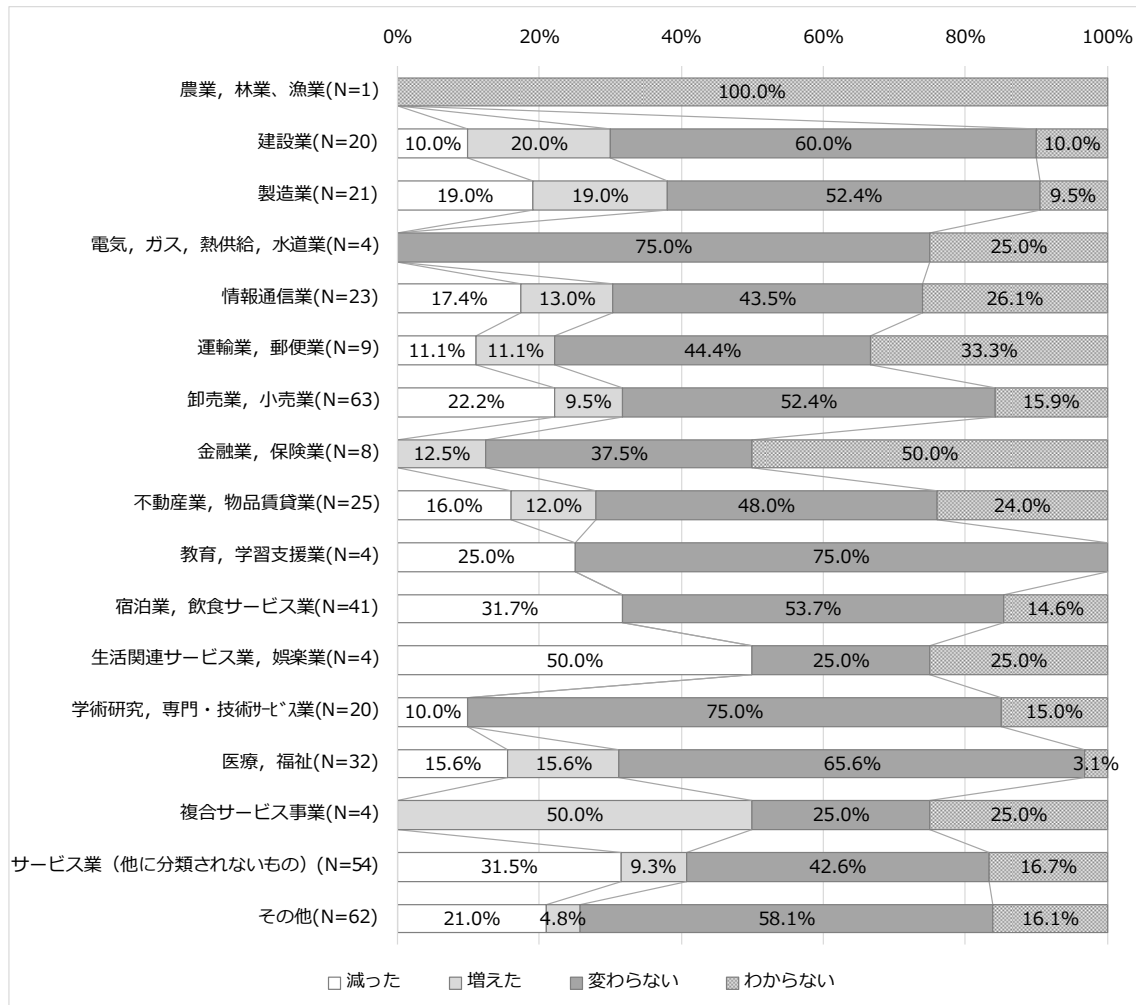
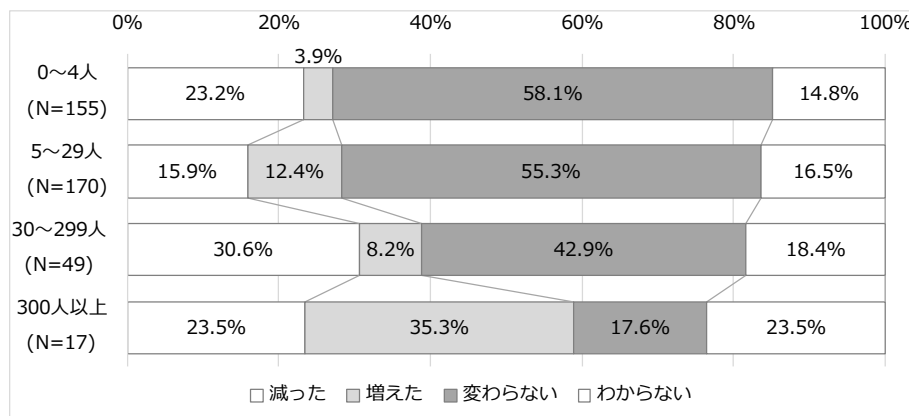


図 2-12 ごみ量の前年との比較【問 13】

【参考】業種別クロス集計



【参考】従業員数別クロス集計



サ リサイクルの担当者、ごみ管理の担当者の決定の有無

「決めていない」と回答した事業者が約 62%となりました。

前回の調査結果と比較すると、「決めている」の回答者が減少しました。

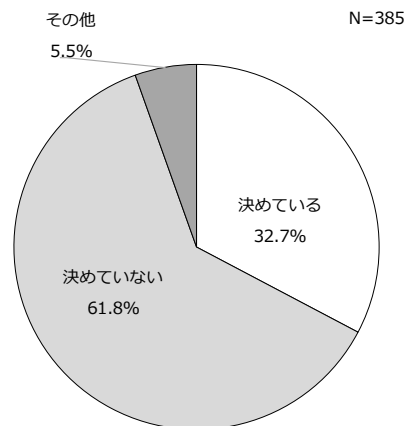
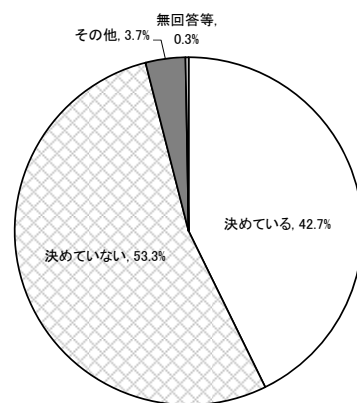


図 2-13 リサイクルの担当者等の決定の有無【問 14】

【参考】平成 28 年度調査結果



シ 事業系ごみを家庭系ごみと分けて処理する必要があることについての認知状況

「家から出るごみ・資源とも、知っている」の回答が約 76%となりました。

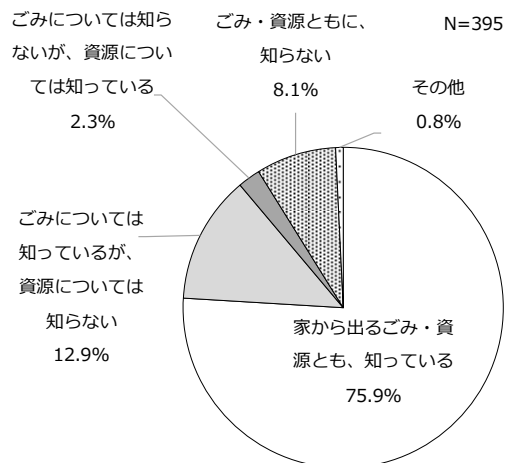
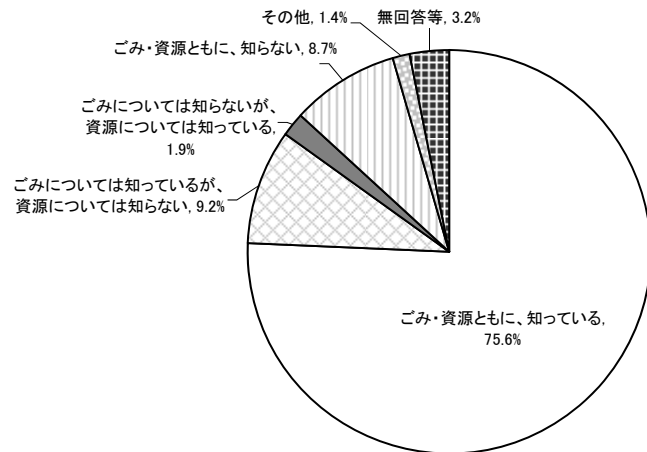
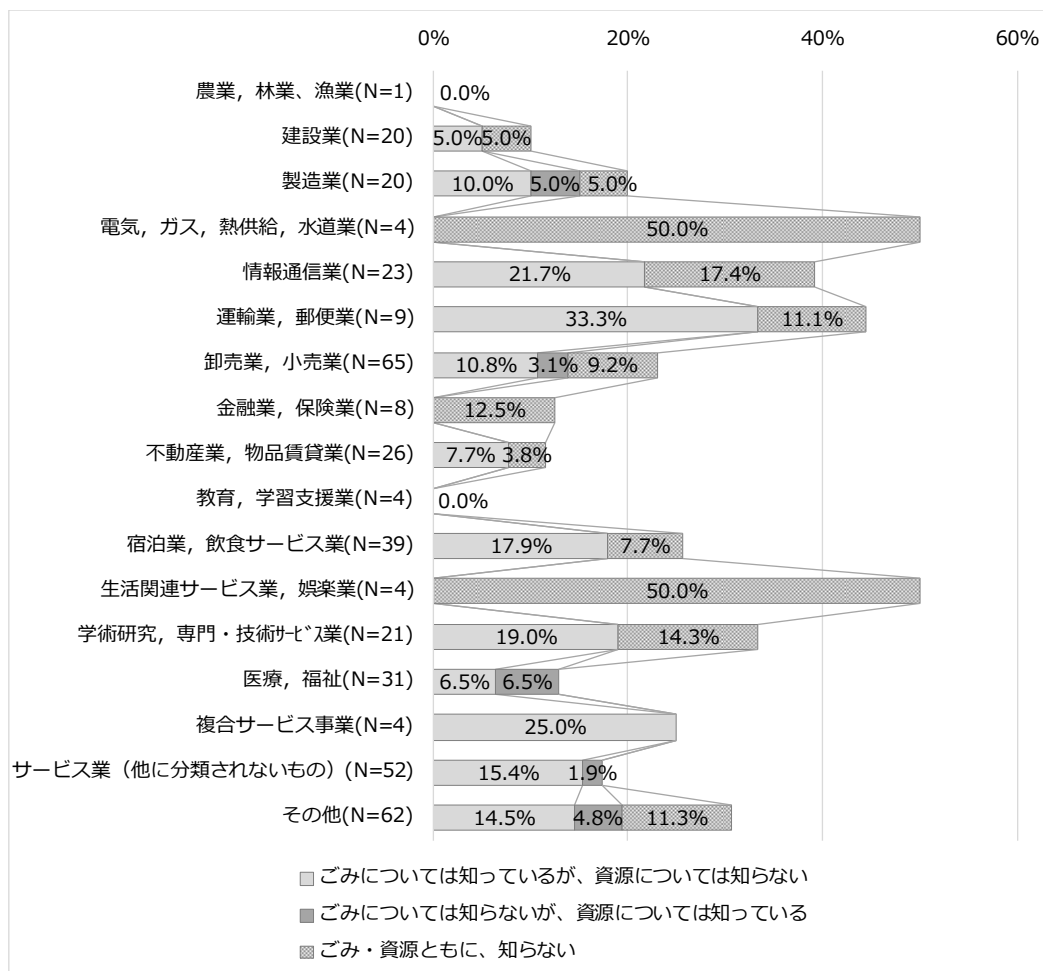


図 2-14 事業系ごみの排出ルール【問 15】

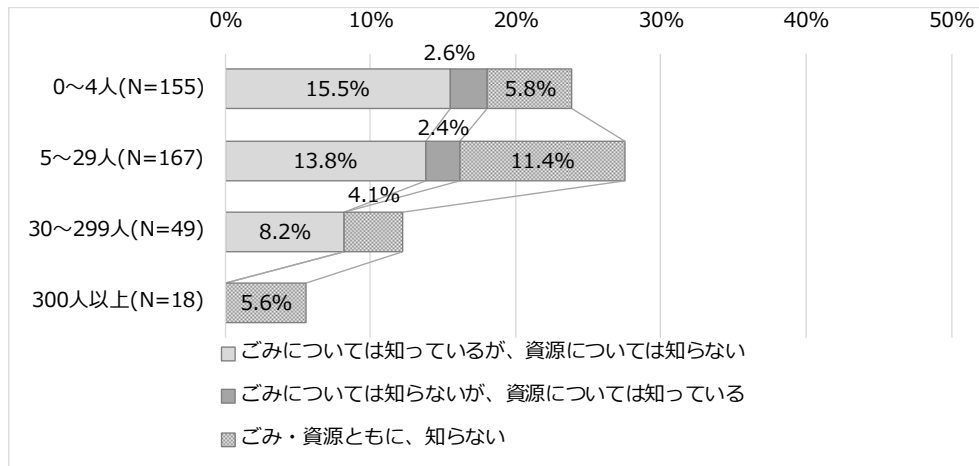
【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】業種別クロス集計結果（「ごみについては知っているが、資源については知らない」、「ごみについては知らないが、資源については知っている」、「ごみ・資源ともに、知らない」のみ）



【参考】従業員数別クロス集計結果（「ごみについては知っているが、資源については知らない」、「ごみについては知らないが、資源については知っている」、「ごみ・資源ともに、知らない」のみ）



ス 「自己処理責任」という言葉の認知度

「知らなかった」の回答が約 62%となりました。
 前回の調査結果と比較すると、「知らなかった」の回答が約 10%増加しました。

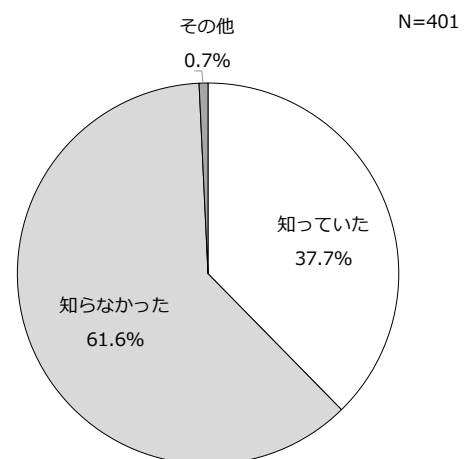
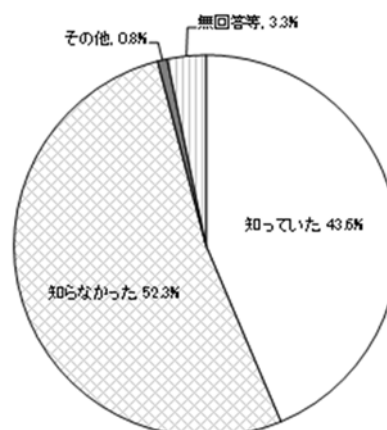
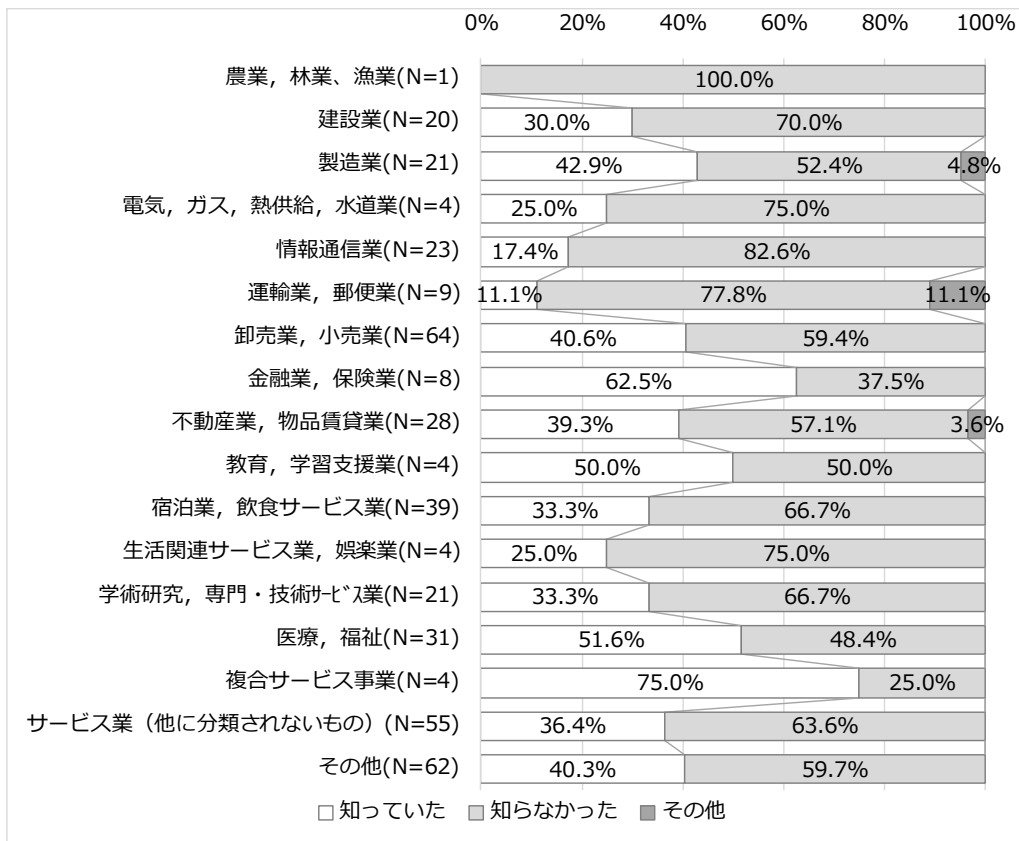


図 2-15 「自己処理責任の認知度」【問 16】

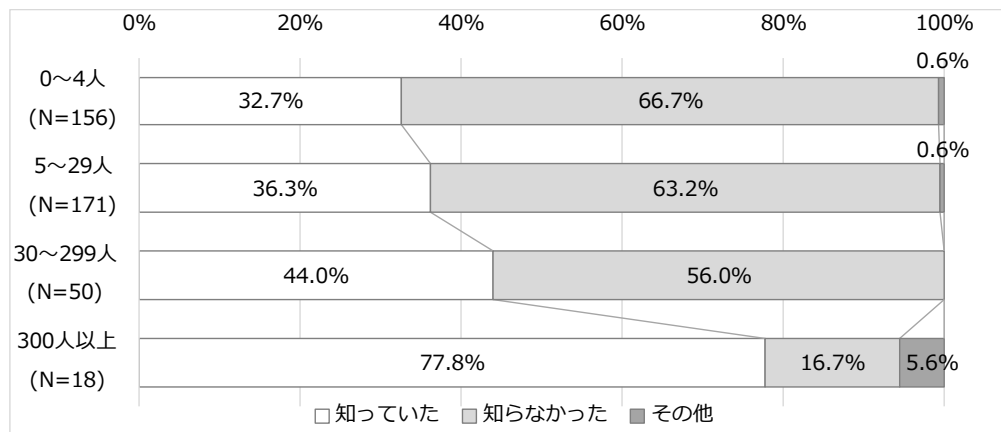
【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】業種別クロス集計結果



【参考】従業員数別クロス集計



セ 【商品を販売している店舗のみ】レジ袋等の削減に関する取組状況

「特に何もしていない」、「レジ袋・紙袋等が必要か、声をかけている」の回答が約 35%となりました。

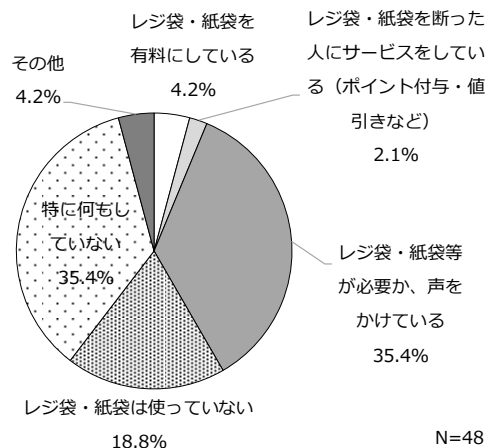


図 2-16 レジ袋等削減に関する取組【問 17】

ソ 【商品を販売している店舗のみ】レジ袋の価格帯

セで「レジ袋・紙袋を有料にしている」と回答した事業者について、「4～10 円」の回答が 100%となりました。

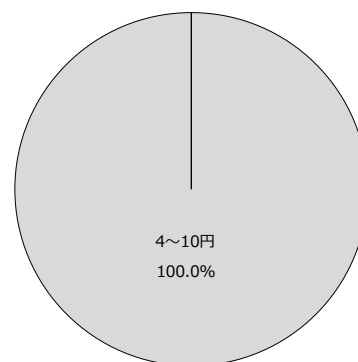


図 2-17 レジ袋の価格帯【問 17-1】

タ 【商品を販売している店舗のみ】プラスチックレジ袋の代替品の導入状況

「検討していない」が約 65%となりました。
一方で、「すでに代替素材の袋で実施済み」の回答が約 17%となりました。

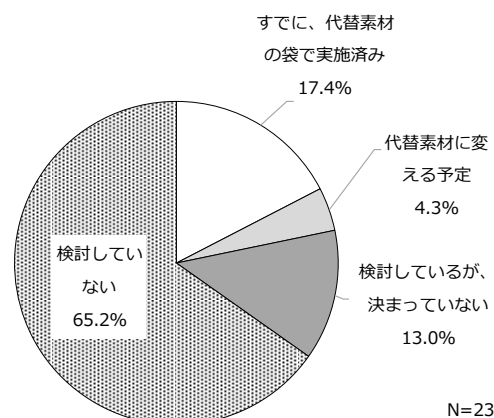
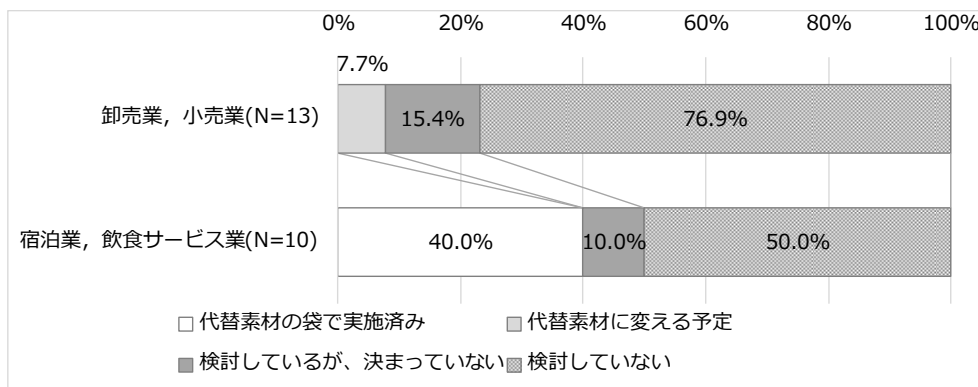


図 2-18 プラスチックレジ袋の代替品の導入状況【問 17-2】

【参考】業種別クロス集計



チ 【商品を販売している店舗のみ】プラスチックレジ袋の代替品としてどのような素材を使用しているか

N=3

タで「すでに代替素材の袋で実施済み」と回答した事業者について、「紙袋」の回答が 100%となりました。

※一部無回答があるため、回答数及びパーセンテージが一致していません。

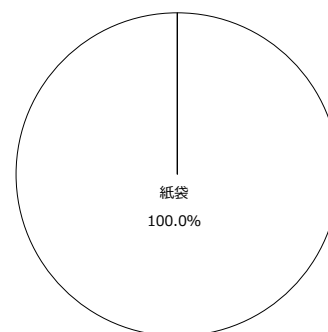


図 2-19 代替品の素材【問 17-3】

ツ 【商品を販売している店舗のみ】事業所における包装について

「現在の包装は必要なものである」の回答が約 57%となりました。

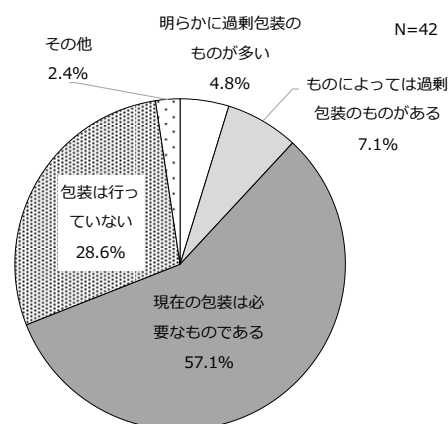
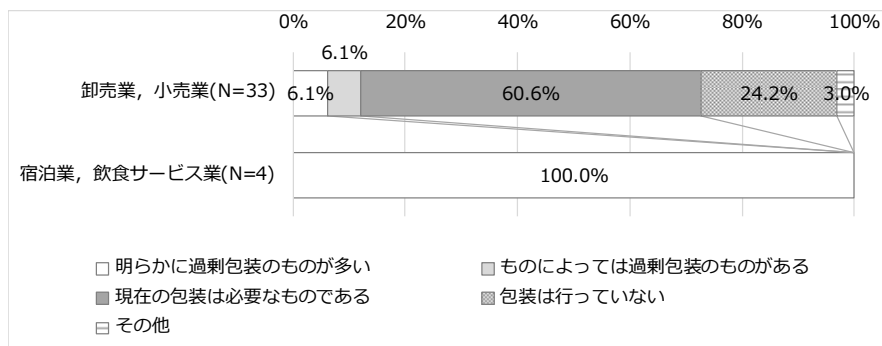


図 2-20 事業所における包装【問 18】

【参考】業種別クロス集計



テ【商品を販売している店舗のみ】消費者からの要望時の簡易包装への取組状況

セにおいて「レジ袋・紙袋を有料にしている」、「断った人にポイント付与、値引きなどのサービスをしている」と回答した事業者のうち、「している」の回答が75%となりました。

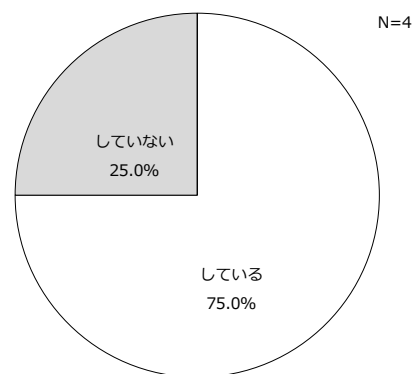


図 2-21 消費者からの要望時の簡易包装への取組状況【問 18-1】

ト【食品販売事業者のみ】食品ロスを発生させないための取組として、

「あらかじめ売り切れる量を予測し、販売することになっている」の回答が約84%となりました。

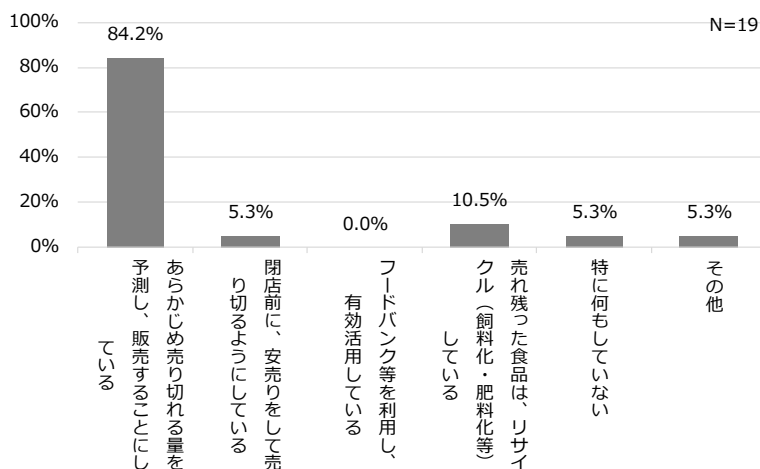


図 2-22 食品ロスを発生させないための取組【問 19】

ナ【食品販売事業者のみ】今後食品ロスを削減するために有効と思うこと

「特になし」の回答が約 58%となりました。

一方で、「余った食材の活用ルートの拡充」が約 31%となりました。

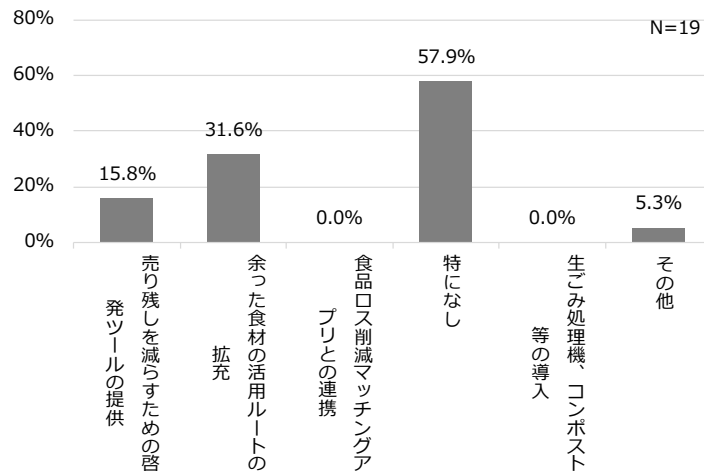
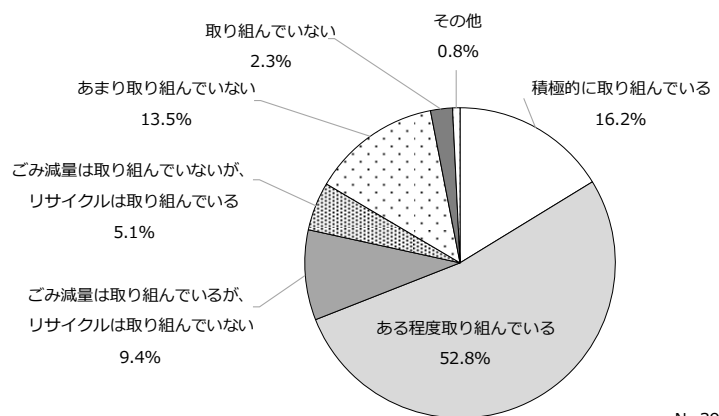


図 2-23 食品ロスを削減するために有効と思うもの【問 20】

(3) 関心・取組状況について

ア ごみ減量、リサイクルに積極的に取り組んでいると思うか

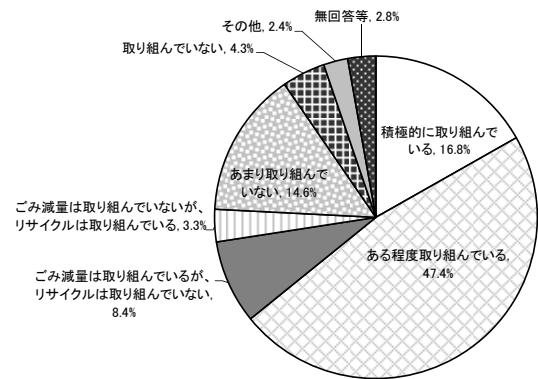
「積極的に取り組んでいる」、「ある程度積極的に取り組んでいる」の回答が約 7 割となりました。



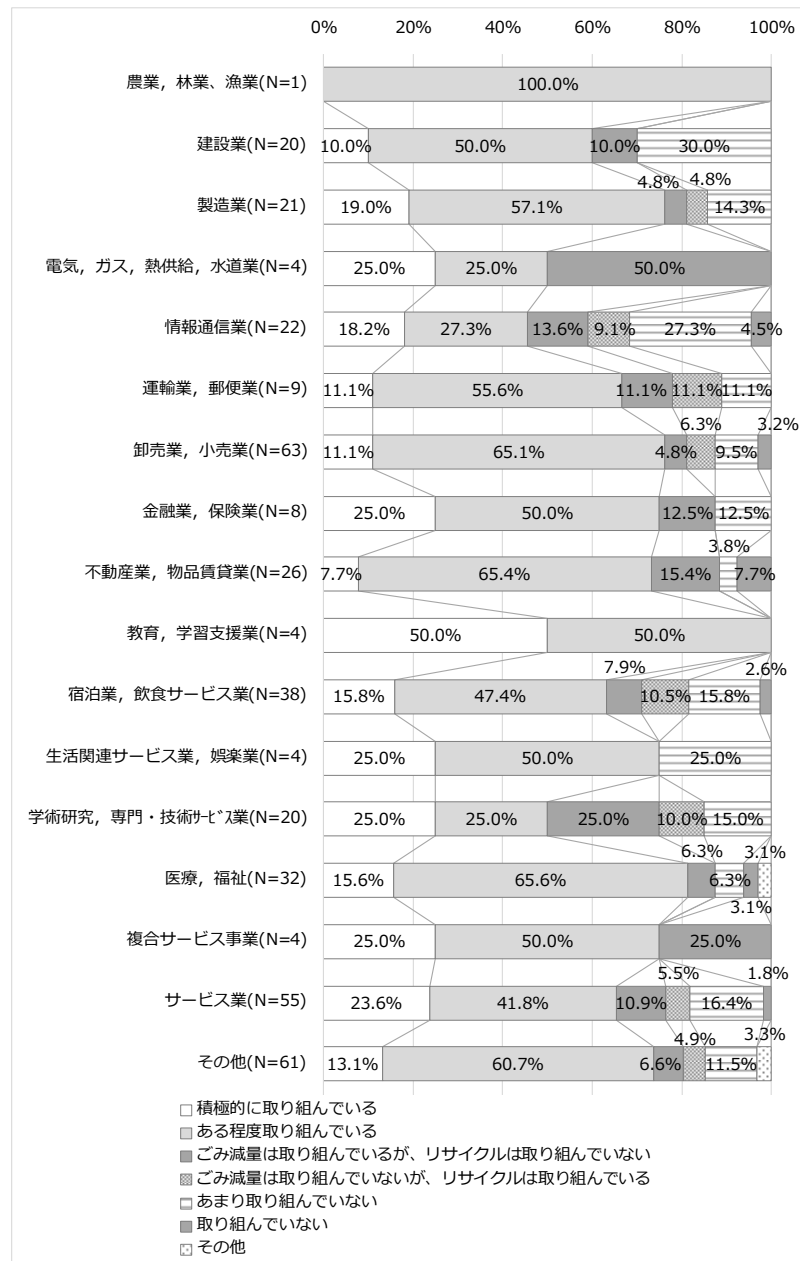
N=394

図 2-24 ごみ減量、リサイクルの取組状況【問 21】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】建物形態別クロス集計



イ 取組のきっかけ

アで「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」、「ごみの減量に取り組んでいるが、リサイクルは取り組んでいない」、「ごみの減量に取り組んでいないが、リサイクルは取り組んでいる」と回答した事業者について、「会社の社会的責任として」の回答が約 68%となりました。

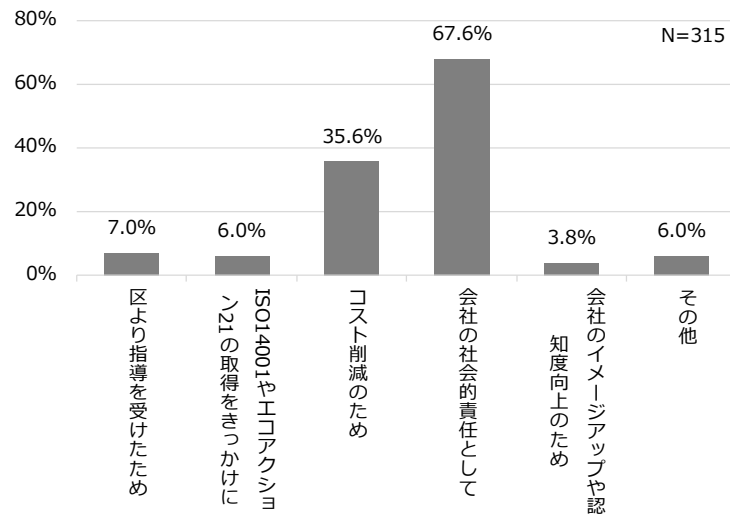
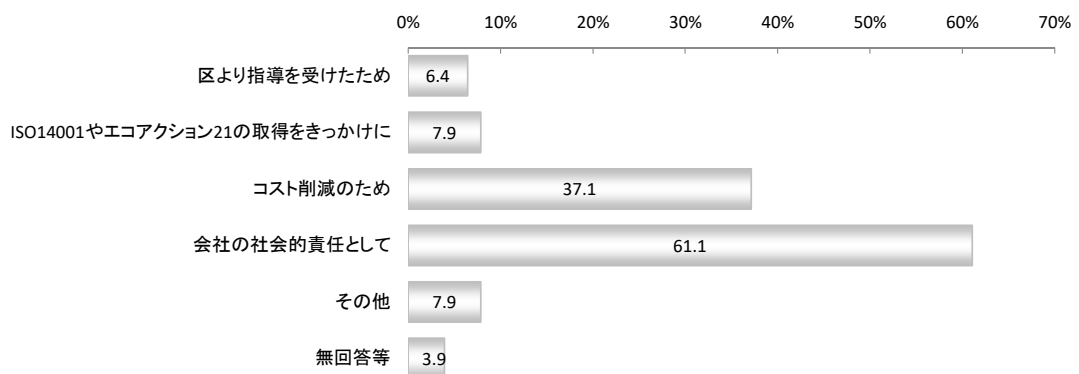
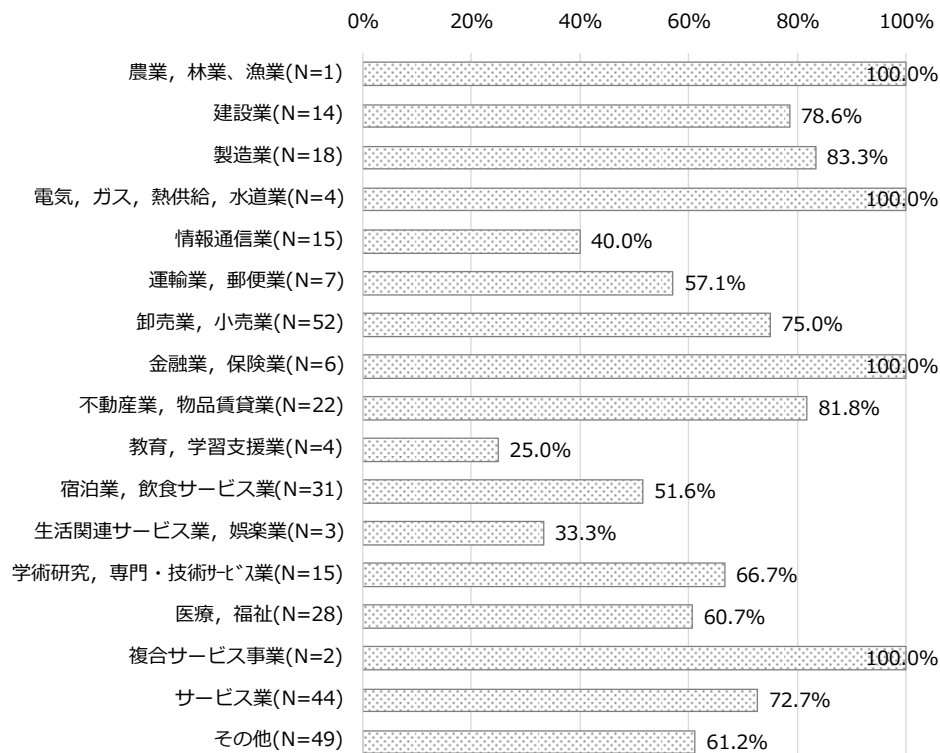


図 2-25 取組のきっかけ【問 21-1】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】業種別クロス集計（「会社の社会的責任として」における回答割合）



ウ ごみ減量、リサイクルを進める上での課題

アで「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」と回答した事業者において、「どのように減量・リサイクルすればよいかわからない」の回答が約 36%となりました。

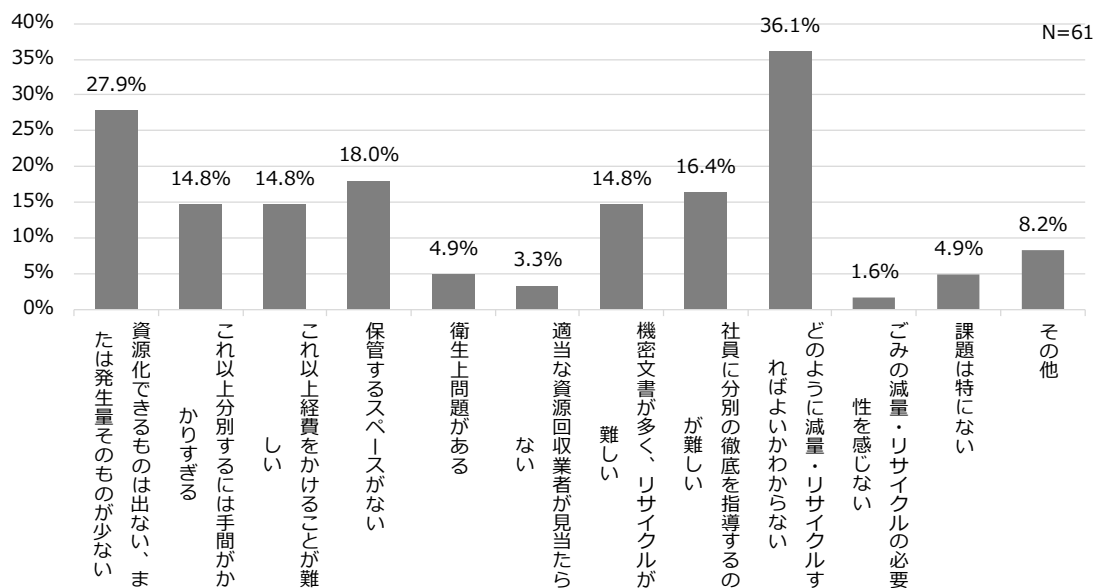
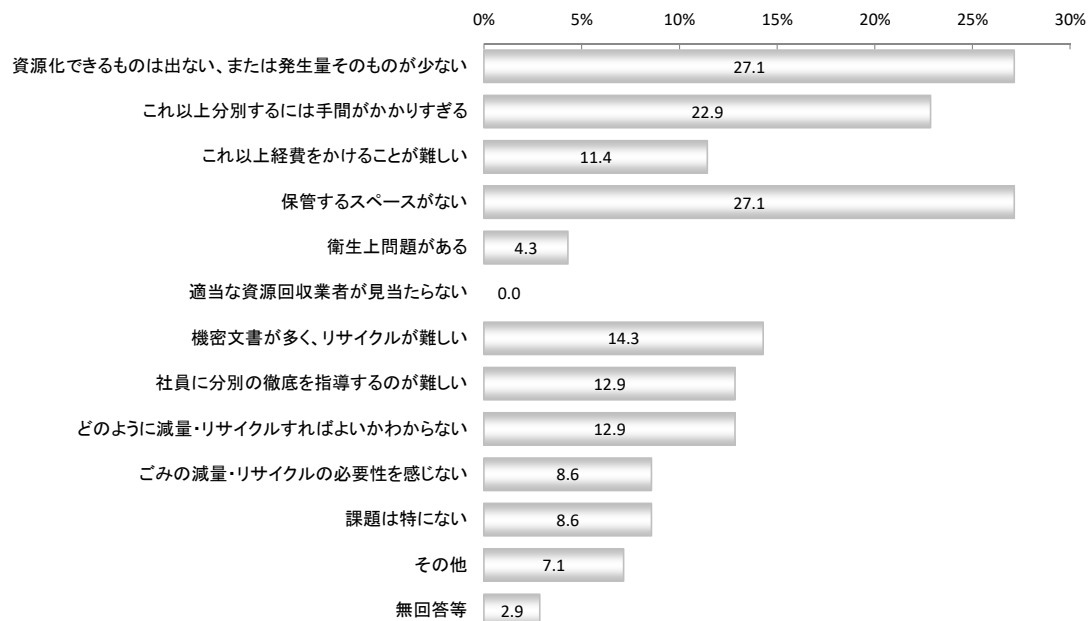


図 2-26 ごみ減量、リサイクルを進める上での課題【問 21-2】

【参考】平成 28 年度調査結果



エ ごみの最終処分場の状況についての認知度

「知らなかった」が約 39%の回答となりました。
前回の調査結果と比較すると「知らなかった」の回答が増加しました。

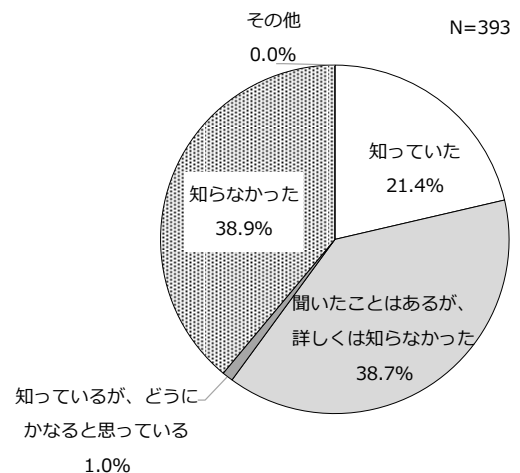
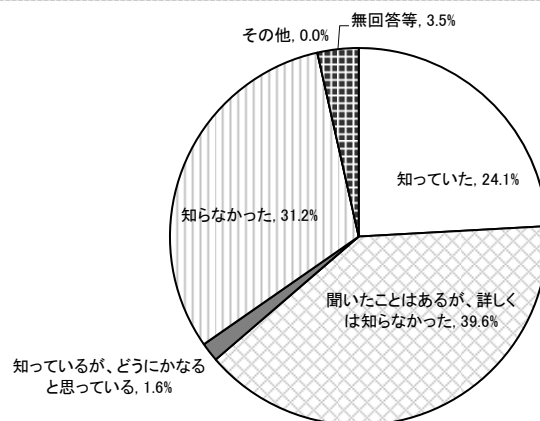


図 2-27 最終処分場の認知度【問 22】

【参考】平成 28 年度調査結果



オ 【飲食店、宿泊施設のみ】食品廃棄物削減のため効果があると思う取組

「飲食メニューや調理方法の改善等による生ごみ発生量の削減」の回答が 59%となりました。

一方で、「わからない」の回答が約 10%ありました。

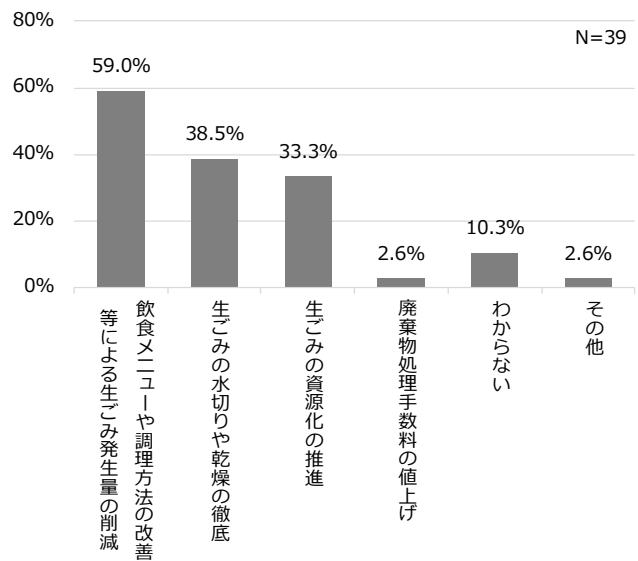
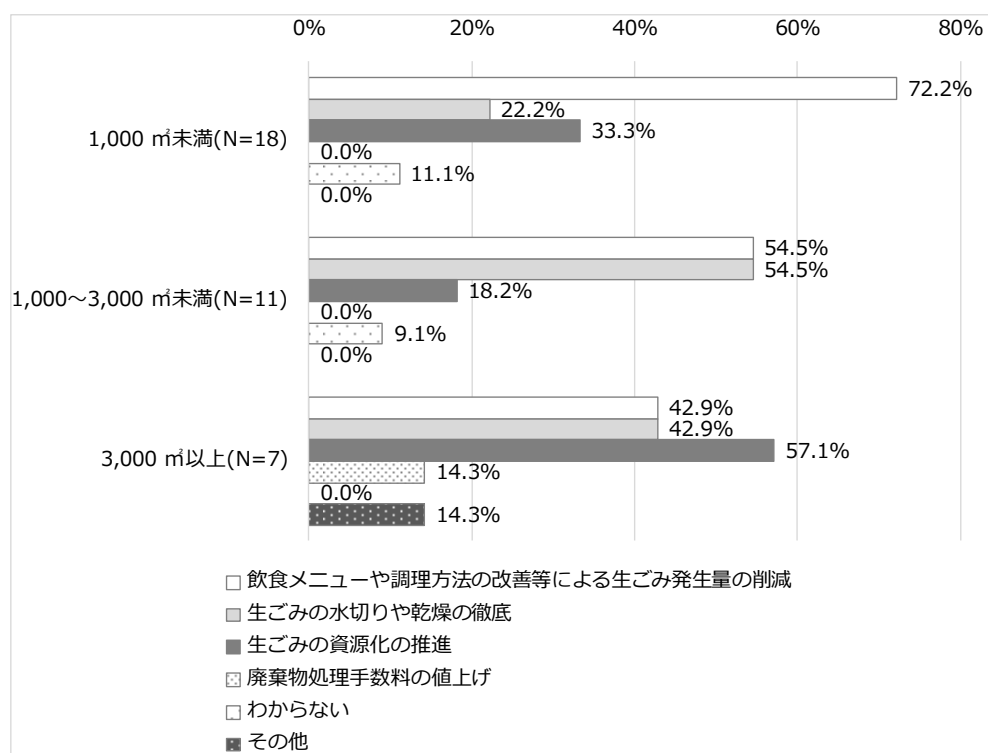


図 2-28 食品廃棄物削減のため効果があると思う取組【問 23】

【参考】建物延床面積別クロス集計



カ 【飲食店、宿泊施設のみ】食品廃棄物削減のために実施している取組

「特にない」の回答が約 52%となりました。

「その他」は、「お客様への声がけ」、「回数を分けて調理をしている」等の回答がありました。

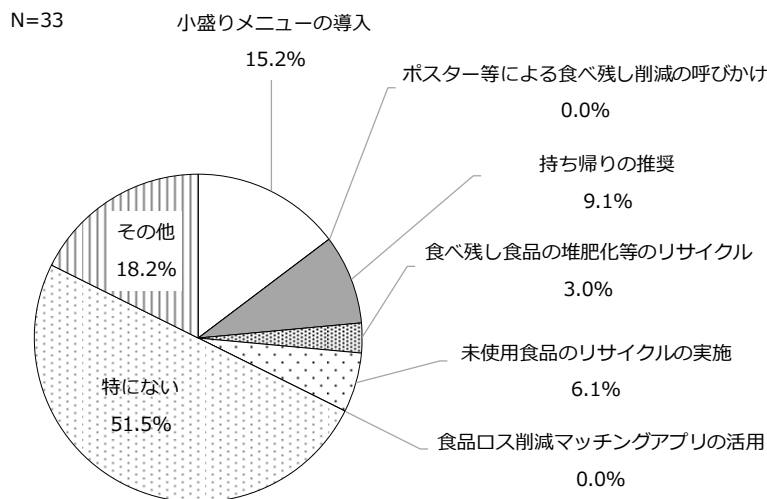


図 2-29 食品廃棄物削減のための取組【問 24】

キ 【飲食店、宿泊施設のみ】食べきり協力店制度の認知度

「知らない」という回答が約 92%となりました。

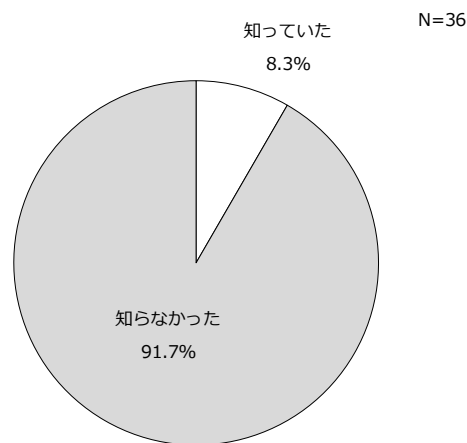


図 2-30 食べきり協力店の認知度【問 25】

ク 【飲食店、宿泊施設のみ】区が食べきり協力店に対して行ってほしい支援

「特に無い」の回答が約 51%となり、「ごみ減量方法の情報提供」が約 37%になりました。

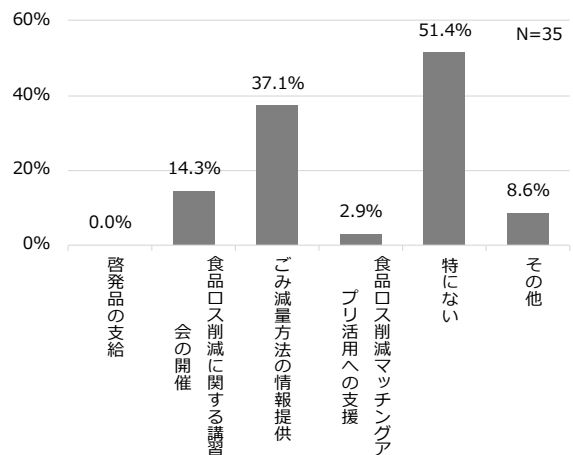


図 2-31 食べきり協力店に行ってほしい支援【問 26】

ケ 宴会での食べ残し削減のために実施している取組

「特に何もしていない」が約 47%となり、「注文を受ける際に、料理の量をあらかじめ伝えるようにしている」の回答が約 28%となりました。

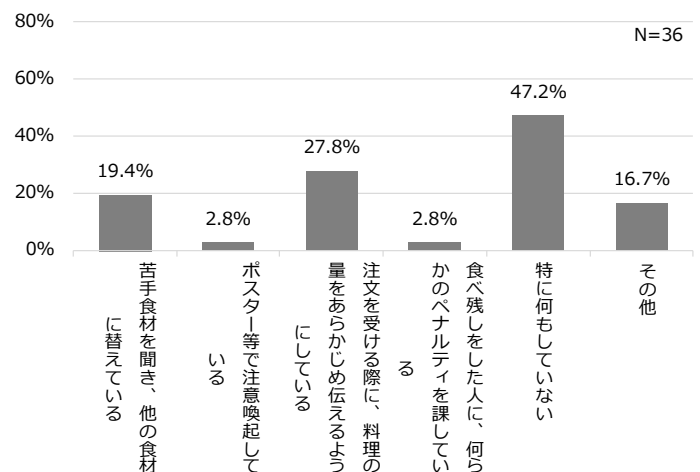


図 2-32 宴会での食べ残し削減の取組【問 27】

（４）区の施策・情報について

ア 事業所のごみ減量・リサイクル推進のために要望する施策

「事業系ごみ分別の手引の配布」が約43%となりました。

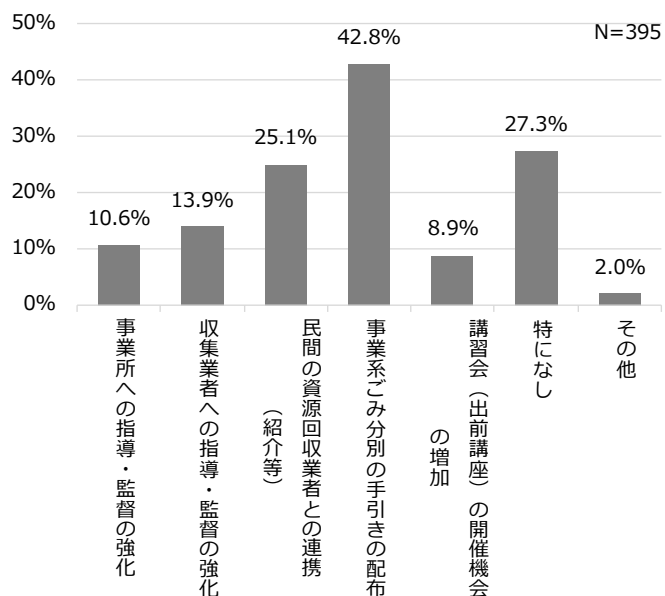
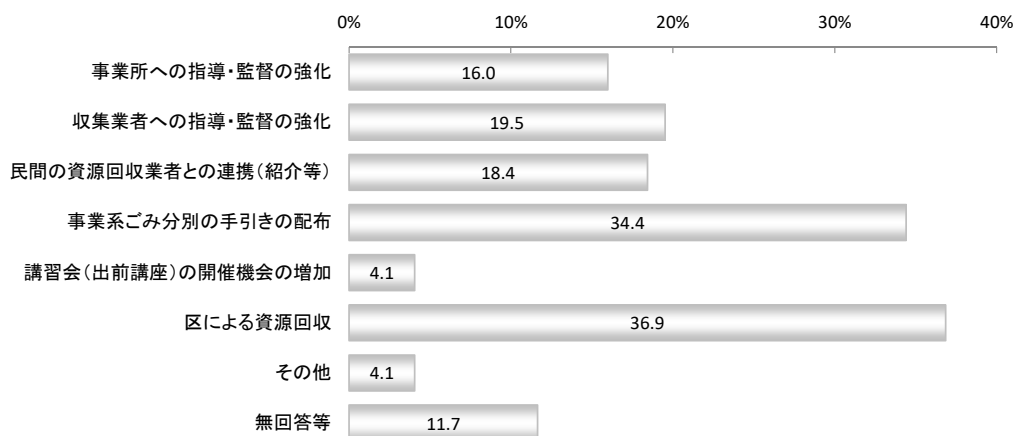
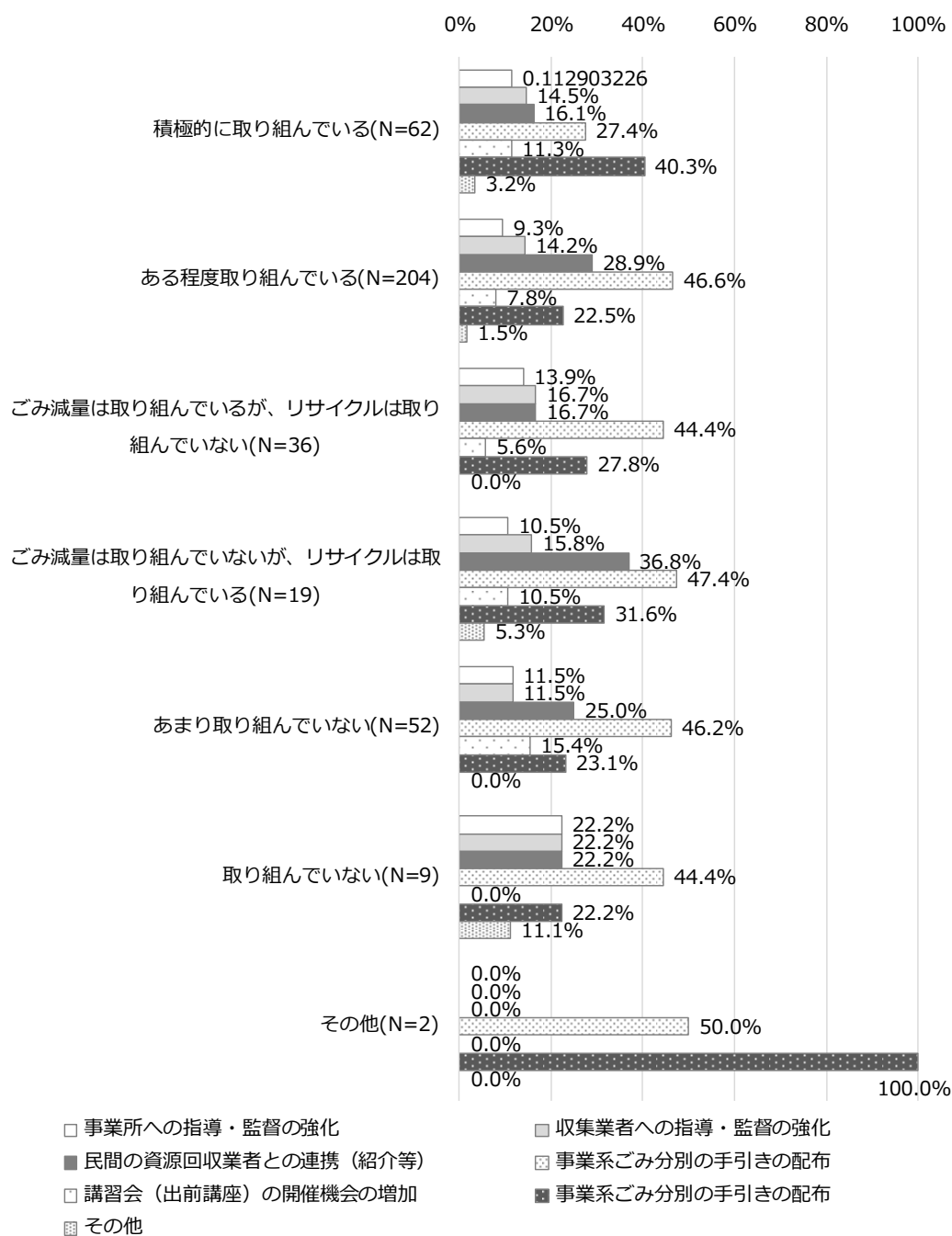


図 2-33 区に要望する施策【問 28】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】 84 ページ【問 21】「ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思うか」に回答した事業所の、「要望する施策」の回答



イ 望ましい優遇制度

「ごみ減量、リサイクル推進強化のための区からの支援」の回答が約 54%となりました。

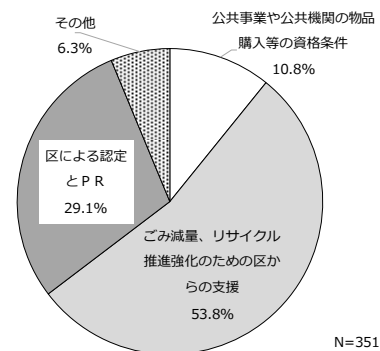
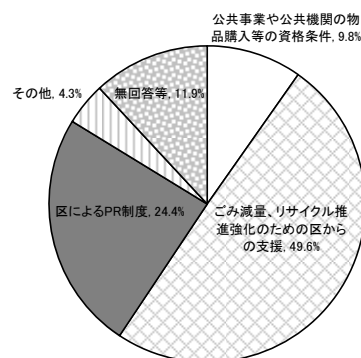
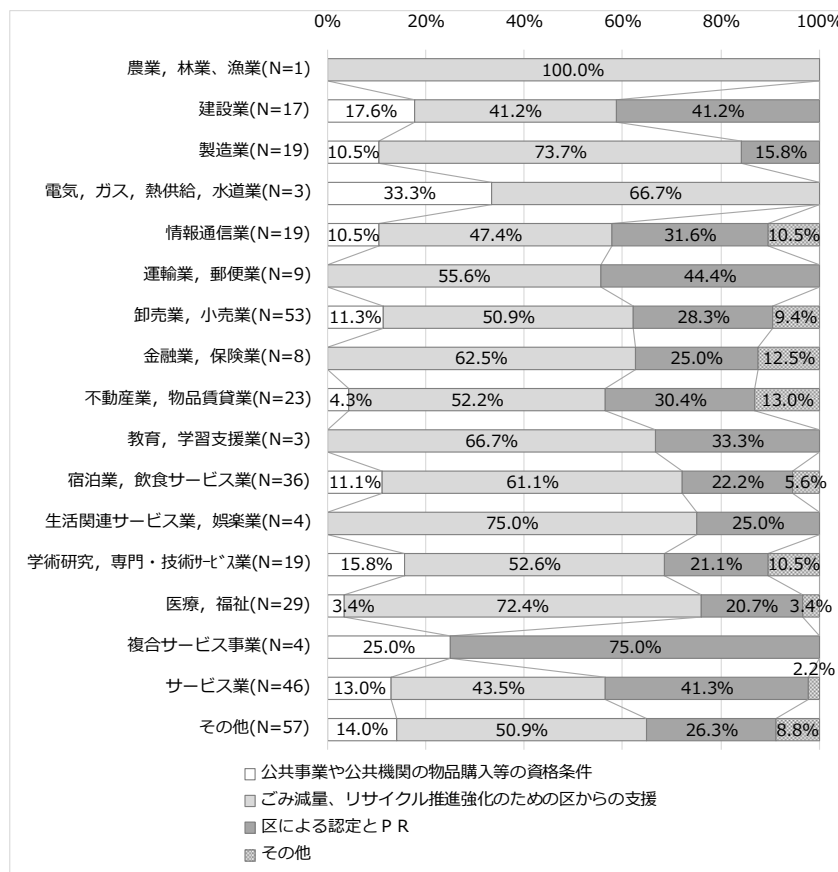


図 2-34 区に要望する施策【問 29】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】業種別クロス集計



ウ ごみ減量・リサイクル推進のために必要な情報

「区の事業や収集に関する情報」の回答が約 49%となり、「処理業者・資源回収業者に関する情報」の回答が 44%となりました。

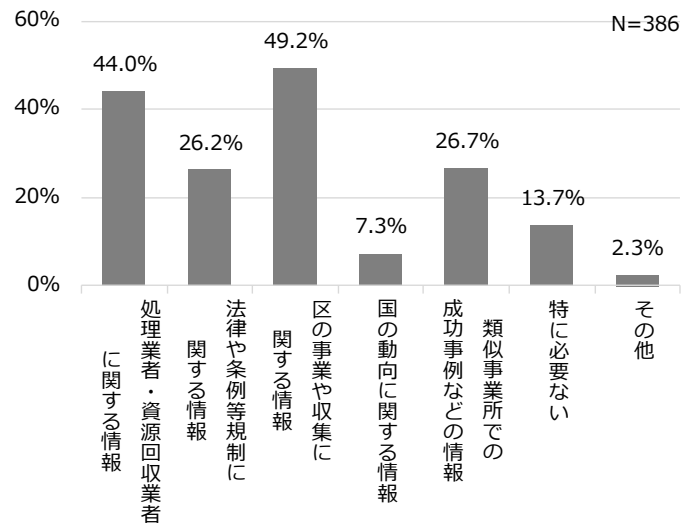
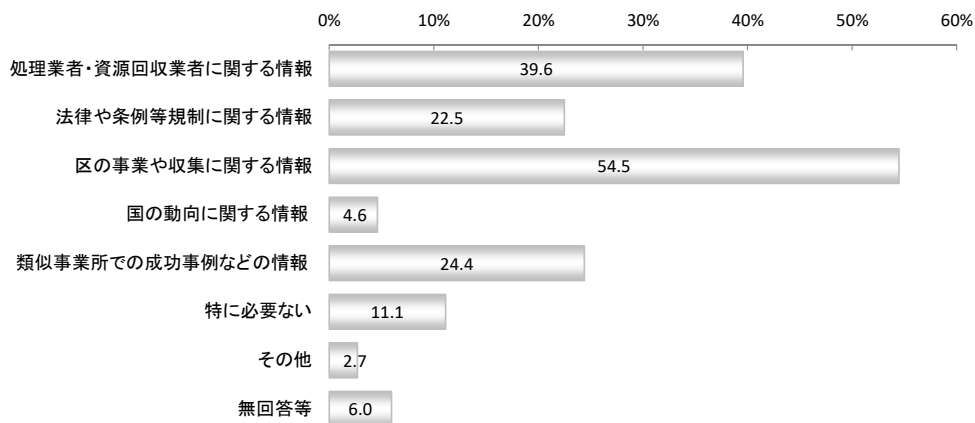
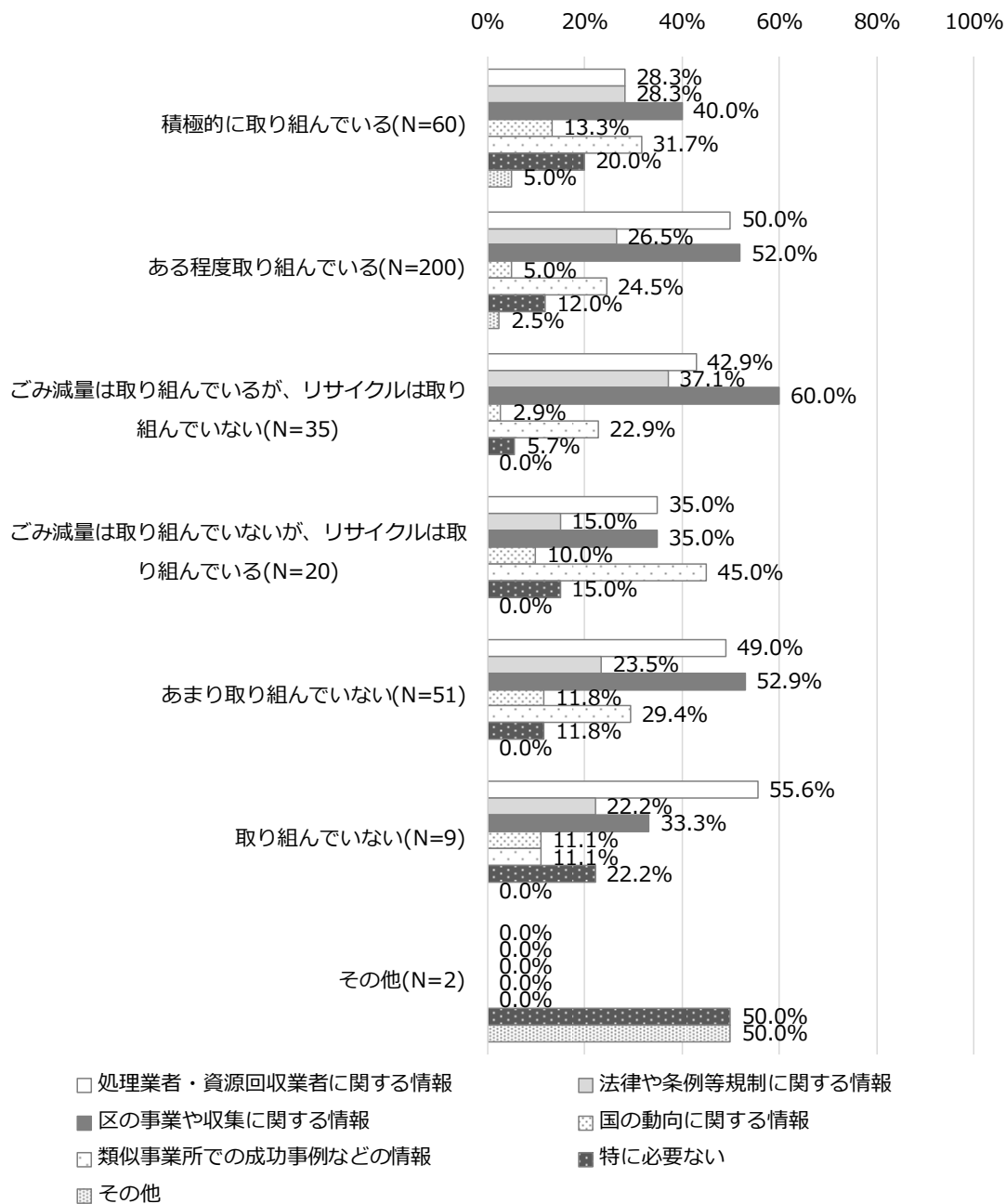


図 2-35 必要な情報【問 30】

【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】 84 ページ【問 21】「ア ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思うか」の回答別におけるクロス集計



エ 利用しやすい情報媒体

「区の広報・チラシ・パンフレット」の回答が約 67%となり、「インターネット（SNS、メールマガジン等）」が約 40%となりました。

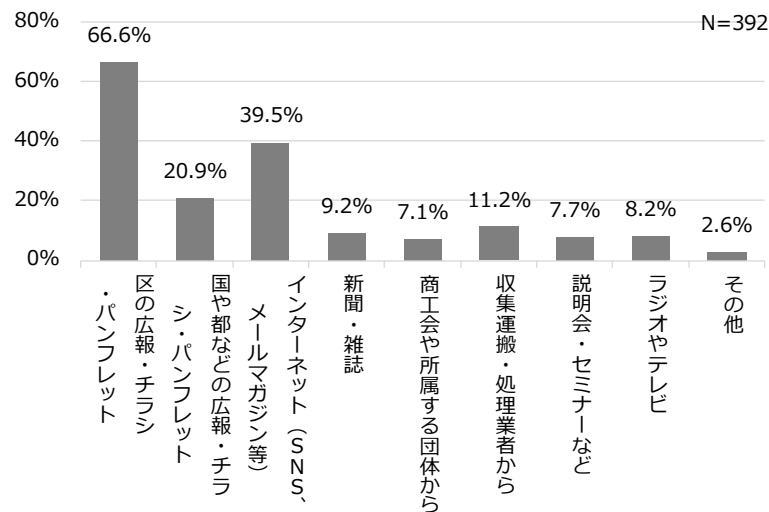
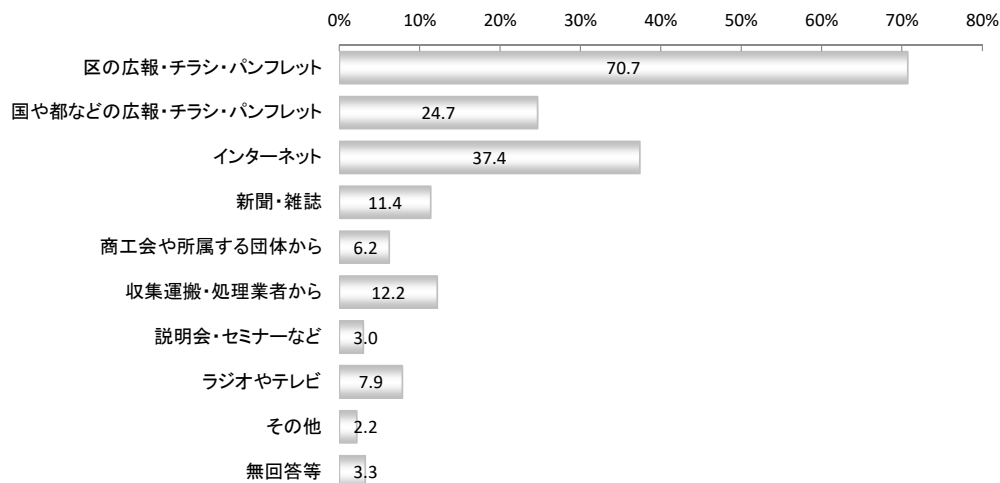
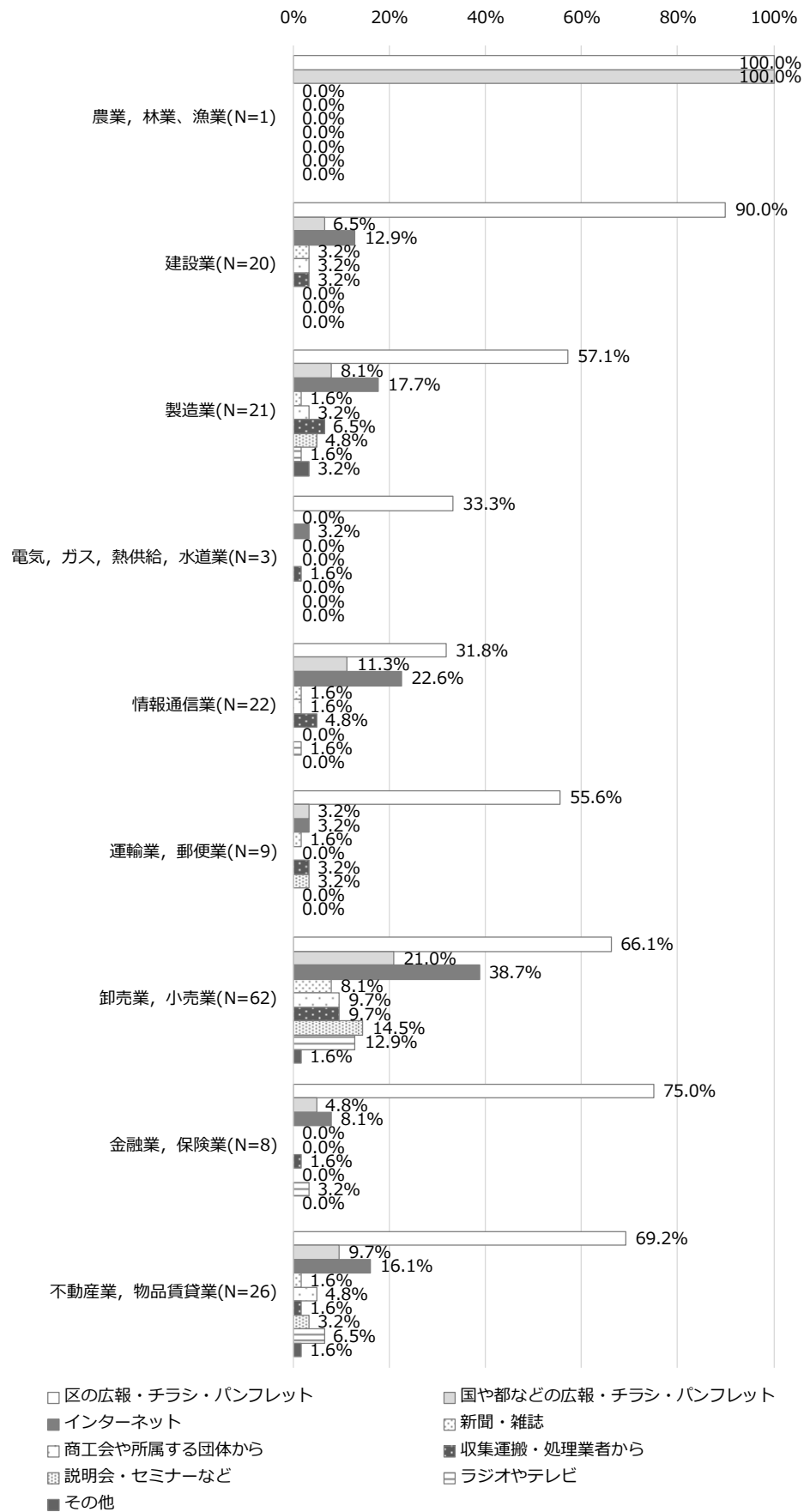


図 2-36 利用しやすい情報媒体【問 31】

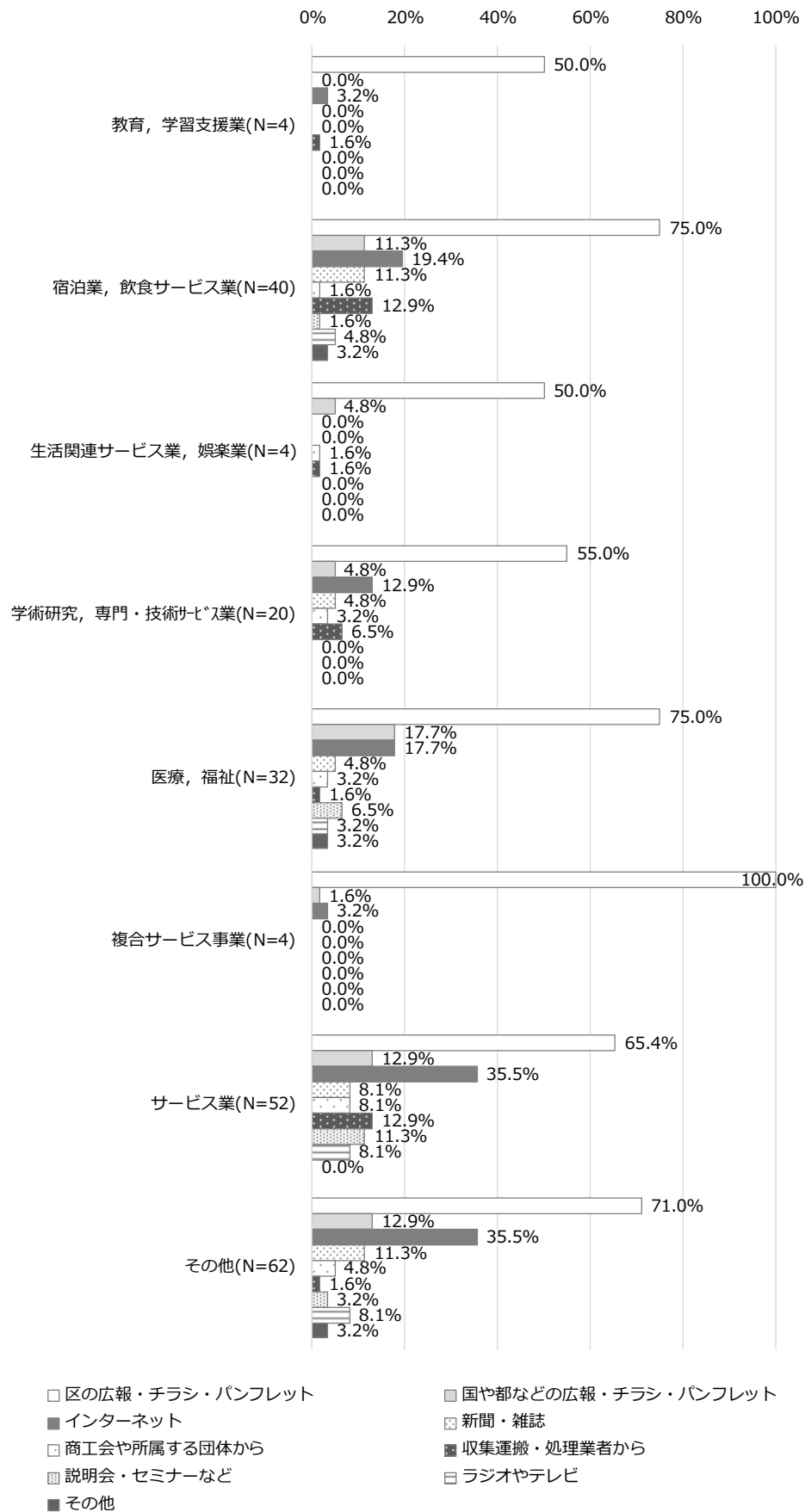
【参考】平成 28 年度調査結果



【参考】業種別クロス集計（1/2）



【参考】業種別クロス集計（2/2）



オ ごみ減量・資源化の説明会の希望

「希望しない」の回答が8割以上となりました。

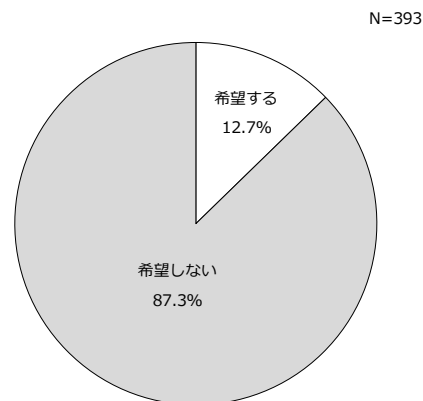


図 2-37 説明会の希望【問 32】

カ 説明会の内容

オで「希望する」と回答した事業者において、「紙の分別」の回答が約 63%となりました。

「その他」は、「類似事業所での成功事例の紹介」、「ごみの埋め立てまでの具体的な流れの紹介」、「社員の意識改革」の回答がありました。

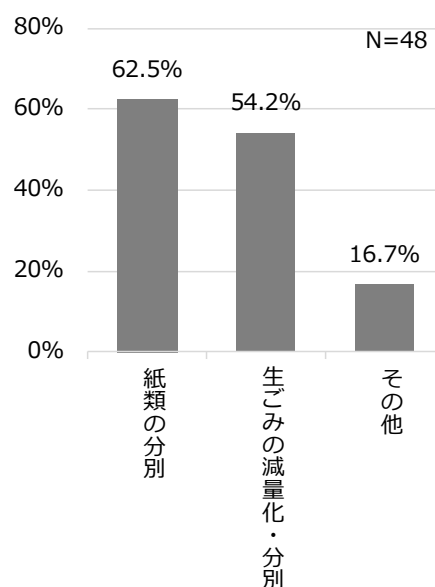


図 2-38 希望する説明会の内容【問 32-1】

(5) プラスチックごみについて

ア 産業廃棄物のプラスチックごみ処理料金

「わからない」という回答が約 79%となり、40 円未満が約 9%の回答となりました。

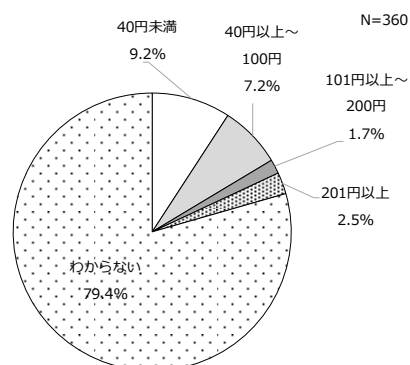
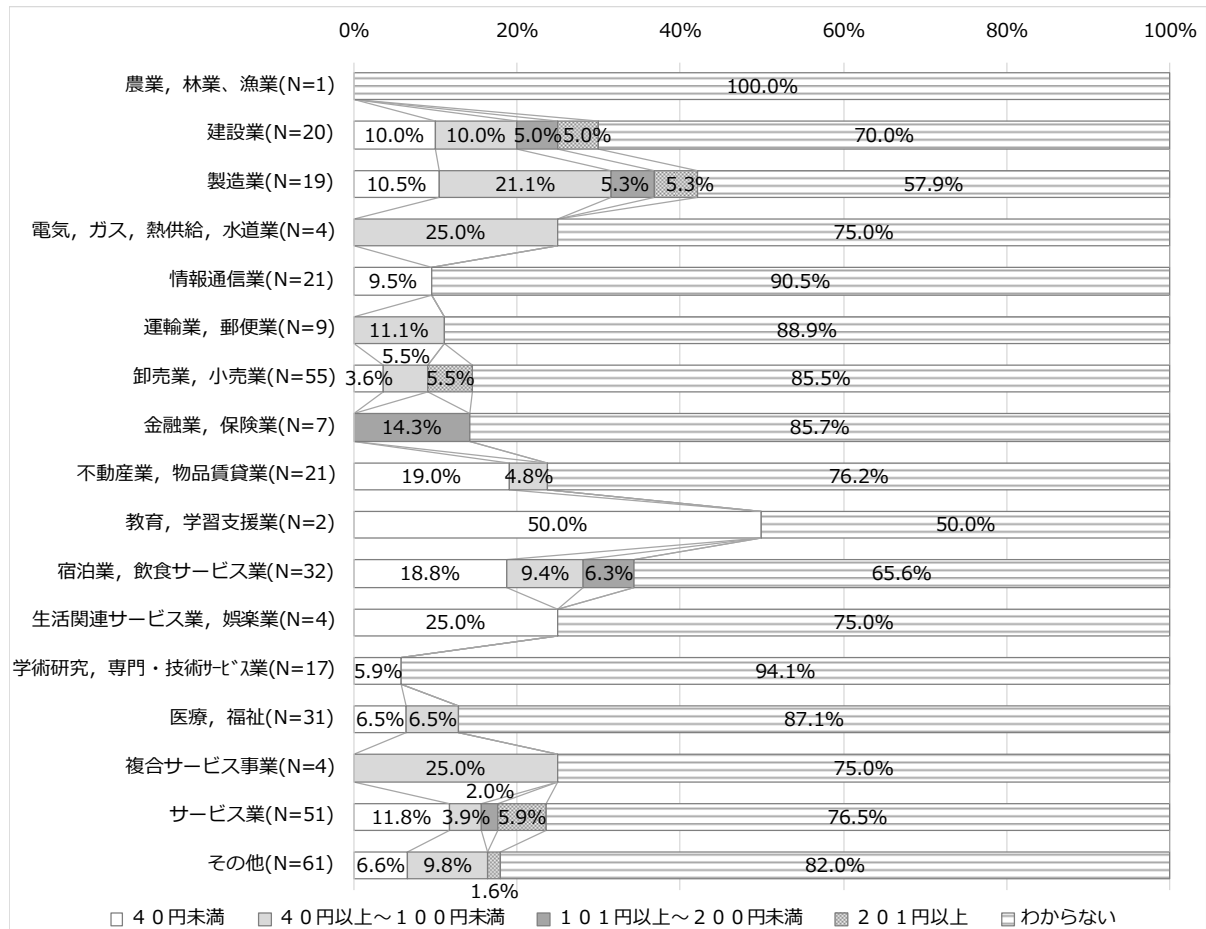
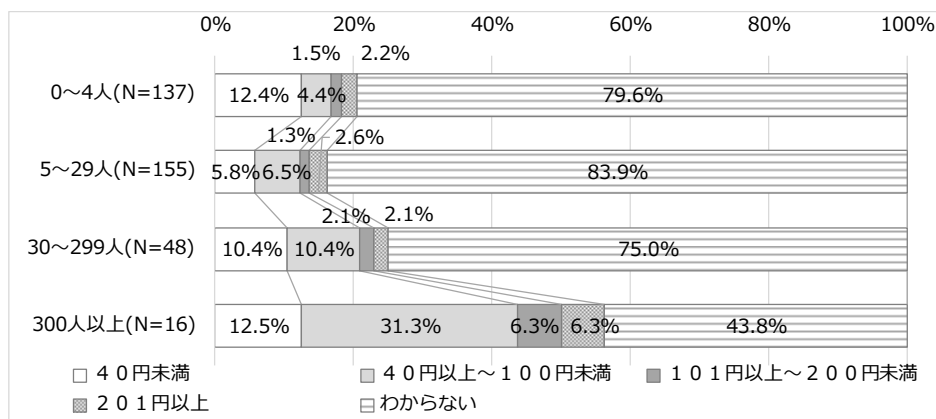


図 2-39 産業廃棄物のプラスチックごみ処理料金【問 33】

【参考】業種別クロス集計



【参考】従業員数別クロス集計



イ プラスチックごみの処理方法

アと同様「わからない」の回答が約 66%となり、「委託事業者が回収し再生処理」の回答が約 16%となりました。

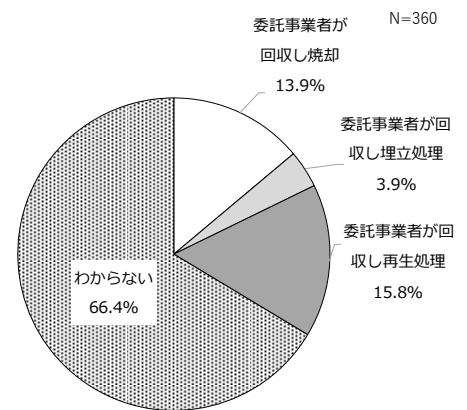
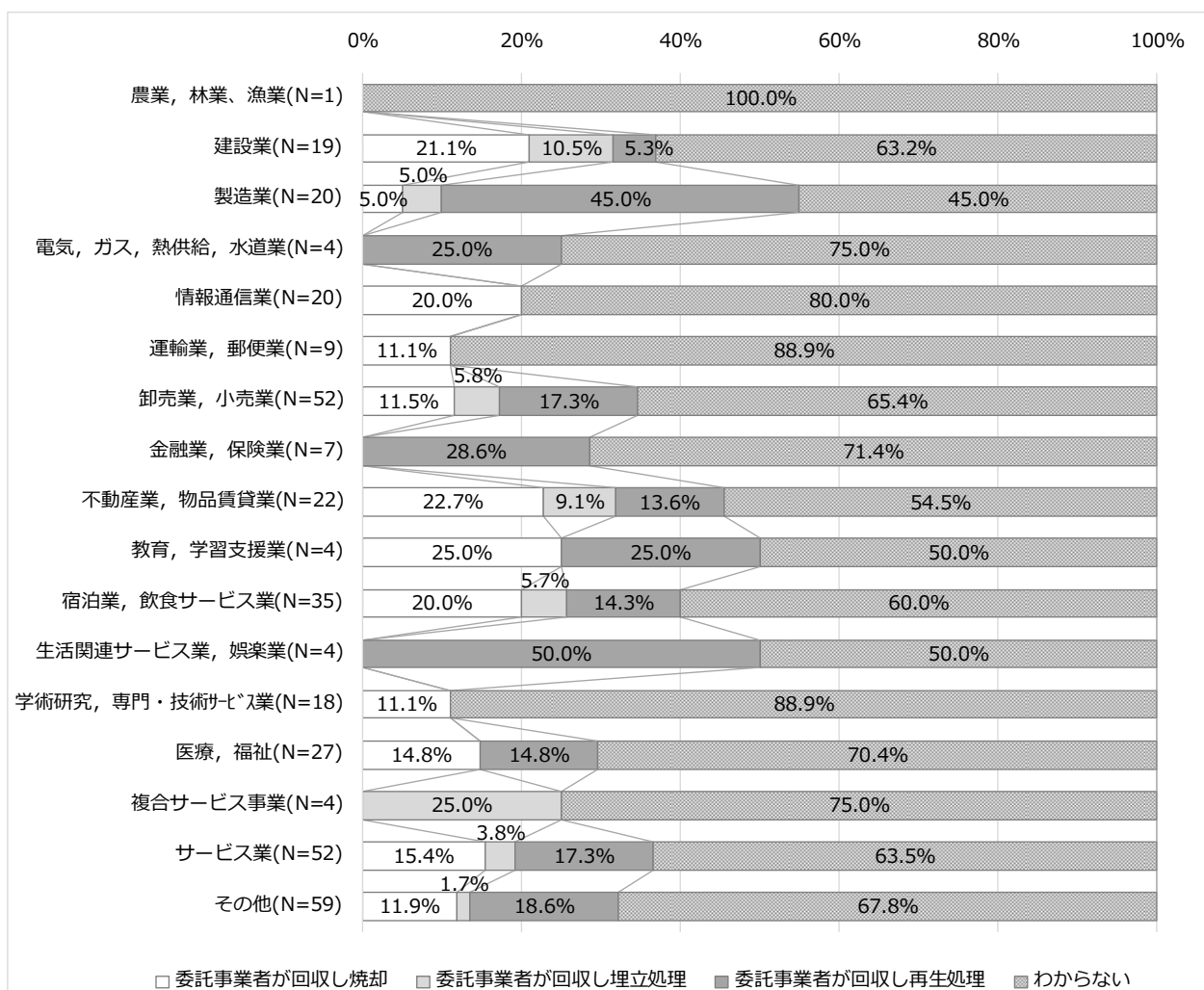


図 2-40 産業廃棄物のプラスチックごみ処理料金【問 34】

【参考】業種別クロス集計



ウ 今後の事業所におけるプラスチックごみ対策

「特に検討していない」の回答が約 50%となりました。

一方で、「プラスチックごみが発生しないよう代替素材を使用する」の回答が約 14%となりました。

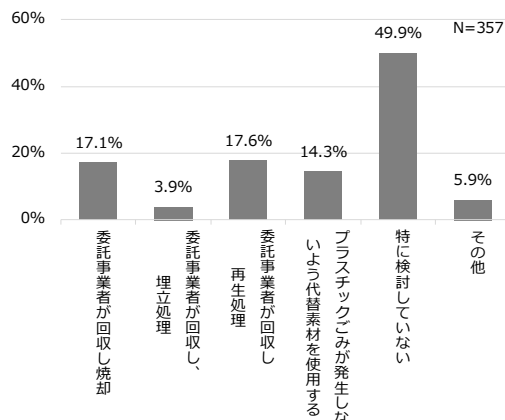
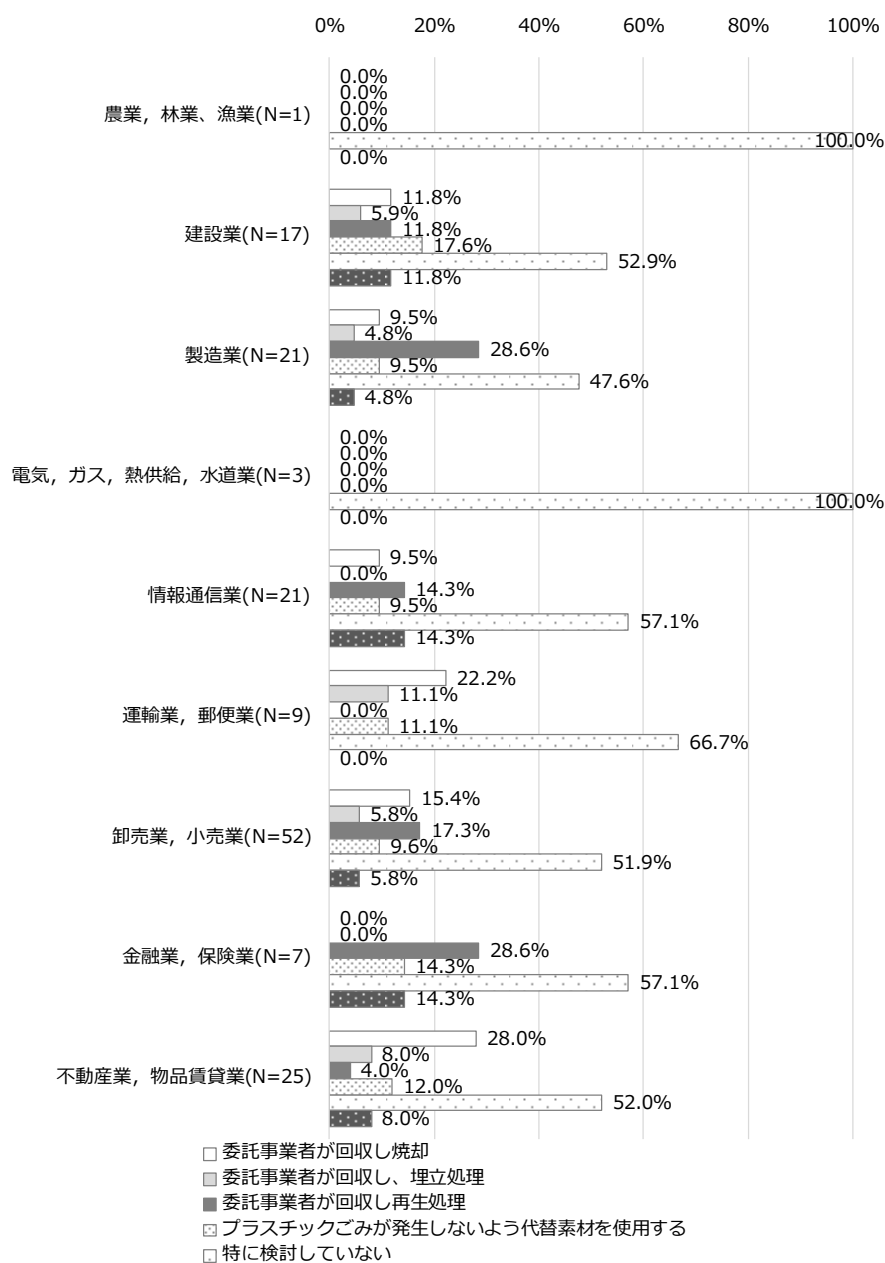
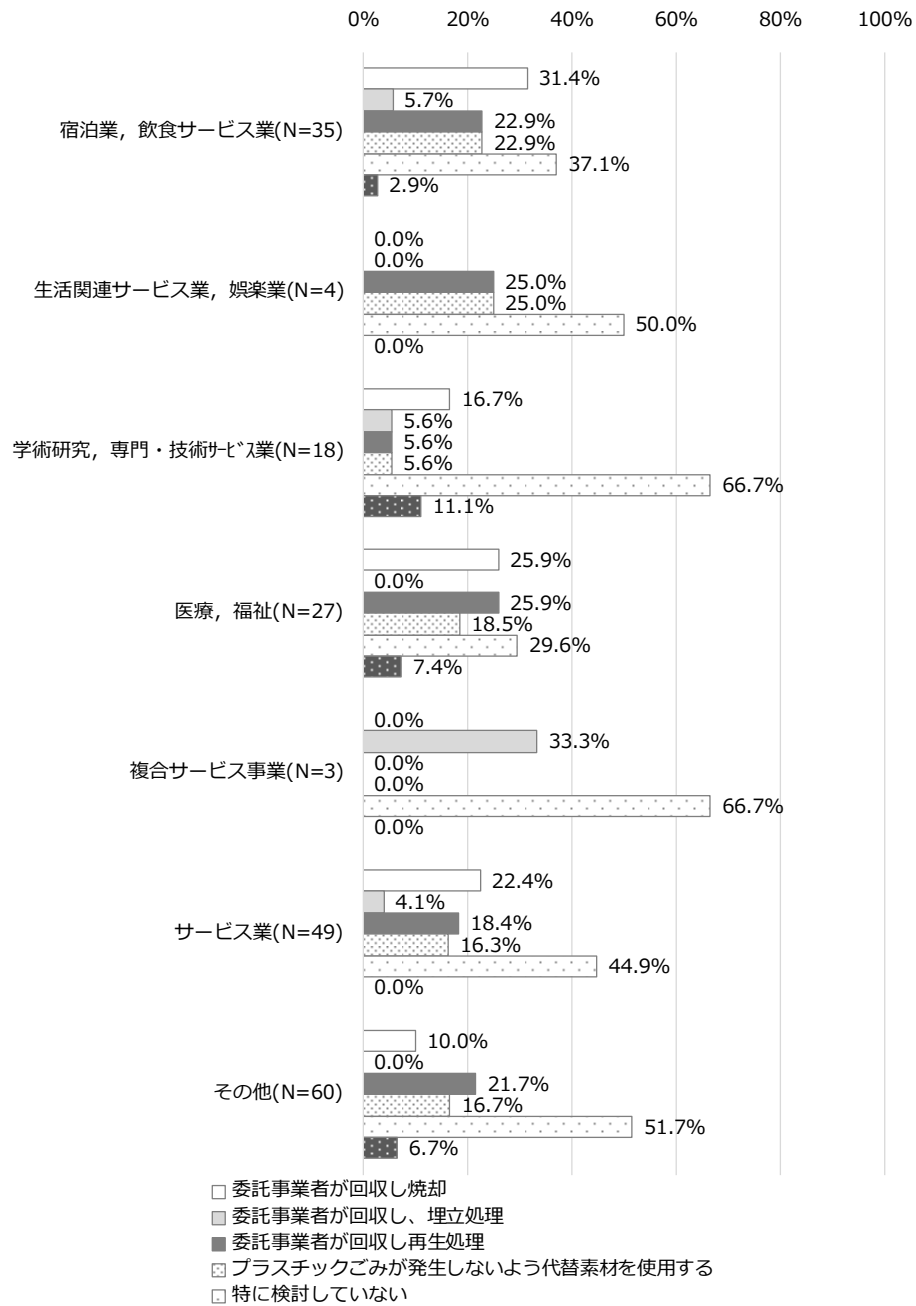


図 2-41 プラスチックごみ対策【問 35】

【参考】業種別クロス集計（1/2）



【参考】業種別クロス集計（2/2）



エ ワンウェイプラスチック製品削減に向けた対策

「特に取り組んでいない」の回答が約 69%となりました。

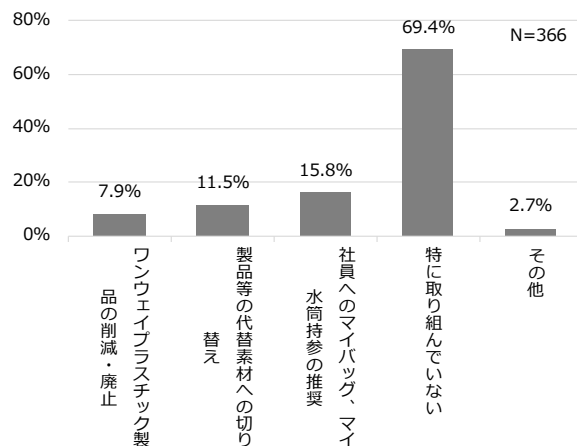
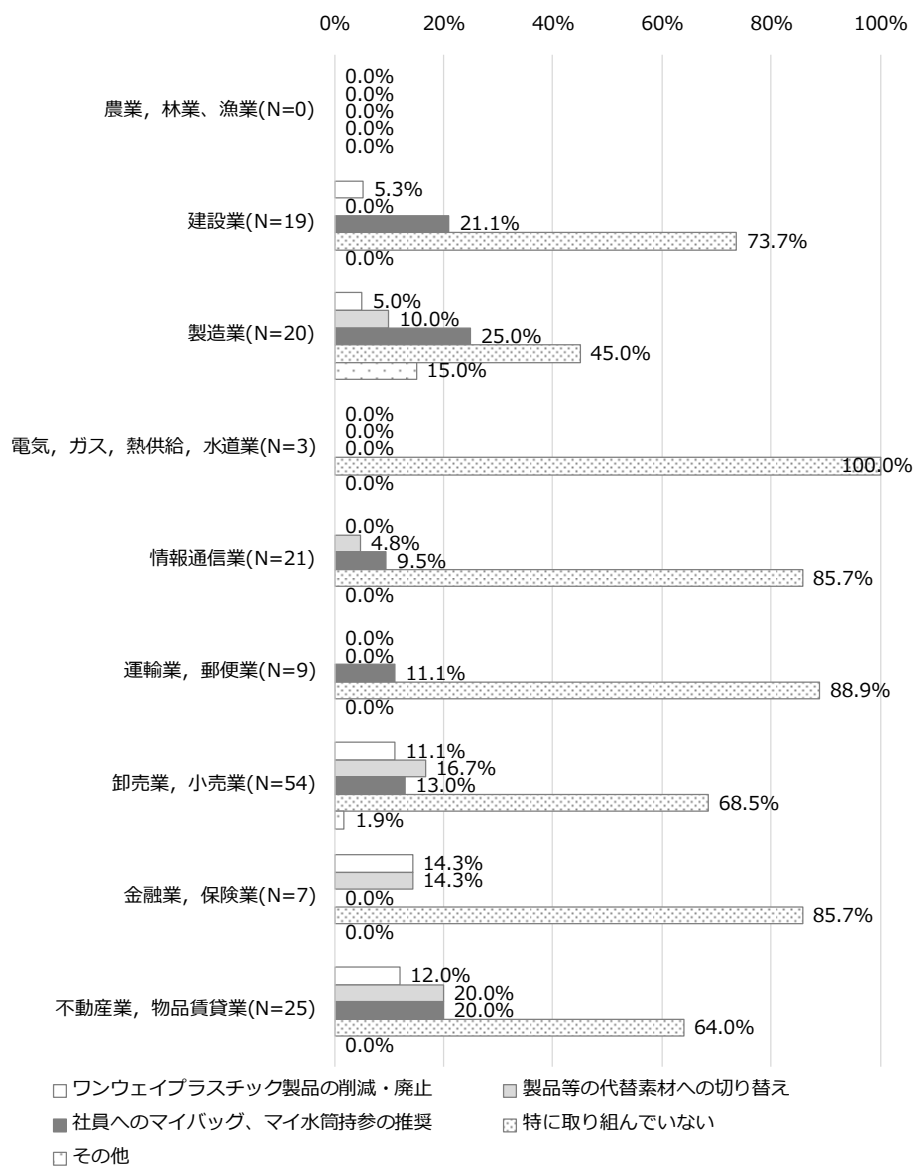
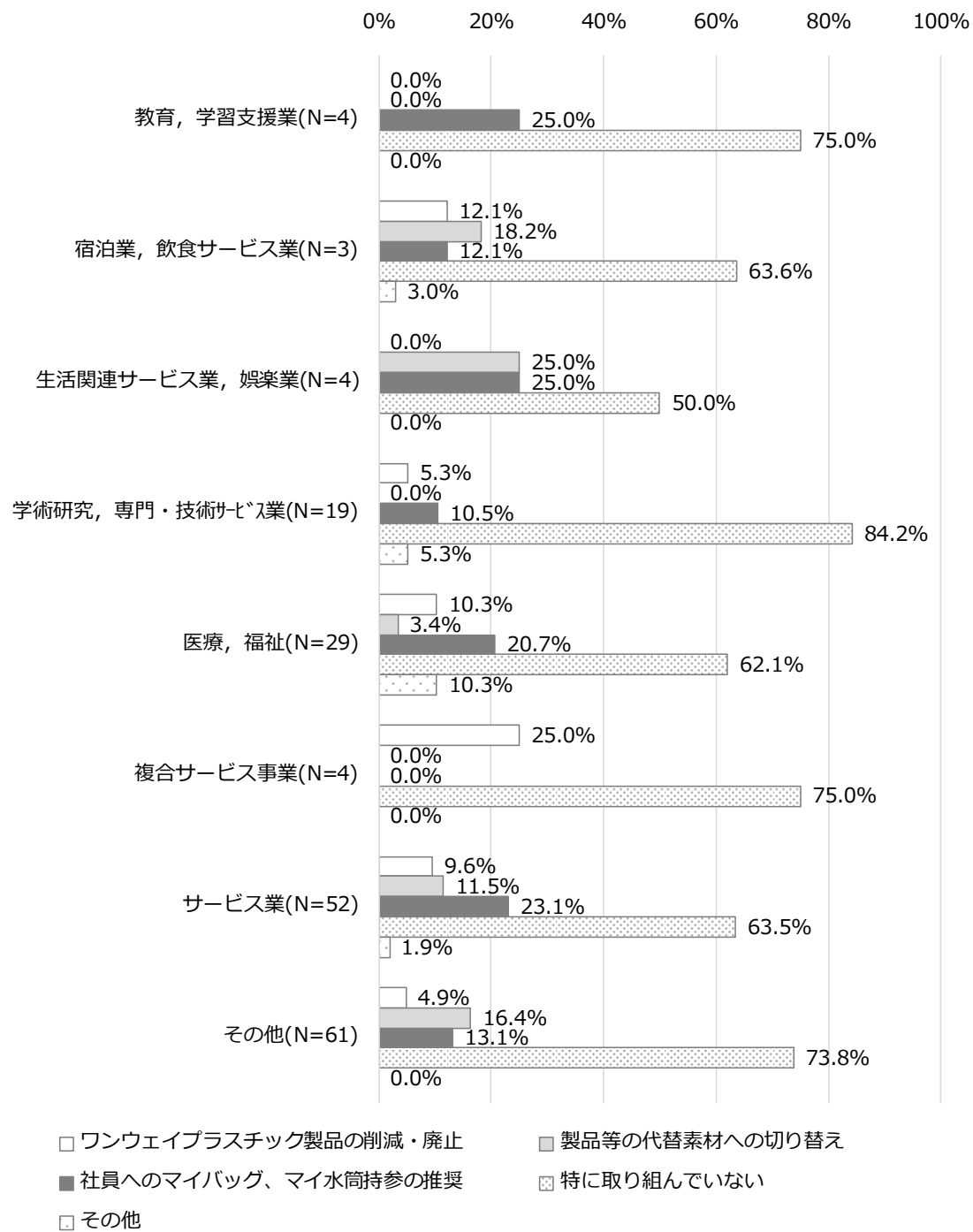


図 2-42 ワンウェイプラスチック製品削減に向けた対策【問 36】

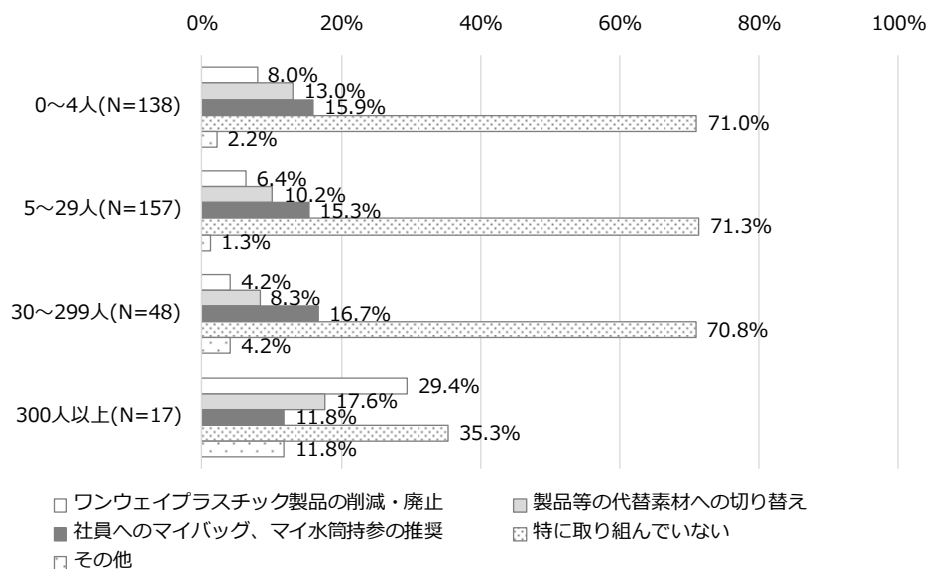
【参考】業種別クロス集計（1/2）



【参考】業種別クロス集計（2/2）



【参考】従業員数別クロス集計



オ プラスチック削減を貴事業所で取り組む際の方針

削減の方針としては、「会社の社会的責任」の回答が約 49%となりました。
一方で、「どう取り組んだらいいかわからない」の回答が約 32%となりました。

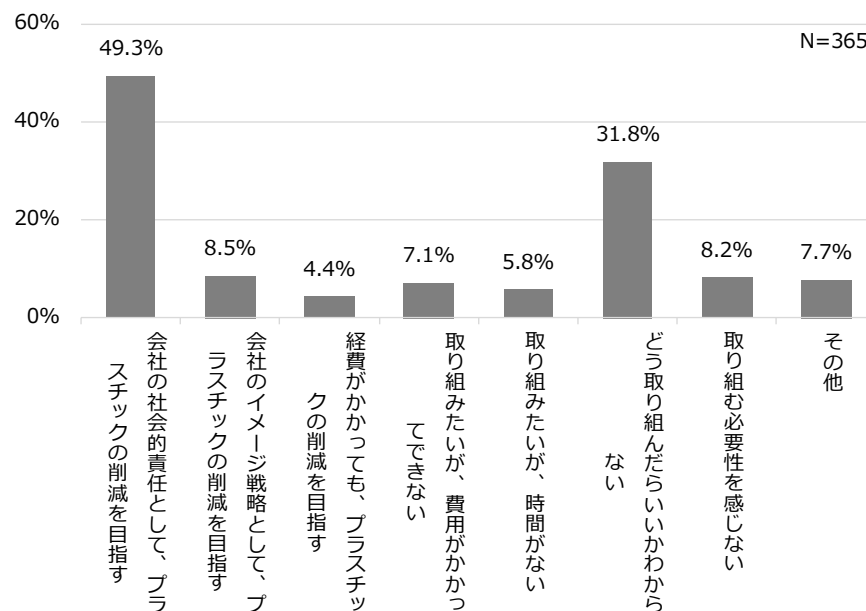
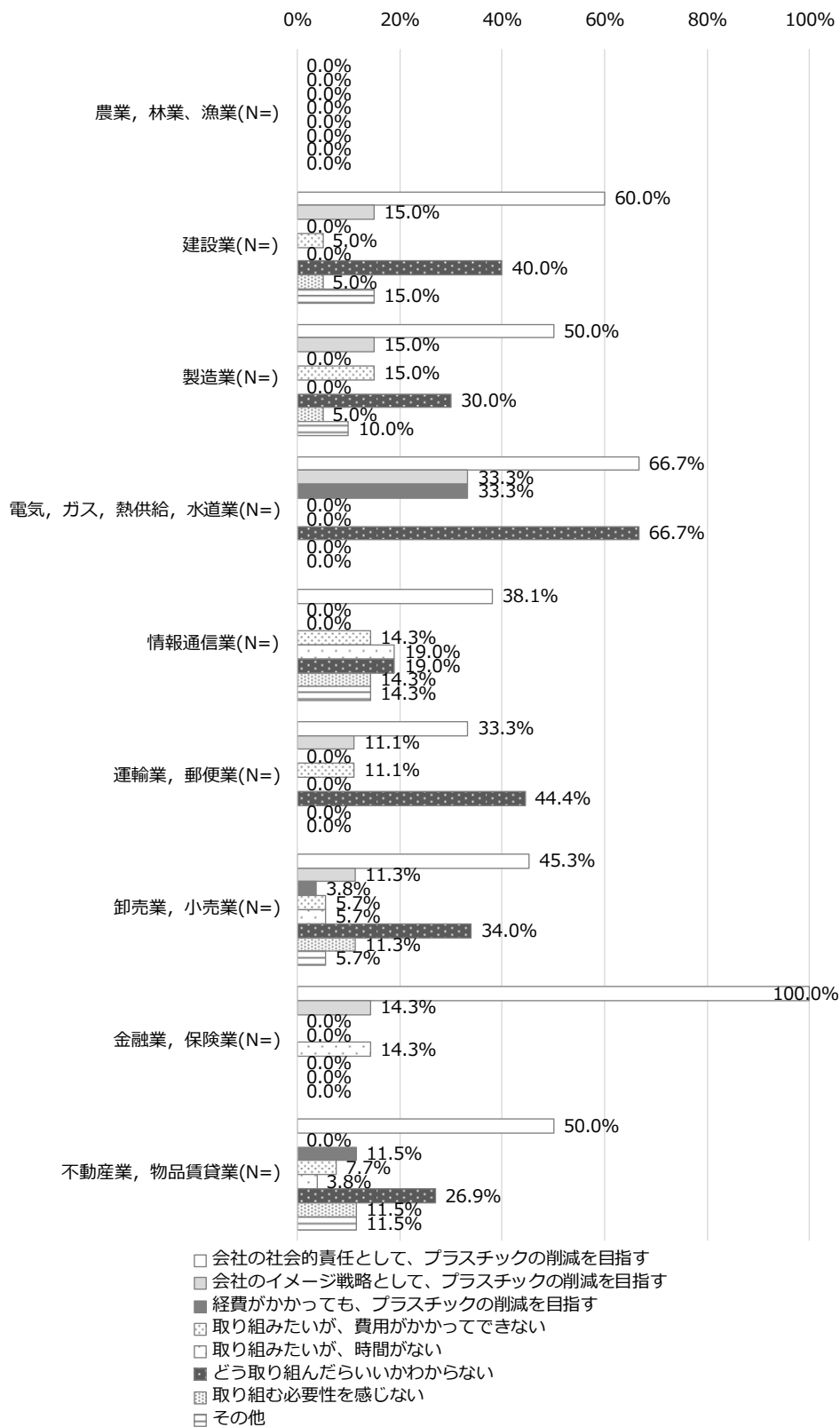
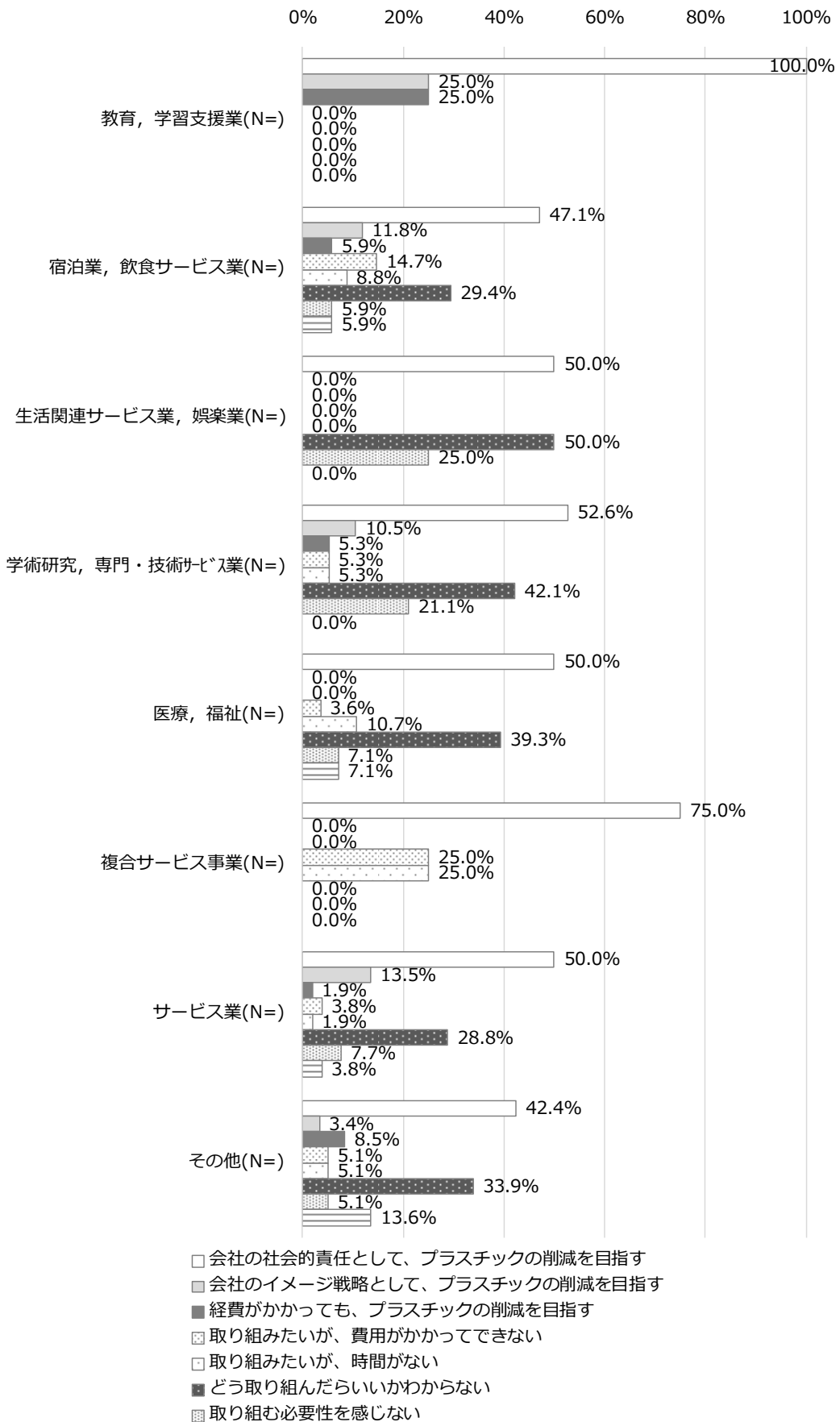


図 2-43 プラスチック削減の方針【問 37】

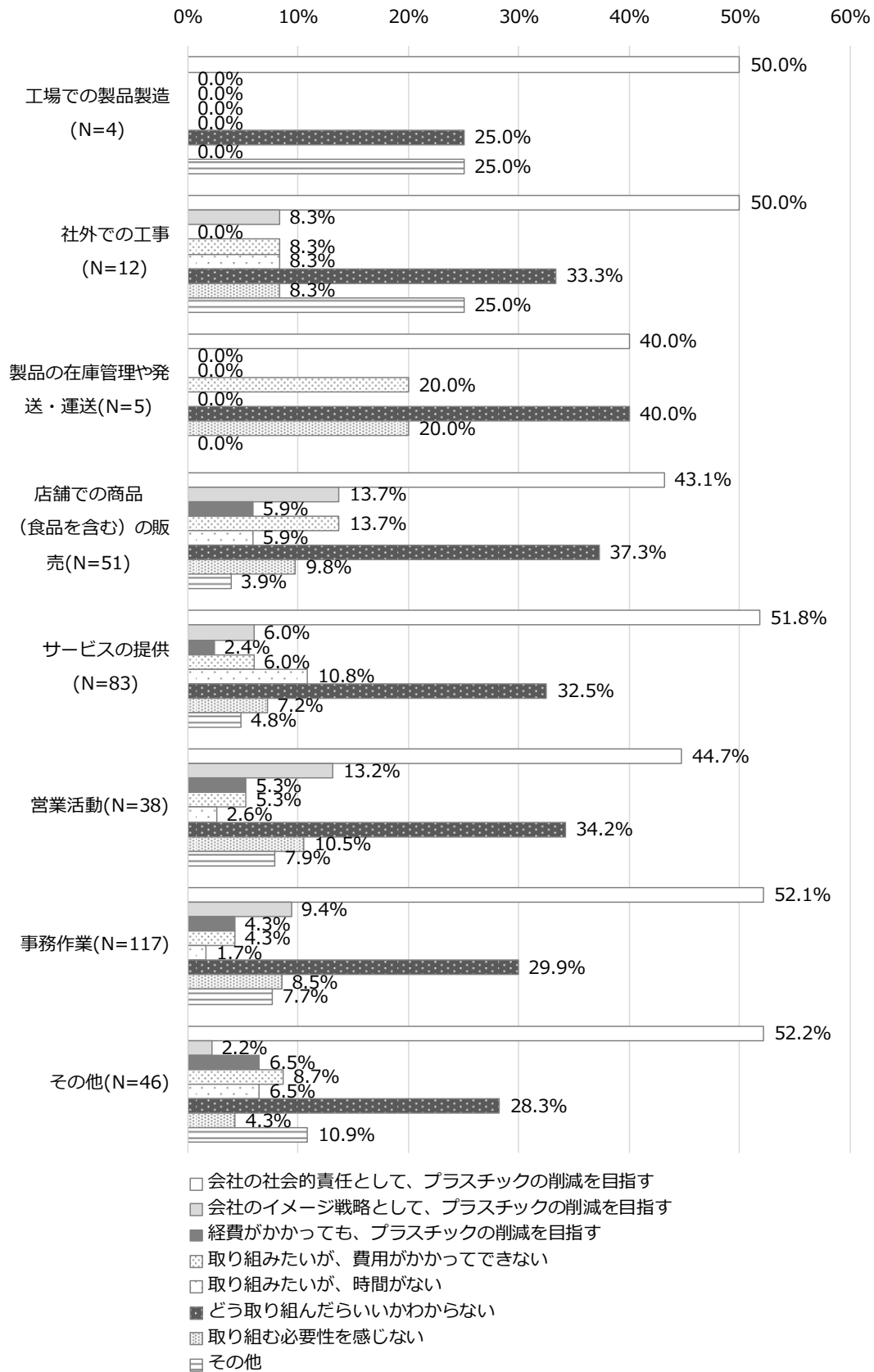
【参考】業種別クロス集計（1/2）



【参考】業種別クロス集計（2/2）



【参考】従業員数別クロス集計



第3章 関係者ヒアリング調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、区内事業者からごみ排出及び食品ロス等の取組状況について、訪問により現状及び課題を把握するため聞き取りを行い、ごみ処理・資源化における現状・課題等を把握することを目的として実施しました。本調査の結果については、令和2年度に予定されている「港区一般廃棄物処理基本計画(第3次)」(港区食品ロス削減推進計画を含む。)の策定のための基礎資料とします。

(2) 調査対象

調査は、宿泊業、飲食業、小売業、大学、病院、オフィスビル、商業ビルなどを対象に、食品ロス削減やプラスチック削減対策に先進的に取り組んでいると思われる(区が推進している、食べきり協力店登録事業者やエコショップ、優良事業者、その他メディアの情報などを参考に)小・中・大規模事業者を中心に選定しました。

調査対象と抽出方法

	業種名等	ヒアリング対象	件数	備考
1	宿泊業	ホテル	1	一般社団法人日本buffet協会に加盟しているホテル
2	飲食業	レストラン チェーン	1	大手レストランチェーン店
3	飲食業	レストラン 個人経営	1	食べきり協力店登録店舗
4	小売業	スーパーマーケット チェーン	1	大手スーパーマーケット
5	小売業	スーパーマーケット 個人経営	1	区内の個人商店
6～8	小売業	青果・パン・惣菜・精肉・鮮魚・デ リバリーより、いずれか 3 種×1 件	3	エコショップ認定店舗
9	小売業	コンビニエンスストア	1	大手コンビニチェーン
10	教育機関	大学	1	区内の大学
11	医療機関	病院	1	区内の病院
12	オフィスビル	自社ビル 社員食堂 あり	1	優良排出事業者
13	オフィスビル	自社ビル 社員食堂 なし	1	優良排出事業者
14	オフィスビル	複合ビル	1	優良排出事業者
15	収集運搬業 者	一般廃棄物処理許可事業者	1	事業系一般廃棄物処理許可事業者

(3) 調査内容

聞き取り調査は下記の質問を中心に、調査対象に合わせて適宜変更しながら行いました。

【主な質問項目】

- ・事業所の概要(従業員数、延べ床面積)
- ・ごみ減量・資源化に対する社内方針、従業員への啓発等
- ・事業活動から出るごみの種類(可燃ごみ、リサイクルしている紙類、廃プラスチック)
- ・ごみの分別・資源化の状況(食品廃棄物削減対策、プラスチック対策等)
- ・ごみ減量・資源化に向けた課題
- ・区への要望

(4) 調査期間

令和2年1月21日(火) ～ 令和2年2月19日(水)

(5) 調査対象事業者の概要

調査対象は、排出事業者14社、収集運搬業者1社の合計15社としました。

	属性	ヒアリング対象	事業者の概要
A社	排出事業者	宿泊業(ホテル) ホテル・レストラン・ 宴会場	・大規模ホテル ・延べ床面積 5,000 m ² 以上 ・自社ビル
B社	排出事業者	飲食業 (チェーン) レストラン	・外食産業、ファミリーレストラン ・延べ床面積 500～1,000 m ² 未満 ・テナントビル
C社	排出事業者	飲食業 (個人経営) レストラン	・外食産業、おでん屋 ・延べ面積 66 坪 ・テナントビル
D社	排出事業者	小売業 (チェーン) スーパーマーケット	・食品販売スーパー ・延べ床面積 427 坪 ・テナントビル
E社	排出事業者	小売業 (個人経営) スーパーマーケット	・加工食品・青果販売スーパー ・延べ面積 50 坪 ・自社ビル
F社	排出事業者	小売業(青果店)	・八百屋 ・延べ床面積 30 坪 ・自社ビル

	属性	ヒアリング対象	事業者の概要
G 社	排出事業者	小売業 (パン製造販売)	・レストランと併設したパン屋 ・延べ床面積 38 坪 ・テナントビル
H 社	排出事業者	小売業(惣菜店)	・お弁当屋 ・延べ床面積 100～300 ㎡ ・自社ビル
I 社	排出事業者	小売業(コンビニエ ンスストア)	・大手コンビニ ・延べ床面積 100～300 ㎡ ・テナントビル
J 社	排出事業者	教育機関(大学)	・短期大学 ・延べ床面積 14,375 ㎡ ・自社ビル
K 社	排出事業者	医療機関(病院)	・産婦人科医院 ・延べ床面積 5,000 ㎡以上 ・自社ビル
L 社	排出事業者	オフィスビル (社員食堂あり)	・大手総合商社 ・延べ床面積 5,000 ㎡以上 ・自社ビル ・テナント入居なし
M 社	排出事業者	オフィスビル (社員食堂なし)	・総合ディベロッパー ・延べ床面積 5,000 ㎡以上 ・自社ビル ・区内に複数の複合型オフィスビルを運営管理
N 社	排出事業者	オフィスビル (複合ビル)	・複合型オフィスビル ・延べ床面積 206,025 ㎡ ・テナント数:事業所 40 社、222 店舗
O 社	収集運搬業者	一般廃棄物処理許 可事業者	・廃棄物の収集・運搬・処分(一般廃棄物・産業廃 棄物)、資源リサイクル ・総合ビルメンテナンス事業

2 調査結果詳細(ヒアリング議事録)

(1) 宿泊業(ホテル) A社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年1月 21 日(火) 10 時 30 分～12 時 00 分		
延床面積	5,000m ² 以上	従業員数	1,000 人
可燃ごみ発生量	18t/週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	12t/週	紙ごみ発生量	6t/週

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・生ごみは、お客様の食べ残しが多い。食品ロスの発生はごく少量で、発注時に客数等を鑑みて量を調整している。発生した場合は次の日に食材を回すか、それでも過剰に発生した場合は、付近の系列店に余った食材を渡している。
- ・調理くずや未利用食品の廃棄量は、生ごみ全体の1割以下である。
- ・生ごみは一般廃棄物として指定の収集運搬業者に処理を委託している。排出前に「生ごみ処理機」で乾燥・圧縮・減容させてから、70lの可燃ごみ袋に入れて排出している。

②紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、OA紙、ミックスペーパー、機密文書以外の紙類及び汚れた紙が出る。
- ・新聞、雑誌、段ボール、OA 紙、ミックスペーパーは無償で引き渡し、機密書類は別業者に処理費を払って処理している。

③プラスチック

- ・廃プラスチックは分けて排出している。
- ・排出量は 11t/週で、処理費は 40～100 円/kg。業種上レジ袋の使用はほとんどない。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①食品ロス削減の取組

- ・食品ロスはビュッフェ会場で多く出る。作りすぎ、お客様の食べ残しが主な理由である。昨年 11 月よりビュッフェ会場で作った量とメニューごとの廃棄された量を測定し、記録している。このデータを参考に、食品ロス削減のため需用予測などが出来ればよいと考えている。
- ・食品ロス削減対策として、ビュッフェ会場に独自で作成した啓発 POP(「食べられる分だけ取ってください」という文言を記載した POP)を、実験的に系列ホテルのビュッフェ台の料理の横に掲示している。

②プラスチック削減の取組

- ・プラスチック削減の取組として、ビュッフェで提供するデザート容器を、従来は小分けのプラスチック容器に入れて提供していたが、現在は大皿に盛って提供している。
- ・ワンウェイプラスチックの使用削減に向けて、今後はプラスチックストローを紙ストローに切り替える予定。
- ・ホテル内の売店では、レジ袋を無償配布しているが、ホテル内のパン店では紙袋で提供するようにしている。

C. ごみの減量・資源化に向けての課題

- ・紙ごみやプラスチックなどは自身の事業活動によるものよりは、仕入れ時の包装等、仕入れ時に発生するものが多い。自社で廃プラスチック等に努めても、それ以外から発生するごみ等はコントロールができない。

D. 区への要望・今後の展望

- ・いろいろな事業者におけるごみ排出の事例についての講演会を開催してほしい。事業者のごみ排出に関する優良事例だけでなく、悪い事例に関する講演が聞きたい。
- ・また、食品のサプライチェーンにおける簡易包装やリサイクルコンテナの使用等、仕入れ段階でのごみ発生が少なくなるような発信を、行政で実施してもらいたい。

(2) 飲食業(チェーン) B社

A ヒアリング概要

実施日時	令和2年2月5日(水) 14時00分～15時00分		
事業所延床面積	500～1,000㎡未満	従業員数	150名(区内事業従事者)
可燃ごみ発生量	2t/週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	上記とほぼ同値 (9割以上)	紙ごみ発生量	ほぼなし

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・店舗から出る可燃ごみのほとんどが生ごみ。区外では生ごみの資源化(メタン化)を実施している店舗はあるが、区内店舗では実施していない。

②紙ごみ

- ・一部食材を運ぶダンボールなどが排出されるが、それらはリサイクルしている。裁断している紙類や濡れた新聞紙などは、可燃ごみとして排出している。
- ・資源は特定の事業者の有償で引き取ってもらっている。区内店舗はビルや病院に入居しているのでビルが指定した業者が回収している。

③プラスチック

- ・プラスチック製のストローは廃止しており、レジ袋もバイオプラスチック30%含有のものを使用している。
- ・社内においてはプラスチック排出抑制に取り組んでおり、現在プラスチック素材の袋を廃止し、別の代替素材の袋を用いるようにしている。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①環境方針の周知・徹底

- ・ごみの削減を含めた環境方針を社内で決めており、環境方針を印刷したカードを全員の名札に入れ、朝礼で唱和

するなどして周知を徹底している。カードは、各店舗に従事するアルバイトやパート従業員にも配布している。

②社員教育の実施

- ・正社員全員に eco 検定を受講させているほか、近年は環境に関する e ラーニング教育を実施している。

③食品ロス削減の取組

- ・食品ロス削減などの観点からセントラルキッチンでの調理ではなく、野菜などの食材を工場の下処理し、それを用いて各店舗で調理をしている。結果的に各店舗における生ごみの量が1割ほど減少している。
- ・発注の際はコンピュータで客数予測や天気などを鑑みて、自動的に発注量を計算している。提供しているレシピごとの食材の使用量をもとに、発注する食品は自動で発注される。
- ・小盛りメニューだけでなく、ライスの量を選べるなど「量を選べるメニュー」を提供している。その他にも注文時にステーキ肉のグラム数の選択や、パンケーキの枚数の選択ができるよう工夫している。

④紙ごみ削減に向けた取組

- ・会社内で書類の電子化を進めており、資料など印刷しないことが多い。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・食品リサイクルも衛生上難しく、回収業者も少ない。回収業者がいたとしても、輸送するルートを持っていない。
- ・積極的に PR はしていないが、食べ残した食品の持ち帰りは可能で、ルールを作って店舗で実施している。食べ残しの持ち帰りとはフードバンクへの寄付は、責任の所在が不明確なので、企業も積極的に PR できない。

D. 区への要望・今後の展望

- ・事業系ごみの分別方法について、行政から飲食店等の店員に指導してもらいたい。
- ・外国人スタッフ向けに、分別の案内などを多言語化して啓発してもらいたい。
- ・複数の自治体で食品ロス削減の支援を実施しているが、自治体によって基準や制度が異なる。
- ・また、自治体で食品ロス削減支援のキャラクターを設けていることも多いが、国のキャラクター「ろすのん」で統一したほうがいい。
- ・「食べきりげんまん」プロジェクトのように、子どもが楽しみながら参加できる食ロス啓発のキャンペーンにも力を入れたい。

(3) 飲食業(個人経営) C社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 10 日(月) 13 時 00 分～14 時 00 分		
延床面積	66 坪	従業員数	15 名
可燃ごみ発生量	90l 袋 3 個分／週 (50kg 相当)	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	90l 袋 3 個分／週 (50kg 相当)	紙ごみ発生量	ほぼなし

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・おでんの具材で出る調理くずを排出している。
- ・生ごみは、一般廃棄物としてビルの管理会社が契約している収集運搬業者に、処理を委託している。

②紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー以外の紙類及び汚れた紙を排出している。
- ・段ボール及びミックスペーパーは、納入業者に無償で引き渡し。
- ・新聞及び雑誌は、地域の集団回収に出している。

③プラスチック

- ・廃プラスチックは、他の廃棄物と分別して排出している。
- ・排出量は 90l 袋 5個／週、処理費は 40～100 円／kg。
- ・発泡スチロールは、納入業者に引き渡し。

B. ごみ減量・資源化に向けた取り組み

①天候による仕入れの予測

- ・荒天など天気が崩れると客数が減るため、気象情報を確認して荒天の場合は仕入れる量を少なくしている。

②食品ロス削減の取組

- ・仕入れは毎日行っているため、前日に売れ残った食材(具材)を確認しながら適切な量を発注している。
- ・調理くずの中でも大根の皮が多いが、大根の皮をお漬物にしてごみ減量に取り組んでいる。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・特になし。

D. 区への要望・今後の展望

- ・区内の飲食店であれば「みなと食品衛生協会」に加盟していると思う。保健所が協会向けに講習会を開いているので、そこで事業者に対するごみ減量の啓発をしてはどうか。

(4) 小売業 スーパーマーケット(チェーン) D社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 12 日(水) 16 時 30 分～17 時 00 分		
延床面積	427 坪	従業員数	53 名
可燃ごみ発生量	1.5t／週	主な可燃ごみ	紙ごみ(主に紙製容器包装)
生ごみ発生量	45l 袋 28 個分／週 (230kg 相当)	紙ごみ発生量	1.3t／週

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・野菜の外葉(レタス、キャベツ等)、入荷段階で腐ってしまったものなどを排出している。
- ・売れ残りそうな商品は、夕方になると値引きするため、上記以外の理由で廃棄されることはない。

②紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外の紙類で、お菓子の箱などの紙製容器包装を排出している。
- ・新聞、雑誌、段ボール、紙パックは収集運搬業者に無償で引き渡し。

③プラスチック

- ・廃プラスチックは分けて排出している。排出量は 2t/月、処理費は 41 円/kg。
- ・レジ袋は2月から有料化になった。(Lサイズ3円、LLサイズ5円)

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

②食品ロス削減の取組

- ・精肉は廃棄にならないよう、店内で適量を捌いて、その都度販売している。
- ・生ごみは、全量食品リサイクルの工場で処理している。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・特になし。

D. 区への要望・今後の展望

- ・特になし。

(5) 小売業 スーパーマーケット(個人経営) E社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 14 日(金) 18 時 30 分～19 時 00 分		
延床面積	50 坪	従業員数	4 名
可燃ごみ発生量	45l 袋 2 個分/週 (17kg 相当)	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	45l 袋 2 個分/週 (17kg 相当)	紙ごみ発生量	ほぼなし

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・野菜も販売しているため、生ごみの多くは野菜の外葉(特にキャベツ)や腐った野菜など。加工食品も売っている

が、売れ残ることはない。

・可燃ごみは、区の有料シールを貼ってごみを出している。(不燃ごみや資源ごみも同じ)

②紙ごみ

・新聞、雑誌、段ボール以外の紙類を主に排出している。

・新聞、雑誌、段ボールは、古紙問屋に無償で引き渡し。

③プラスチック

・薄手のビニールを使うようにしている。

・有料化になるのは知っているが、今のところ何もしていない。

・レジ袋有料化に向けた対応は未定。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①食品ロス削減の取組

・加工食品などの賞味期限の長い商品は、売れ残りがないう仕入れる量を管理している。それでも残ったものは、(家族経営なので)廃棄せず家に持ち帰って食べている。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

・特になし。

D. 区への要望・今後の展望

・特になし。

(6) 小売業(青果店) F 社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 19 日(水) 13 時 30 分～14 時 00 分		
延床面積	30 坪	従業員数	6 名
可燃ごみ発生量	45l 袋 10 個分／週 (85kg相当)	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	45l 袋 9 個分／週 (75kg相当)	紙ごみ発生量	45l 袋 1 個分／週 (9kg相当)

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

・生ごみは可燃ごみとして、区の有料シールを貼って排出している。

・野菜の外葉(キャベツの皮)、腐った果物(みかん)が多い。

②紙ごみ

- ・段ボール以外の紙類が多い。
- ・段ボールは週3回、古紙問屋に無償で引き渡し。

③プラスチック

- ・廃プラスチックや発泡スチロールは、自社で処理せず、仕入れの際に納入業者に持ち込んで処理してもらっている。排出量は、1週間当たり 20l 袋が1つ程度。
- ・レジ袋有料化に向けた対応は未定。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①食品ロス削減の取組

- ・あらかじめ売り切れる量を予測し、発注している。売れ残りそうなものは、閉店前に安売りをしている。

②プラスチック削減の取組

- ・冬場は風が強くほこりが舞うため、プラスチックの個包装にして販売しているが、夏場は量り売りを推奨し、プラスチック削減に取り組んでいる。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・ごみ量は客数によって変動する。最近はネット通販を利用する人が増えたため、客数が減少した。仕入れ量も減少したので、ごみ量も減った。

D. 区への要望・今後の展望

- ・ごみ減量に関するセミナーなどの講演会は興味がある。
- ・区からの情報は、区のホームページは見ないので、紙媒体が効果的だと思う。

(7) 小売業(パン製造販売) G 社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 12 日(水) 14 時 30 分～15 時 30 分		
延床面積	38 坪	従業員数	7 名
可燃ごみ発生量	45l 袋 18 個分／週 (150kg 相当)	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	45l 袋 3～4 個分／週 (25～30kg 相当)	紙ごみ発生量	45l 袋 14～15 個分／週 (120～130kg 相当)

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・パンの売れ残りを排出している。1日あたり2kg 廃棄している。
- ・可燃ごみは、ビルの管理会社が契約する民間業者に処理を委託しているため、ごみ袋を買っている(90l 袋 400

円／枚）。

②紙ごみ

- ・段ボール以外の紙類を可燃ごみとして捨てている。紙製容器包装が多く、特に卵を多く使うため、卵パック（紙製）の割合が多い。
- ・段ボールは、納入業者が持ち帰り。

③プラスチック

- ・プラスチックは不燃ごみとして、他の不燃物（缶、びん、ペットボトル）と一緒に袋に入れて捨てている。ビルの管理会社が契約している清掃員が、分別してくれていると思われる。
- ・レジ袋有料化に向けては、今のところ何も取り組んでいない。（7月から有料化になることは知らなかった）

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①食品ロス削減の取組

- ・食品ロス削減アプリを2年前から導入している。16時～17時になったら余りそうなパンをアプリに掲載すると、アプリに登録している会員が買いに来る。導入後にこれまで廃棄していた量の7割ほど削減することができたが、3割はまだ廃棄している。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・客数は気候によって左右される。荒天の場合は余ってしまう。

D. 区への要望・今後の展望

- ・特になし。

（8） 小売業（惣菜店） H社

A ヒアリング概要

実施日時	令和2年2月17日(月) 17時00分～17時30分		
事業所延床面積	100～300㎡	従業員数	13名(アルバイト込)
可燃ごみ発生量	45l 袋 7～8 個分／週 (60～70kg 相当)	主な可燃ごみ	生ごみ(調理くず)
生ごみ発生量	45l 袋 7～8 個分／週 (60～70kg 相当)	紙ごみ発生量	ほぼなし

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

①生ごみ

- ・排出量が少ないので、区の有料シールを貼ってごみを排出している。
- ・生ごみは、主にほうれん草のへたなどの調理くずが出るほか、汚水槽のごみなどをまとめている。調理くずは、

45l の容器に入れて圧縮した後に生ごみとして排出する。

②紙ごみ

- ・ダンボールや汚れていない紙は、まとめて資源として回収してもらっている。週 3 回排出し、費用として月 3,000 円支払っている。
- ・汚れた紙は、可燃ごみとして排出している。

③プラスチック

- ・レジ袋の有料化については認知しているが、価格設定をはじめどのように導入すべきかを悩んでいる。他の店舗の取組状況を見てから始めたい。一袋 2 円程度で検討している。忙しいときにお釣りを用意したり、細かいお金を数える時間はないので、お弁当の価格にレジ袋の料金を含める対応を検討している。
- ・お弁当の容器としてプラスチックを使っており、ラミネート加工した紙での対応も考えたが、他の代替素材は価格が高いので実施できない。
- ・その他、食材などについてくるプラスチックを排出している。それらは資源プラスチックとして、区の有料シールを貼って排出している。週あたり 70l 袋一個程度。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

①適正な分別に向けた取組

- ・ごみの減量や分別をきちんと行うという認識でいるので、ごみの減量や分別に取り組むことに問題はない。
- ・ごみの分別は、区のルールに従って実施しており、店内のスタッフにも啓発している。

②食品ロス削減の取組

- ・弁当の売れ残りなどは、ほとんど出ない。天気や曜日で売り切れる量を予測し、作る量を調整している。売れ残りが発生しそうな場合は、閉店間際に来たお客さんにサービスしている。また、売れ残りが発生した場合は、従業員でお弁当を持ち帰って夕飯にするなどの対応を行っている。
- ・おにぎりや単品の惣菜なども販売しているので、お客さんが自分の食べる量を調整して、好きに食品を組み合わせることができる。
- ・提供するお弁当の種類を、月ごとに変えたり増やしたりすることで、お客さんが弁当に飽きなくなり、結果としてお弁当の余剰を防ぐことにつながっている。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

①適正な分別に向けた取組

- ・日本に来てから日の浅い外国人のアルバイトは、まだ日本の分別のルールを把握しておらず、店内の分別状況が一時的に悪くなる。

②食品ロス削減の取組

- ・お客さんからの要望があれば、小盛りメニューなどの対応も行っているが、昼時などの忙しい時間帯に小盛りにするか否かを、お客さんごとに聞くことは難しい。

D. 区への要望・今後の展望

- ・町会の会長をしているが、食品に関する区の案内は来たことがない。
- ・最近、周辺にマンションが増え、分別のルールを正しく守らない人が増えているので、ルールを守るような啓発を実施してほしい。

(9) 小売業(コンビニエンスストア) I社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年2月14日(金)16時00分～17時00分
------	---------------------------

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

ごみの処理は各店舗のオーナーの責任で処理している。収集運搬の業者は、本部で紹介・推薦はするが、オーナーが独自の業者を決めて契約することもできる。ごみの種類・量などは、店舗によって異なり、食品ロスの計量はしていない。

① 生ごみ

- ・生ごみ(主にお弁当やおにぎりなどの消費・賞味期限が短い食品)は一般廃棄物として処理する場合と、本部が紹介した食品リサイクル業者にてリサイクルとして処理する場合の2パターンがある。
- ・資源として出せない紙ごみ(紙カップ類など)は、一般廃棄物として処理している。
- ・プラスチック類とその他不燃ごみは、分別して、指定の産業廃棄物業者に引き取ってもらっている。

② 紙ごみ

- ・紙類(主に段ボール)、缶、びん、ペットボトルは、資源としてオーナーが契約した業者に引き取ってもらっている。

③ プラスチック類

- ・レジ袋は現在バイオマス素材を使用している。有料化についてはまだ方針が決まっていない。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

① 発注量の予測

- ・固定客が4分の3と多いため、発注量の読み間違いはあまりないが、急な状況変化により売り残りが発生する。

② 食品ロス削減の取組

- ・生ごみ(主にお弁当やおにぎりなどの消費・賞味期限が短い食品)の一部は、本部が紹介した食品リサイクル業者に引き渡し、処理している。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

② 食品ロス削減の取組

- ・生ごみは一般廃棄物として処理するのではなく、食品リサイクルのルートにて処理するようお願いしたいところだが、処理費が高いためなかなか難しい。
- ・消費期限の短い商品(おにぎりなど)は、手前から取ってもらわないと前の商品が廃棄の時間を迎え、売れ残りが生じる。消費者の購買行動が、食品ロス発生につながっているため、消費者の購買行動を変えるような取組が必要であるが、こちらからお客さんにはお願いはできない。

D. 区への要望・今後の展望

- ・事業者には責任を負わせる施策ばかりではなく、何かしらの優遇施策等があれば、事業者の取組がもっと進むのではないかと。

(10) 教育機関(大学) J 大学

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 18 日(火) 15 時 00 分～15 時 40 分		
延床面積	14,375m ²	従業員数	160 名
可燃ごみ発生量	125～300kg／週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	25～75kg／週	紙ごみ発生量	100～225kg／週

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

① 生ごみ

- ・学内にいる学食や売店では、あらかじめ売りきれの量を予測して販売・提供しているが、調理くずや食べ残し、余ったものなど、微量だが、可燃ごみとして排出している。
- ・ごみは全て(可燃、不燃、資源等)同じ収集運搬事業者処理を委託している。品目によって収集日は異なるが、それぞれ週1回収集してもらっている。

② 紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、機密書類等の紙類が多い。
- ・資源としての紙類の量は、新聞が 0～70kg／月、雑誌が 40～500kg／月、段ボールが 100～300kg／月、ミックスペーパーが 400～700kg／月となる。機密書類も処理しているが、直近のデータはない。
- ・週1回の回収で、処理費は 10 円／kg 支払っている。

③ プラスチック

- ・プラスチックのみ分別して、排出している。
- ・排出量は 600～1,300kg／月で、処理費は週1回の収集で 35.5 円／kg。昨年に比べて、処理費は高騰している。
- ・売店でのレジ袋有料化の取組は、今のところない。そのまま商品をカバンなどに入れて持ち帰る生徒が多いため、レジ袋はあまり使われていない。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

① 食品ロス削減の取組

- ・食品ロス対策として、食べきり協力店に登録して小盛メニューを提供している。
- ・学内にいる学食や売店では、あらかじめ売りきれの量を予測して販売・提供している。

C. ごみ減量・資源化に向けた課題

- ・機密書類は段ボールに入れて溶融処理してもらっているが、処理コストが高い。今後、コスト削減のため、シュレッダーで処理してから、資源ごみとして排出するようにしたい。

D. 区への要望・今後の展望

- ・事業者向けの講習会を開催してほしい。講習会の案内は郵送が良い。
- ・区が主催の廃棄物管理責任者向けの講演会に参加した。講演は、各社が実践できるような具体例を提示する内容にしてほしい。

(11) 医療機関(病院) K 病院

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年 2 月 12 日(水) 15 時 40 分～16 時 20 分		
延床面積	5,000m ² 以上	従業員数	430 名
可燃ごみ発生量	420kg/週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	280kg/週	紙ごみ発生量	140kg/週

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

① 生ごみ

- ・入院患者用の病院食で廃棄された生ごみは、民間の業者に委託して一般廃棄物として処理しているが、ただし、可燃ごみとは分けたごみ袋に入れて排出している。

② 紙ごみ

- ・主に新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、上質紙、機密書類以外の紙類。
- ・排出量は月あたり新聞・上質紙が 300kg、雑誌が 700kg、段ボールが 1t、ミックスペーパーが1t の、合計3t。ミックスペーパー以外の古紙は毎月指定の古紙問屋に無償で引き渡しており、ミックスペーパーは 2 円/kg 支払っている。
- ・機密書類は、別会社と別途契約して処理してもらっている。

③ プラスチック

- ・プラスチックは分別して排出している。排出量は 1,200kg/月、処理費は 40 円/kg。
- ・可燃ごみと同じ一般廃棄物・産業廃棄物の許可を持った収集運搬事業者処理を委託している。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

- ・可燃ごみの中に、ミックスペーパーが多く含まれている。コスト削減のためにも、さらに分別を徹底し、ミックスペーパーの資源化量を増やしていきたい。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・患者の増加に伴い、ごみ量も増加した。入院患者にごみ分別マナーが徹底されていない。
- ・清掃員が一時選別しているが、限度があり、可燃ごみの中に資源となる紙ごみが混在している。

D. 区への要望・今後の展望

- ・区が主催する事業者・廃棄物管理責任者向けの講演会などからの情報は入手しやすいため、今後も講演会を開催いただきたい。講演会の案内は紙媒体が良い。

(12) オフィスビル(社員食堂あり) L社

A ヒアリング概要

実施日時	令和2年1月30日(木) 9時30分～10時30分		
事業所延床面積	5,000㎡以上	従業員数	4,700人
可燃ごみ発生量	160～175kg/週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	24kg/週	紙ごみ発生量	138kg/週

B ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

① 生ごみ

- ・食品も商品として扱っているため、販売前にサンプル商品を作成しており、サンプル廃棄の量は社員食堂の食品ロスよりも多くなる。港区にも報告しているが、食品リサイクルもきちんと行っている。現状は紙のリサイクルに力を入れており、食品ロスが特別問題視されるような現状ではない。

② 紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、上質紙、機密書類を分別している。
- ・回収の回数は減っているが、回収量によって処理金額が決まるような契約にしているので、費用面での変化は大きくない。
- ・会社の建て替えに伴い、一時的に事務所の移転を行う。個人の荷物や会社の資料等をこれから破棄するが、これらはリサイクルにまわす。
- ・紙ごみとして出る分は、トイレから排出されるごみのみで、リサイクルできない紙類は最小限に留めるようにしている。
- ・紙の処理業者に、紙類の排出方法やクリアファイルやフォルダに入っている紙ごみなどの処理方法について相談したい。

③ プラスチック

- ・ハンガーやボタンなどのプラスチック製品を、商品の衣類の試作品などで使用している。布地と一体になっているので、廃プラスチック混合物の扱いだが、適切な回収業者に回収してもらい、リサイクルにまわしている。
- ・社員から発生するプラスチックの量も、そこまで多くない。社員食堂を利用したり、近隣のお店で食事をしたり、弁当を持参する社員が多いので、食事の際のプラスチックの発生量も多くない。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

① 社員教育(分別体験プログラム、e ラーニング等)の実施

- ・社員へのごみの指導を徹底している。社内方針は掲げていないが、社会的責任や常識の観点から社内に周知をしている。
- ・新人社員や海外のパートナーシップ会社の社員などには、分別教育を行っている。分別用のマニュアルがあり、清掃スタッフに周知徹底している。リサイクル率 90%を環境美化チームの方針としており、達成するために社員に啓発や体験活動を実施している。
- ・分別状況の悪い部署のフロア全員、もしくは代表者に体験プログラムを通じて指導している。朝出社前に担当者、もしくはフロア全員に集合してもらい、業務開始までに地下のごみ集積場所を見学している。その後、ごみ袋を開けて、分別状況が悪いものは分別し直してもらう。体験プログラムに参加すると、社員の意識も変わる。特に管理職の人の考えが変わると、社員の行動も変化する。
- ・実体験とあわせて、環境に関する e ラーニングを実施している。動画を見て、テスト形式で一定点数以上をクリアしてもらう。計画では、3月までに全員クリアしてもらう。

② 食品ロス削減の取組

- ・食堂が最近 4 つ分けの皿、3 つ分けの皿などを用意し、「食べ残しをしない」などの張り紙を貼っているので、周知・啓発活動は実施されている。食堂の生ごみは、食堂の委託業者が一般廃棄物として処理している。社員食堂では、天候や社員数などである程度作る料理の量が推測できるので、食品ロスが出ないようにコントロールしている。

③ 紙ごみ削減の取組

- ・社内でのペーパーレス化が進んでいるため、これまでは毎日紙ごみの回収を行っていたが、週 3 回の回収へと頻度を減らした。新聞は電子化が進み、オフィス内の書類も会社として文書削減を推奨している。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・特になし。

D. 区への要望・今後の展望

- ・収集運搬は信用している業者に依頼をしているが、いろいろと業者を見比べて比較してみたい。業者を変えること新たに分かることがあるので、収集業者に関する統一されたガイドラインなどがあるといい。

(13) オフィスビル(社員食堂なし) M社

A ヒアリング概要

実施日時	令和 2 年 1 月 29 日(水) 14 時 00 分～15 時 00 分		
事業所延床面積	5,000 m ² 以上	従業員数	8 名(六本木地区担当者)
可燃ごみ発生量	60t/週(産業廃棄物含)	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ
生ごみ発生量	20t/週	紙ごみ発生量	30t/週

イ ヒアリング結果

A. ごみの排出状況

① 生ごみ

- ・入居テナントが飲食店の場合、野菜の切り屑や食べ残しなどが出る。
- ・食品リサイクルは数百万円ものコストがかかるため、焼却するよりも高いコストをかける必要がある。行政からは実施するよう推奨されているが、企業に対しては補助がないので、企業にのみ負担がかかっているので実施していない。

② 紙ごみ

- ・OA 用紙は独自のリサイクルボックスに入れており、週に 8t ほど排出される。有償で回収業者に引き取ってもらっている。
- ・機密文書も回収を実施している。

③ プラスチック

- ・会社として脱プラスチックは進んでいない。どのように取り組めばいいかがわからない。個々の入居テナントの中では、その動きがあり、協力の相談を受ける。
- ・プラスチックのストローについても、紙ストローは可燃ごみとなるので、一般廃棄物の量が増えてしまう。また、代替物として紙を用いると、リサイクル率が下がってしまう。ごみの削減に取り組んでいて、かつ、行政からリサイクル率を少しでも上げるような指導をされている中で、一般廃棄物の量が増える動きを取るのとは矛盾しているように思える。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、上質紙、機密書類をテナント毎に分別するようマニュアルを作成してお願いしている。

C. ごみ減量・資源化に向けての課題

- ・分別マナーの悪いテナントには、指導をするようにはしているが、現状入居テナントごとの排出状況を把握しているわけではない。他の系列ビルではテナントごとの計量を実施しているが、当社ほどの規模になると管理することが物理的に不可能。テナントごとに計量するシステムを構築すること自体、膨大なコストが必要になる。
例えば店舗ごとのシールやバーコードを貼ることも、それだけで従業員の負荷がかかるが、それによってごみの量自体はあまり変動しないうえ、経費削減にもつながらない。テナント側からするとただ面倒になる。
- ・分別指導をするにしても、直接書面を持参して指導をするか、入居テナント全体を集めて、環境協議会で啓発しない限りは効果がない。全体に向けた案内を出しても、入居テナントは他人事のように思う。
そして、それほどまでにコストを注いで実施しない限りは、ビルそのもののリサイクル率も向上しない。ビルのリサイクル率が低いことを行政から指導されるが、飲食店を多く取り入れている店舗では、その達成は困難である。

D. 区への要望・今後の展望

- ・タイムリーに提供されるならば、国の動向については情報提供をしてほしい。行政からの発信がないので、必要な

情報があれば自分で探すしかない。

- ・情報を検索する手段は、主にインターネットを活用している。
- ・不動産業の同業他社と、廃棄物に関して情報交換をしている。

(14) オフィスビル(複合ビル) N 社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年1月31日(金) 10時00分～11時00分		
延床面積	206,025m ² 以上	従業員数	14,000名
可燃ごみ発生量	4t/週	主な可燃ごみ	生ごみ、紙ごみ、剪定枝
生ごみ発生量	1.2t/週	紙ごみ発生量	2.8t/週

イ ヒアリング結果

ヒアリング対象の複合ビルは、オフィス事業所 40 社と飲食店等 20 社のテナントビルである。ごみ処理費は共益費に組み込まれており、また、テナントビルの総務担当向けに年に2回研修(省エネ、ごみ分別など)を実施している。環境配慮型複合ビルとして、ビル全体でリサイクル率 80%を目標に掲げている。

A. ごみの排出状況

① 生ごみ

- ・オフィスと飲食店から廃棄される生ごみが多い。
- ・オフィスから出た生ごみ(社員が昼食等で残した食べ物など)は、各フロアの可燃ごみとあわせて、一般廃棄物として処理されている。
- ・食品リサイクルに出している生ごみは、1週間当たり 4.8t である。
- ・一般廃棄物として処理している生ごみも、食品リサイクルに出している生ごみも、同じ収集運搬業者に委託して処理している。(一般廃棄物、産業廃棄物、専ら物など全て同じ事業者)

② 紙ごみ

- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、上質紙、機密書類以外の紙類及びこれらの汚れた紙を排出している。
- ・新聞、雑誌、段ボール、ミックスペーパー、上質紙は有価で回収してもらっているが、機密書類は処理費を支払っている。古紙の排出量は1週間に 37t。

③ プラスチック

- ・プラスチックは分別して排出するよう、テナントにお願いしている。排出量は1週間に 4t、処理費は 40 円～100 円/kg である。
- ・プラスチック対策として、テナントにはプラスチック容器から紙容器の使用に切り替えるように依頼している。

B. ごみ減量・資源化に向けた取組

- ・飲食店等から出た生ごみは、店舗ごとに指定の生ごみ専用のごみ箱に入れて、食品リサイクルとして別途処理している。

- ・テナント全体に、ごみの分別を周知徹底することは難しい。

C. ごみの減量・資源化に向けての課題

- ・特になし。

D. 区への要望・今後の展望

- ・事業者のごみ減量・分別の徹底に向けて、区の施策として取り決めていただきたい。
- ・事業系のごみ分別の手引書を、作成していただきたい。
- ・事業者向けセミナーを開催してほしい。類似事業者での事例紹介は参考になる。
- ・区からの情報の入手方法は、紙媒体が有効である。

(15) 一般廃棄物処理許可業者 O 社

ア ヒアリング概要

実施日時	令和2年1月31日(金) 10時00分～11時00分
------	----------------------------

イ ヒアリング結果

A. 事業者の概要

- ・一般廃棄物、産業廃棄物、再利用物(資源ごみ)、粗大ごみの収集運搬を行っている。
- ・主に 10 m³以上のビルの収集運搬及びビルの廃棄物管理の契約をしている。
- ・現在収集運搬及び廃棄物管理を取引しているビルは 30 社程度。
- ・新しいビルが建設される場合、ビルの集積所の設計に関する相談にも乗っているため、集積所(ごみのストックヤード)の設計にも携わることが多い。

B. 処理事業者から見たごみ排出事業者の状況

- ・紙ごみは回収量も需要も減っている
- ・プラスチックの環境問題に対する意識は高まっているものの、回収量は横ばい。処理費が高騰している
- ・2009 年以降に新設されるビルにおいては、不燃ごみと廃プラを分けるようになった。商業・オフィスビルでは、不燃ごみのうちプラスチックが 95%ほど占めていたため、プラスチックを分けることによって不燃ごみの量が減った。分けた廃プラスチックはサーマルリサイクルされている。
- ・古紙分別についても同様で、大規模事業所においては分別しているのはもちろんのこと、ミックペーパーを分けているビルも増えている。
- ・ただし、中小規模のビルにおける分別マナーはさまざまである。分別ボックスを置くスペースがないということで、可燃ごみ・不燃ごみのみのところもある。小さなビルはごみ置き場も無いため、区のシールを貼って路上に出しているという事業所もまだある。

C. 処理事業者から見た事業者のごみ減量、資源化の取組

① ごみの計量について

- ・最近の新しく建つビルでは、集積所に計量器を設置することが当然になっている。
- ・同社が管理している 3,000～100,000 m²ある建物の場合、個々のテナントでゴミを計量するか、または清掃員が計量してからゴミを出していると聞いている。収集時に収集作業員が計量するのは、作業時間がかかりコストも高いため、テナントの担当者や清掃員が計量することが多い。

② 廃プラスチックの処理について

- ・プラスチックだけ分別して排出すると処理費が安いと、プラスチックのみ分別してもらっている。
- ・現在、廃プラスチック処理コスト高騰のため、プラスチックに異物が入っているとプラスチックの再生事業者から指導される。
- ・廃プラスチックは、都内にある再生事業者によって RPF 化されている。

D. 処理事業者から見たゴミ減量・資源化に向けての課題

- ・ほとんどのビルでは、清掃会社が事業者のゴミを集積所まで持ってきている。そのため、持ってきたゴミの置き場所など、清掃会社への教育が徹底されていない。
- ・ゴミ分別マナーが悪いテナントにおいては、清掃員から相談されることがある。その場合は、自社から直接テナントの総務担当者へ報告している。
- ・建物によっては、リサイクルボックスを置くスペースがないというビルもある。その場合は、可燃ゴミ、不燃ゴミ、古紙の3つに分けてもらい、別途処理費をもらったうえで、不燃ゴミの中からペットボトルや缶・びんなどの資源ゴミを選別している。
- ・収集運搬だけでなく、建物全体の廃棄物管理まで委託される場合は、集積所に同社の常駐社員を配置して、対応している。そのような建物では、ゴミは毎日収集をし、翌日に収集するまでの間にもゴミが発生する。また、マナーが悪い排出者もいるため、排出されたゴミの分別・選別、汚れた容器の洗浄、集積所の清掃などを随時行っている。

E. 区への要望・今後の展望

- ・一般廃棄物の処理費用が安すぎるのではないかと。
- ・一般廃棄物としての弁当容器の受け入れを区は嫌がっているようだが、廃プラスチックだけ分けてサーマルリサイクルするより区で処理した方が安くすむ。そのため、未だに弁当容器だけ分けて区の方で処理している事業者が減らない。
- ・小規模事業者のゴミ回収をやめる収集運搬業者が増えている。これは、区が税込み 40 円/kgの上限規定を設けているためであり、これでは収集運搬業者としては採算があわない。小規模事業者に対しては、区が直接収集するよう対応してほしい。

【資料編】

港区 ごみ・資源に関する区民アンケート調査について

日頃から、港区の清掃リサイクル行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、港区では、令和２年度に「港区一般廃棄物処理基本計画（第３次）」の見直しを行う予定です。このため、将来のごみの減量化・資源化施策等を検討するための基礎調査として、標記のアンケート調査を実施することとしました。

調査にあたりまして、港区にお住いの１８歳以上の方から、無作為に２,０００名を選ばせていただきました。調査結果はすべて統計的に処理を行い、個別の回答結果を利用することは一切ございません。率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

〔回答方法〕

1. 質問の内容にしたがって、あてはまる項目の番号を○で囲むか、☐内、()内に必要事項をご記入ください。また、「その他」を選択された場合は、その内容を()内にご記入ください。
2. ○をつける数は質問によって異なりますのでご注意ください。また、回答によっては、補足質問がございますので、ご注意ください。

〔ご記入に際しての注意事項〕

このアンケートのご回答は、あなたのご家庭で日頃、ごみを出している方にご記入をお願いいたします。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れて、

１２月４日(水)までに

ご投函くださいますようお願いいたします(切手を貼る必要はありません)。

この調査票は、厳重に管理するものとし、調査委託会社以外、外部に情報を提供することや、調査の結果得られたデータを他の目的に使用することは一切ございませんので、本調査にぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

＜調査委託会社(調査の内容に関するお問い合わせ)＞

株式会社ダイナックス都市環境研究所

電話：０３－３５８０－８２２１

＜調査実施主体＞

港区環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所

電話：０３－３４５０－８０２５

担当：運営係 島崎・白根

ごみ減量推進係 福田・藤野

港区 ごみ・資源に関する区民アンケート調査

I あなたご自身とご家庭について

問1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

1. 10 歳代 2. 20 歳代
3. 30 歳代 4. 40 歳代
5. 50 歳代 6. 60 歳代
7. 70 歳代以上

問3 あなたと同居している人数は何人ですか。あなたご自身を含めた人数をお選びください。(○は1つ)

1. 1 人 2. 2 人 3. 3 人
4. 4 人 5. 5 人 6. 6 人以上

問4 あなたの職業は何ですか。該当するものをお選びください。(○は1つ)

1. 会社員・公務員 2. 自営業・家族従業員
3. アルバイト・パート 4. 主婦・主夫
5. 学生 6. 無職
7. その他（具体的に)

問5 あなたのご住所を左の例にしたがって記入してください。

例) 港区 丁目 港区 丁目

問6 あなたのお住まいの住宅について、該当するものをお選びください。(○は1つ)

1. 戸建住宅
2. 店舗、事務所併用の住宅
3. ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅（管理人がいる）
4. ごみの保管場所があるマンションなどの集合住宅（管理人がいない）
5. ごみの保管場所がないマンションなどの集合住宅
6. その他（具体的に)

問7 あなたは、港区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1. 1 年未満 2. 1 年以上 3 年未満
3. 3 年以上 5 年未満 4. 5 年以上 10 年未満
5. 10 年以上 20 年未満 6. 20 年以上

■区民アンケート調査票

Ⅱ ごみに関する問題意識や日常の行動について

問8 次の項目のうち、あなたが関心のある事項をお選びください。（○はいくつでも可）

- 1. 食品ロス問題について
- 2. 海洋プラスチック問題について
- 3. ごみの減量・リサイクルの方法について
- 4. ごみの焼却施設や最終処分場が環境に与える影響について
- 5. ごみの排出量やごみの処理費用について
- 6. ごみ集積所へのごみの出し方、ごみ出しマナー等について
- 7. 災害廃棄物について
- 8. ごみの問題については関心がない
- 9. その他（具体的に

問9 あなたのご家庭で、日頃の生活で心がけていることや取り組んでいることは何ですか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

	常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない
（1）紙コップ等使い捨て商品を使わない	1	2	3	4
（2）シャンプー・リンスや洗剤等は詰め替えできる商品を購入する	1	2	3	4
（3）量り売り・ばら売りの商品を購入する	1	2	3	4
（4）食材等を買いすぎないようにする	1	2	3	4
（5）買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋はできるだけもらわない	1	2	3	4
（6）包装の少ない商品を選ぶ	1	2	3	4
（7）コンビニ等で割り箸を断る	1	2	3	4
（8）リサイクルショップ、フリーマーケットで商品を購入する	1	2	3	4
（9）リサイクルショップ等のウェブサイト、フリマアプリを利用する	1	2	3	4
（10）リサイクル材料を使用した商品を優先して購入する	1	2	3	4
（11）長く使えるものを購入する	1	2	3	4
（12）故障してもすぐには捨てず、修理して使う	1	2	3	4
（13）港区の環境保護やリサイクル活動等のイベントに参加する	1	2	3	4

■区民アンケート調査票

問 10 区では、ごみの出し方や区の手配について、様々な方法で情報提供を行っています。あなたが利用したことのあるもの、またはご覧になったものをお選びください。（○はいくつでも可）

- 1. 区のホームページ
- 2. 広報みなど
- 3. 動画（ケーブルTV・デジタルサイネージ・DVD（清掃事業紹介・資源化センター紹介番組））
- 4. SNS（ツイッター・フェイスブック等）
- 5. ごみ分別アプリ
- 6. 清掃車のラッピング広告
- 7. 利用したことがない、見たことがない
- 8. その他（具体的に

問 11 あなたが、日頃ごみを出す際の行動について伺います。もっとも近いものを選び、それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

内 容	行っている	行っていない
（1）プラスチックは小袋に入れて、更に大きな袋にまとめて出している	1	2
（2）プラスチック容器は、軽くすすいで出している	1	2
（3）お菓子の箱や包装紙等は可燃ごみに入れずに資源で出している	1	2
（4）ペットボトルは、キャップ・ラベルをはがして出している	1	2
（5）スプレー缶は、穴をあけずに出している	1	2
（6）割れたガラスは「キケン」と表記して、他の不燃ごみと別にして出している。	1	2

問 12 あなたが日頃最も利用しているスーパー等では、レジ袋削減のために、レジ袋を有料にしていますか。（○は1つ）

- 1. 有料にしている
- 2. 無料である（レジ袋を断ると値引きやポイント付与がされるスーパー等を含む）
- 3. その他（具体的に

■区民アンケート調査票

問 12-1 問 12 で「1」と回答した方におたずねします。あなたはレジ袋を購入していますか。
(○は1つ)

1. 買い物袋（マイバック）を持参するなどレジ袋は購入していない
2. できるだけレジ袋を買わないようにしているが、ときどき購入している
3. いつもレジ袋を購入している
4. その他（具体的に _____ ）

問 12-2 問 12 で「2」と回答した方におたずねします。あなたはレジ袋をもらっていますか。
(○は1つ)

1. 買い物袋（マイバック）を持参するなどレジ袋はもらっていない
2. できるだけレジ袋をもらわないようにしているが、ときどきもらっている
3. いつもレジ袋をもらっている
4. その他（具体的に _____ ）

問 12-3 問 12 で「2」と回答した方におたずねします。もしあなたが日頃利用しているスーパー等がレジ袋を有料にした場合、どうしますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 買い物袋（マイバッグ）を持参する | 2. お金を払ってレジ袋を購入する |
| 3. レジ袋が無料のスーパー等に変更する | 4. その他（具体的に _____ ） |

問 13 東京 23 区では、東京港の中央防波堤外側埋立処分場等を最終処分場※として使用しています。この処分場は 23 区最後のごみの埋立処分場と言われており、概ね 50 年で満杯になると推測されています。しかし、埋め立てできる量に限りがあることには変わりありません。このような状況について、ご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っていて、危機感を持っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
3. 知っているが、どうにかなると思っている
4. 知らなかった
5. その他（具体的に _____ ）

※ごみの最終的な埋立地です。ごみを焼却した後の灰や、細かく砕いた不燃・粗大ごみ等を埋め立てます。

区民アンケート調査票

Ⅲ ごみ・資源の発生・処理状況について

問 14 あなたの家庭では、下記の品目をどのように出していますか。主な方法として、それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

品 目		区 の 回 収						町会・自治会等の集団回収	販売店への返却・販売店の回収	業者による廃品回収	わからない	その他	発生しない (該当なし)
		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源	資源プラスチック	拠点回収（総合支所等に設置している回収ボックス）						
紙類	新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	雑誌等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	段ボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	紙パック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	その他再生可能紙（菓子箱等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
飲食用びん類		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
飲食用缶類		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
プラスチック類	ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	容器包装プラスチック※1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	製品プラスチック※2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
乾電池		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
衣類		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
シーツ・カーテン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

※1：商品の容器や包装材として利用されているプラスチックのうち、ペットボトル、食品トレイ以外のものです。マークがついています。

※2：プラスチック製のバケツ、ハンガー、おもちゃなど、商品としてのプラスチックです。

◆集団回収について◆

集団回収とは、地域の方々が自主的にグループを作り、家庭から出る新聞や雑誌、缶、びんなどを集めて資源回収業者に引き渡し、リサイクルする仕組みをいいます。集団回収団体には区から報奨金や補助用具の支給、あき缶プレス機の貸し出しを行っています。

問 15 あなたの家庭では、ごみ出しに主にどのような袋（容器）を利用していますか。
（○は1つ）

1. 市販の中身の見えるごみ袋
2. スーパー・コンビニ等でもらったレジ袋
3. ポリバケツ
4. その他（具体的に

■区民アンケート調査票

問 16 あなたの家庭では、台所で発生した生ごみの水切りは主にどのように行っていますか。
(○は1つ)

1. 三角コーナーや水切りネットを利用し、自然に水を切ってからごみに出している
2. 三角コーナーや水切りネットを利用して水を切り、さらにごみを出すときはしぼってから出している
3. できるだけ水につけないようにしてごみに出している（三角コーナー等は利用しない）
4. ディスポーザー※を利用しているので、水切りの必要はない
5. 特に何もしていない
6. その他（具体的に

※台所の排水口から流した生ごみをモーターで細かく粉碎し、下水に流すシステムです。

問 17 あなたの家庭では、生ごみをどのように処理していますか。主な処理方法をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 区の可燃ごみ収集に出している | 2. 生ごみ処理機を用いて処理している |
| 3. ディスポーザーを用いて処理している | 4. コンポスト容器※1を用いて処理している |
| 5. EMボカシ※2を用いて処理している | 6. 庭などに直接埋めている |
| 7. ほとんど発生しない | |
| 8. その他（具体的に |) |

※1：土中の微生物やミミズの働きにより、生ごみを分解する容器です。

※2：EM菌（有用微生物群）を利用した、米ぬか等有機物の発酵資材です。

問 18 区では、生ごみの堆肥化推進のために、生ごみ処理機の購入に対する助成制度を設けています。あなたはこの助成制度をご存知ですか。(○は1つ)

1. 知っており、助成制度を利用し、現在も生ごみ処理機を使用している
2. 知っており、助成制度を利用したが、現在、生ごみ処理機は使用していない
3. 知っているが、利用するつもりはない
4. 知らなかったが、助成制度を利用しないで、現在、生ごみ処理機を利用している
5. 知らなかったが、利用してみたい
6. 知らなかったし、利用するつもりもない
7. その他（具体的に

◆家庭用生ごみ処理機等購入費の助成制度について◆

区では、家庭から出る生ごみの減量および堆肥として活用するための生ごみ処理機やコンポスト容器購入費用の一部助成を行っています。助成金額は、一世帯につき、1台の生ごみ処理機等本体の購入費用（消費税込み）の2分の1で、20,000円を上限とします。

■区民アンケート調査票

問 19 あなたの家庭では、廃食用油をどのように処理していますか。(○は1つ)

1. 紙や布にしみこませ、区の可燃ごみ収集に出している
2. 凝固剤で固めた後、区の可燃ごみ収集に出している
3. 容器に入れて、区の拠点回収に出している
4. 流し場に流す
5. 家庭で使い切る、もしくは使わないため発生しない
6. その他(具体的に)

問 20 あなたの家庭では、古着・古布をどのように処理していますか。(○はいくつでも可)

1. 区の可燃ごみ収集に出している
2. 区の拠点回収に出している
3. 友人・知人に譲る
4. 町会・自治会等の集団回収に出している
5. リサイクルショップやフリーマーケットを活用する
6. 雑巾等として活用する
7. その他(具体的に)

問 21 区では良質な家具を無償で引き取り、簡単な清掃・補修をした後、有料販売をしている「家具のリサイクル展」を実施しています。あなたは「家具のリサイクル展」をご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っており、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らなかったが、利用してみたい
4. 知らなかったし、利用してみたいとは思わない
5. その他(具体的)

問 22 あなたの家庭では、家具をどのように処理していますか。(○はいくつでも可)

1. 区の粗大ごみ収集に出している
2. 区の「家具のリサイクル展」を活用する
3. リサイクルショップやフリーマーケットを活用する
4. その他(具体的に)

問 23 ごみの減量のためには、「分ければ資源」と言われるように、ひと手間加えていただくことが大切ですが、あなたはごみと資源の分別をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. きちんと分別をしている | 2. だいたいは分別をしている |
| 3. あまり分別をしていない | 4. 全く分別をしていない |
| 5. その他(具体的に) | |

■区民アンケート調査票

問 23－1 問 23 で「1」または「2」と回答した方におたずねします。あなたはどのようにごみと資源の分別をしていますか。(○は1つ)

- 1. 区が配布した分別ガイドブックを確認しながら分別している
- 2. 区が配信している「ごみ分別アプリ」を確認しながら分別している
- 3. 区のホームページを確認しながら分別している
- 4. ごみ集積所の状況等を見つつ、自分なりに分別している
- 5. 分別の区分はすでに覚えているので、問題なく分別している
- 6. その他（具体的に

問 23－2 問 23 で「3」または「4」と回答した方におたずねします。あなたが分別をしていない理由は何ですか。(○は1つ)

- 1. 分別のルールが分からない
- 2. 分別するのが手間
- 3. 分別の必要性を感じない
- 4. 誰かが自分に代わって分別していると思うから
- 5. その他（具体的に

IV 区のごみ処理に関する満足度について

問 24 現在のごみ収集や資源回収の回数(頻度)について適当だと思うものをお選びください(○は1つ)

収集区分	現在	適当と思う収集回数		
		現在の回数でよい	多くすべきだ	少なくともよい
可燃ごみ	週 2 回	1	2	3
不燃ごみ	月 2 回	1	2	3
資源プラスチック	週 1 回	1	2	3
ペットボトル	週 1 回	1	2	3
びん	週 1 回	1	2	3
缶	週 1 回	1	2	3
古紙	週 1 回	1	2	3

問 25 資源回収の品目数（資源プラスチック、ペットボトル、びん、かん、古紙）は適当だと思いますか。(○は1つ)

- 1. 適当である
- 2. やや多い
- 3. 多すぎる
- 4. やや少ない
- 5. 少なすぎる

■区民アンケート調査票

問26 ごみの減量・リサイクルの推進のため、新たに資源化を推進したほうがよいと思うのは次のうちどれですか（〇はいくつでも可）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生ごみ | 2. 廃食用油 |
| 3. 剪定枝 | 4. 古着・古布 |
| 5. 小型の家電製品（携帯電話など） | 6. 充電式電池・ボタン電池 |
| 7. 電球・蛍光灯 | 8. 特に追加すべきとは思わない |
| 9. その他（具体的に_____） | |

問27 区の広報やパンフレット等で、ごみの減量・リサイクルの必要性が十分に伝えられていると思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 十分である | 2. どちらかといえば十分である |
| 3. どちらかといえば不十分である | 4. 不十分である |
| 5. あまり読まないのわからない | |
| 6. その他（具体的に_____） | |

V 今後の区の取り組みについて

問28 今後、ごみの収集や減量・リサイクルを進めるにあたって、あなたが区に力を入れてほしいと思うことは何ですか。（〇はいくつでも可）

1. ごみ減量の取り組み事例等、情報提供の充実
2. 次世代向けの環境学習を通じた人材育成
3. ごみ集積所の環境美化に向けた区民の意識啓発
4. ごみ集積所のカラス対策
5. 正しい分別や不法投棄防止のための指導・パトロール
6. 正しい分別をしない人、ごみ排出ルールを守らない人への罰則の導入
7. 分別されていないごみの取り残し（ごみ袋への違反シールの貼付）
8. 戸別収集の実施
9. 分別・資源化品目の拡充
10. 資源の区による拠点回収・事業者による自主回収（店頭回収等）の充実
11. 集団回収の支援・拡充
12. 生ごみ処理機の助成制度の充実
13. ごみ減量のための家庭系ごみの有料化の実施
14. ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ
15. その他（具体的に_____）

■区民アンケート調査票

Ⅵ 海洋プラスチック問題

プラスチックが、ポイ捨てされたり、風で飛ばされたりして、川などに漂流しそのまま海に流れ込み、海に住んでいる生き物の生態系を脅かしています。海洋プラスチックを減らすためには、プラスチックの排出を抑えることが必要になります。

問29 あなたは、「海洋プラスチック問題」をご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っているし、意味も分かる
2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
3. 知らない

問30 あなたは、海洋プラスチックの原因となるものは何だと思いますか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

品 目	そう思う	そう思わない
レジ袋	1	2
ペットボトル（ラベル・キャップを含む）	1	2
食品包装（おにぎり・パン等）	1	2
プラスチック製スプーン等、ストロー	1	2
ボトル（シャンプー、液体せっけん等）	1	2
釣り糸	1	2
食品トレイ（弁当容器を含む）	1	2
化学繊維（ポリエステル等）	1	2
発砲スチロール	1	2
プランター等屋外で使用するプラスチック用品	1	2

問31 海洋プラスチック問題の解決のため、あなたは何ができますか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

項 目	常に できる	ある程度 できる	あまり できない	全く できない
買い物の際はマイバッグを持参し、レジ袋を断る	1	2	3	4
外出する際はマイボトルを持参し、ペットボトル商品は購入しない	1	2	3	4
買い物の際、プラスチック製のスプーン・フォーク・ストロー等を提供されたら、受け取らない	1	2	3	4
プラスチック削減に取り組んでいる企業の製品を選ぶ	1	2	3	4
同じ製品で、プラスチックの製品とプラスチック以外の製品があった場合、プラスチック以外の製品を選ぶ	1	2	3	4
地域の清掃活動に参加する	1	2	3	4

■区民アンケート調査票

問32 区では、平成20年度よりプラスチックの資源回収を行っています。プラスチックの分別はどのように行っていますか。(〇は1つ)

1. できる限り汚れを落として分別し、プラスチックの資源回収に出している
2. 汚れは落としていないが、分別し、プラスチックの資源回収に出している
3. 分別方法がわからないものは、可燃ごみに出している
4. 分別方法が全くわからないので、すべて可燃ごみに出している
5. 港区は分別が面倒なので、すべて可燃ごみに出している
6. プラスチックの資源回収を行う前の分別区分である不燃ごみに出している
7. その他(具体的に)

問33 平成20年度より開始した資源プラスチックの分別について、わからないことはありますか。(〇はいくつでも可)

1. どこまで汚れを落とし資源プラスチックとして出しているか、わからない
2. 材質がプラスチックか別のものか、区別がつきにくいものがある
3. 金属等プラスチック以外のものがついたものを、資源プラスチックとすべきかわからない
4. 粘着性のあるセロハンテープ等がついたものを、資源プラスチックとすべきかわからない
5. 紙製のラベルがついているもの、食品を包装しているラップ等は、資源プラスチックとすべきかわからない
6. 特にない
7. その他(具体的に)

Ⅶ 食品ロス削減に関すること

～食品ロスとは～

食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、日本では1日1人あたりお茶碗1杯分程度の食品ロスが発生しています。食品ロスが発生する原因は、①直接廃棄(食品を直接すててしまうこと)、②過剰除去(調理の際に野菜の皮等を厚くむきすぎる等)、③食べ残しが大部分を占めています。

問34 あなたは、食品ロスという言葉を知っていますか(〇は1つ)

1. 知っているし、深刻な問題と考えている
2. 知っているし、意味も分かる
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
4. 知らない

■区民アンケート調査票

問 35 あなたの食品に関する普段の行動について伺います。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

【買い物】

項 目	常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない
食品をまとめ買いするようにしている	1	2	3	4
食品が安く売っている時に、多めに買うようにしている	1	2	3	4
同じ食品の中でも、消費期限、賞味期限の有効期限が長いものを買うようにしている	1	2	3	4
冷蔵庫等の中の食品を確認してから、食品を買うようにしている	1	2	3	4
毎日、必要な食品を必要な分だけ買うようにしている	1	2	3	4

【家庭での行動】

項 目	常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない
賞味期限を過ぎた食品は、食べられるか否かを自分で判断して、食べるようにしている	1	2	3	4
調理の際には、食べきれの分の量を調理するようにしている。	1	2	3	4
調理の際には、食材を使いきるようにしている	1	2	3	4
冷蔵庫の中の食材を、把握している	1	2	3	4
食事の際には、食べ残しをしないようにしている	1	2	3	4

問 36 「食品ロス」が家庭で発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。（○はいくつでも可）

1. 食品を買いすぎたため
2. 食品の消費期限、賞味期限が切れてしまったため
3. 贈答品を受け取り、食べなかったため
4. 調理の際に、野菜の皮等を取り除いたため
5. 料理を食べ残してしまったため
6. 災害時に備えていた食品を使わなかったため
7. 特に「食品ロス」は出ない
8. その他（具体的に
-)

■区民アンケート調査票

- 問 37 「食品ロス」が外食や宴会等で発生してしまう場合、どのようなことが原因ですか。
(○はいくつでも可)
- 1. 少量のメニューが提供されていなかった
 - 2. 注文時に思っていた量よりも、多くの量が出てきてしまった
 - 3. コース料理などでまとめて注文したが、食べきれなかった
 - 4. 接待や宴会の席で、話に夢中になり、食べられなかった
 - 5. アレルギー物質を含む食材や苦手食材が入っていた、味が好みでなかった
 - 6. 飲み物が中心で、料理に手をつけられなかった
 - 7. 食品ロスは発生しない
 - 8. その他（具体的に

- 問 38 あなたは、未利用食品（購入したにもかかわらず、まったく食べなかった食品）を捨てたことはありますか。(○は1つ)
- 1. 常にある
 - 2. ある程度ある
 - 3. あまりない
 - 4. 全くない

- 問 39 あなたが捨ててしまったことのある未利用食品は、次のうちどれですか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

項 目	よく 捨てている	たまに 捨てている	あまり 捨てない	全く 捨てない
野菜類	1	2	3	4
果物類	1	2	3	4
肉類	1	2	3	4
魚類	1	2	3	4
米類	1	2	3	4
パン類	1	2	3	4
麺類	1	2	3	4
レトルト食品	1	2	3	4
インスタント食品	1	2	3	4
冷凍食品	1	2	3	4
缶詰	1	2	3	4
乳製品類	1	2	3	4
菓子類	1	2	3	4
調味料	1	2	3	4
備蓄食料	1	2	3	4

■区民アンケート調査票

問40 あなたの家庭では、食品ロスを減らすために何ができますか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

項 目	常に できる	ある程度 できる	あまり できない	全く できない
食品の在庫を確認してから、買い物に行くこと	1	2	3	4
買い物の際に、消費期限及び賞味期限までの期間が短い食品を購入し、早めに消費すること	1	2	3	4
冷蔵庫、冷凍庫の機能を理解し、食品保存に活用すること	1	2	3	4
冷蔵庫を定期的に整理すること	1	2	3	4
野菜などは、皮（食べられる野菜のみ）も一緒に調理をすること	1	2	3	4
「作り置き」をするなど、食品の保存方法を工夫すること	1	2	3	4

問41 区では食品ロスを削減するために、様々な施策を実施しています。あなたは区が実施している施策をご存知でしたか。それぞれ該当する番号に1つずつ○をつけてください。

施策名	説 明	知っていたし、参加（利用）したことがある	知っていたし、参加（利用）したい	知っていたが、参加（利用）したくない	知らなかったが、今後は参加（利用）したい	知らなかったし、参加（利用）したくない
食べきり強化月間	宴会等が多くなる、忘年会・新年会シーズン、歓送迎会シーズンを「食べきり強化月間」に指定し、食品廃棄物・食品ロス削減に取り組んでいます。（期間：12月16日～1月15日・3月16日～4月15日）	1	2	3	4	5
30（さんまる）・10（いちまる）運動	【宴会編】乾杯後の30分間は出来たての料理を楽しみ、終了前10分間も食べることを優先する時間にしましょう 【家庭編】毎月30日「冷蔵庫クリーンアップデー」冷蔵庫の中にある、賞味期限や消費期限が近い食材や、傷みやすい野菜・肉類を活用するようにしましょう 毎月10日「もったいないクッキングデー」 普段捨ててしまいがちな、野菜の皮等や余った野菜を使い、別の料理にリメイクしましょう	1	2	3	4	5
食べきり協力店	「ご飯の量の調整」「ハーフサイズメニューの導入」など、食品ロス削減に取り組んでいる区内の飲食店を、区が登録する制度です。登録店舗は120店舗を超えています。	1	2	3	4	5
フードドライブ	家庭で余っている未利用食品（賞味期限の有効期限が2か月以上）を各総合支所等で集め、「フードバンク」等を通じて、食品を必要とする人に提供しています。	1	2	3	4	5

■区民アンケート調査票

問 42 フードドライブについて伺います。あなたがフードドライブを利用するためには、どんな要件が必要だと思いますか。（あてはまるところに○を記入してください。）

1. 常設の受付窓口が便利な場所にあること
2. 集めた食品が、それを必要とする区内の人に提供されること
3. 集める食品の賞味期限が、2 か月よりも短いこと
4. 自宅に直接取りに来てくれること
5. その他（具体的に

)

問 43 食品ロスに関して何かご意見がありましたら、ご記入ください。

港区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

食品ロスに関して何かご意見がありましたら、ご記入ください。【問 43】

【買い物時の工夫】
余分な物は買わないこと。
普段から買いすぎない事が大切。
ロスを出さない買い物をする事。
安い時に買い過ぎない様にする。
必要な分だけ買ったり、注文したりする人が普通だと思うしロスはおかしい。
各家庭で食べられるだけの食品を買い、残ってしまった物は年配の方でも解りやすいメニューを教えてあげたりする。スープなど…。
冷蔵庫を必要最低限の大きさのものに変えたら、本当に必要なものしか買わなくなり、食品ロスが減りました！オススメです。
私は「空腹時には食品の買い物はしない」と決めています。余計な物を買ってしまう傾向があるためです。また、生の食材は一気に調理してしまうよう心がけています。魚や肉などは時間をおけばおくほど調理が億劫になりがちなので。
私は身体が不自由だし、高齢のため、ネットで注文しています。冷凍庫があるので冷凍食品のまとめ買い、必要なものだけ使えるので無駄は出ません。何となく毎日スーパーに行く等が、いらないもの迄買ってしまい食品ロスになるのではないかと思います。
個人的には幾分かの予備を含めて、賞味期限を確認しながら自分用を管理しています。店舗で期限近いものを〇%off と見ると買う！！店舗の大量ロスが心配です。
家族全員が参加するスケジュール表で、食事が必要な日を知らせ、ムダを出ない。
【買い物時以外の工夫】
コンビニやファストフードの食品ロスが問題になっているが、家庭でも今後は考えていく必要があると思った。
もったいない精神で頑張りたいと思います。(食品ロスをなくすため)
個人としても意識を持って、出来ることから実践していこうと思います。
気をつけて生活したいと思います。
自分で意識すること。
今回のアンケートに答えることによって、さらに厳しくゴミに対応しなければいけないことに気づかされました。
自分自身がもっと意識を持って、食品ロスを減らすことを心がけなければいけないとアンケートを通して感じました。
自分に何が出来るか考えたいし、意識して食品ロスを減らしたいと思う。
なるべく無くしたい。

答えながら自分の生活を見直す機会になった。
自分も気をつけるようにしなければならないと今反省しました。
食物を無駄にしないように改めて思います。
子育て中で子どもが小さいとこまめな買い物や期限の短い物の購入がむずかしいです。できる範囲でロスを減らす工夫をしています。
とてももったいないと思うので、何か方法があれば出来る事をしたい。
育った時代は今のようには豊かでなかったのが大切に致しております。
作ってくれた人の事を考え感謝をしながら頂けば、そんなこと(食品ロスを生み出すようなこと)にはならないと思う。
”食品ロス”、考えられないので～。(”食品”をすてるのなんて！！)
専業主婦、会社員等人それぞれの生き方がありますし、いちがいには言えませんがゴミの分別、食品ロスなど一人一人が考えなければいけませんね～。
”もったいない”この一言に尽きると思う。今の社会なにもかも便利すぎて人間としての心がないと思う。いやなものは(食物)平気で捨てている！
私はあまり食品ロスをしないけれど、周りの人の意識が低いのを感じる。残ったら捨てる、いらないものは捨てる人が多い。
皮、種まで食べれば生ゴミは少なくなる。「ロスはお金を捨てている」
港区では家庭のほか、たくさんの飲食店があります。住民以外でも、そのような店舗を利用するみなさんが食品ロスに対して意識してもらえると、一層の効果が期待できます！！
種類(皿数)が多いと食べきれない。外食でも家庭でも種類を少なくシンプルにすれば食品ロスが減る。
贈答品が原因では？それと貰う家は限られているし。食べられないものを沢山もらう家がロスしていると思う。裕福な家。
個人個人が考えを改めないといけない問題ですね。
意識をみんなで変える必要がありますね。
各自が食べものを大切に、食べきるように。
スローフードだと、おなかがふくらむのが時間かかるのでロス減かと。家庭の食事、レストランでの食事でもゆっくりとした時間がある事。食育も。
食が細くなった我々は、外食の時あらかじめ少量を伝えています。
要は残さず食べれば解決するだけ、賞味期限がきれても食べて問題がないので、とにかく消費期限が過ぎるまで頑張れば良いと思います。
「賞味期限」にこだわるあまり、中身を自分で確認せず、自動的に捨ててしまう人が多すぎる。知人にもいる。「賞味期限」について、どのようなものを周知すべき。
期限切れでも OK。
「消費期限」と「賞味期限」の違いが分からない人が多いと思う。また、生(なま)物以外の食品では賞味期

限が短い気がする。もう少し期間が長くても良い。
行政の賞味期限の定義が厳しすぎる。消費者が自分の舌に敏感になるべき。
昭和以前の生活の知恵を教えるべき。テレビの大食いの番組を面白がっているようでは日本は滅びます。腹八分を心掛け、質素な暮らしをし、人にも物にも感謝をすれば、人は幸せになると思います。”足るを知る”を教育の基礎にして下さい。

【小売店】
まずは、企業や飲食店が積極的に取り組むべき。現状は、その姿勢が全く感じられない。
食品ロスに関しては、各家庭での取り組みは勿論大切だと思いますが、コンビニ等で発生する食品ロスの問題がとても気になります。
コンビニとかの規制を厳しく。
コンビニの食品ロス問題を解決してほしい。
食料品を売っている店側に問題があると思う。レストランなども。
私達消費者側も意識を変えなければならないが、お店（スーパー、コンビニ）などの作りすぎもどうかと思います。
忙しかったり、病気の時は、家ではごはんを作れないので、近所で格安で、おかずを買えるようになるのはうれしい。
スーパー、デパートで食品か弁当、天プラ、おかず、すしなどの残を心配してしまう。昔、小さな店をやっていたが、もったいない残のことを考える。恐ろしいです。
コンビニなどの食品ロスを値引きなどの工夫でなくしてもらいたい。
（スーパー、コンビニ、飲食店は）必要な場所に必要な分を提供できるように考えてほしい。
スーパーやコンビニなどで賞味期限、消費期限が近い物を割引で安くしたりする取組をもっと広めて、様々な店舗で採用すべきだと思う。
賞味期限が短い商品は、割引にして売る努力をするべき。
スーパーは肉類・果物類など生物（なまもの）は、食品ロスを減らすためにも積極的にディスカウントして売ってほしい。（区から働きかけは可能でしょうか？）
賞味期限に余裕があると、ロスの原因になる。最初から値段を下げ量を減らして提供する。
スーパーなどで早く値引きをしてもらいたい。賞味期限が近いものや、お惣菜など！
コンビニでの閉店割引をもっと導入すべき。
賞味期限が切れそうな食品を安く売るようにすればいいと思います。
コンビニで捨てるくらいなら安く売ってほしい。
余った食品は、常連さんやお得意先にサービスして渡す。
少人数家庭向けの小パック容器に入った食品または、計り売り（量り売り）をしてほしい。
計り売りを増やす（生物、そうざい）。立食の時の食べ残しが気になる。声かけや食事はコースをいただきたい

てから、アルコールなどたのしむなど工夫を。
単品に出来るものは、売る業者がパックにしないで販売してほしい。小分けが出来る商品は出来るだけ分割にしてほしい。
スーパー等の小売店業が少量の野菜などを販売してくれると良いと思う。色々考えると私達高齢者はなるべく外食するのが良いと主人と良く言っています。
スーパーでも少量のパックを置いてほしい。病気をして食べきれないので余る。レストランもハーフサイズのメニューを置いてほしい。
一人暮らしの人は袋にまとめ売り(野菜とか)よりも、バラ売りの方が良い。
食べられる食材を廃棄する程悲しい事はない！コンビニ他もっと力を入れ、安く提供して循環するべきです。
コンビニ弁当は冷凍にする。
料理等過剰に作りすぎ。スーパーに並んでいる食材は形などが均一化しすぎ。
祭時前大手デパート・スーパー・コンビニでは、商品を多量に準備し、余った食品は、廃棄処分すると聞きましたが、さすがに最近では、注文を受けた量だけ準備・販売するよう変わったと聞きました。心から良かったなー！と思っています。
コンビニ等の廃棄も多いと思います。おそらく基準がきびしいので、廃棄せざるを得ないかと…。スーパーやコンビニのお弁当などの基準見直しができたら良いと思います(捨てずに困っている人にあげるとか)。
食品ロスって、コンビニ・スーパーの製造過多じゃないの。家庭では残飯(ノコリメシ)は、焼飯(ヤキメシ)にして食べるとか、お茶漬けとして食しているのではないか。
店が多く仕入しすぎ(ケーキ屋・パン屋・コンビニ・スーパーなど)。

【飲食店】
家庭内での食品ロスの問題に対する策よりも、飲食店での対策が急がれるのではないか。大量破棄(廃棄)されているゴミを見ると心が痛む。
食品ロスは飲食店、家庭、スーパー、コンビニ等、細かく調査して対策を考えたら良い。
外食店やコンビニにおけるロスを減少できるようにすべきではないでしょうか。
自分ではできる範囲でロスがないようにしているが、宴会やレストランなど”外食”に問題があると思う。
飲食店で料理を出す時に、大皿で出さなければ、食べ残しを減らせるのではないか。
賞味期限にこだわりすぎているのではないのでしょうか(自分の五感を働かせてみましょう)。戦中戦後を思い大事にしたいものですが、家庭よりコンビニ、デパ地下の食料品売り場、ホテルの宴会など、必要量だけ提供することを考えて欲しいです。
食べ放題をうたう店は沢山ありますが、食べ残し罰金という店もありますので、全てそのルールを取り入れるべきだと思います。

外食産業の食品ロス対策が気になる。特にホテルのビュッフェなど。家庭でも贈答品の処理に困ることが多く、どうにかしたい。
ランチでごはんを半分にしてもらっても、値段はそのままの場合のお店もあって、その点は 10 円なり 20 円なり差し引いてくれば、もっと積極的に利用できるのにな…と思う。
お店に出かけたときの量の多さに困るときがあります。値段はそのままでもライスなどは半分に出来るのですがメインはなかなかむずかしいですね。
高齢になり少食にもなりました。外食が楽しみですが、お子様ランチ並のシルバー向け少量食べ切りを望みます。
昭和 25～30 年頃、子供でした。お米一粒も無駄にしていけないと、お百姓さんが丹精込めて作ってくださったものだからと教えられ育ちました。その精神を再認識する必要があると思います。シニアが多くなった時代、飲食店ではお子様ランチならぬシニアランチ(分量少なめ)を考えていただけたらよいのではないのでしょうか。
チェーン店を経営しておりますが、閉店間近の米が大量にあまってしまう事があります。たぶん他店でも余ると思います。従業員のまかない等に使っておりますが、捨ててしまうことも多くなんとかしたいです。
本社、本店が現場等にノルマを課す所が問題である。
外食の時に余ってしまった食品を持ち帰りやすくなるとよいと思います。
ドギーバッグの活用がいいと思うが、衛生面で不安がでるだろうから、むずかしいですね。
レストラン等で食べ残り持ち帰り、と、再利用、活用の徹底。
パーティー等で食べ残した物や、レストラン等で多すぎた物については、衛生面の問題で難しいのかもしれませんが、ドギーバック等で持ち帰れるようにできたら無理せず消費できる量が増えると思います。
飲食店で料理の持ち帰りができない。
外食で食べきれなかった料理を持ち帰ればと思うことが時々有りますが、たいてい断られます。
宴会の料理は多すぎるので、食事メニューは都度注文するようにした方がよい。
お店(宴会)での料理の量をお客が遠慮なく少なく注文できる社会になること。

【教育・啓発】
区でもっと啓蒙活動をして欲しい。
住民の意識向上を推奨してほしい。
意識づけや啓発が大切だと思う。制度はいずれ古くなるので。
食品ロスを出さないよう呼びかけをする。
1 日に 1 食しか食べられない子供もいるとか。とても胸が痛みます。港区は子供の貧困とか、どう対処しているのでしょうか？知りたいです。食品ロスは、1 個人 1 企業の啓蒙しかないと思います。しつこいぐらいに！

食品ロスの活動にぜひ参加したいです。港区での開催をアナウンスしてください。
区主催のイベントなどあれば参加したいです。ごみの分別に関心がない方は、このような方法のアンケートにも協力しないのではないのでしょうか。
友人から野菜の皮の調理法や、茎の使い方など教えていただいた。そのような知恵を伝達できると良いと思う。
食品ロスを少なくする、ステッカーか目につくポスターを。
人々の意識を高めるためにも、読み物配布などを通し、定期的に「ごみ・資源」に関する問題や解決策、取組などを発信して、指導を強化してほしい。
現状についてメディア等を通じてアピールしてほしい。自己啓発の意味でも。意識を少しずつ変えることが大切。子供の教育にも。
個人別(消費)摂取カロリー(健康プログラム)の周知により、各個人、食材及び食事量の制限を基に食品ロス削減に？かるのでは。
幼い頃からの教育が大切なのでは？意識しかないと思う。
問 41 の内容は何で情報発信されているのでしょうか。
給食の食べ残しがすごい量だと子どもから(公立中)聞きました。担任も平気でこれ食べられないといっ て残したそうです。子どもは大人を見て育つので、特に小さな内から教育者は自覚を持って、道徳的な ルールを守り子どもに接してほしいと思います。ゴミ食品ロスについては圧倒的な教育不足が日本全体 の問題であると思います。
港区のように人も企業を集めるところが本気で食品ロスストップに取り組めば相当インパクトあると思 います。路上喫煙が罰金のように、外食や会社で食品ロスがあった場合はペナルティーで罰金!!くらいの 本気度でいってください。
食品ロス削減に取り組んでいる区内の飲食店の情報をもっと周知してもらえると、利用したいと思う人 は多いので、効果があると思う。

【寄付・譲渡等】
貧困層へ配布する仕組みを考えて実践してほしい。港区はホテルが多く、宴会、パーティー時のビュッ フェ形式の食事ののこりが相当あるので事業者が会議を設けて真摯に向き合うべきだと思う。
必要な人が、抵抗なく受け入れること。(人の目を気にしないで済む、手軽さ)
余ったものを公園などでホームレスに配ってあげたりするといいと思います。
アプリなどで余った(余りそうな)食品を贈与あるいは安値で売れるよう拡充していけば、ロスも減って いくと推察
日常で気軽に持ち込めるシステムがあれば是非利用したい。ボランティアを含め広く周知して頂きたい です。
スーパーなどの消費期限切れでない賞味期限切れ食品は、必要な人に提供されると良い。

コンビニ等が期限の近いものを提供すること。
フードドライブの活動をしていたのは知らなかったのもっと周知できるとよいと思う。
ネットオーダーなどで、まちがえて購入した冷凍食品などもフードドライブにいかせたらと思います。スーパーやコンビニにフードドライブのポスターがあると、みんなも理解しやすいと思います。
フードドライブなど全てにおいて、もっと知ってもらうことが大前提に必要なと思う。それと同時に、知った人がすぐ気軽に利用できる環境にしておくことも必要。面倒な点があると利用が遠のく人が多いと思うためです。
食品を全く捨てず、食べものを必要としている方々にわたす。火を入れたら、翌日でも食べられる品は多いから、工夫して食べるべき。
賞味期限切れ食品を加工して食べる事が出来るルートを整備するのはいかがでしょうか。
スーパー、コンビニなど、お店で捨ててしまう食品を利用できるシステムが必要。
賞味期限後の製品を施設の食事で活用する等の仕組みづくりを行ってほしい。
期限切れの食品、食べられるのに捨てるのはもったいない。期限切れが近くなったら寄附するとか、ロスが出ないように作るのを少なくするなど…。
食事を必要としている人にサポートしたい
ロンドンに住んでいた時には、スーパーの期限切れ等を集めて、カレーなどを無料で提供していた(たぶんインドの宗教系の活動)。利用者はホームレスだけではなく、一般の人も列に並んで美味しそうに食べていた。
結局ゴミ捨て同然でないのか？誰に渡っているのか？成功例は具体的にどこのエリアか？教えて欲しい。

【リサイクル】
飼料・肥料にリサイクルされ、そこから家庭菜園などに戻ってくるといいと思います。
食品は自然の循環サイクルに戻るべき(肥料等)。国の負担では限界もあるので、ある程度利用者から手数料をとるのはやむをえない。

【賞味期限・消費期限】
賞味、消費の区別が分かりづらい。
消費期限や賞味期限を細かく書きすぎだと思います。期限を過ぎたら、様子もみないで捨てる人が多く、もったいないです。昔は自分の目や舌で判断していたはず…。
消費期限と賞味期限の見直し、特に賞味期限は個人によって期限切れ後の幅のとらえ方が大きくちがうと思う。

【その他】
食料品店(コンビニ)や飲食店の多い港区こそ区民・区勤務の人たち一丸となって真剣に食品ロス問題にとりくみ、全国のロールモデルになってほしい。
行政が介入しないこと。
次世代へ、小さな子供たちが大人になる時期、日頃より目に止められる環境をもっと取り入れていただきたい。
分別は少しでも簡単にしてほしい。区によっては、ほとんど一緒に捨てていいところがあるようです。焼却炉の問題とか…？
集積場所の周知徹底。
食品は安全が第一だと思っているので不安を感じる物は絶対食べないしこれからも捨てると思います。
現在の大量消費社会において、何事にも”ロス”が発生することは否めない。相対的に数値を管理することくらいしか今のところ把握できていません。常にビジネスと論理とのジレンマに悩まされることでしょう。
なるべくロスを出さないようにしているが、予想外の外食などでやむを得ず出ることがあるのである程度は仕方ない考える。
便利な世の中になればなるほど食品ロスは増えていくと思います。
なるべくロスを減らしたいのですが、新製品が出るとつい買ってしまう。
弁当屋やコンビニなどで毎食必要なものだけ買って食べる生活のため食品ロスはないが、一方で、容器や割り箸などのゴミは毎回多く出てしまっていると感じる。(料理はしないため生ゴミは出ない)
区内でこんな事業があったことを全く知りませんでした。港区内で 50 年以上住んでいたのにほとんど仕事で全く知りませんでした。食品ロスについて、今だから問題になるのですね。若い方々にしっかり徹底できるようお願いします。
大変興味深い取り組みと思います。ぜひ普及していただきたいです。
強力に推進すべきと思います。
食品ロスの係の人があまり質問に答えられない。食品ロスに感心のある人を係にしてほしい。届くのか不安になる。
すべては源の大元が協力姿勢を見せなければ難しくおもう。体裁にこだわらず見かけより中身だと思う。
ニュースとかで聞くともったいないと思いますが、少なくなった方が良いと思います。
区が行うには難しそうです。NPO 法人が運営している、実績が上がっている所と協力する。或いは、ノウハウを教えてもらうのはいかがですか。

区の清掃リサイクル事業に関する意見、自由記述

【プラスチックのリサイクルについて】
金属がついたプラスチックは何ゴミ？包装紙や菓子箱はダンボールと同じ日？区報のような紙は可燃ゴミ？
資源プラスチックの処理のしかたを種類、資源プラにはならない物等がよく分からない。
プラスチック包装で紙の説明部分が半分以上を占めている商品など、分別に迷うことがあります。(プラ資源に入れていますが、可燃ゴミの方がよいのではともあります)「ゴミの分別ガイドブック」を参照していますが、金具のついたプラスチックファイルなどは、分解するのがめんどろで、可燃ゴミに出すことがあります。具体例をたくさん掲出してほしいです。読まなくなった古い本の回収をしてほしいです。
汚れたままのプラスチックは、資源プラスチックごみとして処理できるようにはならないのでしょうか？
資源ごみは洗って出していますが、油分や汚れの多いものなどあまり洗うのに専念しすぎると、かえって洗剤や水の使用量など、環境の負荷になると思います。全てを資源にというぎちぎちな考えでなく、例えばプラスチックは多少は燃やしてもいいのではないのでしょうか。燃やせば海洋プラスチックの原因にもなりません。
プラスチックの分別法を見直して欲しい。汚れたものを洗おうとすると水のむだ使いや、水質汚染につながる気もするし、うすい包装ビニール等は、捨て方によっては風に舞い、海洋プラスチック問題につながると思います。焼却炉の性能も上がっていると聞くので燃やせる物を増やして欲しい。
プラスチックゴミをリサイクルに出すとき、水洗いするのですが、水資源の無駄にならないのかなど気になります。回収したものが、どのようにリサイクルされていくのかがもっと明確に分かると、分別しやすく意欲もわくと思います。
本当にリサイクルされているのか、事業者から実態をオープンにして、不要なリサイクルがないか検証していただきたいです。リサイクルされないプラスチックが可燃となれば、手間もなく土地不足もなくなると思います。効率的なゴミ処理を希望しております。
資源(新聞紙など)と資源プラスチック、本当は可燃ゴミとして燃やしているのでは？外国(特に中国がうけいれてない)から、うたがっています。
プラスチックは個人で頑張っても減らない。過剰包装も多く、気を付けていても、個人ではどうにもならないと思うくらいで、どうにもならないならもういいや、と思ったけど、しばらくして、一人でも多くの人々が心がけないとかわらない！！と思いまた心がけはじめたが、本当に難しい。コンビニ袋とか、紙袋にしたほうがいい。のか？
①問13を周知させること。②消費社会はゴミの大量生産の社会でもある。自然分解しないプラスチックゴミ削減は、地球温暖化対策と同様に地球規模の視点で考えるべき。自治体ゴミ・サミットの企画は、一定の解決につながるかもしれない。③先日、マンションの管理組合理事会で、時間外に出す者が散見されることから、ゴミの出し方が話題になった。分かったことは、ゴミは当日の8時までに出す。というルール

を認識していないことであった。分別ガイドブックや張り紙などで、もう少し工夫してほしい。

【家具・粗大ごみの分別について】

家具のリサイクル日が、いつ販売してるか告知してもらいたい。

リサイクル家具は、配達料の方が高いので、そこを無料もしくは安くなれば、もっと利用者が増えると思います。

家具のリサイクル展に家具を出したことがあります。家具以外のもの(贈答品の花びんや家庭用品など)ゴミにしなくてもよい方法があるとよいなと日頃思っています。

粗大ゴミのリサイクルをどんどん進めてほしいです。かなりきれいな家具家電までも、特に港区ではゴミとして出されることが多いように感じています。これからこのまま埋立地に落としていっていると想像するだけで恐ろしく思います。幼稚園、小学校低学年など特に小さいうちにどんどんゴミの現状「リサイクルはこんなに進んでいる」というような見せかけのきれい事ではなく、こんなに大変でこんなにエネルギーを使ってもうあふれんばかりの本当のきびしい現状を遠足見学、社会科見学、道徳などの授業に盛り込むために専門の方を派遣してほしいと思います。

何度か港資源化センターへ伺ったことがあり、家具のリサイクルも利用したことがあります。こういった取り組みはとても大切であり、区民には便利です。

粗大ゴミ予約の待ち日数を短くできると嬉しいです。

いつでも受け付けて下さる(粗大ゴミ、リサイクル品)事業所があればいいですね。

大きい家具などもリサイクルとして引き取っていただければたすかります。

粗大ゴミの持ち込みができて、できれば査定してくれて引き取ってくれると有難い。

大型ゴミの有料回収が常に混んでいて、回収までにかかなりの日数がかかる。もっと利用しやすいように、回収量のキャパシティ/1回を増やしてほしい。

粗大ゴミ料金が高いので不法投棄があるのではないかと思います。港区は事業所も多いので、業務用の粗大ゴミも安く回収する様にして、リサイクルに回すなどすると良いと思います。(業務用の粗大ゴミは比較的新しい物などもあったりするの)また、各家庭ごとにゴミを出す方が集積所の汚さから解放されると思います。集合住居の人のゴミの出し方が乱雑で困る。もっと個人個人意識すべきだと思います。

公共インフラありがたいです。粗大ごみ、高齢世帯だと家の中まで取りに来てくれますが、対象拡大してくれると嬉しい。女性の单身でも無理です。粗大ごみ予約したのに(結構埋まっていた先予約しか取れない)腕力のある家族が出張になっちゃった!という子育て中の女性もいると思うし。

区の粗大ゴミを申込みすると、必ずといっていいほど、民間のリサイクル業者から電話がある。タイミングがよすぎる。情報が流出しているのではないかと心配になる。

粗大ゴミの回収の際にシールに氏名を記入するのはやめていただきたい。番号等で管理してほしいです。

【洋服等のリサイクルについて】
重くかさばるオーバー、コートを区役所のリサイクルボックスに持って行きたいが、車もないし、大きな荷物になるので、ずっと家に置いてあります。
制度が充実していますし、回収業者の方も親切です。衣料の回収拠点を種類別(男女子供)にし、受け取りやすくする。(夜遅く人目のないところで探している人がいるため)
洋服の資源化をして欲しい。
衣料品・使用回数の少ない毛布等(もちろんクリーニング済みです)、受入場所が近くにあれば、もっと利用させていただけるかと思います。
土を出すところが月 1 でもあればと思う。近所に管理人が居ないワンルームがあり、ゴミの出し方が悪く分別されてなかったり、指定日以外の曜日にゴミを出したりとマナーが悪い。その様なマンションは集合で出すのではなく、個別として出すなど検討して頂きたい。
鉄製品の良質の物は、不燃ごみに出すのは惜しい気がする。リサイクルできるから。
すでに行っていることかもしれませんが…災害用の備蓄品の賞味期限が切れそうなものを有効活用してほしい
誰でも手軽にリサイクルする方法など。缶を持って行くと有料で引き取ってくれるなど…

【レジ袋について】
ごみ出しにスーパー等のビニール袋を利用している。有料化、削減化は理解できるが、ではそれに変わるものがあるのか。どのようにして出せば良いのか、広報がない。環境に良い袋等代替品は開発、販売されているのか。ごみ出しにレジ袋が使用されている限り、削減に限界があるのではと思う。出かける際、必ずマイバッグを持って出るにも限界がある。
レジ袋については常に迷います。ゴミを捨てる場合はほとんどの人が利用しているからです。別に袋を買うのには迷いが出てきます。
スーパー等のレジ袋をなくすことが重要なことではなくて、無害な品質のものに変えて(有料で良いので)普段のゴミ捨てに有効に使えることが必要だと思います。新たにゴミ捨て用のビニール袋を購入して利用するとなると意味がないです。
レジ袋有料化、大反対。区・都が推奨するプラスチック有料ごみ袋は環境に良くて、レジ袋は環境に悪いから有料化する。とは納得できない。プラスチックが有害なら、すべて使用禁止すればよい。※これを書き終えた後、11/26 22:30 頃、テレビ東京「ガイアの夜明け」で無害なレジ袋について放映しています。専門的なことは知りませんが、無害なレジ袋であれば、有料でも使用(協力)していきたいと思います。が、スーパー等が無料でレジ袋を提供することを、妨げないように。私は、レジ袋関連とは無関係であります。

【発信・啓発・教育】
今回のアンケートを通して、反省すべき点(自分自身)を感じるとともに、全区民の意識が高まるように、月 1 回の回収日に宣伝用ポスターを設置。例)1 月〇日プラスチック容器はきれいにしておきましょう。2 月〇日食品ロスを減らしましょう。
普段ゴミ出しはしていますが、その他の区の活動に意識を向けることがあまりなかったのが、今回のアンケートでいろいろ知ることができました。力を入れたいことなどはゴミの集積所や何かしら目に触れる場所にチラシを張るなどして区民の多くが知ることができるようにしてはどうでしょうか。
個人は、町内組織又集合住宅は管理組合の清掃会社による徹底を図り、契約条件とする。区は、リサイクル成果を町内(戸建)を集合住宅に告知し、習慣化を図っては？
リサイクルなどについて知らないことが多いので、もっと区民にわかりやすく教えていただければすぐにも取り組みたいです。マンションの掲示板やごみすてばのそばなどに、どんな取り組みができるか貼っておくとかしてもらえれば大変ありがたいです。
ごみの収集場に分別の仕方を解りやすく提示したゴミ箱を増やすと良いと思います。プラスチック製品をもっともっと減らすようお願いします。海洋プラスチック問題はもっと早く改善に取り組むべき。生物が絶滅してから焦っても遅いので。
ゴミの分別は紙で配布出来なくとも、ネットでもっと細かい分別を表してほしいです。
他区、他県から転入してくる方は「ゴミ出し」について、これまでの居住区と異なり、とまどっているのを、しばしば見かける。又、永く居住している人のなかでも、ゴミ出しに無理解の方も多い。区政としてこれからはゴミ出しの「ルール分別方法」と「意識」について一層積極的に根気よく繰り返し発信していただきたい。「資源・ゴミの分け方・出し方」についてもくり返し配布して意識を高めてもらいたい。
引っ越してきたばかりで、リサイクルの仕方がしっかりわからない。広報紙などで知らせてほしい。以前住んでいたところは、トレイなどをスーパーで集めていたが、区ではどうなっているのかわからず、プラスチックに出している。これでよいのかなと思うことがある。
ガイドブック資源とごみの分別が古く、よごれたりしますので、又、何年もたちますので、なるべくそばにおいて見たりして分別しますので送ってほしいです。
リサイクル業者の情報が入ってこないの、広報を工夫できると良いのではないかな？
5 月に有栖川公園で開催されるエコライフ・フェアに 2 度ほど行ったことがあります。布団を回収していただけたので助かりました。そこで資源分別について詳しく教えていただいたのは役に立っています。新聞を束ねるひもはビニールでも良いのか？ 広告の紙も一緒に入れて良いのか？ 集めた資源を区ではどこまで処理し、どのような形で次へ送るのか、など、知りたいことはまだあります。みなと社会福祉協会の福祉バザー(毎年秋)で寄付物品を集められますが「新品に限る」なので、中古でもまだ使える物の行き先があったら良いと思います。100 円ショップの品物も便利だけど物を大切に暮らす…ということを考えるときが来ていると思っております。やはり子供時代からの教育が必要と考えます。
以前住んでいた世田谷区に較べれば、良い活動をしていると思います。「お祭り」などのイベントで、いろ

んなことを知ることができました。
私の住居はマンションなので分別などきちんとしている方も又全くの方もいます。管理人さんたちがきちんと出してくれますので出来ることはしているつもりです。マンションが多い港区、事業者の方々も大変かと思います。生ゴミ処理機など使用の仕方など大勢の人たちにわかるよう何かのイベントの時でもあるとよいと思います。
回収の人たちと直接顔を合わせるイベントとかどうですか？身近に感じて、理解がすすむかもー。
各種封筒に窓付きのものあり、紙資源として出す場合は透明のタイプは切り取っています。これが必要なかどうか、電話した際「ここではわかりません」と、区役所のさる窓口の対応。どうなのでしょう？紙でないなら、紙タイプのものへ変えてゆく方策を業界に働きかけるべきでは…とハサミでチョキチョキしています。
新聞に入ってくる折り込みチラシ、以前は可燃ゴミで出していましたが、資料館で折り込みチラシも資源として出せることを知り、今はそのようにしていますが知らない方も多くいると思います。チラシは、かなりの量なので周知の徹底を…
ゴミを細かく分けてご指導いただければうれしいです。(セロテープ、ガビョウ等は…。等)
日本に住む、外国の方、旅行者の方にも、英語などの説明がなく、道路においてしまう。(ゴミ回収日、お菓子の袋)※そのためねずみが多いことも心配です。
現場の方が一番よくわかってらっしゃると思うので、どんどんとゴミの現状を発信していただければと思います。
粗大ゴミの持ち込みが可能なことを、もっと周知・広報すると良いと思います。
参加したいですが、情報に触れる機会が少ないです。
知らない事が多いので、もう少し情報を開示して欲しい。
分別ルートでよくわからない場合に、示唆して頂けると有難い。
頑張っているが正しく分別できているか自信がないところもある。「ここは念入りにやって」とか「ここはそこまで気にしなくても」というポイントがあれば教えてほしい。(家庭でできる範囲で)
私も常に分別し集積所には廃棄しておりますが、必ずと言って良いほど、不法投棄されている方がいます。その方が廃棄された回収不能な粗大ゴミや廃棄物を目の当たりにするたび心が痛みます。あくまでも憶測ですが、同一人物ではないかと推測しております。今後各々の集積所の所在や管理責任者を明確にし、戸別ごと、有料に回収してもらった方が良いかもしれないと思います。
深刻な問題だが国民の意識がまだ低い。もっと国が国家レベルで各蒙して行かないといけないと思う。日本の水道は安全であるから、ペットボトル飲料を買わなくても暮らしていけた時代に戻る生活を啓発していくべきだ。
区民の意識を変える事が重要だと思います。特に外国の方はよく理解していない方も多いと感じています。
自宅以外の所にゴミを捨てて行くエゴイストが多すぎる。最近、飲食をしながら町を歩いたり、公共交通

機関に乗っている人が多いことも、その要因の 1 つと考えている。食べ歩きや、公共交通機関内での飲食に罰則を作るくらいの厳しさを以って、世にマナーの再確認をして頂きたい。
集合住宅は管理人に任せがちで個人の意識が足りない。マンション内での啓蒙の仕方を検討すべき。

【施策の内容にかかわる提案】
ドイツには、キャッシュバック制度というものがあり、それを取り入れたら、小さいときからリサイクル意識や仕組みの理解につながり、今後に良い影響がでてくると思います。
ドイツではメジャーなドリンクはビンで売られていて、ビンを返却すると数十セントお金が返ってきてました。ペットボトルでもタシステム(ファンド)のものもありました。日本はプラスチックゴミが多すぎです。過剰包装です。何事も意識が大切です。子供が学校でゴミや食品について学んできたことを教えてくれるから、意識が変わりました。
ガラス瓶の色つきと透明のものの分別・古着を定期的に回収し難民支援などに役立てる・古布をリサイクルする、などのシステムがあると良いと思う。
まだ使える家電・家具等、処分する時だけか使ってくれる人がいればいいのに、といつも思いますが、高齢のためデジタル類は使えません。どこか広い場所を作って、自由に持ち込んだり、もらっていったりが出来ればいいなと思います。以前住んでいた文京区では、電話 1 本で家具の無料引取りに来てくれました。港区もあるのでしょうか？ゴミの分別、リサイクル等、高齢者にもわかりやすい情報発信をお願いします。・リサイクル、ごみの分別等、マンションの理事会へ啓蒙→個人へ、も有効かと。
生ゴミを肥料にする仕組みに取り組んでもらいたい。
大型家具のリサイクルだけでなくレンタルも行ってほしい。
罰則が一番！対策に有料化、消費者に負担となる金のかかる対策はやめてほしい。
高い区民税や都民税は住民のサービスの為に使ってもらいたい。清掃課は無いのか。
本当に必要人員の給与を上げる。不要な人の仕事の整理とできるものはロボットに。
リサイクルは大賛成ですが、費用がかかりすぎるからむずかしいモンダイ。
食品ロスの活動をすいしんしたいです。
まず、区職員の方々のアンケート・意識調査を行い、自分で体験を通じて対策を考えるべきです。やりますか？アンケートでなにげすい告知等せず、外注せず区内でまとめるべき、コストの無駄ではないですか？
ゴミの問題は深刻に考えていますが、このアンケートを書く人達は少なくとも何かをしていると思います。関心のない人はアンケートも書かないと思います。その方々のゴミの出し方について心配です。地球が良くなるようどうぞよろしくお願いします。
人間は自分に切実に感じないと動かない気がします。むずかしい問題だと思います。がんばって下さい。
一方で単身者が積極的に取り組むにはめんどうなことも多く、明日から変えていくなどイメージが付きづらい。区民と行政双方が取り組みやすい方法があればよいと思う。できることから協力したいと思い

ます。
プラごみ問題が非常に深刻な中、街の道路のゴミ(プラ包装やペットボトル等のごみ)が気になります。区民も気軽に参加できるゴミ拾いの機会があれば参加したいと思います。
区内にとってもキレイな街と、そうでない(いつもキタナイ)街がある。後者について、強力なクリンネスを推進してほしい。例えば、新橋、赤坂など。

【企業の取組】
2 人家族・共働きなどで、どうしても使いすてのコップ等を愛用しがちです。ただ、あまり良くないとは思っているのも、汚れが落ちやすい食器等、時間をあまり取らずに環境に協力できるような何かしらがあったら取り組みたいと思っています。
もう少し売る企業側にプラスチック類等(ポリエステル)を使わずに器(ボトル、トレイ)を考えて望ましいです。お肉など紙でつつんでくれるスーパーも有り(私達は品物を高く買っているのですから)企業側にも努力してもらいたいです。港区とか東京都は企業に伝えないのですか。高い税金を取っているのですから、これらの中の一部をリサイクル事業に、国？都？区？がリサイクル事業に回したらいかがですか。ボトル 1 本(茶等)100 円以上、非常に高いです。税金とりすぎです。
資源リサイクルには、混ざっている物が多いと業者さんは大変だと思います。しかし、プラとその他の素材がくっついていて物を完全にはがすのは難しいです。はがすことが簡単なものにするよう、販売側にも働きかけて頂きたいです。
消費者側の意識改革も大切ですが、供給する側が利益優先の販売をしているのではいくらリサイクルを心がけてもむなしい気持ちになる。行政にはその辺についても力を入れて供給する側の指導や呼びかけ、意識改革を行ってほしい
前にも言いましたが、食品会社が環境にやさしい梱包に心掛けるのが良いと思う。一般の消費者はスーパーの棚に陳列されているものは、行政が安全だと判断したものが並んでいると思いたい。”いけない”商品は販売してはいけない、作ってはいけないことにすべき！何で売ることを許可しておいて、このようなアンケートを取っているのか不思議。ピストルを売って、殺人はダメと言っているようなもの。もっと食品会社に規制を掛けるべき。一般人の意識をかえるには時間がかかりすぎる。うちのマンションだって、住人がせいぜい 300 人位でも、ゴミの出し方はまちまち。ほとんどがいいかげん。これが港全部、国全部の意識を変えるなんて不可能だと思う。売らなきゃ良い！につきる！作らなければ処理の心配がへる。行政が配布しておいて、レジ袋使うとか、プラスチックは環境破壊だなんてヘンじゃないですか？
売り手の方も過剰包装にならないように、考えていただきたい。
清掃業者の方が集める時に改良出来る点等を、どの様に商品にした方が良いか見てほしい。ペットボトルのシール等がはずれにくくなっている物等について、どの様にすべきか等を商品業者に提案する事も有効かと思います。不便だからやらない事もあると思います。
家庭内のリサイクルは区や管理人に聞いてしっかりやっているとっております。常にゴミになる様な物

は買い控えたいと決めています。梱包がすべて嚴重過ぎてしまっている事も消費者を悩ます問題です。食品も野菜や果物までがトレイで売る事も問題だと思います。
青果・魚等、不必要な発泡スチロールでの提供が一番無駄なゴミだと思います。一番我家で多く出るゴミがそれです。無駄な梱包をやめるだけでも、かなりゴミの量は減るのでは？国の指導を徹底すべきです！
商品の過剰包装を見直すべきだと思う。区単位で啓蒙してほしい。

【自身の取組】
時々業者の方が回収されているのを見かけますが、たいへんだなあ…と。捨てる人は多様で、それぞれの生活も多様なので、ゴミの処理に気をつかう人ばかりではないので、危険性はあると思います。粗大ゴミのように目で即確認できれば良いのですが、日常生活にはいろいろ危険物も入っている可能性もあるでしょうから。生活が多様になり、物ものがあふれる時代になり、これからますます神経使うことになると思います。まずは安全に！分別に関わる作業を心がけなければと自戒しています。
ゴミの分別、食品ロスの取り組みなどもっと意識を高めて実践したい。
これから勉強してまいります。よろしくお願いいたします。
買い物袋持参の徹底。プラスチックゴミなし等
今のところ大変な注力している感じがします。私も多少なりとも力になることは協力すべきだと思っています。
私の住んでいる超高層マンションはどんなゴミでも分類して所定の所へ毎日でも持って行けるようになっているため、ゴミ出しについては不自由は感じていません。
マンションに住み、ゴミ置場があり、管理人が一切を行っております。管理人(管理会社)への指導がよいと思います。
私はマンション住いです。広報で紙ゴミ(箱類手紙は別)は資源に出すとの事で集めておきましたが管理人は知らずに燃やすごみと一緒にしていました。管理組合に良くお知らせ下さい。
港区に住んで 18 年、清掃事業などは他の区より行き届いていると思います。個人で協力出来る事は少ないですが頑張って協力致しますので、今後共よろしくお願い申し上げます。
老人なので、あまり食品ロスは出ません。頂かないものは上げてしまいます。
つましく生活していますので、上手に利用して何でもおいしくいただきます。でも、もっと困った人達に廻せるものはまわしてあげられたら嬉しいです。
今回アプリが有ることを初めて知ったので活用してみようと思います。

【分別・収集所のルール】
集合住宅等にも、ペットボトルのキャップや缶飲料のプルトップ回収容器を設置するようにしてほしい。
ごみ置場が外にあるところはなるべく網をかけて頂きたい

スプレー缶や調味料、洗剤、スタイリング剤など使い切れない中身の量が多い場合、処分に困る事があります。以前、清掃事務所の方が個別に回収して下さって大変助かりましたが、もっと気軽に処分できる方法があればいいと思います。
使用済の電池はどうすればよいのですか
マンションに住んでいます。分別が「可燃ごみ」「不燃ごみ・資源プラスチック」「ダンボール」「新聞」「ペットボトル」「びん」「かん」になっています。不燃ごみと資源プラスチックが同じくくりになっており、気になっています。各マンションが正しくごみを分別して回収できるとりくみをしているか、区からも指導やチェックをしてほしいです。
家庭でゴミを捨てる時は、スーパーのレジ袋やゴミ袋だと、ビニールなので環境破壊につながると思うと胸が痛むので、ゴミ袋は紙袋にするべきなののでしょうか？
資源ゴミ、ビン・カンの箱に、ビニールを捨てる人がいるが、それは有りなのでしょうか。
マンション住まいですが若い人たちは特に考えていませんよね。賃貸の場合は不動産屋等もきびしく伝えてくださいね。管理人さんのいないマンション等はひどいですよ。又ゴミをコンビニなどに捨てる人もいます。
マンションの住人は、ゴミに対する意識のうすい人も多い。住宅形態を細分化して、対策を考えるとよいのでは。
全くゴミの分別をしないで全部一緒にする人がいる。注意したら「我が家はいいいんです」と改める様子なしでまじめに行っている人には気分が悪くなる。ゴミ収集所にはっきりと分別してくださいとポスターを貼り罰則も示すべきと思う。
となりの飲食店が土日休みで、月曜日可燃ゴミ収集に金曜夜中にゴミ出ししていく。そしてゴミを出す場所が、うちの家の前の植木の所になってしまっているため、非常に困っています。発泡スチロール(魚などの業務用の箱)を飲食店が曜日に関係なくごみ出しする件にも困っています。
割りばしやスプーンを聞かずにくれるお店に指導をしてほしい。ゴミを減らすには店の協力も必要と思う。
近くの集積所に、どこかのマンションや集合住宅の住人が、自分の所のゴミ集積所に出さずに、夜中にわざわざ捨てにくる。しかも多量、あるいは粗大ゴミ系の物をシールも貼らずに。事業者は収集業者を使うところが増えたので少なくなったが、ビジネスでやっている貸会議室やセミナー会場が、多量のドリンク(缶)やペットボトルを収集日でもないのに勝手に出してくる。又、これから年末近くなると廃業を決めた業者が明らかに事業系あるいは造作解体ゴミ等を夜陰に乗じてどんどん出してくる。いずれの場合も、全クリテラシーが欠如しているとしかいえない…。夜間の集積所パトロール(難しいと思うが)あるいは、警察の見回り(巡回ついでに)等、看視されているのだと思わせる対応が重要と思う。(防犯カメラ設置など、シール掲示も)又、日本人のみがやっている訳ではないと思うので、複数言語表記も必要。海洋プラスチックは日本もたくさん出しているのであるが、そもそも細断してそのまま投棄する国家もあり、海の近くに収積場所がある事が問題を大きくしている。又、船員等の教育も必要。

介護ステーションで持ち帰ったオムツ等が大量に燃やせるゴミの日に捨てて有るのを、何人もの人が見ているが注意する事が出来ずにいます。それも自分の収集所ではなく、沢山のゴミのある所にわざわざ持参している。それでも良いのでしょうか？
うちのマンションは外国人が多数住まれている。ゴミの出し方が悪い事が多い。東京に来る前は神奈川県藤沢に住んでいたが、ゴミ袋は有料、分別はとても細かくしていた。東京に来てからゴミの出し方がざっくりして少し戸惑ったが、分別には努力している。
事務所(近隣)の無断ごみ置き去りが多くて困っています。夜間収集ができればいいと思っています。(8:00)までに出せないで、あとで置いたままのひとも多いので)コンビニゴミのポイ捨ても多いです。(店内にゴミ箱があるのは良いが、再来店し捨てにくいのか)
先日、家の駐車場に家電の不法投棄があつて、誰だかも分からずとても困りました。今後もあるかと不安です。この様な場合はどうしたらよいでしょうか。
道路に出すのですが、通る人が(家のゴミ)をポイとたくさん捨てて知らんぷりです。さまざまな人がいますが女性が多いようです。
リサイクルボックスを置いてほしいです。うちの近くのごみ置場はなぜかビン・カン等のボックスがありません！それと歩きたばこの吸い殻もとても多く、家の前に平気で捨てていきます。どうにかしてほしいです。私の母がゴミの分別にうるさく、プラは必ず洗いいリサイクルに出していますが、母のように教えてくれる人が身近にいないければ、私もゴミの分別が分からず全て一緒にしていたと思います。気軽に聞ける人や教えてくれる人がいれば、もっと興味を持つのではないのでしょうか。
ロンドン市内で普通のダストボックス以外に巨大なリサイクルボックス(洋服、くつ、etc)が歩道に設置されているのをみた。防犯上ゴミ箱を撤去するためか日本では街中にリサイクルボックスが無い。公共的にリサイクルボックスが設置されていると助かると思う。
古紙回収車が来る前に自転車、軽トラ等による持出しが多い。対応策を検討してほしい。
時々指定日に出してもとり残しがあるので、TELして取りに来て頂いたり、2週分まとめてまとめ置きして出すことがある。最後の確認も大事にしてほしいです。

【収集について】
リサイクルではありませんが、ゴミ集積場所を止めて、個別収集にお願い出来たら、かなりありがたいです。
不燃ゴミの回収も平日にしてほしいです。
可燃ごみの回収回数を増やしてほしい
もっとかんたんに捨てられるようになってほしい。お金が高くなってもいいから、次の回収がふえたら嬉しいです。
年末年始はごみが一番多くでる(特に年末)回収回数を増やすべきです。欧米諸国のように夜中～夜明けに収集してほしい、町の景観、交通渋滞しないので。デパート、その他特に贈答品の過剰包装が無駄で

ある。スーパーの冷蔵品を2重にビニールで包むのは過剰である。マンションが増えている現状を踏まえ各マンション毎に環境を配慮した焼却炉を設置するのは…？
朝くるのが早すぎる
回収の時間を 8 時ではなく 10 時までにはのばしてほしいです。
朝の 2:30 頃にごみの収集を行うのはやめて頂きたいです。8:00 になってからでは間に合わないのかもしれませんが、さすがに 2:30 は不適切だと思います。せめて 6:00 や 5:30 等にして頂けましたら幸いです。ご事情がおりなのだろうとは思いますが、不眠になります。どうぞよろしくお願い致します。
常設の回収拠点は、区にとっては運搬コスト削減、利用者にとっては自分のタイミングで出せるというメリットが存在するので拡充を検討しても良いと考える。リサイクルの広告拠点にもなる。

【本アンケートについて】
いろいろなアンケートが次から次へとやってきます。内容、分量が多く、一つ一つ回答できません。もう少ししぼって下さい！
アンケートが長すぎる
子育てに忙しく、このようなアンケートが来て時間が無い中返信に苦勞しました。無作為なのでしかたないと思いますが迷惑でした。返信を迷いましたがこれがゴミになるのがもったいないので長いアンケートをやっと返信しました。
リサイクルを前提にした質問で、バイアスがかかっている。
今後は紙、切手代の節約をしてネットでのアンケートにして頂きたいです。
このアンケートは電子化できないのですか？そうすればゴミも出ないと思いますが。
このアンケート自体、QR コードや URL を記載した紙一枚を配布し、そこからネット経由で行うべきだと思う。紙配布以外集合住宅であればどこかに掲示するなど…そこで答えた人に 500 円分の区の施設利用権などを発行する方がよい。
区内をいつもきれいにして頂き有り難うございます。又このアンケートは主人宛に来ましたが男性はごみに対する意識が低く無知なので主婦が記入しました
「何ができますか」の項目がとても良いと思いました。これから自分自身の行動を意識していきたいと思っています。

【その他】
高速道路(四の橋近辺)の下にいつ通っても燃えるゴミ、燃えないゴミが捨ててあり、見苦しいので何とかしていただきたいと思います。道路の落書きも見苦しいです。飲み物におまけがついている、くるものがあるがおまけはごみになりやすいのでメーカーに注意していただきたいと思います。
紙の場合、再生紙の方が割高と聞きました。いろいろな矛盾があるようですが、いい方向に向かうようね

がっています。
なるべく物は捨てず、再利用したいと思いますが、家具(古くなったもの)や寝具などどうしても回収に出せずにいられないものも出てきます。その都度、シールを購入してお願いしています。
リサイクルではありませんが南麻布の明治通りの歩道が汚すぎます。以前区の清掃担当に電話で清掃するようお願いしましたが、一年以上経ちますが、清掃されてません。鳥の糞ですごく汚いのでなんとかしてください。
マンションのごみ捨て場付近に不法投棄された粗大ゴミがずっとある。管理費を払っているのに見て見ぬフリをしなければいけないのか。粗大ゴミ以外にも投棄されているゴミがある。鍵付きのゴミ捨て場があってもこういった問題は解決されないのか。
公園を利用していますが、2 年位前からよりプラゴミ(コンビニ系)が多く捨てられている。
リサイクルは知ってるつもりですが、詳しくは分からないので、意見や要望は言えないし、おもいつきません。
清掃リサイクル事業がどのようなもので、どの様に行われているのかが、申し訳ありませんがよく分かりません。

港区 ごみ・資源に関する事業者アンケート調査について

日頃から、港区の清掃リサイクル行政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、港区では、令和2年度に「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」の見直しを行う予定です。このため、将来のごみの減量化・資源化施策等を検討するための基礎調査として、区内の事業所の皆様からご意見をいただき、参考とするため、標記のアンケート調査を実施することとしました。

調査にあたりまして、区内事業所の中から、産業分類を考慮して無作為に2,200事業所様宛にお送りしております。調査結果はすべて統計的に処理を行い、個別の回答結果を利用することは一切ございません。率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、平成28年の経済センサス活動調査を基に抽出したため、現在、事業を営んでいない方に調査票を送付している場合がございます。その場合は、お手数ですが、廃棄いただきますようお願いいたします。

回答方法

1. 質問の内容にしたがって、あてはまる項目の番号を○で囲むか、☐内、()内に必要事項をご記入ください。また、「その他」を選択された場合は、その内容を()内にご記入ください。
2. ○をつける数は質問によって異なりますのでご注意ください。また、回答によっては、補足質問がございますので、ご注意ください。

ご記入に際しての注意事項

1. アンケートのご回答は、貴事業所の廃棄物管理のご担当者様にお尋ねいたします。
2. 回答は、このアンケート調査票が届いた事業所単位（たとえば、〇〇会社〇〇支店ならば、〇〇支店のお考えや状況）でお答えください。
3. この調査は主に「事業系一般廃棄物」を対象としたものですが、一部「産業廃棄物」についてもお尋ねいたします。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れて、

12月11日(水)までに

ご投函くださいますようお願いいたします（切手の貼付けは不要です）。

この調査票は厳重に管理することとし、調査委託会社以外、外部に情報を提供することや、調査の結果得られたデータを他の目的に使用することは一切ございませんので、本調査に、ぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

<調査委託会社(調査の内容に関するお問い合わせ)>

株式会社ダイナックス都市環境研究所

電話：03-3580-8221

<調査実施主体>

港区環境リサイクル支援部みなとリサイクル清掃事務所

電話：03-3450-8025

担当：運営係 島崎・白根

ごみ減量推進係 福田・藤野

■事業者アンケート調査票

港区 ごみ・資源に関する事業者アンケート調査

I 貴事業所の概要について

問 1 貴事業所の業種をお答えください。(○は1つ)

※複数の業種にまたがる場合は、売上げが最も大きい業種を選択してください。

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------|-----------------|
| 1. 農業、林業、漁業 | 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気、ガス、熱供給、水道業 | 6. 情報通信業 | 7. 運輸業、郵便業 | 8. 卸売業、小売業 |
| 9. 金融業、保険業 | 10. 不動産業、物品賃貸業 | 11. 教育、学習支援業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 学術研究、専門・技術サービス業 | 15. 医療、福祉 | 16. 複合サービス事業 |
| 17. サービス業（他に分類されないもの） | 18. その他（具体的に_____） | | |

問 2 貴事業所の形態をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 工場での製品製造 | 2. 社外での工事 |
| 3. 製品の在庫管理や発送・運送 | 4. 店舗での商品（食品を含む）の販売 |
| 5. サービスの提供 | 6. 営業活動 |
| 7. 事務作業 | 8. その他（具体的に_____） |

問 3 貴事業所の従業員数はおおよそどれくらいですか。(長期のパートやアルバイトを含みますが、通常事業所に出勤しない方は除きます)

人

問 4 貴事業所の延床面積は、おおよそどれくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|--------------------|------------------|
| 1. 30 ㎡未満 | 2. 30～50 ㎡未満 | 3. 50～100 ㎡未満 |
| 4. 100～300 ㎡未満 | 5. 300～500 ㎡未満 | 6. 500～1,000 ㎡未満 |
| 7. 1,000～3,000 ㎡未満 | 8. 3,000～5,000 ㎡未満 | 9. 5,000 ㎡以上 |

問 5 貴事業所の入っている建物全体の延床面積はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------------|--------------|
| 1. 1,000 ㎡未満 | 2. 1,000～3,000 ㎡未満 | 3. 3,000 ㎡以上 |
|--------------|--------------------|--------------|

問 6 貴事業所の建物形態は次の4つの中でどれにあてはまりますか。最も近いものを選択してください。

(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------|------------|----------|-------------|
| 1. 戸建住宅と兼用 | 2. 共同住宅と兼用 | 3. 単独事業所 | 4. 事業所ビルに入居 |
| 5. その他（具体的に_____） | | | |

問 7 所在地域を左の例にしたがって記入してください。

例) 港区

港南

3

丁目

港区

丁目

■事業者アンケート調査票

Ⅱ ごみ・資源の発生・処理状況について

問 8 貴事業所における可燃ごみの排出量を記入して下さい。また、処理方法を、下にある選択肢から選んで、該当する番号○を記入してください。 ※ 住居併設の事業所の場合、家庭系ごみは含みません。

品 目	排 出 頻 度	処 理 方 法
可燃ごみ (清掃工場 で焼却して いる一般廃 棄物)	(記入例) 『月2回』排出している場合は、左 側(日・週・月)の「月」に○、右 側(回)に「2」と記入して下さい。	下記の選択肢の中から該当する番号に○を記入して下さい。 (1) 民間業者に処理を委託している (2) 区の収集に「有料シール」を貼って出している (3) 量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出して いる(「有料シール」は貼っていない) (4) 発生しない (5) わからない (6) その他()
	日・週・月	回

問8-1 問8の「処理方法」で(1)を記入した方におたずねします。現在委託している民間の一般廃棄物処理業者を選んだ理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 信頼できる業者だから
2. リサイクルをするなど環境に配慮しているから
3. 収集日が多いから
4. 希望する時間に収集してくれるから
5. 値段が安いから
6. 集積所まで運ぶ必要がないから
7. 商店街やテナントなどで共同委託しているから
8. 親会社や関連会社が決定しているから
9. その他(具体的に_____)

問8-2 問8の「処理方法」で(2)を記入した方におたずねします。民間の一般廃棄物処理業者に委託していない理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 発生量が少なく、業者に委託するほどではないから
2. 値段が高いから
3. どの業者がよいかよくわからないから
4. 契約手続き等が手間だと感じるから
5. 親会社や関連会社が決定しているから
6. その他(具体的に_____)

問8-3 問8の「処理方法」で(3)を記入した方におたずねします。事業活動で発生したごみは家庭系ごみと区分し、別途、民間の一般廃棄物処理業者に委託することが原則になっていますが、委託していない理由をお答えください。(○はいくつでも可)

1. 発生量が少なく、分けられないから
2. 値段が高いから
3. どの業者がよいかよくわからないから
4. 契約手続き等が手間だと感じるから
5. 制度を知らなかったから
6. その他(具体的に_____)

問 9 貴事業所から排出される可燃ごみの内訳について、大まかな容積割合を記入してください。

■可燃ごみ

	容積割合 (%)
紙類	%
厨芥類 (生ごみ)	%
剪定枝・草花	%
その他 ()	%
合計	100 %

■事業者アンケート調査票

問 1 0 下記の表の品目について、貴事業所における排出量を記入して下さい。また、それぞれの品目の処理方法を、下にある選択肢①～⑬の中から選んで、該当する番号を1つずつ記入してください。

品 目 ★は「産業廃棄物」に分類	排出頻度 記入例) 『月2回』排出している場合は、左側(日・週・月)の「月」に○、右側(回)に「2」と記入して下さい。		排出量 1回当たりのおおよその排出量を、左欄の「kg」または右欄の各単位のどちらかでお答え下さい。		処理方法 下の点線囲みの選択肢の中から該当する番号を記入して下さい。
A コピー・OA用紙	日・週・月	回	kg	cm (A4サイズに畳んだ高さ)	
B 機密文書等(一括処理文書)※1	日・週・月	回	kg	cm (A4サイズに畳んだ高さ)	
C 雑誌・パンフレット・色付き紙	日・週・月	回	kg	cm (A4サイズに畳んだ高さ)	
D 新聞・折込チラシ	日・週・月	回	kg	cm (A4サイズに畳んだ高さ)	
E 段ボール	日・週・月	回	kg	枚	
F ミックスペーパー※2	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
G 生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
H 木・草・繊維等※3	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
I 飲食用びん類	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
J 飲食用缶類	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
K ペットボトル	日・週・月	回	kg	本 袋 (45L相当)	
L 廃食用油★	日・週・月	回	kg	L	
M 弁当ガラ★	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	
N M以外のプラスチック★	日・週・月	回	kg	袋 (45L相当)	

※1：シュレッダー処理をしたものはFに含めてください。
※2：ミックスペーパーとは、古紙の分別区分の一つです。A～Eを除く、汚れが付いておらずリサイクルできる紙類を、一つの分別区分としたものです。
※3：一般廃棄物の「動物死体」「ガーゼ等の医療廃棄物」も含めてください。



選 択 肢

！！ これらは全てリサイクル可能なものです ！！

① 民間業者に売却、もしくは無料で引き取ってもらっている

② 民間業者にお金を払ってリサイクルをしてもらっている

③ 民間業者にお金を払ってごみとして処理してもらっている

④ 納入業者(販売者)が回収している

⑤ 自社で資源回収業者へ搬入している

⑥ 自社で行政の処理施設(清掃工場など)へ搬入している

⑦ みなとエコ・オフィス町内会※1または港区オフィスリサイクルシステム※2を利用している

⑧ 資源として区の収集に出している

⑨ 地域の集団回収に出している

⑩ 可燃ごみ・不燃ごみとして区の収集に出している

⑪ 発生しない

⑫ わからない

⑬ その他

※1 みなとエコ・オフィス町内会：環境NPO「オフィス町内会」が、会員として参加している会社の古紙を回収し、リサイクルするシステムです。

※2 港区オフィスリサイクルシステム：港区内のリサイクル事業者が協同組合を設立し、港区や商工会議所と協議して作ったリサイクルシステムです。

問 1 0 - 1 問 1 0 の「 F ミックスペーパー」で「③」または「⑩」を記入した方におたずねします。
ミックスペーパーをリサイクルしていない理由をお答えください。

1. ミックスペーパーがリサイクルできることを知らなかったから
2. 処理するよりもリサイクルする方が、料金が高いから
3. 社内の手続きや分別の周知などが手間だと感じるから
4. その他(具体的に_____)

■事業者アンケート調査票

問 1 1 今後の、貴事業所における「紙類」※の減量・再資源化について、どのようにお考えですか。

(該当するもの全てに○をつけてください)

※「紙類」とは、コピー・OA用紙、機密文書等、雑誌・パンフレット・色付き紙、新聞・チラシ、段ボール、ミックスペーパー等です。

1. ごみの減量のため、多少コストがかかっても積極的に再資源化に取り組みたい
2. 処理費用が安くなる等の金銭的なメリットがあれば、再資源化に取り組みたい
3. リサイクル方法や業者等の情報があり、取り組みやすい環境があれば、再資源化に取り組みたい
4. 特に再資源化に取り組むつもりはない
5. 「紙類」は発生しない
6. すでに減量・再資源化に十分取り組んでおり、これ以上は推進できない
7. その他(具体的に_____)

問 1 2 貴事業所の一般廃棄物のごみ処理料金は、1 か月あたりどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 5百円未満 | 2. 5百円以上～千円未満 | 3. 千円以上～2千円未満 |
| 4. 2千円以上～5千円未満 | 5. 5千円以上～1万円未満 | 6. 1万円以上～2万円未満 |
| 7. 2万円以上～5万円未満 | 8. 5万円以上～ | 9. わからない |

問 1 3 貴事業所の全体のごみ量は、2017年度と比較し、2018年度はどのように変化しましたか。

(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|----------|
| 1. 減った | 2. 増えた | 3. 変わらない | 4. わからない |
|--------|--------|----------|----------|

問 1 3-1 問 1 3で「1」または「2」を記入した方におたずねします。ごみ量が増えたのはどのような理由ですか。

(_____)

問 1 4 貴事業所では、ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者(社員等にルール of 徹底をする人)を決めていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|-------------------|
| 1. 決めている | 2. 決めていない | 3. その他(具体的に_____) |
|----------|-----------|-------------------|

問 1 5 事業所での事業活動に伴い発生するごみや資源は、家庭から発生するごみや資源とは分けて処理しなければならないことをご存知でしたか。最もあてはまる番号をお選びください。(○は1つ)

1. 家から出るごみ・資源とも、知っている
2. ごみについては知っているが、資源については知らない
3. ごみについては知らないが、資源については知っている
4. ごみ・資源ともに、知らない
5. その他(具体的に_____)

廃棄物の定義や処理責任の所在などについて定めた法律である「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、事業活動に伴い発生するごみや資源の処理は、事業者自らの責任において適切に処理することが義務付けられています。これを「自己処理責任」といいます。

問 1 6 「自己処理責任」という言葉をご存知でしたか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|-------------------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった | 3. その他(具体的に_____) |
|----------|-----------|-------------------|

■事業者アンケート調査票

問 17 から 20 は、『小売店』や『販売店』の方におたずねします。
それ以外の事業所の方は、問 21 へお進みください。

問 17 レジ袋などの削減に関する取り組みとして、あてはまるものをお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. レジ袋・紙袋を有料にしている | 2. レジ袋・紙袋を断った人にサービスをしている
(ポイント付与・値引きなど) |
| 3. レジ袋・紙袋等が必要か、声をかけている | 4. レジ袋・紙袋は使っていない |
| 5. 特に何もしていない | 6. その他(具体的に_____) |

問 17-1 問 17 で 1 に〇をした方におたずねします。レジ袋の価格帯を 1 つ選択してください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. レジ袋の価格は 1 枚あたり 1～3 円 | 2. レジ袋の価格は 1 枚あたり 4～10 円 |
| 3. レジ袋の価格は 1 枚あたり 11～50 円 | 4. レジ袋の価格は 1 枚あたり 51 円以上 |

問 17-2 問 17 で 1～4 を選択した方におたずねします。貴事業所では、プラスチックレジ袋の代替品を使用していますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. すでに、代替素材の袋で実施済み | 2. 代替素材に変える予定 |
| 3. 検討しているが、決まっていない | 4. 検討していない |

問 17-3 問 17-2 で「1」を選択した方伺います。貴事業所では、プラスチックレジ袋の代替品としてどのような素材を使用していますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 紙袋 | 2. バイオマスプラスチック |
| 3. 生分解性プラスチック | 4. その他(具体的に_____) |

問 18 トレーや容器などの包装材や、レジ袋や紙袋などの包装についておたずねします。貴事業所の包装について、あてはまるものをお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 明らかに過剰包装のものが多く | 2. ものによっては過剰包装のものがある |
| 3. 現在の包装は必要なものである | 4. 包装は行っていない |
| 5. その他(具体的に_____) | |

問 18-1 問 18 で「1」または「2」と回答した方におたずねします。消費者の要望があれば、簡易包装にするようにしていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------------------|
| 1. している | 2. していない | 3. その他(具体的に_____) |
|---------|----------|-------------------|

問 19 食品を販売している事業者の方におたずねします。商品を「食品ロス」にしないために、実施している取り組みはありますか(〇はいくつでも可)

- | |
|---------------------------------|
| 1. あらかじめ売り切れる量を予測し、販売することになっている |
| 2. 閉店前に、安売りをして売り切るようにしている |
| 3. フードバンク等を利用し、有効活用している |
| 4. 売れ残った食品は、リサイクル(飼料化・肥料化等)している |
| 5. 特に何もしていない |
| 6. その他(具体的に_____) |

問 20 食品を販売している事業者の方におたずねします。今後食品ロスを削減するために、何が有効だと思いますか(〇はいくつでも可)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 売り残しを減らすための啓発ツール
(売場に貼る シール、ポスター等)の提供 | 2. 余った食材の活用ルート of 拡充 |
| 3. 食品ロス削減マッチングアプリとの連携 | 4. 特になし |
| 5. 生ごみ処理機、コンポスト等の導入 | |
| 6. その他(具体的に_____) | |

■事業者アンケート調査票

Ⅲ 関心・取り組み状況について

問2 1 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. ごみ減量は取り組んでいるが、リサイクルは取り組んでいない
4. ごみ減量は取り組んでいないが、リサイクルは取り組んでいる
5. あまり取り組んでいない
6. 取り組んでいない
7. その他(具体的に_____)

問2 1-1 問2 1で「1」～「4」と回答した方におたずねします。ごみ減量・リサイクルに取り組んだきっかけについて、あてまはるものをお答えください。(○はいくつでも可)

1. 区より指導を受けたため
2. ISO14001 やエコアクション 21※の取得をきっかけに
3. コスト削減のため
4. 会社の社会的責任として
5. 会社のイメージアップや認知度向上のため
6. その他(具体的に_____)

※エコアクション 21：環境省が定めた環境経営システムや環境報告に関するガイドラインにもとづく制度

問2 1-2 問2 1で「5」または「6」と回答した方におたずねします。貴事業所が、ごみ減量・リサイクルを進める上での課題について、あてまはるものをお答えください。(○はいくつでも可)

1. 資源化できるものは少ない、または発生量そのものが少ない
2. これ以上分別するには手間がかかりすぎる
3. これ以上経費をかけることが難しい
4. 保管するスペースがない
5. 衛生上問題がある
6. 適当な資源回収業者が見当たらない
7. 機密文書が多く、リサイクルが難しい
8. 社員に分別の徹底を指導するのが難しい
9. どのように減量・リサイクルすればよいかわからない
10. ごみの減量・リサイクルの必要性を感じない
11. 課題は特にない
12. その他(具体的に_____)

問2 2 東京23区では、東京港の中央防波堤外側埋立処分場等を最終処分場※として使用しています。この処分場は23区最後のごみの埋立処分場と言われており、概ね50年で満杯になると推定され、埋め立てできる量に限りがあります。このような状況について、ご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っていた
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
3. 知っているが、どうにかなると思っている
4. 知らなかった
5. その他(具体的に_____)

※ごみの最終的な埋立地です。ごみを焼却した後の灰や、細かく砕いた不燃・粗大ごみ等を埋め立てます。

■事業者アンケート調査票

※問 23 から 27 は、『飲食店』や『宿泊施設』の方におたずねします。
それ以外の事業所の方は、問 28 へお進みください。

問 2 3 貴事業所が食品廃棄物削減のため、効果のある取り組みは以下のうちどれだと思いますか。
(○はいくつでも可)

1. 飲食メニューや調理方法の改善等による生ごみ発生量の削減
2. 生ごみの水切りや乾燥の徹底
3. 生ごみの資源化（堆肥化等）の推進
4. 廃棄物処理手数料（清掃工場への持ち込み手数料や許可業者への委託料）の値上げ
5. わからない
6. その他（具体的に_____）

問 2 4 食品廃棄物削減のため、貴事業所で取り組んでいるのはどのようなことですか。(○はいくつでも可)

1. 小盛りメニューの導入
2. ポスター等による食べ残し削減の呼びかけ
3. 持ち帰りの推奨
4. 食べ残し食品の堆肥化等のリサイクル
5. 未使用食品のリサイクルの実施
6. 食品ロス削減マッチングアプリの活用
7. 特にない
8. その他（具体的に：_____）

問 2 5 区では、食品廃棄物削減のため、食べきり協力店※の登録事業者を募集しています。この制度について、知っていますか。(○は1つ)

1. 知っていた
2. 知らなかった

※ 食べきり協力店登録制度：飲食物を提供する区内の店舗・宿泊施設を対象に、食べ残しを減らす取組や利用者に食べきることを促す取組を行う店舗等を食べきり協力店として登録しています。

問 2 6 食べきり協力店に登録すると、登録証・ステッカーを交付し、区のホームページやガイドブックで店舗の情報を紹介しています。今後、区が食べきり協力店に対して行ってほしい支援について、該当する項目はどれですが。(○はいくつでも)

1. 啓発品の支給
2. 食品ロス削減に関する講習会の開催
- (希望するもの：_____)
3. ごみ減量方法の情報提供
4. 食品ロス削減マッチングアプリ活用への支援
5. 特にない
6. その他（具体的に：_____）

問 2 7 区では、宴会などの食べ残しを減らすため、宴会の開始30分を味わいタイム、終了前10分間を食べきりタイムとした、30・10運動^{さんまる・いちまる}を推奨しています。貴事業所では、宴会での食べ残しを減らすために、取り組んでいることはありますか(○はいくつでも可)

1. 苦手食材を聞き、他の食材に替えている
2. ポスター等で注意喚起している
3. 注文を受ける際に、料理の量をあらかじめ伝えるようにしている
4. 食べ残しをした人に、何らかのペナルティを課している
5. 特に何もしていない
6. その他（具体的に_____）

■事業者アンケート調査票

Ⅳ 区の施策・情報について

問28 今後、貴事業所がごみの減量・リサイクルを推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策をお答えください。(〇はいくつでも可)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 事業所への指導・監督の強化 | 2. 収集業者への指導・監督の強化 |
| 3. 民間の資源回収業者との連携（紹介等） | 4. 事業系ごみ分別の手引きの配布 |
| 5. 講習会（出前講座）の開催機会の増加 | 6. 特になし |
| 7. その他（具体的に_____） | |

問29 現在、区は、ごみの減量またはリサイクルに積極的な事業者・団体を表彰する「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を実施し、その功績をたたえています。このような、優れた取り組みを行っている事業者が何らかの形で優遇される仕組み作りを区が行う場合、どのような優遇制度が最も望ましいですか。(〇は1つ)

1. 公共事業や公共機関の物品購入等の資格条件
2. ごみ減量、リサイクル推進強化のための区からの支援
3. 区による認定とPR
4. その他（具体的に_____）

問30 今後、貴事業所がごみの減量・リサイクルを推進するために、どのような情報が必要ですか。(〇は3つまで)

1. 処理業者・資源回収業者に関する情報
2. 法律や条例等規制に関する情報
3. 区の事業や収集に関する情報
4. 国の動向に関する情報
5. 類似事業所での成功事例などの情報
6. 特に必要ない
7. その他（具体的に_____）

問31 区からの情報については、どのような方法が入手しやすいですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 区の広報・チラシ・パンフレット | 2. 国や都などの広報・チラシ・パンフレット |
| 3. インターネット（SNS、メールマガジン等） | 4. 新聞・雑誌 |
| 5. 商工会や所属する団体から | 6. 収集運搬・処理業者から |
| 7. 説明会・セミナーなど | 8. ラジオやテレビ |
| 9. その他（具体的に_____） | |

問32 区が貴事業所にお伺いし、ごみ減量・資源化の説明会を開催する場合、開催を希望しますか。(〇は一つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 希望する | 2. 希望しない |
|---------|----------|

問32-1 問32で「1」と回答した方におたずねします。説明会はどのような内容を希望しますか。(〇はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 紙類の分別 | 2. 生ごみの減量化・分別 |
| 3. その他（具体的に_____） | |

■事業者アンケート調査票

V プラスチックごみについて

問33 貴事業所の産業廃棄物のプラスチックごみ処理料金は、1Kgあたりどのくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. 40円未満 | 2. 40円以上～100円 | 3. 101円以上～200円 |
| 4. 201円以上 | 5. わからない | |

問34 産業廃棄物のプラスチックごみについて海外への輸出が規制され始めています。現在、貴事業所ではどのように処理していますか。(〇は1つ) ※一部の小規模事業者の方は、委託事業者を区に読み替えてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 委託事業者が回収し焼却 | 2. 委託事業者が回収し埋立処理 |
| 3. 委託事業者が回収し再生処理 | 4. わからない |

問35 産業廃棄物のプラスチックごみの処分について、今後、貴事業所ではどのような対策を検討していますか。(〇はいくつでも) ※一部の小規模事業者の方は、委託事業者を区に読み替えてください。

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 委託事業者が回収し焼却 | 2. 委託事業者が回収し、埋立処理 |
| 3. 委託事業者が回収し再生処理 | 4. プラスチックごみが発生しないよう代替素材を使用する |
| 5. 特に検討していない | 6. その他() |

問35-1 問35で「3」、「4」及び「6」と回答した方におたずねします。産業廃棄物のプラスチックごみの処分について今後の対策は、具体的にどのような取組ですか。

()

問36 世界的に海洋プラスチック問題が取り上げられ、国はプラスチックとの賢い付き合い方として、使い捨てのワンウェイプラスチック※の削減を目指しています。現在、貴事業所で取り組んでいる内容はどのようなことですか。(〇はいくつでも) ※ストローやレジ袋、コンビニ等の弁当等の使い捨てプラスチック製品のこと。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. ワンウェイプラスチック製品の削減・廃止 | 2. 製品等の代替素材への切り替え |
| 3. 社員へのマイバッグ、マイ水筒持参の推奨 | 4. 特に取り組んでいない |
| 5. その他(具体的に： |) |

問37 今後、プラスチックの削減を貴事業所で取り組む場合、貴社の方針としてあてはまるのは下記のうちどれでしょうか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 会社の社会的責任として、プラスチックの削減を目指す |
| 2. 会社のイメージ戦略として、プラスチックの削減を目指す |
| 3. 経費がかかっても、プラスチックの削減を目指す |
| 4. 取り組みたいが、費用がかかってできない |
| 5. 取り組みたいが、時間がない |
| 6. どう取り組んだらいいかわからない |
| 7. 取り組む必要性を感じない |
| 8. その他(具体的に： |

)

■事業者アンケート調査票

港区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

港区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

【製造側への要望】
海洋汚染を考えると本当に取り組まなければいけないことなのですが中々と難しいのが現状です。早く自然界を汚すことなく戻る素材での容器の開発望まれます。勿論私共の協力、努力も当然なことと思っております。
先日係の方へ電話でお話させて頂きました南麻布のカフェの人間です。スナック類は料理もしていないし、出してもいません。又ソフトドリンクが主ですので、出るゴミはコーヒーの出しガラが主で、週一回程度で自社ビルのゴミ置場に出しています。また、ケーキ類は仕入れています。作っていません。これからの事です、ストロー等プラスチックの物は自然に還元、土に戻る材料で出来る事を切に望みます。現在ありますが、コストの面で今一手を出せない状態です。
処理できないものは作らない。また、なるべく作らない。

【事業者向けの啓発・情報発信】
区より、事業者向けのパンフレットを月一回発行してもらいたい。ホームページ等も開設してください。
区内に新しい飲食店又は事業所が出来たら積極的にゴミに対する教育、指導をする。町会自治等に協力してもらい店舗(飲食)事業所を知らせてもらう。
本アンケートを当社にご依頼いただいた際に、みなとリサイクル清掃事務所へ不明点を問い合わせいたしました。その際に区からの情報発信説明会について興味があり、確認いたしましたところ、区からはビルのみへ情報発信、指導をしているとのこと説明でした。現状、ビルからテナントへの情報が乏しく感じております。ビルに情報発信の際に同時にテナントへの指導が行き届くよう、希望しております。
使い捨てプラスチックゴミを削減したいと思います。パック飲料のストロー、コーヒーのふたなど提供サイドにもご協力いただきたく、優良な事例をご紹介下さい。
類似事業所(事務所、ショールーム、整備工場)の一般及び産業廃棄物産業廃棄物の分類事例の紹介があれば研究し、分別やリサイクルをさらに上げることができるかと思います。

【収集システムについて】
出されたゴミの 24 時間～48 時間未回収状態をさけるための回収システムの改良。
環境保全に関しては、個人、事業者関係なく取り組まなくてはならない課題だと思う。その意味では、特にプラごみなど事業者、一般隔てなく回収しても良いと思う。ペットボトルなどは価格に上乗せしても良いくらい。
プラスチックを資源として回収してほしい。委託事業者がそれをできているとは思えない。港区が率先してやってくだされたいのにとずっと思っていた。もっと積極的に港区で回収し、再生してほしい。
一般廃棄物(自治体系)のやり方に拠る回収・保管と産業廃棄物(事業系)の回収がそれぞれ個々に行われておりますが、リサイクル推進に向けて、ドライバー不足・運搬費用高騰の折、より効率的かつ確実な自治体、企業系一括の集積・回収をエリア全体で推進いただけると幸いです。

シュレッダーゴミ、段ボール回収業者がいなくて困っています。(たくさんいますが有料引き取り業者ばかり)貴重な資源だし、無料回収すべきだと思います。 埋立処分地が 50 年でいっぱいになる等、みんなが危機感を持つような啓蒙活動をもっと欲しい。各個人のほんの少しの心掛けでもごみが減らせると思います。その働きかけが出来るのは行政だし、それが行政の方達の大事な仕事だと思います。最大限の努力をして頂きたいです。 少量しか発生しないので自宅へ持ち帰って処分している。新聞、チラシは水曜日、区の回収を利用している。
--

【本アンケートについて】
私どもは親会社が全て決めているので個々にはわかりません。 アンケートについては、ビル管理会社と打合せしてほしい。ただたんにアンケート調査票を、投函し回収するだけでは意味がないし、時間のムダと思われます。アンケート基準をもう少し考えて見た方がいいのでは？ 弊社は八王子本社で産業廃棄物は一括で処理(業者回収)していますが、事業所での一般廃棄物についてはビル回収の為ビルのルールに従っています。 大型賃貸ビルに入居し、ビル管理会社が契約するごみ回収会社のごみ処理をしております。そこで回収されたごみの処理内容については、把握しておりません。従って“分かりません”という回答が多く含まれますが、リサイクルに対しては高い意識をもって取り組んでおります。 ビルのテナントなので、ビル管理会社に委託しており、量や値段について、把握しておりません。またビルで廃棄できないものは、豊洲本社へ送り、本社で廃棄してもらっています。 アンケート等の回答は Web 上を希望します

【その他】
プラスチック削減について、弊社の中に自動販売機を設置しています。販売機内のペットボトル類を減らすか代替容器に切り替える必要があると思います。 リサイクルは限度があり、コストもかかるので消費を少しひかえる必要があると感じています。何でも買ってすぐ捨てるのは、ゴミを増やす。本当に必要なものを買う様な社会になればいいのでは。 事業所(営業系)であるため紙類のゴミが多い。IT インフラの向上によるペーパーレス化を推進したいのですが、①ハードの調達②ソフト(システム)の発展がばく大であること、ペーパーレス化に向けた社員の意識改革に大変苦労しています。働き方改革を推進する上でも、非常に大きな課題ととらえられていますが、困難きわめています。 あまりにも、ポイ捨てが多く、個人へのマナー指導等も必要である。

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

刊行物発行番号 31259-5651

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）
策定等に係る基礎調査報告書

令和2年（2020年）3月発行

編集：港区環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
〒108-0075 東京都港区港南3-9-59
電話 03-3450-8025
受託：株式会社ダイナックス都市環境研究所
電話 03-5402-5355